

令和3年度 博士課程

『日本語の二重否定の諸相～  
語用論的視座からの考察～』

創価大学大学院

文学研究科人文学専攻

大堀 裕美

## 博士論文目次

### 『日本語の二重否定の諸相 ～語用論的視座からの考察～』

序章 はじめに .....	1
0. 1. 本研究の背景と研究動機	
0. 2. 本研究の手法と基盤理論 .....	2
0. 2. 1. B&L のポライトネス理 .....	3
0. 2. 2. リーチのポライトネスの原理 .....	9
0. 2. 3. 発話機能論 .....	10
0. 2. 4. ポライトネスの原理と配慮表現の原理 .....	13
0. 3. 本研究の対象とする二重否定 .....	15
0. 4. 日本語学における二重否定の概観 .....	17
0. 4. 1. はじめに	
0. 4. 2. 日本語の辞書類における二重否定	
0. 4. 3. 日本語文法書における二重否定 .....	18
0. 4. 4. 日本語文法的研究の問題点 .....	19
第 1 章 日本語の二重否定の先行研究 .....	21
1. 1. 二重否定の形態論的研究	
1. 2. 二重否定の修辞学的研究 .....	23
1. 3. 二重否定の語用論および配慮表現的研究 .....	26
1. 4. 外国語の二重否定の研究の概観 .....	27
1. 4. 1. 英語の二重否定の研究	
1. 4. 2. 中国語の二重否定の研究 .....	30
1. 4. 2. 1. 俞稔生の研究	
1. 4. 2. 2. 馬(1998)・孟(1996)・叶(1977)などの研究 .....	32
1. 5. 通訳における二重否定の困難さについて .....	33
1. 6. 日本語教育における二重否定の先行研究 .....	34
1. 7. 先行研究のまとめ及び問題点 .....	36

第2章 日本語の二重否定の総論	38
2.1. 従来の二重否定の枠組み	
2.1.1. 陶振孝(1991)の二重否定の研究	
2.1.2. 林楽常(2005)の二重否定の研究	41
2.1.3. 2つの先行研究の問題点	43
2.1.4. 中右實の二重否定解釈論理	
2.1.5. 日本語の命題とモダリティ	46
2.1.6. 二重否定における命題とモダリティの捉え方	
2.1.7. 日本語のモダリティの先行研究	48
2.2. 二重否定モダリティの区分	49
2.3. 二重否定モダリティの種類	52
2.3.1. 二重否定モダリティの意味の強弱と迂言性	54
2.3.1.1. 婉曲の二重否定のモダリティ	55
① ~ないでも(は)ない	
② ~ないことも(は)ない	56
③ ~ないわけでは(も)ない	57
④ ~ないものではない	
⑤ ~ないとはい限らない	
(言えない/考えられない/思えない/言い切れない)	58
⑥ ~V(せ)ざるを得ない(「~なければならない」の文語的表現)	59
2.3.1.2. 強調二重否定のモダリティ	
⑦ ~ないN(もの/こと/日)はない	60
⑧ ~ないわけがない/~ないはずがない	
⑨ ~ないわけにはいかない	
⑩ ~なし(い)ではいられない	61
2.3.2. 一つの否定辞と否定語彙を持つ二重否定	62
2.3.2.1. 消極的肯定の迂言的二重否定モダリティ	
① ~ないといたら嘘になる	
② ~しかねない	63
③ ~差し支えない	

④～偽らざる N(だ) .....	64
⑤～を免れない	
⑥～は避けられない.....	65
⑦～は否定できない	
⑧～は否めない	
2.3.2.2. 積極的肯定の二重否定のモダリティ .....	66
⑨～に他ならない	
⑩～ほか(は)ない.....	67
⑪～にちがいない	
⑫～は(で)間違いない .....	68
⑬～以外ない	
⑭～とって憚らない .....	69
⑮～を禁じ得ない	
⑯～といっても過言ではない .....	70
2.4. 新しい二重否定の定義のまとめ	

### 第3章 日本語の二重否定の語用論～コミュニケーション上の役割～ .....73

3.1. 「～気がしないでもない」のメカニズム	
3.1.1. はじめに	
3.1.2. 二重否定の先行研究.....	74
3.1.2.1. 文法的な二重否定「～ないでもない」の先行研究	
3.1.2.2. 意味論的にみた二重否定表現の先行研究	
3.1.3 「気がしないでもない」の発話意図.....	76
3.1.4. 「気がしないでもない」の分類と主張行為パターン.....	77
3.1.4.1. 命題に対する話者の心的態度を表す「気がしないでもない」	
3.1.4.2. 発話者の主観的な主張 .....	79
3.1.4.3. <<主張>><<反論>>の「気がしないでもない」.....	82
3.1.5. 暗示的一致の「気がしないでもない」の発話意図.....	83
3.1.6. おわりに .....	85

3.2. 《主張》における迂言的二重否定にみられる配慮表現の研究—「と言っても過言ではない」を中心に—	86
3.2.1. 研究目的	
3.2.2. 迂言的二重否定の定義	
3.2.3. 先行研究での扱い	87
3.2.4. 《主張》の命題を二重否定で表現する意図	
3.2.5. 《主張》における配慮表現機能	89
3.2.5.1 「～と言っても過言ではない」《主張》型の分類と用例数	
3.2.5.2. 「～と言っても過言ではない」の《主張》パターン	
3.2.5.2.1. グループ A 強調・限定語彙を伴う《主張》	
3.2.5.2.2. グループ B 比況型《主張》	90
3.2.5.2.3. グループ C 否定的・限定的命題内容型《主張》	
3.2.5.2.4. グループ D 条件提示型《主張》	p. 91
3.2.5.2.5. グループ E 現状断定型《主張》/命題提示断定型《主張》	92
3.2.5.2.5.1. (a)現状断定型《主張》	
3.2.5.2.5.2. (b)命題提示断定型《主張》	
3.2.5.2.6. グループ F モダリティ付加型《主張》	93
3.2.6. おわりに	95
3.3. 「～と言っても過言ではない」の命題特性とその機能	96
3.3.1. 研究の目的	
3.3.2. 日本語の二重否定の先行研究	
3.3.3. 二重否定の定義	
3.3.4. 二重否定の形態論・意味論研究	97
3.3.5. 英語の二重否定の解釈	98
3.3.6. 二重否定の語用論的研究と配慮表現	99
3.3.7. 二重否定の配慮表現機能	
3.3.8. 二重否定の「否定的意味を含む語彙」について	101
3.3.9. 「～と言っても過言ではない」の対人的機能	102
3.3.9.1. 「～と言っても過言ではない」の命題内容の分類	

3.3.9.2. A 主観的心情の命題	103
3.3.9.3. B 否定的評価の命題	104
3.3.9.4. 肯定的評価の命題	105
3.3.9.5. 専門的、客観的結論断定命題	106
3.3.9.6. 命題に強調／限定の語彙を伴うことについて	108
3.3.9.7. 「といっても過言ではない」の後のモダリティ付加現象について	
3.3.10. まとめ	109
3.4. 「～ないといったら嘘になる」の意味・機能	111
3.4.1. はじめに	
3.4.2. 本研究における二重否定の範疇	
3.4.3. 先行研究およびその問題点	
3.4.4. 二重否定モダリティ	112
3.4.5. 「～ないといったら嘘になる」の考察	113
3.4.5.1. 「～ないといったら嘘になる」の固有の意味特徴	
3.4.5.2 「～ないといったら嘘になる」の用例分析と命題の型	114
3.4.5.3. 「～ないといったら嘘になる」の命題の型	
3.4.5.3.1. 感情緩和型	
3.4.5.3.2. 先行提示型	116
3.4.5.3.3. 言い訳型	117
3.4.6. 「～ないといったら嘘になる」の配慮表現機能	118
3.4.7. まとめと課題	119
3.5. 「～ないとも限らない」の二種の型をめぐって～配慮表現としての緩和用法を中心に～	120
3.5.1. 研究の目的	
3.5.2. 二重否定の定義	
3.5.3. 命題とモダリティの二重否定の解釈原理	121
3.5.4. 「～ないとは（も）限らない」の二重否定用法の型	123
3.5.4.1. 「～ないとは（も）限らない」の辞書記述	

3.5.4.2. 命題否定+モダリティ否定型	124
3.5.4.3. モダリティ二重否定型	125
3.5.5. 結語	127
3.5.5.1. 「～ないとも限らない」の二つの型と用法	
3.5.5.2. 二重否定の定義への関連	128
3.6. 対話に見られる二重否定の発話機能について	130
3.6.1. はじめに	
3.6.2. 二重否定表現の型	
3.6.3. 二重否定モダリティの認定	131
3.6.4. 山岡（2008）の発話機能	132
3.6.5. 二重否定モダリティの発話機能	133
3.6.5.1. {演述}系発話機能その1	
3.6.5.1.1. 《主張要求》《主張》の例	
3.6.5.2. {演述}系発話機能その2	134
3.6.5.2.1. 《賛同要求》《賛同》《反論》の例	
3.6.5.2.2. 《主張》《反論》の例	135
3.6.5.3. {演述}系発話機能その3	136
3.6.5.3.1. 《非難》の例	
3.6.5.4. {表出}系発話機能	
3.6.5.4.1. 《感情要求》《感情表出》の例	
3.6.5.4.2. 《感情要求》《感情表出》のその他の例	137
3.6.6. 二重否定モダリティの発話機能のまとめ	138
3.6.7. 第3のモダリティへの関連	
3.6.8. まとめと今後の課題	139
<b>第4章 日本語教育への試論</b>	<b>140</b>
4.1. はじめに	
4.1.1. 日本語教育用テキストの現状分析	
4.1.2. 「～といっても過言ではない」のような表現を扱うテキスト	142

4.1.3. 【意見を述べる】という機能の習得を目指すテキスト	143
4.1.4. モダリティとは何か問うているテキスト	144
4.2. 二重否定はどう教えられるべきか	145
4.2.1. 日本語教育における二重否定の説明	146
4.2.2. 日本語教育現場での書くことの指導から	
4.2.3. 書くことの指導への考察	147
4.2.4. 新しい取り上げ方のアイデア	149
4.2.5. 語用論的視座の重要性	151
4.3. 「～ないでもない」の使用効果に関するアンケート	153
4.3.1. はじめに	
4.3.2. 「～ないでもない」の型分類	
4.3.3. 「～ないでもないの発話機能」	155
4.3.4. アンケート調査報告	156
4.3.4.1. 集計結果	158
4.3.5. 考察	161
4.4. まとめ	
<b>終章 現状と課題</b>	163
5.1. 各章のまとめ	
5.1.1. 序章のまとめ	
5.1.2. 第1章のまとめ	164
5.1.3. 第2章のまとめ	165
5.1.4. 第3章のまとめ	167
5.1.5. 第4章のまとめ	168
5.2. 本研究の学術的意義	169
5.3. これからの課題	171
5.4. 展望	172
<b>既に刊行された論文との関連—初出一覧</b>	176
<b>参考文献一覧</b>	177



用例出典	184
------	-----

## 資料編 【二重否定の用例集】

### 〈あ～お〉

・～偽らざる N	188
----------	-----

### 〈か～こ〉

・～かねない	188
・～感(じ)が否めない	193

### 〈さ～そ〉

・差し支えない／差し支えなければ	194
・～ざるを得ない	195
・～ずにはいられない	198

### 〈た～と〉

・～と(は)言い切れない	198
・～と言っても過言ではない	199

### 〈な～の〉

・～ないこともない	207
・～ないでもない	208
・～ないと言ったら嘘になる	208
・～ないとは言えない	213
・～ないとは限らない	214
・～ないわけじゃ(でも)ない	215
・～なくも(は)ない	216
・～に違いない	219
・～に他ならない/他でもない	219

〈は～ほ〉

- ～は否めない……………220
- ～は否定できない……………223
- ～ほか(は)ない／～ほかでもなく……………225

〈ま～も〉

- ～間違いない……………227

〈わ～を〉

- ～を禁じ得ない……………227
- ～を免れない……………228

## 序章 はじめに

### 0.1. 本研究の背景と研究動機

本章では、本研究の執筆に至った動機と研究の背景を述べる。筆者は、JSL 日本語教育現場に、海外勤務も含めると 15 年以上携わってきた。常々感じていたのは、学習者の日本語習得レベルが進むと、日本語特有の持って回った表現、とりわけ二重否定や、その類と思われる成句的表現を教えることがある。その際に学習者から発せられるのは、「これは（学習者の）母語では何と言いますか？」「〇〇語では、△△という言い方はありません。」「ちょっと使い方がわかりません。」というものであった。多くの学習者は、その表現をただ丸暗記するというようなストラテジーしか思いつくことができず、最後は、日本語はめんどくさいといったような、困惑しながら辟易とした表情を見せる。無理もない。日本語の二重否定の表現は実に多様である。ここで述べている多様というのとは、一つ目はその形態論、構文論的な表現形式のことである。分かりやすい例でいえば「～ないでもない」「～ないこともない」などの表現を指す。その形式は多様、且つ類似しているものが多く、日本語学習者にとって形式を把握するだけでも煩雑を極める。例えば「知らないわけはない＝必ず知っている」と「知らないわけじゃ（では）ない＝多少知っていることもある」では、形式的にはたった一音、「は」と「じゃ（では）」の違いだけであるにもかかわらず、意味は一方は全肯定、もう一方は一部肯定になるのである。この形式的多様性・類似性およびその意味の違いも、日本語学習者の二重否定表現の理解・習得を困難にしている一つの要素であることは、早くから日本語の修辭的表現の指導を行う松岡（1995）などによっても指摘されてきた。二つ目は、個々の表現の意味の多様性である。日本語では、二重否定表現が「～ないはずがない」のように命題を強く肯定する意味を持つものもあれば、「～ないこともない」のように命題を弱く肯定する意味を持つものもある。それらの個々の表現と意味を理解し、さらに個々の表現を適切に使用できるようになるまでは多くの時間を費やすとの指摘（今田 1990 ほか）がある。既に先行研究において陶（1994）、林（2005）などがこの日本語の二重否定の形式の特性に着目し、その多様性を指摘し、表現形式と意味の違いを整理している。しかし筆者が最も関心を寄せているのは、別の観点である。我々日本人は、実は日常のコミュニケーションの中で、巧みに二重否定の意味の強弱を使い分け、ときには相手を怒らせないように配慮しているように見せかけながら、実はしっかりと自分の主張を表現したりすることに成功したり、反対や非難の

気持ちを伝えたりしている。結果として、それが心地よい対人距離を保っているという点である。つまり二重否定表現は、話者が聴者を意識して、意図的に選択している一種の言語コミュニケーションストラテジーと解釈している。二重否定表現のそれぞれの表現の意味は、語用論的条件（発話者、聴者の関係、年齢的、社会的立場、発話状況など）によって異なることが、これまでの記述的研究でも指摘されている。しかしながらこの点において、実際のコミュニケーションに日本語の二重否定が担っている役割について、個々の表現事例を確認しながらその重要性について指摘している研究はいまだに多くないと考えたことが、本研究を執筆するに至った動機である。

## 0.2. 本研究の研究手法と基盤理論

本研究は、序章で日本語二重否定表現の先行研究を基軸に整理していく。その際に、本研究の分析、考察の基盤となる主な理論について論じる。その後日本語学の立場から二重否定表現を概観する。そこでは主に、日本語文法の研究における、二重否定表現の定義、否定作用域などの先行研究での問題点を整理する。第1章では、形態論、修辞学、意味論の先行研究を論じる。また、外国語の二重否定研究も広く浅くではあるが触れている。外国語の通訳者が論じる貴重な文献の調査報告や、日本語教育現場での研究調査結果なども含まれている。第2章では、二重否定の総論と称して従来の二重否定の定義に加えて、新しい二重否定の定義を提案する。新しい二重否定モダリティの枠組みを、1つずつあげながら具体例とともに論じる。第3章では、2章で論じた新しい二重否定モダリティの枠組みが、実際のコミュニケーションで具体的に使用される事例を取り上げて、筆者がこれまで論じてきた論考を再掲載する。その際の分析は、個々の意味とポライトネス理論、発話機能論、配慮表現を中心にした語用論的考察から捉えていく。第4章では、これまで述べてきた新しい二重否定モダリティの知見を国語教育、日本語のコミュニケーション理論、配慮表現研究、日本語教育に役立てようと試論を述べる。これまで二重否定モダリティは、日本語教育でどのように扱われてきたか、そして現場において使用可能な問いや練習問題も載せている。第5章においては、以上のことを踏まえて現状と課題に目をむけて今後の研究の方向性も含めて論じることとする。そして本研究においては、日本人が日本語の二重否定表現を使用する事象の研究で完結する。しかし筆者は、外国人日本語学習者の母語、母語特有のコミュニケーションにおける個々の二重否定ストラテジーの使用や、その効果も異なるだろうと考えている。この点に関しては今後日本語話者、また日本語学習者が、

日本語の二重否定表現を使用する事象とそのストラテジー効果を理解し、他者とのコミュニケーションに於いて、効果的に使用できるような語用論的理論の構築が必要不可欠だと考えている。次節で本研究の主な研究手法となっている基本理論を示す。なお、本研究中の用例や分析に用いる用例は、自然言語データコーパスから取り出した収集したデータも存在するが、実際のコミュニケーションにおいて二重否定が産出される例を、筆者が映画やニュース、書籍、SNS 上で採取し分析、整理したものを多く用いて分析していることをご了承願いたい。

### 0. 2. 1. B&L のポライトネス理論

本研究において、理論の基盤の一つとなっているのが Brown&Levinson (1987) (以下、B&L) のポライトネス理論である。B&L のポライトネス理論については、加藤 (2004)、滝浦 (2008)、山岡ほか (2010) などでも紹介されている。ポライトネス理論とは、聞き手の face への脅威を回避しようとする姿勢を理論化したものであり、その前提として、人が社会的存在である条件として face を保持していることが挙げられている。Goffman(1967:5-8) は face を「面子とは承認された社会的属性という形で描かれた自己イメージ」(Face is an image of self delineated in terms of approved social attributes -albeit an image that others may share) と定義し、その都度変化する可能性があるものとした。

B&L は“the public self image that every member wants to claim for himself”で、その基本には社会メンバーは「フェイスの傷つきやすさを互いに認識し、互いのフェイスに配慮し、維持しようと協力している」という大前提があると述べた。このようなフェイスを守ることが人間の基本的欲求 (face want) であり、この理論の根幹をなす概念である。B&L (1987) はフェイスやそのフェイスを脅かす行為 (face-threatening act 以下、FTA) との関連性からポライトネスを理論付け、より普遍的なものにした。フェイスとは人間なら誰しもが持っているものであり、次に挙げる二種類がある。

**Positive face** : the want of every member that his wants be desirable to at least some others.

(他者に理解されたい、認められたい、好かれたい、賞賛されたい)

**Negative face**: the want of every ‘competent adult member ’that his actions be unimpeded by others.

(他者に邪魔されたくない、踏み込まれたくない)

人が人とコミュニケーションをとる上で相手のフェイスを脅かす危険性のある行為＝FTAになる行為は多いが、それらを避けて人が人と関わっていくことはできない。そのため、FTAにならないように配慮した言語行動をとるのである。これを総称してB&Lは「ポライトネス」と呼び、状況に合わせ適切なポライトネスを選択する際の選択基準の体系をポライトネスストラテジーと呼んでいる（B&L1987p.60）。politeness strategy には、1. without redressive action、 baldly（あからさまに言う）、2. positive politeness（ポジティブフェイスに配慮した補償行為を行う）、3. negative politeness（ネガティブフェイスに配慮した補償行為を行う）、4.off record（ほのめかす）、5. Don't do FTA という5つの選択肢がある。

### 【Positive politeness】

“the appreciation of alter's wants in general or to the expression of similarity between ego's and alter's wants（1987:101）”

（自分と相手の欲求を共有する表現によって、一般的な相手の欲求を認識する。）

- ・ 協調という要素（an element of exaggeration）
- ・ 不誠実な要素（the element of insincerity in exaggerated expressions of approval or interest）

Positive politeness を表現する Strategies

#### ① Claim common ground

S と H が同じ立場にあると主張する

#### ② Convey that S and H are cooperators

S と H は協力者であると伝える

#### ③ Fulfill H's want

H の欲求を満足させる

15 の strategies

#### ① Claim common ground（S と H が同じ立場にあると主張する）

I: Notice, attend to H（his interests, wants, needs, goods）

H の関心・欲求・必要・持ち物などに気づき、注意を向ける。

II: Exaggerate（interest, approval, sympathy with H）

H への興味や、同意、共感を誇張する。

**III: Intensify interest to H**

H への関心を強化する。

**IV: Use in-group identity markers**

仲間内である標し（呼称・方言・スラング・省略語）を用いる。

**V: Seek agreement**

一致を求める。

**VI: Avoid disagreement**

不一致を避ける。

**VII: Presuppose/raise/assert common ground**

共通の立場から仮定したり、喚起したり、主張したりする。

**VIII: Joke**

冗談をいう。

② Convey that S and H are cooperators (S と H は協力者であると伝える)

**I: Assert or presuppose S's knowledge of and concern for H's wants**

H の欲求についての知識と気遣いを主張したり、仮定したりする。

**II: Offer, promise**

申し出・約束をする。

**III: Be optimistic**

(H に対して) 楽観視する。

**IV: Include both S and H in the activity**

S と H 双方を共同行為（者）に取り込む。

**V: Give (or ask for) reasons**

理由を言う、尋ねる。

**VI: Assume or assert reciprocity**

相互協力関係を想定したり、主張する。

④ Fulfill H's want (H の欲求を満足させる)

**I: Give gifts to H (goods, sympathy, understanding, cooperation)**

H に物、共感、理解、協力的態度を与える。

## 【Negative politeness】

“Negative politeness is redressive action addressed to the addressee’s negative face: his want to have his freedom of action unhindered and his attention unimpeded” (1987:129)

(相手のネガティブ face、すなわち行動の自由を邪魔されたくない、意志を侵害されたくないという欲求に配慮した緩和行為である)

これはどの社会においても対人関係への配慮をする場合、一番に思い浮かぶものであり、FTA 緩和のために用いられる最も複雑で形式化された作法や言葉づかいと結びついている。

### 10 の strategies

#### I: Be conventionally indirect

慣習的な間接性に訴える

#### II: Question, hedge

質問する・曖昧化する

#### III: Be pessimistic

悲観視する

#### IV: Minimize the imposition

相手の負荷を最小化する

#### V: Give deference

敬意を示す

#### VI: Apologize

謝罪する

#### VII: Impersonalize S and H

自分と相手を非人称化・非個人化・非人格化する

#### VIII: State the FTA as a general rule

FTA を一般規則として叙述する

#### IX: Nominalize

名詞化する

#### X: Go on record as incurring a debt, or as not indebting H

自分が借りを負うこと、相手に借りを負わせないことを明言する



また、B&L のもう一つの重要な理論は、FTA が相手のフェイスを脅かす度合いの大きさを示す、FTA 計算式 (computing the weightiness of an FTA) である。

FTA の侵害行為を Face-threatening act、略して FTA とする。フェイスへの脅威あるいは侵害度を測定する方法としての計算式を提案している。

$$W_x = D(S, H) + P(H, S) + R_x$$

相手の Face を脅かす度合いは、(D) = (話し手 S と聞き手 H) との社会的距離、(P) = 話し手 S にとって相手 H がどの程度、社会的な力を持った人物であるか、(R<sub>x</sub>) = 相手にどの程度その場で負担をかけているか、の三つの要因により決定されるものである。

FTA が大きい場合には数字の大きいストラテジーが選ばれ、小さいものは FTA の度合いが小さいものに用いられるとしている。また、FTA は相手との社会的距離、力関係、その行為が文化において課す負担の大きさからその度合いの強さが変わるとされている。さらにアンドリュー (2015) には、B&L (1987) の power, distance, imposition を加筆、改訂したものがある。アンドリューに拠れば、D=social/psychological distance, I=imposition/intensity/stakes involved などの概念を表しているという。従って、上記の B&L の計算式を、コンテキストを分析する際の重要な要素として、次の3つを考慮する必要があるとした。

- 1、話し手・書き手と聞き手・読み手の相対的な社会的立場 (S) : 双方の立場は同等か、上下関係があるか。聞き手の方が立場が上であれば、丁寧度を高める言葉を付加するなどして敬意を表す。
- 2、社会的・心理的な距離 (親疎関係) (D) : 話し手、書き手と聞き手・読み手にはどのくらい社会的距離があり、どの程度親しく、あるいは疎遠に感じているか。よく知っていて親密な相手か、知り合い程度か、あるいは全く面識のない相手か。
- 3、行為の強度 (ことの重大さ) (I) : 話の内容や状況はどの程度深刻で重大か (たとえば過失の深刻さ、依頼の大きさなど)。

本研究ではアンドリューの分析手法を参考に、用例分析もできる限り、以下のような点も考慮して記録した。

- ・ 会話が行われた場所や状況
- ・ 話し手や書き手の (大まかな) 年齢
- ・ 性別
- ・ 相対的な社会的地位

- ・ 親疎（話し手と書き手の社会的・心理的距離）

アンドリューのこの手法は、自然な言語観察でよく使用されるいわゆるフィールドノート的手法である。筆者自身も常日頃から、自然言語を観察する際には、上記のような点に留意して記録を取り、用例を採取してきた。では、実際に語用論的能力を持つ話者が状況に応じて考慮するという要素を挙げてみる。次の例（1）は、人気ドラマの台詞であるが、社会的立場、力関係が異なる3人の人物が事件について話し合う場面で、二重否定「分からなくもない」が使用されている例である。（出典は略称。詳細は巻末に記載）

（1） 鶴丸検事：この事件、まだ終わりじゃない。3人をつなぐ一本の糸のようなものがまだ何かある、きっと。大倉は何か隠しているわ。

事務官：また、始まった…。悪い癖。もういい加減にしてください。

パラリーガル：でも、玉井の店でも同じCDが流れていたこともあるし、検事の考えもわからなくもないなあ。（京都地検の女）

3人の社会的力関係等の項目を下の表にまとめた。

【社会的力関係】

	検事	事務官	パラ	行為の強度
社会的地位	高 ←————→ 低			上司への反論、主張なのでそれほど行為の強度は高くない。
年齢	50代	40代	30代	
親疎	親	親	親	

社会的地位が一番低いパラリーガルが自己主張をする際に、「分からなくもない」を用いて、検事の主張に賛同の意を示しながら自己主張することに成功し、且つ検事の主張に反対する事務官の主張に対しては、反対を明示せずに検事を支持することに成功している。もし、この発話が二重否定を用いていない場合はどうだろうか。

（2） 鶴丸検事：この事件、まだ終わりじゃない。3人をつなぐ一本の糸のようなものがまだ何かある、きっと。大倉は何か隠しているわ。

事務官：また、始まった…。悪い癖。もういい加減にしてください。

パラリーガル：でも、玉井の店でも同じCDが流れていたこともあるし、検事の考えもわかるなあ。

この発話から、「分かる」と断定してしまうと、検事の発話に対する支持を第三者に対して明示してしまうことになり、同時にそれは上司である事務官への立場を弁えない（面子

を潰してしまう) 発言になるので、事務官との人間関係に軋轢が生じる可能性が強まる。このように二重否定は、話し合いやお互いの主張がぶつかるような場合に適切に使用すれば、それを回避することができるだけでなく、話者自身の主張を聴者に伝えることにも成功する。そのような意味で、日本語の文末表現における、良好な対人関係保持の重要な役割を担っている表現なのである。これを日本語学習者が習得し、コミュニケーションにおいて適切に使用できるようになる意義はその意味でも大きいと言える。以上本研究では語法研究的手法を用いて、個々の用例を比較、検討していくものとする。

### 0. 2. 2. リーチのポライトネス理論

ポライトネス理論というと、前述の B&L のポライトネス理論が取り上げられることも多いが、ここではもう 1 つのポライトネス理論も論じておきたい。人と人とのコミュニケーションにおいて、暗黙のうちに会話の目的を成立させようとするための原理が働いていることを論じたのが言語哲学者のグライス (P. Grice) である。グライス (1989) では、話し手と聞き手は、言語伝達において互いに協調すべきであると主張している。それを協調の原理 (cooperative principle) と呼んだ。

#### 協調の原理 (cooperative principle)

会話の中で発話者は、自らの発話を、当該会話の当該段階において、その会話に参加している人たちによって受け入れられている会話の目的や方向に適うようなものにする。

そしてこのグライスの協調の原理の有効性を認めた上で、通常の言語使用ではグライスの原理から逸脱した、間接的な言語表現の使用があることを論じたのがリーチ (1983) である。リーチは、グライスの協調の原理からの逸脱を補うものとして、聞き手にとって impolite になるような表現は最小限に抑え、polite になるような表現を最大限にするポライトネスの理論 (politeness principle) を提唱した。それは Cost/benefit の概念を機軸に置き、聞き手に最小のコストと最大のメリット、話し手に最大のコストとメリットが与えられることを基本に据えている。日常生活では、リーチの立てた 6 つの Maxim を優先させる結果、グライスの協調の原理の違反が生じると考えた。しかし、トーマス (1995 : 168) は、文化による言語使用域 (register) は状況、用途の違いによって起こる言語携帯を社会言語学的な現象とするなど、文化によってこれ以外のさまざまな Maxim が必要になる可能性がある

とする指摘もあることから、理論的普遍性を確立しているとは言えない。それを踏まえて、山岡（2018:145）は B&L のポライトネス理論とリーチのポライトネス理論の両者を、「記述したい言語現象の性質において使い分け、時には補完的に用いるのが有効である」としている。リーチは話し手と聞き手の双方に及ぶ利益と負担に配慮して行われる言語行動を次の6つの項目に分けている。（山岡他（2019:7）

#### ポライトネスの理論 (politeness principle)

##### 気配りの原則 (tact maxim)

- (a) 他者の負担を最小限にせよ
- (b) 他者の利益を最大限にせよ

##### 寛大性の原則 (generosity maxim)

- (a) 自己の利益を最大限にせよ
- (b) 自己の負担を最大限にせよ

##### 是認の原則 (approbation maxim)

- (a) 他者への非難を最小限にせよ
- (b) 他者への賞賛を最大限にせよ

##### 謙遜の原則 (modesty maxim)

- (a) 自己への賞賛を最小限にせよ
- (b) 自己への非難を最大限にせよ

##### 一致の原則 (agreement maxim)

- (a) 自己と他者との意見相違を最小限にせよ
- (b) 自己と他者との合意を最大限にせよ

##### 共感の原則 (sympathy maxim)

- (a) 自己と他者との反感を最小限にせよ
- (b) 自己と他者との共感を最大限にせよ

### 0. 2. 3. 発話機能論

本研究の研究テーマにおいて重要な理論の1つが発話機能論である。B&Lのポライトネス理論が語用論的分析（とりわけポライトネスという言語表現）を成す理論基盤だとすると、発話機能論は、構造論的理論、意味論的理論、語用論的理論の領域にそれぞれ関わっている理論といってよい。発話機能の基本理論は山岡（2006）、Yamaoka（2006）、山岡（2007）などに詳しく書かれている。わかりやすく説明をするために、次の例文を見てみ

る。

A: 天気予報は、明日の天気どうだって? 《報告要求》

B: 雨みたいよ。《報告》明日サッカーやるの? 《意志要求》

A: その予定だったけど、雨だったらやめようと思う。《意志表明》

《 》の中の名称は、発話機能の範疇のラベリングである。山岡（2008b）p.50は、発話機能のラベリングの名称について、次のように説明している。上記の《意志要求》発話には「～ ヨウ」というモダリティ形式は見当たらず、「～ やるの?」という疑問形式を意志要求のモダリティ形式とすることもできない。日本語のモダリティは、時制・アスペクト・ヴォイス・極性と同じく、文末形式（述語の形態）の範疇であり、～ ヨウ、～ ナサイ、～ テモイイといった形式に対応する話者の心的態度を範疇化したものであったのに対して、上述の《意思表明》などの名称群は、単に文末形式のみではなく、その発話全体がAとBの対人関係においてどんな機能を果たしているのかを示したものになっている。つまり、コミュニケーションにおいて、発話によって話者から聴者に伝達された最終的な意味のうち、それが両者の対人関係上に果たした機能を抽出して名称を与えたものだと言える。これが、発話機能である。必然的に、そこには発話参与者間の人間関係や前提知識などの語用論的情報が関与することとなる。以上を整理すると、発話機能とは、「話者がある発話を行う際に、その発話が聴者に対して果たす対人的機能を概念化したもの」ということになる。これをひとまず発話機能の定義とする。

また、続けて山岡はこの発話機能という意味範疇が、歴史上、複数の分野にわたって研究者の問題意識にのぼり、議論されてきた事実を紹介し、発話機能論が学史全体のなかでどのように位置づけられるのかを明らかにしている。山岡の研究の中で、本研究にとって関連性が深いものがモダリティ論における発話機能的指向を論じている点である。本研究の主要テーマである日本語の二重否定は、日本語の文法形式の特徴上、その多くが文末に表れること、命題に下接することなどモダリティに表れる特徴などを兼ね備えている。山岡（2008:53）が日本語モダリティについて論じている部分を要約すると、以下のようになる。

今日の言語学において、文形式を、叙述内容を表す命題（proposition）とそれに対する話者の心的態度を表すモダリティ（modality）の二者に区分する考え方が一般的だが、その場合のモダリティとは、「命題に対する話者の心的態度」と定義されている。例えば

「あの男が犯人だろう」という文における推量の形式「だろう」などは、この定義を理解しやすい典型例と言える。しかし、日本語のモダリティ論には命令、意志、勧誘など、「命題に対する話者の心的態度」と言うより「相手に対する話者の心的態度」と言うべき対人的要素を積極的にモダリティ論に取り入れており、その結果、他言語のモダリティ論に比べて発話機能指向が強くなっている。その後、寺村秀夫によるモダリティ論において、「対事的モダリティ」と「対人的モダリティ」の二分法が提唱された。ここでは、終助詞、動詞の命令形・意向形、感動詞、敬語表現などを対人的モダリティと認めている（寺村（1985））。同様に、仁田義雄も寺村の考え方を継承し、「言表事態めあてのモダリティ」と「発話・伝達のモダリティ」との二分法を採っている（仁田（1989））。これらはいずれも、対人的コミュニケーション機能を積極的にモダリティとして採り入れたものと言える。特に、仁田の場合はそうした機能の所在が言語形式のみに帰着できないような事例についても同列にモダリティとして論じようとした。具体的には、仁田（1979）における表現類型の3類型のうち、表出型（～ショウ、～シタイなど）、訴え型（動詞命令形、～シナイカなど）は文末形式を表現類型の基準としているものの、もう一つの演述型には対応する文末形式が指定されておらず、文全体の意味によってしか認定できないものである。これをモダリティとして認める考え方は、モダリティ論と発話機能論とが連続していることを示す、画期的で決定的な進展だったと見ることができる。しかも興味深いのは、仁田は「表出型、訴え型、演述型」の名称が、ビューレルの3発話機能翻訳した佐久間鼎（1941）の訳語を採用したことである。ここでも発話機能論と日本語モダリティ論との不思議な接点が見いだされる。もっとも、仁田は言語形式としてのモダリティ論から出発して、それと対応する非言語形式としての機能の領域に一步踏み込んだのに過ぎず、純然たる発話機能論のように語用論的条件を考慮するところまでには至っていない。発話機能論は文脈などの語用論的条件をすべて考慮したうえで最終的に発生する対人的機能であるが、そのなかで使用されるモダリティ形式は、発話機能を決定する要因として重要な役割を果たす。

本研究で取り扱う日本語の二重否定の諸相は、最終的に語用論的分析に行き着くことになるのだが、その構成要素としてのモダリティ形式に関わるものである。本研究が対人コミュニケーションにおける二重否定の諸相を明らかにする以上、その橋渡しとなる発話機能論的分析も不可欠になる。本研究では発話機能を構成する要素としての二重否定モダリティの分析を行う。

#### 0.2.4. ポライトネスの原理と配慮表現の理論

本研究においてポライトネス理論とともに、論じておきたいのが配慮表現の理論である。前節で論じたリーチ（1983）やB&L（1987）のポライトネス理論は、ほぼ英語における言語現象を対象にして理論構築されたものである。特に、リーチ（1983）の邦訳である池上・河上（1987）において、ポライトネスの理論が「丁寧さの原理」と訳されたことで日本語の配慮表現研究が混沌とした時代もあった。例えば日本語で「丁寧さ」といえば、敬語表現、敬語行動、敬意表現などが当てはめられることが多いため、それが誤解を生むもととなった。『言語』（1997）には「ポライトネスの言語学」として特集が組まれているが、現にその中では生田（1997）以外は敬語の論考であることにもこのことが現れている。生田（1997）によれば、「日本語には、精密な敬語体系が存在し、ポライトネスの存在を意識しやすい反面、敬語の用法などにとられるきらいがある。あえてポライトネスというカタカナ語を用いているのは、それらの概念にとられないためである。」そして、「ポライトネスは、当事者同士の互いのメンツの保持、人間関係の維持を慮って円滑なコミュニケーションを図ろうとする社会言語的行動を指す。」とした。その上で、「ことばのポライトネスは、「配慮表現」、言語的「配慮行動」などと呼ぶ方が適切かも知れない。」として、「配慮表現」という用語を初めて使用したのである。生田は日本語の用例でインタラクションにおけるポライトネスを説明をしており、ポライトネスの理論が日本語の言語現象にも当てはまる普遍的な原理であるということを示した。今日では、「配慮表現」は「敬意表現」や井出（2006）の「わきまへのポライトネス」に論じられているような「場の配慮」といった表現も統合して考える流れになっている。

一方で配慮表現は2000年代に入ると、個々の言語表現、文法現象を、相手に対する配慮や配慮表現という用語を用いて論じられるようになった。今日、日本語教育界においても配慮表現に関する関心は非常に高く、研究理論の構築が行われる一方で、配慮表現とは何か明確に定義を定めたのが山岡ほか（2015:318）である。

##### 【配慮表現の定義】

対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現

ここで定義にある、「一定程度慣習化」ということについて少々触れておきたい。山岡ほか（2010）で配慮表現の定義を行なった際には「一定程度慣習化」という表現は盛り込ま

れていなかった。しかし、山岡（2014）ではこの文言が追加された。山岡ほか

（2018:159）の段階では配慮表現を、「文脈でポライトネス機能を帯びた語彙・表現の使用がパターン化し、一般の話者にとってあたかも、当該語彙の新たな語義として追加されたかのように認識されるような場合に、当該語彙を「配慮表現」として認定すること」とある。また、「配慮表現の場合、文脈と表現とが一体的に慣習化することによって、もはや臨時用法ではなくなってその用法が一般化されるということ」とも述べている。最新の山岡他（2019:37）には「配慮表現」の定義が変化をたどったその経緯が詳細に記されているが、本研究において、ポライトネスと配慮表現が考察理論の基盤になっている以上、このことに触れないわけにはいかない。山岡ほか（2019:39）にはこのような記述がある。「言語表現がポライトネス機能を帯びるのは、文脈に依存した臨時的用法であるが、同様の文脈が頻出し、なおかつその文脈でポライトネス機能を帯びることがいくらかでも慣習化している場合にその語彙・表現を「配慮表現」とする。」つまり、「慣習化を加えたことにより、「ことばのポライトネス＝配慮表現」という段階から一步進んで「言葉のポライトネスが慣習化したもの＝配慮表現」という関係性」である。本研究における配慮表現の定義はこれを基盤に論じていくものとする。配慮表現の具体的な分類の基準は、山岡他（2019:54）にある分類基準にしたがって記述するものとする。具体的には配慮表現の分類には、形式と機能の分類がある。二重否定の形式分類について、その多くがモダリティ形式と重なる文末表現に分類される。しかしながら、山岡ほか（2019:54）には二重否定は現状の構文論ではモダリティ形式と認められていないものに属していると記述されている。これは本研究におけるテーマそのものと関わりが深いため、あらためて別項で記すことにするが、ひとまず、二重否定の大部分を文末表現に分類することになる。また、副詞句という分類に属するものもある。「差し支えなければ、お名前をうかがってもいいですか。」のような、成句形式が固着化した形式上の慣習化がみられるものである。これは、副詞句という分類に属する二重否定表現である。一方の機能分類であるが、配慮表現の機能分類には、河村（1991）や姫野（2002）で述べられている利益と負担に関わる原則が、2.1.で論じたリーチのポライトネス理論の気配りの原則と寛大性の原則に相反する理論であり、山岡（2019:59）は、この関係性を「配慮表現の理論」として表のようにまとめている。



### 負担と利益に関わる配慮表現の理論

	① ポライトネスの理論	② 配慮表現の理論
(A) 気配りの原則	(a) 他者の負担を最小限にせよ	(a) 他者の負担が大きいと述べよ
	(b) 他者の利益を最大限にせよ	(b) 他者の利益が小さいと述べよ
(B) 寛大性の原則	(c) 自己の利益を最小限にせよ	(c) 自己の利益を最小限にせよ
	(d) 自己の負担を最大限にせよ	(d) 自己の負担が小さいと述べよ

そして、機能分類の表記もまた山岡（2019:58）に準じ、「緩和表現」（彭（2004）が用いた用語）などという呼称を用いることにする。例えば、「差し支えなければ～」のような副詞句の二重否定表現は、「負担表現」で条件を添えて《依頼》の心理的圧力を減殺する前置き表現などとする。また、文末の緩和表現については、i) 侵害抑制で《非難》、《反論》、《忠告》など相手に対する攻撃的な発話によって相手のフェイスを侵害するおそれがある場合、その程度を抑制しようとするものであるのように記述する。文末表現の「～気がしないでもない」のような二重否定表現もこの侵害抑制に区分される。これは、ii) 不一致回避では発話されることが多く、《主張》、《感情表出》の発話機能になり、いずれも自分と相手の不一致を回避しようとする原則である。B&Lがヘッジと呼んでいるもので、相手と一致しない場合に備えて逃げ道を作る場合に不一致回避の緩和表現である。以上のように、本研究で扱う二重否定の区分には、ポライトネスと配慮表現の理論の双方を取り入れていくものとする。

### 0.3. 本研究対象とする二重否定

本節では、本研究において研究対象の範疇に含める日本語の二重否定について述べる。まずはじめに考えてみたいことは、「日本語学習者からみて、二重否定を分かりにくくしている要素とは何であろうか。」という問いである。原口（1982）には、二重否定には肯定と否定の極性をもつものがあり、「わかりにくさの度合いが増すのは、（極性が）反転する否定の場合に限られる」としている。例えば、原口（1982）は極性に肯定が反転しない場合として、①単純な反復の場合、②反語的疑問の場合、③「ないものはない」式の繰り返し表現、④「雪に変わりはないじゃなし」式の反語表現などを挙げている。そしてこれらの極性が反転しないもののほうが少数派であるという見解を示している。また、二重否定に

より肯定が強まるものは無標であり、弱まるものは有標だとの指摘をしている。日本語の二重否定のどんな表現が「強い」肯定、弱い「肯定」なのかは第2章でも詳細に取り上げるが、とりわけ弱い肯定を表すのは、どのような二重否定かを明らかにすることで、先に示した「二重否定のわかりにくさ」解明の一助になると筆者は考える。そこで、本研究においては原口の示す①～④の類いの二重否定は研究対象に含めないものとする。次に挙げる(1)の例文は、弱い「肯定」を表す「～気がしないでもない」を使用したものである。(ある歌手のコンサートで、歌手本人が自分の新しく発売になったCDの告知をしながら)

- (1) 歌手：①今回は力を入れて新曲を作りました。すばらしいCDなんです。みなさん  
よろしくお願ひします。②あんまり（自分の）告知をしすぎると、皆様から  
お叱りを受けそうな気がしないでもないので・・・」

説明のために便宜上、発話を①と②に区切っている。話者は①の発話をしたあとに、続いて②の発話を行い、続いてこの話題をまるでその場の空気が変わってしまうのではないかとでも思ったかのように、急に切り上げた。この「気がしないでもない」を歌手自身はどのような発話意図で用いたのであろうか。発話意図分析の足がかりとなる理論が、B&L (1987) のポライトネス理論である。これによれば、①のような話者の発話は、聞き手のネガティブフェイスを侵害する恐れがある。自分の作品を自分で素晴らしと自賛（自慢）しているからである。これはリーチのポライトネス理論の「自己の賞賛を最小限にせよ」も侵害している発話である。続いて、話し手が聞き手に嫌われたくないというポジティブフェイスが発生し、それを守るために②の発話をポジティブポライトネスストラテジーとして用いたと考えられる。「～気がしないでもない」のような日本語独特のもって回った言い方に、話者自身のポジティブフェイス、聴者のネガティブフェイスを侵害しないように配慮する機能があるということも第三章で後述するが、日本語学習者に「なぜそのように言うのか？」と問われると、おそらく多くの日本人が明確な答えを返すことができないであろう。とりわけ日常行われるさまざまな発話コミュニケーションの中で、話者が聴者に気を配らなければならない話題や、早急に結論を出せない難問の議論などの場面では、度々二重否定という言語形式が選択される。そのようなことから、二重否定が持つ技巧的な効果の解明、そこに働く日本人の心的態度の解明は重要である。にもかかわらず、個々の先行研究において、構造意味論的、通時的、比較言語研究的にまとめられたものはありません。日本語のコミュニケーションにおける「二重否定の諸相」を語用論的視座からコミ

コミュニケーション総論として体系的にまとめられたものはまだ見当たらない。本研究においては、先行研究の整理し、その問題点の指摘をしながら、新たな二重否定の定義、そして表現の分類を試みる。さらに個々の日本語の二重否定表現がコミュニケーション上で担っている役割を、ポライトネス、積極的フェイス、消極的フェイス、発話機能、配慮表現の面から明らかにすることを第1の目的とする。さらに第4章においては、その分析、および検証が日本語教育において、具体的に教授するとすれば、どのように役立つのか思考する。当該章には、まだまだ多くの課題を残しており試作的ではあるが、ここでは敢えて日本語学習者が使用できるような問題作成を試みることにする。

## 0.4. 日本語学における日本語の二重否定の概観

### 0.4.1. はじめに

日本語の二重否定表現が多種多様であることは前述したが、「どんな表現を二重否定とするか」という分類・定義の問題は形態論的・意味論的研究を行っている研究者の間でも意見が別れるところであり、現在も完結しているとは言えない。辞書による概説的な説明も一口に二重否定と言っても、その定義は一様ではない。しかしその定義が定まらない限り、各分野における二重否定の研究成果は散在し、その研究成果を言語学研究、日本語教育等において十分に有効活用することは難しいと考える。そこで、本節ではまず二重否定の辞書類における説明から考えられる問題点を挙げる。

### 0.4.2. 日本語の辞書類における二重否定

まず、国語辞典類における二重否定の説明を概観する。日本国語大辞典編集委員会(1972:442)には、「否定したものをもう一度否定することで、肯定を表す。論理学では肯定と全く同じだが、一般には何らかの情緒的意味を含む。」とある。北原保雄編(2002:1323)には、「否定の言葉を二つ重ねること。また、その言語表現。(中略)単なる肯定に比べると強意・婉曲などの含意が付加されることが多い。」とある。強意の例として「～ないはずはない」、婉曲の例として「～ないこともない」が挙げられている。これらの説明をみる限り、二重否定は第一に極性において肯定と等価であること、第二にそこに「何らかの情緒的意味」「強意・婉曲などの含意」が付加されることが、以上の二点については共通理解であると考えられていることになる。ただし、辞書類の中に用いられている「否定」「否定の言葉」といった用語は、概ね「ない」(助動詞や形容詞の接辞)のように捉えていると考え

られるが、具体的に何を指すか、付加される情緒的意味や含意の詳細については明確に述べられていない。

#### 0.4.3. 日本語文法書における二重否定

次に、主たる日本語文法書の二重否定の意味についての記述を概観する。日本語文法書の二重否定についての記述は、かなり古いものにはなるが、松村（1971）に「「～ないでもない」の「～でもない」は、肯定判断「～である」に対する否定形「～でない」に、強意助詞「も」が挿入されたものであると分析され、それはたいてい用言に付く」とある。山口明穂他（2001:594）には「「行かないことはない」というように否定を重ねる表現をいう。

（略）否定の否定で肯定になるのが普通である。しかし、単なる肯定表現とは異なる側面を持つ。「行かないことはない」は緩やかな肯定となり、「願わずにはいられない」「彼がいらないはずがない」は逆に強い肯定表現となる。（略）「不都合なことはない」のように否定的意味の語に否定を重ねる場合も二重否定相当の表現となる。」とかなり二重否定について明確な言及が見られる。そして2000年代になると、日本語教育現場で日本語教師が文法事項を教示する際の参考書として使用されることを前提にした文法書が数多く登場する。

その1つが友松他（2007）『どんな時どう使う 日本語表現文型辞典』である。これには「「～ないでもない」について「動詞の否定形や形容詞「ない」を受けて、そのようなことが全くないわけではなく、それが存在したり成立したりすることもあるという意味を表す。「…ないこともない」「…なくもない」とも言う。動詞の否定形を受け、そのような行為、認識が成立することもあるという意味を表す。「言う、考える、思う、認める、感じる、気がする」など思考や知覚にかかわる動詞が用いられた場合は、「何となくそんな気がする」といった意味を表す。」とある。日本語学習者のために該当の文法項目がどのような意味を表すかを記述し、使用の際の一助となるように記述していることが1つの特徴である。また庵他（2001）は、「「～ないでもない」は意志、無意志動詞どちらにも使える二重否定、「～ない」を否定し、「～」に近い意味を表すが、「～」とは違う」と説明している。日本語記述文法研究会（2003）には、「～ざるを得ない」「～ないわけにはいかない」「～ないではいられない」が取り上げられており、その事態の実現が不可避なもの、必然的なものとして意味・用法が分析されている。日本語記述文法研究会（2007）には二重否定の基本的な形と機能が分析されており、「～ないで{は/も}ない」「～ないわけで{は/も}ない」のような形において{も}にはぼかしの機能があり、意味用法が違うことが挙げられて

いる。そしてモダリティの表現だけを集めた項目を分類・説明している辞書に、泉原（2007:1060）がある。この辞書の特色は、使い分けのワンポイントを記述し非日本語母語話者でも理解しやすいように工夫を凝らしている点である。二重否定については、以下のような説明がある。

この店には、ないものはありません。何でもあります。

行きたいと思ってるから、誘ってくれれば、行かないでもないんだ。

二重否定というものは、上の2例のように文末に二度、否定の「～ない」が使われたものであるが、上のほうのように、マイナスの「～ない」を重ねてプラスに転じさせ、肯定的断言をさらに強めたものにしたり、下のほうのように、まえにくる「～ない」をAと考えて、Aの可能性の一部だけを否定して、Aの一部を肯定したりする。上のほうの例は、いわば100%以上の肯定を示す「超全部肯定」になり、下のほうの例は、部分肯定、つまり部分否定ということになる。」泉原の使用している「超全部肯定」というような言い方は特有のもので、他の辞書類には見られない。また続けて但し書きもある。「ただ二重否定は、非常にあいまいな表現で、実際の場面では、話し手が一体何を言おうとしているのか分からない場合がある。例えば、「ないものはない」という言い方は、上のような「超全部肯定」にも、またあとの「～ない」が同語反復になって「存在しないものは、もともと存在しないという意味にも、解釈することができる。」のような記述も見られる。この説明は、実は本研究で二重否定の新しい定義をする際にも重要な記述である。

#### 0.4.4. 日本語文法的研究の問題点

前節で日本語学、日本語文法の辞書類を概観してきた。ここで再び泉原の述べていることを再考してみたい。泉原はおそらく、次のような例文を言っているのであろう。

(1) この店には、ないものはありません。何でもあります。（超全部肯定）

(2) ないものはないんだ！帰れ！（同語反復：筆者作例）

しかしながら、単純に一つの文に二つの否定辞があれば、それらがすべて肯定の意味を表す二重否定かというところではない。これについて原口（1982:72）には既に記述がある。

(3) ないといったらない。

(3) は否定の繰り返しで、否定の「強調」の意味になる。つまり、「否定に否定」であり、「反復否定」=否定を並べただけのものであるという解釈である。しかし筆者は、これは、文法形式では説明しきれない二重否定の命題とモダリティの否定域作用域が関連している

と考えている。泉原は命題やモダリティという語彙は使用せずに説明しているが、(1)の「～ないものはない」は命題「この店にないもの」に対してのモダリティが「ありません」となっている。つまり、命題がもともと否定であることがわかる。これは後述する筆者の二重否定の定義では、二重否定に該当しないことになるが、ここでは指摘のみに留めておく。さらに、(2)は、命題部分が完全にモダリティに取り込まれたような構造をしており、極性の反転もないことから筆者が本研究で扱う二重否定とは別ものということになる。以上から言えることは、二重否定の意味は、各々の国語辞典類にあるように肯定の意味であることは共通する解釈とみることができる。しかし、その意味の強弱については両方が存在し、その使い分けは文脈や場面によっても複雑であることがわかる。そしてもう1つ大切なことは、辞書類における二重否定の意味・用法の記述が、単純に「形式的に否定辞が二つある場合が二重否定である」と大前提に立って、意味・用法について言及しているという点である。

現時点で日本語の二重否定が抱える問題点は、次の3つに集約できる。

- ①二重否定の否定形式を「ない」のような否定辞だけに着目して、1つの文に否定辞が二つあるのが二重否定であるとする説明と、少数派ではあるが、1つの否定辞に否定的意味の語が付加された形式も二重否定に含めるという説明が混在していること。
- ②「何らかの情緒的意味」「強意・婉曲などの含意」「ぼかし表現」など、意味の強弱を表す用語が統一されておらず、1つの表現の持つ用法が複雑で解明され尽くしていないこと。
- ③命題とモダリティという否定作用域に注目せずに、「反復否定」などの形式も二重否定に含めて論じているものと、そうでないものが混在していること。

本研究では、二重否定によって極性が肯定に反転しないものは、「二重否定」の分類に含まないという立場をとる。では、形式上二重否定で、意味の肯定への極性反転が見られれば二重否定であるという説明で二重否定表現を捉え切れるであろうか。この問題に関しては、本研究の重要テーマと深く関わっていることから、先行研究を鑑みながら結論を出していくことにする。

## 第1章 日本語の二重否定の先行研究

本章では、まず日本語の二重否定の先行研究を概観する。さらに外国語（英語、中国語）の二重否定の研究の中で、本研究を深めるにおいて重要な示唆を含んでいる研究についてその概観を論じる。

### 1.1. 二重否定の形態論的研究

まず、日本語の二重否定の形態論的研究に陶（1994）がある。陶の二重否定の定義は、本研究にとっても非常に重要な先行研究になるので、第2章で詳細に論じることにするが、陶は論考の中で、日本語の二重否定を15種類に区分し、形式ごとに整理し、意味分析をしている。陶によると、ここで否定を表すものは、「ない」（本形容詞、補助形容詞、打消助動詞）、助動詞の「ず」（ぬ）、「ざる」、「まい」、接頭辞の「不」、「無」、「非」などである。その中で、「ないわけにはいかない」などの「強い語気の肯定」を表すものと、「ないこともない」などの「婉曲の是認」を表すものがあると大別している。（下線は二重否定の意味を表す用語として筆者が付加した）論述の中では、「～ざるをえない」のような表現は、普通の肯定とは等価ではなく、「～やむをえずそうする」という意味を表すと述べている。印（1995）は、625件の書き言葉用例から二重否定の動詞の結合関係を分析している。二重否定表現は無意志動詞と共起しにくい反面、動作を表す有意志動詞と共起するとの特徴を述べ、「負ける、すぎる、しくじる」などそれ自体で否定の意味合いを持つ動詞には二重否定が付きにくいと結論している。野田（2000-2002）は新聞、シナリオ、小説等の文字資料から用いられやすい二重否定形式を調査し、形式間の異同を把握しようとしている。二重否定形式は可能表現や存在表現に多く用いられること、「～ないではない」型は、思考や感情に関わる内容に用いられやすいなどを指摘している。また「～ないではない」型は思考や感情に関わる内容に用いられやすいこと、「～なくはない」「～ないではない」型には「も」が含まれることが多いことを挙げ、とりたて助詞「も」の、とりたてる語について成立することが、その語と並ぶような他の事物についても成立することを表す性質が、断言を避けたりする二重否定の性質によく合うのだと分析している。ただし野田（2000-2002）は、次のようなものを二重否定とはみなしていない。

行か {なければならない／なくてはいけない／ざるをえない}

このように否定を2つ含む形で固定化し、全体として否定的内容を表しているとは言い難いものは対象外という説明をしている。ここで野田が挙げている「否定を2つ含む形で

固定化」というのは、モダリティの側で否定辞2つが作用しているものを指すのだと考えられる。筆者は二重否定表現を、一種のモダリティ表現の括りで考えているため、野田の挙げている「なければならない／なくてはいけない／ざるをえない」は二重否定であるという立場を取りたい。

形式に関してだけ論じるのなら、序章でも示した原口（1982）は、二重否定に関して、肯定に反転しない「否定に否定」の場合（「ないといったらない」など）と肯定に反転する「否定の否定」（「そんなことを知らないひとはいない」など）があることを論じている。その上で、「否定に否定」となるものとして、単純な反復、反語的疑問、「ないものはない」式の反復表現等をあげている。そして、二重否定による否定あるいは肯定には、強められるもの、弱められるもの、影響を受けないものの三種があると述べている。二重否定により肯定が強まるものは無標（＝普通のこと）であり、弱まるものは有標だという立場で論を進めているが、例えば肯定が強まるものに次のような例をあげている。

(1) 目を見張らざるを得ない。(原口 1982:82)

(1) の意味は「どうしても目を見張ってしまう」ということであるが、この意味が肯定の強めだということに誰も異論はないであろう。そして原口は二重否定においては意味を弱める場合を求めて研究することの必要性を主張している。このように一つの二重否定と思われる表現において、二重否定と見なすか見なさないかについては、研究者の間で意見が分かれているものは他にもある。陶（1991）では、「ちがいない」について、「「ちがいない」の「ない」は否定の意味が薄くなり、むしろ他の意味に変化しているのではなはいか」とし、これを「否定の転義」として「かもしれない」と同じカテゴリで括り、二重否定とはみなしていない。

(2) きっと時間通りに来なかったに違いない。(陶 (1994:81))

(2) の「違いない」は命題を強く肯定している。実は、この「違いない」はある種意味的二重否定の構造が隠れていおり、「違いない」は「違いがない」ということであるので、「違う」という否定的語彙と否定辞「ない」が一つになった意味的には二重否定表現だと考えられる。つまり原口（1982）でいうところの、「二重否定で肯定が強まるもの」と理論上は同じになる。これについては第2章で詳細に論じる。この他に、二重否定の具体的な用例、意味用法の研究に渡邊（2007・2008）がある。渡邊は「ないことはない」のような語に限定的ではあるが付加される、連結部の「ことは」「ことも」に注目し、原口（1982）の研究手法を援用し、「～ないこともない」の「こと」の指示内容が具体的か抽象的かによ



って、意味が肯定の強め、弱めの二種類になることや、江戸時代まで遡って、「～ないことはない」がもともとは強調の意味で使われていたものが、明治になると肯定の弱めに変化しているという言語通時的な分析を行っている。以上、ここまで形態論的研究を概観してきたが、まとめると、まず研究者によって否定を表すものが固定的ではないことが挙げられる。また、二重否定の型は三種類であるなど、二重否定を形式的に観察していること、意味が弱まるものが有標（＝研究の必要性がある）と考える研究方向性が主であることが分かった。

## 1.2. 二重否定の修辞学的研究

日本語学においては、二重否定は修辞学（レトリック）の中の一つの技法とされている。人は言いにくいこと、言うのを憚られるようなことを表現するときには、遠回しな表現を用いるものである。加藤周一の『私にとっての二〇世紀』には、こんな文章がある。

日本の政府とメディアは言葉をうまく使ってごまかしていると思います。不快な事実、あるいは隠したい事実がはっきりと見えないように、それをごまかすユーフェミズム（遠回しの言い方）が作用している。政府側が使う場合には、それは大衆操作の道具になる。敗戦を「終戦」、占領軍を「進駐軍」というのはその極端な例です。また、100万人の大軍が作戦していてもまだ「日中事変」なのです。これほど立派な戦争はない。それは単純に政府の一方的な操作ということだけではなくて、日本社会で議論する習慣が少ないということです。ことに各種議会をはじめ公的な場面での議論が少ない。それはメディアにも典型的に現れている。たとえば、英国だったらメディアの中で正面切って公的な問題を議論する。日本では、ある問題について二つの意見があるときに、それを突き合わせてどういう根拠でそういうことをいうのか、両方が議論の中から学べるものはすくないのではないか。正面からはっきり物をいわない。論戦を好まないから、はっきり物をいわない。はっきり物をいわないから論戦ができない。相互に密接に絡んでいて、それが破局を招くような問題にまでなる。（下線部は本研究の筆者）（中略） 雰囲気で言論を運んでいて、言葉を通してはっきりと物事を捕まえるというのではない。日米関係といえればいいところを国際関係という。より広い言葉の中に流し込んでしまって、具体的にいわない。不快なこと、悪いこと、嫌いなことを大体隠す。あるいは和らげるように使っている。そして全体として、日本国にあま

り悪いことはないという印象が作り出されるようになっている。

下線部は、日本語の二重否定表現形式が多様になった一つの要因を指摘していると考えられる。正面切つての衝突、議論を好まない日本の精神風土の中でははっきり言わず、二重否定表現は、文字通り「煙に撒く」ための手法＝すなわちレトリックとして発達してきた感が否めない。しかし、加藤のいうようにこれが文化の違う西洋人が相手だと、よい結果を生まない場合もあるというのは周知の事実である。英語圏の二重否定については 1.4.1.で再び述べることにするが、このはっきり言わない＝二重否定で弱めるというのは、日本語特有の表現だと言うことができる。しかしすでに述べたように、日本語の二重否定には、意味を強める表現も使用されることを考えると、英語や他の外国語と重なり合う部分もあることも事実である。これがいわゆる修辞学的な二重否定ということで、レトリックの緩叙法 (litotes) の一つに位置づけられている。野内 (2002) による緩叙法とは、「より多く言うためにより少なく言うこと、つまり伝達内容を強めようとして穏やかな表現を選ぶこと。要するに、緩叙法は誇張法と婉曲語法を足して二で割ったような表現法である。」とある。その中の一つの方法が、「ストレートに表現しないで、反対命題を否定すること」である。以下に引用例を挙げる。(例文の [ ] 内は発話意図を表す)

A:あの女はとるに足らないものではない [あの女は大したものだ]

B:私は彼を評価しないわけではない [私は彼を十分評価する]

A は原口 (1982) がいうところの無標の二重否定、b は有標の二重否定である。

また、インターネット上のツイッターには以下のような日本語の二重否定のレトリックに関するやり取りがあった。本来、記述者が不明であるインターネット上の使用例を論文に掲載するのは憚られることだが、これだけコミュニケーションツールとして市民権を得ている SNS やツイッターの使用例も実際のむしろ積極的に参考にするべき使用例だと考えて掲載することにする。以下は日本語の二重否定をどんな時に使うかという質問に対する回答である。

「...たいていは、ぼかすときに使うと思います。中途半端な感じのときに使いますよね。

「好きじゃなくはない」みたいな。.....何だか、例えが悪い気もしますが。けれど、高校のとき、古典で習いました。「二重否定は強い肯定！」古典の先生はそりゃもう、呪文のように言っていましたよ。不思議ですねえ。強い肯定がいつの間にか、弱い肯定になっているなんて。..... (下線は本研究の筆者)

このようなやり取りの中で確認できるのは、日本語には二重否定をばかすときにも、強調する時にも使用する可能性があるると一般的な日本語話者にも認識されていること。では、そのような緩叙法を使用する日本人の心理とはどのようなものかについて述べている研究もある。その一つが外国人から見た日本語の修辭的研究、呂（2006）である。呂は中国人が日本語を深く勉強するうちに、もっとも苦手な問題となるのは、日本語に含まれている心理をどのように正確に身につけるかということであると述べている。呂によれば、日本語の微妙なニュアンスのある曖昧な表現は、日本人の性格、思考方式と言語心理を反映している。以下、呂（2006）の文を引用する。

日本の文化圏は「義理」と「人情」を基調にする世界である。日本人は社会的に温和で対外に協力できるつながりを重視する。このような環境があるからこそ、社会が進んでいくと思っている。それで日本人が話す場合には含みがあり、婉曲でどちらとも言える言葉を使っているが、すぐに単刀直入に話すのはまず少ない。これが日本人の思考方式と行動基準である。日本語の言語性格および表現習慣はまことに日本人のこの心理を反映している。（中略）まず日本人は日常対話の中で、相手の情緒変化によく気づき、自分の言葉遣いが不適當で相手の機嫌を損ねて、対外の温和で協力的な関係に影響することを心配している。

また、陶（1994:76）では日本人がなぜ二重否定を使うかについて次のような理由を2つ言及している。

#### 1) 日本人の言語表現の心理

金田一春彦の『日本語の特質』という本の中に日本人は「打ち消しの表現とか、漠然とした表現を喜ぶ」と書いてある。つまり、日本人は否定表現と曖昧な言い方が好きである。そういえばそうであるかも知れない。氏の挙げた例は歌の中に「～ず」の表現が多い。筆者の調べたところ、日本語の慣用句に「ず、ぬ、ない」の打ち消しを用いたものは数えきれないほどある。二重否定も婉曲な言い回しで、打ち消しの表現であり、日本人は打ち消しの表現が好きなので、良く使うのだろうと思う。

#### 2) 二重否定表現の効果

二重否定表現の効果から言えば、（中略）二重否定を使って、反転された肯定の意味は普通の肯定に近いだけで、丸きり同価のものではない。その肯定は意味を強めたり、

弱めたりするのである。普通の肯定表現ではとって代わるこのできない面がある。

二重否定の表現は話者側では響きの悪い語を避けたり、技巧を凝らした言い方をし可能にしたり、聴者側にも言葉を柔らかくする印象、気取った印象を与えたりすることができる。この理由からも二重否定を使うだろう。

つまり率直な態度や言葉、言い回しは行き違いを起こしがちだから、日本人はわざとこのはっきりとした話し方を避けて含みのある婉曲的な表現形式を用いると言っているというのである。他にも日本社会でなぜ婉曲表現が好まれるかについて森田（1995:227-231）は、「否定は、心のわだかまりを反映する言葉の形式だ。日本語の二重否定が多いのも、日本人の、心の屈折と、肯定でいう端的な表現を嫌って、「ないこともない」と、あいまいにぼかす遠回しな婉曲法が、好まれた結果だろう。」や、森（2002: 260）は「「言わないことじゃないない」「するもしないもないじゃないか」のような屈折した言い方を生み出す。二重否定＝肯定というのは論理の問題で、発想の心理面から眺めれば、外なる事象の有様を、内なる己の視点で二度にわたって判断を重ねる『判断提示の婉曲法』と言える。それだけ心理的な屈折過程を経た主観の買った言い回しとなるのであろう。」と述べている。

森田の研究は修辞学的というよりは、配慮表現や、語用論という言葉こそ用いてはいないが、日本人の心理を考察しながら語法研究の見地から極めて語用論的研究に近い考察を導きだしていることに、筆者にとっても重要な示唆を与えられる論考である。

以上のことをまとめると、修辞学的な研究では二重否定の言い回しは効率的なコミュニケーションの法則からは逸脱しており、好ましくない表現であるということ。そしてその意味も、強調して言っている場合と曖昧にぼかそうとしている場合の両方が存在している。これが日本人の持っている、外国人からみると非常に理解が難しい思考方式と関係しているということになるであろうか。

### 1.3. 二重否定の語用論および配慮表現的研究

彭（2005）は日中対照研究が主なテーマであるが、「配慮表現」における「緩和表現」を取り上げ、10種類に分類している。その中の一つが「否定表現」である。さらに、否定表現を7つのカテゴリーに区分しているが、そのうちの4つのカテゴリーは本研究に関連するものとして、特に注目したい。①「カネル・カネナイ型」②「コトナイ型」③「二重否定型」④「控エル型」である。

### ①「カネル・カネナイ型」

「そんなことはできない」よりも「そのようなことは致しかねる」「できかねます」のほうが柔らかく聞こえる。「誤解されかねない」「世界の経済にも悪影響を与えかねない」のように、その可能性があることを柔らかく示す表現である。

### ②「コトナイ型」

「まずい」ことを「おいしくない」（おいしいことない）と言う。このように悪い方からいうよりも「おいしくない」とよいことを否定すれば柔らかく感じられる。「多い」よりも「少なくない」、「少ない」よりも「多くはない」の使用は、断定的な表現を少しでも和らげる言い回しである。

### ③「二重否定型」

「なんだか、できるような気がしないでもない」「期待する気持がないわけではないが」のような二重否定の形で、「あることはある」という幅（ゆとり）を持たせる表現になる。「二重否定」の表現はすべて「緩和表現」とは限らない。「強調」の場合にもよく用いられる。

### ④「控エル型」

「コメントを差し控えたい」「発言を控える」のような「差し控える」「控える」は「しない」のかわりに用いられる。

彭の他にも山岡ほか（2010）は、二重否定は「「Pである」と言うべきところを、何かしらの婉曲性をもって緩和しようとした配慮表現である」と指摘している。配慮表現とは、現代日本語において「対人的配慮行動であるポライトネスが一定の固定した形式を通じて表現されること」であると、彭（2004）、国立国語研究所（2006）にも記述がある。また山岡（2014）では、「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現」と定義している。「～ないでもない」のような「控えめ」な二重否定もこの定義に当てはまる。これについては序章で、本研究の基盤となる理論のポライトネス理論と配慮表現の理論のところで説明した。

## 1.4. 外国語の二重否定の研究概観

### 1.4.1. 英語の二重否定の研究

ここでは英語の二重否定の先行研究も概観しておきたい。英語の二重否定の研究は、英

文解釈の研究による影響が大きい。英語の二重否定構文において、二つの否定辞の作用域が異なっていることに着目し、それによって単純肯定と二重否定との意味論的差異を説明しようとした中右（1994b）がある。中右は英語における二重否定の解釈原理を主張した。自然言語の心理的側面から二重否定を用いる話者の心的態度研究の必要性を論じ、二重否定は単なる「肯定」とは違うということを主張している。中右の二重否定解釈の原理は、本研究で日本語の二重否定表現の研究を行う上で、じつに示唆に富んでおり、対話における二重否定を発話する論理の解明も本研究にとって有益である。本研究でも第2章以降も再出することになる。中右（1994b）によれば、「先に陳述されたこと、含意されている事物を却下する行為＝否認行為」が直接できない場合に、二重否定は出現すると結論している。無論、中右（1994b）は英語の二重否定の論理の解明をしているものだが、日本語の二重否定が出現する論理にも援用可能だと思われる。以下、中右の用例である。

A : You and Jim really must come round to my place some evening.

B : Yes, We'd like to.

A : Of course, you two don't drink, do you ?

B : Well, We don't not drink.

Bはわざわざ二重否定構文を用いている。Aに対して、肯定形を用いて「Yes, we do drink.」とは応じることは、中右は「真っ正面から話し手Aの陳述に意義を申し立てていることになる。」としている。これは「We don't "not drink"」のように、引用符をつけてみると分かりやすい。このように考えるとAへの返答として、We don't not drink と We do drink は全く違った印象を与えるメッセージとなってしまうことが明らかになる。そのような論理からAの下線部の発話を下敷きとしてBの発話が生成されたのである。中右（1994b）は、「二重否定の成立事情をたどってみると、内部否定が他人の陳述内容の一部であればこそ、外部否定がそれを否認する（下線は筆者）という働きをしている」「否認行為とは、事前にだれかによってはっきりと陳述されたり、そうでなければ場面によって暗に含意されたりしている事柄を、偽（false）ないしは不適切（inappropriate）として却下する行為」と結論している。しかし、この発話を日本語に置き換えてみると、

A: ジムといっしょに今度夜、遊びにいらっしやい。

B: ええ、喜んで。

A: ところで2人は、お酒は飲まないわよね？

B: ええ、飲まないわけではないです。

このやりとりは、一般的に考えるなら A が「お酒を飲まないわよね？」と質問すること自体が FTA 行為である可能性があり、非常に特殊な例ということができるのではないだろうか。自分から自宅にお客人をお誘いしておきながら、「飲まないわよね？」と聞くのは、「私は飲むけど、あなたたちは飲みそうもない（不満である）」や、「自宅は禁酒よ。（暗黙の了解事項）。」とでも言いたいのかと、聞き手が解釈次第で気分を損ねる可能性すらあるからである。しかしながら、中右の研究は英語と日本語の二重否定の解釈原理に異なる事項が存在する可能性を提供してくれている。その点について第3章でも詳述することにする。この他にも、伊関（1998）は先行研究をふまえて、語句否定による二重否定を2タイプに分類してし、意味の強さには幅があり、Context などを含めた pragmatics からの判断が必要だと指摘している点で、英語の二重否定も語用論的尺度で解釈をする必要性を述べている。長谷川（2004）は英語特有の二重否定の現象として、not が marked などの語と共に使われると、反対の意味がかえって強調されることを指摘している。A not unwelcome guest は but very welcome の意味になるが、日本語では「歓迎されなくはないお客様」は「歓迎されないどころか大歓迎のお客」とはならないことから、日本語と英語の二重否定解釈の相違点が浮かび上がった。

また英語の二重否定の意味、語用論的含意について言及している研究に田中（1998）がある。田中によると、二重否定の意味解釈には以下のように二通りあるという。

(a) ぼかし表現 (Understatement) = S 読み=話者は somewhat X を含意

「なんとなく X、X のようなそんな感じがする」

(b) 緩叙法 (Litotes) = X 読み= 話者は extremely X と言いたい

「ものすごく、とても～X」

これは英語の二重否定が文脈によって解釈が異なる際の解釈原理である。これに対して日本語の場合は、それぞれの解釈によって別の形式の二重否定表現に慣習化させている。前節で挙げた「～ないでもない」や「～ないこともない」は (a) の解釈のみに慣習化されており、「～ないわけがない」や「～せざるをえない」は (b) の解釈のみに慣習化されている。田中は「S 読み」と「X 読み」の違いを、「話し手が完璧な程度の「X」を含意しているかないか」であるとしている。日本語について言えば、「話し手が真だと思っている度合いが高い命題」に言及するときは (b) のグループの表現が用いられるということになる。換言すれば、二重否定のもつ意味には「強弱」があるということは、日本語も英語も共通している。しかしながら、英語は二重否定の解釈をコンテキストから捉えられる意味によ

り決定しているのに対し、日本語の二重否定は、「強弱」どちらの意味を表すかが形式によって決まっているため、どちらかのグループの表現を選択して用いることになる。このことは、日本語と英語の二重否定の大きな違いとして重要である。では、上述したように日本語の二重否定は、英語の二重否定のように一つの表現が文脈によって解釈が異なるケースは考えられないのであろうか。つまり、「～ないでもない」はぼかし表現で、「～ないわけがない」は緩叙法であるというように完全に二分されるという原理と考えてよいのかという問題である。「～といっても過言ではない」のケースで考えてみる。

(1) 向井:4、5歳の頃、黒柳さんの朗読のテープを聴かせてもらって寝てたんですよ。

黒柳:そうですか。じゃあたくしがお育てしたんですね。

向井:そうですね、そういっても過言ではないですね。 (笑) (徹子の部屋)

(2) ORICON STYLE が、10～40代の男女を対象に実施した『出演してほしい人』調査では、20～40代で断トツトップを記録し、総合首位に松の名前が挙がっている。これは国民の総意と言っても過言ではないだろう。(ORICON ニュース)

(1) は、前言に対して発話者が賛同の意を込めて、二重否定を用いて命題を肯定しているケースである。これにより前言発話者の発話に賛同していますよとの態度を示そうとしている心情と、思ってもみなかった前言発話に戸惑いと気恥ずかしさを感じている発話者の心情も表すことに成功している。(2) は、データから得た結果を踏まえての分析であるから話者の主観というよりは、客観性があると考えるのが妥当であろう。その上で「過言」を用いてその分析に対して他者の受け止め方にも目を向けているという態度を示しながら、話者の命題の完全肯定を緩和している。この用例からも分かるように、「～といっても過言ではない」のような二重否定は、日本語特有の語用論的解釈が成り立ち、田中の主張する英語の二重否定の論理をそのまま当てはめて考えることはできない。しかしながら、敢えていうならば、「～といっても過言ではない」は、緩叙法 (X 読み) の特徴でもある、「話し手が完璧な程度の X を含意している」という指摘は用例採取を行ってみた上で、援用可能だと考える。ただし、「～ないわけがない」のように「ものすごく、とても X」の発話意図で用いられているわけではないということは言えそうである。

## 1.4.2. 中国語の二重否定の研究

### 1.4.2.1 俞稔生の研究



中国語の二重否定の先行研究には俞（2000）がある。俞の研究は HSK（漢語水平考試）の問題を通して、その習得の観点から中国語の二重否定を9種類に区分、整理した。俞の二重否定の定義は以下のようなものである。

文中に2個の否定詞が用いられ、基本的にその2個の否定詞をとった肯定文の意味とほぼ同じになるものを二重否定文という。しかし、否定を2度することが必ずしも完全な肯定とはならないことも多い。一般に、二重否定文は、話し手の弁解や、強い願望など、ある種の感情的意味合いが加わることが多い。具体的な分類は以下に示す。

#### 1) 没有～不～

この文型はよく見られる二重否定文で、弁解を表したり、“没有”の後に“人”が来て、「だれでもみんな」の意味を表したりする。

- ①我没说不想参加。（私は参加したくないとは言ってない。）
- ②那件事没有人不知道。（その事を知らない人は一人もいない。）

#### 2) “不”助動詞“不”

この文型は後に動詞が来て、「当然～しなければならない。」「～しないわけにはいかない。」「～せざるを得ない。」「～しないはずがない」という意味を表す。

- ③因为大家都反对,经理“不”得“不”让步。（みんな全員が反対したので、社長は譲歩せざるを得ない。）

#### 3) “不”是“不”

この文型は普通単文では終わらず、後に理由を説明する文が続く。

- ④他不是不努力，而是学习方法有问题。（彼は努力していないわけではなく、学習方法に問題があるのだ。）

#### 4) “不”像“不”

この文型の主語は普通第三人称で、客観的な状況に対する推測を表す。

- ⑤看样子，她不像不了解情况。（見たところ彼女は状況を理解していないようでもない。）

#### 5) 是～的 構文の二重否定

是～的構文とは、話し手の断定や強調、または未来の動作の予見を表す文型のことである。文末の的は断定の語気助詞とみなすころもできる。この構文を二重否定にすると、事実の婉曲な肯定、または強い肯定を表す。

- ⑥这句话不是没有道理的。（その言葉は筋が通っていないということはない。）

#### 6) “不”動詞“不行”

この文型は「～しなければならない」という意味を表す。

⑦这件事，我不去办不行。（この件は私がやらなければならない。）

7) “非”動詞“不可”

この文型は、“不”動詞“不行”に比べ、更に語気が強く、「ぜひとも～しなくてはならない。」という意味を表す。

⑧那部电影，我非看不可。（私はどうしてもあの映画を見ないと気がすまない。）

8) 仮定文の中での二重否定

仮定文の中で二重否定を用いると、「もし～しなければ～しない」という意味を表す。

⑨她不去，我也不去。（彼女がいかなければ、私も行かない。）

9) 形容詞の二重否定

二つの相反する意味の形容詞を否定形で重ねると、「ちょうど」という意味を表す。

⑩不早不晚，整七点他来了。（早くもなく遅くもなく、ちょうど七時に彼は来た。）

以上、9つが決まったパターン（係り結び）の例文であるが、この他にも固定されたパターンがなくても、⑪の例文のように二重否定は無限に作ることが可能である。

⑪我讲的话，他不会听不懂。（私が話したことを、彼は聞いてわからないわけがない。）

ここまで俞の研究を概観してきて、中国語でも二重否定表現は強調と緩和の意味を表す型が決まっているということが分かる。

#### 1.4.2.2 馬（1998）・孟（1996）・叶（1977）などの研究

その他にも中国語の二重否定は以下に示す、1)～3)のような三種類の二重否定の区分があると考えられている。

1) 「否定の否定」

馬（1998）・孟（1996）・叶（1977）...同じ文において否定が二回現れ、否定の否定で意味が肯定になるもののみを「二重否定」と定義している。

「不是不...（ないわけではない）」「不得不...（なければならない）」「没有...不行（ないといけない）」などがある。

2) 「否定に否定」

中国語では、形式的には二重否定であるが意味的には否定になる表現や、二つの否定辞

が共起しない表現が多く存在する。典型的なのは「不 A 不 B (A でもなく、B でもない)」(A と B は一般的に形容詞か動詞になる場合が多い。)と「二重否定の形をした否定疑問」である。

### 3) 「否定疑問」

郭他 (1985)、孟 (1996)、張 (2010) は、二つの否定辞が現れている、意味が否定になる否定疑問文も「二重否定」にみなしてもよいと主張した。

「あの人、学生じゃないんじゃない？」のような「学生じゃないだろう」という話し手の否定の推測または確認要求を表す表現は、日本語には存在するが中国語にはない。中国語においては、名詞述語文を用いて否定の推測や確認要求などを表す場合、二つの否定辞を重ねた表現をすることができない。否定の推測や確認要求などを表すとき、名詞述語文の場合には、否定文の文末に「吧」をつけるのが普通なのである。一方中国語の形容詞述語文や動詞述語文においては、「不是不…吗 (么/嘛/吧) ?」の形を使うことが多い。ただし、意味は否定とは限らない。(非難など)

ここまで概観してきて、中国語の二重否定に関する研究において、英語の二重否定の研究のように命題とモダリティの否定作用域について言及している研究が見当たらなかったことは、ここで言及しておこうと思う。

## 1.5. 翻訳における二重否定の困難さについて

日本語の二重否定表現を訳出する場合に、訳出しにくい表現とそうでない表現があることと、その原因が肯定の程度の異なりにあると述べている水野 (2017) がある。水野は、法廷通訳に従事する通訳人に対して、二重否定表現をそれぞれの目標言語の4言語(英語、フィリピン語、中国語、韓国・朝鮮語)による調査を行なった。その際扱った二重否定は、意味が肯定に転ずる「否定の否定」の二重否定のみ対象にしている。調査は、被調査者に日本語の文を聞かせ、それを目標言語に訳してもらい、録音した。調査文は次のようなものであった。

- a. 東名高速道路は地震のため交通規制がされていますが、通ることができます。
- b. 山田町の交差点は事故のために交通規制がされていますが、通れないことはありません。
- c. 富士山が世界遺産に指定されたことを皆喜んだ。
- d. 富士山が世界遺産に指定されたことを喜ばないものはなかった。
- e. 今日は大切な会議があるので、頭が痛くても行かなければなりません。

f.今日は大切な会議があるので、頭が痛くても行かないわけにはいきません。

調査の結果、4言語における訳出の数は異なった。二重否定表現を最も多く使用して訳出されたのは、韓国・朝鮮語であった。そして、訳出がもっとも少なかったのは英語であった。4言語で最も訳しやすいと見做されたのはe.であった。その理由として水野は、「～なければなりません」は「ある程度文法化した形式であるため、被調査者は考えることなく訳文を産出することができたから」としている。一方で、b.とd.が訳しにくいという結果になった。b.はいわゆる緩和、d.は強調の意味を表す表現である。その原因について水野は、「「～ないことはない」と「～ないものはない」は、「こと」と「もの」の違いであるが、「こと」を用いた方は肯定が弱められ、「もの」の方は強い肯定を意味する。通訳者は、日本語の発話を聞いて、それが二重否定の場合は、二重否定によって否定が繰り返されることで、ひっくり返って肯定になるのは否定のままなのか、また反転して肯定になる場合は、肯定の意味が強くなるか弱くなるかを見極め、適切な訳出をしなければならない。こうした複雑な手順が訳しにくいと感じさせていると思われる」と述べている。最後に水野は、「日本語の二重否定表現は、コミュニケーションにおいてしばしば用いられ、多様な印象や効果を生み出す手段にもなっていると考えられるが、通訳においては困難を伴う言語表現の一つである。」と主張している。この指摘は、本研究にも大変有益な示唆を与えてくれている。そして、言語によっては二重否定が一般的ではない（フィリピン語）ことや、通訳者が二重否定表現に訳さないこともあるなど、さらに多くの調査が必要な分野である。

## 1.6. 日本語教育における二重否定の先行研究

高崎（1989）は、論説文で二重否定が多用される傾向があることを実例検討している。「～ずにはいない」などの表現を挙げ、筆者のオリジナリティを出す為に、誰かの意見や一般の動向・現象などを否定的に扱って新しさを出す一つの方法であると述べている。鮎澤（1990）は、日本語教育上級レベルでの生教材における、否定表現の多用が外国人に理解し難いと分析した。日本語の二重否定を一つの否定表現と考えるか二つと数えるか、などの認定の仕方の問題が存在していることを指摘ことは刮目に値する。二重否定は文体的特徴と深く結びついており、学術論文以外の論述文、あるいは論説文では多用される傾向があることも述べ、日本語教育における書くことの指導で、二重否定をどのように扱うかの研究の架け橋になっている。今田（1990）は、文末の二重否定表現「～ないわけではない」を、「文法的知識があっても日本語学習者を悩ませる表現」と指摘した上で、二重否定

は（部分）肯定の意味になると述べた。形は二重否定でも意味は肯定になる文を重点的に論じた。

例) 田中さんじゃないじゃない！

このような文末の特殊否定表現には、否定の意味のないものとあるものがあり、それが学習者を悩ませていると結論している。松岡（1995）中、上級における論述文指導において「論型」を類型化した。二重否定は修辞性という特性をもっており、書き手の情意を表示するものであるが、本質的な要素ではないと述べており、二重否定が書き手のどのような情意を示しているかは述べていない。工藤（2000）は、「大学への橋渡し教育」という枠組みの中の文体指導において、「形が似ていて意味の異なる表現」として二重否定を取り上げている。『新書ライブラリー』の中の二重否定の使用頻度を比較分析した。二重否定は、修辞性の高い表現と位置づけ、表現意図は強調と婉曲的肯定の二種類である。しかしながら、形の上で両者を見分けるのは困難であるとして、指導の際は主観的か、客観的な文体であるかという視点から使い分けを意識化する必要性があると結論している。一方、日本語を母語としない立場から、二重否定がどう見えているかを調査した研究もある。楊（2014）は、中国人母語話者（CS）が形式上の二重否定（「～ないじゃない」、「～ないんじゃない」、「なくない」のような「否定に否定で、意味が否定になる二重否定のこと」）の基本的な意味が肯定であるか否定であるかについて正しく理解できているかどうか調査、考察した。楊によれば、中国語の二重否定に関する研究では、二つの否定辞が共起して意味が肯定になる「否定の否定」を「二重否定」としている。しかし、二つの否定辞が重なった「否定疑問」を二重否定と見なすべきかどうかについては、研究者によって意見が異なっていると報告している。

楊（2014）の調査のインフォーマント

CS30人（中級、上級）、JS15人

- ・中国語母語話者からみた日本語の二重否定はどう見えているのか。
- ・中国語母語話者にとっての日本語の二重否定の習得における問題点は何か。

楊によると、調査で得た結果は以下の通りである。

- (1) CSが日本語の形式上の二重否定の基本的な意味（肯定か否定か）について、「～ないじゃない」と「～ないんじゃない」「なくない」などを正しく理解していない。
- (2)形式上の二重否定の意味理解の正確さは学習者レベルが上級になっても高くなっていない。

(3)学習レベルが上がるにつれて形式上の二重否定の意味理解の正確さに関しては母語の影響はない。

楊は二重否定を、二つの否定辞が用いられ、肯定か否定の意味（二つの否定辞が共起すれば、意味は肯定になる。共起しなければ、意味は否定になる）を表す表現で、どちらの意味においても何らかの情意が入っていると述べている。

## 1.7. 先行研究のまとめ及び問題点

ここまで先行研究をまとめる。

- 1) 日本語の二重否定の形態論的研究では、主として否定辞「ない」またはそれに近似する否定辞を含む表現を、形式上分類する観点から研究されてきた。
- 2) 修辞学的研究では、二重否定の言い回しは効率的なコミュニケーションの法則からは逸脱しており、好ましくない表現であるということが主張される一方で、なぜそれを使用するかという日本人はわざとこのはっきりとした話し方を避けて含みのある婉曲的な表現形式を用いるからである。そしてその意味も、強調して言っている場合と曖昧にぼかそうとしている場合の両方が存在している。
- 3) 彭（2005）による「配慮表現」の研究では、二重否定は「緩和表現」だけでなく「強調」も存在することを主張している。山岡（2014）では、配慮表現を「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現」と定義している。
- 4) 外国語の二重否定のそれぞれの特徴と、日本語の二重否定の特徴は、全く同じではない。否定の作用域や、形式などそれぞれの特徴があるが、意味の強弱があることは共通している。
- 5) 日本語教育や翻訳では、形の上で諸言語に同じ用法が存在しないものもあり、全く同じように翻訳したり、区別したりすることが非母語話者には困難な点があるということ。

そして次の二つの問題点について、本研究の立場を述べたいと思う。

- 1、二重否定の意味に関する用語が、原口（1982）は「肯定の強め・弱め」、陶（1994）は「強い語気の肯定」「婉曲の是認」、林（2005）は「強調」「曖昧」「婉曲」のように不一致である。

本研究では、「強調」と「緩和」の2つの意味に区分し、その他の用語は意味を表す際に

使用しないことにする。

2、原口（1982）、陶（1994）が「目を見張らざるを得ない」のような表現を二重否定とされているのに対し、野田（2000-2002）はこのような表現を二重否定とはみなしていない。

本研究では、「～ざるを得ない」のような表現も二重否定表現であり、モダリティの一種として扱うことにする。「～ざるを得ない」のような表現は、陶の二重否定の定義「(a) 一つの述語表現形式に限られること」「(b) 否定を表す表現が二つあること」「(c) 二つの否定は連続的で、後ろの否定が前の否定を制約すること」にも合致する。その意味極性は肯定へと反転していることから、「(d) 二つ目の否定がくることによって、文全体は肯定になること」も満たしている。

日本語の二重否定表現の多くは、発話機能の《主張》断定緩和、または強調の機能を持っていることから、話者の発話意図を考慮しながら二重否定のもつ意味を捉えていくことが重要であると考えている。従来の先行研究の多くが、二重否定の意味を強調と婉曲的肯定の二種類であるとしているが、筆者が本研究で論じようとしている二重否定モダリティについては、先行研究ではそのようなカテゴリーでの言及は見当たらない。しかしながら筆者はこのような表現こそ、外国語には翻訳することができない日本人の心的屈折を表現するのに好ましい表現であると考えている。森田の言葉を借りれば、「肯定で言う端的な表現を嫌って（略）あいまいにぼかす遠回しな婉曲法」と言えようか。本研究では、これを裏付けるためにも、二重否定が実際のコミュニケーション場面に欠かせない効果的役割を果たしていることを明らかにしていきたい。

## 第2章 日本語の二重否定の総論

### 2.1. 従来の日本語の二重否定の枠組み

本章では従来の二重否定の定義について述べた上で、その問題点を指摘し、新しい二重否定の枠組みを定義する。

#### 2.1.1. 陶振孝（1991）の二重否定の定義

日本語の二重否定の定義を検証することは、序論でも述べたとおり、ここまでの日本語学、日本語文法の辞書類における二重否定の説明の問題点が、概要「何を二重否定と認定するか」に集約されることから、必要不可欠だと考えられる。先行研究において、日本語の二重否定の定義を明確に示したものは、陶（1991）がある。陶によれば、否定を表すものは、「ない」（本形容詞、補助形容詞、打消助動詞）、助動詞の「ず（ぬ）」「ざる」「まい」、接頭辞の「不」「無」「非」などである。陶は二重否定の形式を大きく7種類に、細かく分けると22種類（a～vは筆者加筆）としている。それは表1のように分類されている。

【表1 陶振孝の二重否定の分類】

二重否定の型	表現のパリエーション
1. ～ない○○は（も）ない	(a)～ないものはない (b)～ないことは（も）ない (c)～ないはずはない (d)～ない○○はない
2. ～ない○○では（も）ない	(e)～ないわけでは（も）ない (f)～ない○○ではない (g)～ないでは（も）ない
3. ～ない○○は～ない	(h)～ないといけない (i)～ない○○は～ない (j)～ないとはいえない
4. ～ないわけにはいかない	(k)～ないわけにはいかない (l)～ずにはいられない (m)～ないでいられない
5. ～なければならない	(n)～なければならない (o)～なければいけない (p)～ねばなるまい (q)～なくては（ちゃ）ならない (r)～なくちゃ（ちゃ）だめだ
6. ～ざるをえない	(s)～ざるをえない
7. 不／非／無○○（で）はない	(t)不○○（で）はない (u)非○○（で）はない (v)無○○（で）はない

さらに陶は、非二重否定の類型についても論じている。以下、陶（1991:81）の引用で



ある。陶は次のようなものは二重否定と認めない立場を取っている。(用例の番号、アルファベットは筆者が加筆した。)

#### 1、否定の羅列

a) いいえ、いいえ、そうではない。

a) の文は、否定をただ羅列するだけで、文全体の意味も肯定にならず、二重否定とは認められない。

#### 2、否定の並列

b) その部屋には机がなく、ベッドもない。

b) の文は、否定が2回表れているが、その否定は並列しているにすぎず、重なっていないし、互いに何の制約もない。そして文の意味も肯定になっていない。したがって二重否定ではない。

#### 3、条件、仮定

c) 音楽を聞きながらでないと、勉強できない。

d) 頭を動かすことなくして、いい文章は作れない。

c) の文は、否定が二回表れているが、その意味は「聞きながらだったら勉強できる」となる、つまり前件は仮定か条件で、後件は結果になっている。また、否定するのは二件で、肯定するのも二件である。つまり述語は二つである。d) の文も同じように説明できると思う。つまりこの場合は二重否定でなさそうである。われわれは「～なければならない」「～ないといけない」を一つの慣用のパターンと見ているので、「なければ」と「ならない」、「ないと」と「いけない」のあいだに何も入れることができない。もし何かを入れると、文自身が長くなり、複文に帰する傾向が強く、述語も二つになり、二重否定ではなくなる。要するに二重否定は一つの述語表現の範囲内のものとしておくのが妥当と思われる。

#### 4、ないじゃないか

e) 何だ、壊れていないじゃないか。

原口庄輔(1982)は「「ないじゃないか」というような反語的疑問は反転現象がおこらない」と指摘している。つまり、「ないじゃないか」の意味は肯定にならず、否定の意味のままである。例文 e) は「壊れていない」なのである。形式としては二重否定し、しかも重なっているが、意味上から見れば肯定ではなく、二重否定ではないとみるより仕方がない。

ここまで、陶が非二重否定に認定している論を確認してきた。陶はこれらの根拠から、次のように二重否定を定義している。

- (a) 一つの述語表現形式に限られること。
- (b) 否定を表す表現が二つあること。
- (c) 二つの否定は連続的で、後ろの否定が前の否定を制約すること。
- (d) 二つ目の否定がくることによって、文全体は肯定になること。

陶は、以上の要素は一つも欠けてはいけないと述べ、結論として二重否定を次のように定義している。

一つの述語表現において否定を表すものが重なり、後ろの否定が前の否定を制限し、文の意味も肯定であること。

この定義は概ね妥当だが、(b)の「否定を表す表現」が何を指すのかは依然曖昧である。例えば、陶が指摘する「否定の転義」なる現象がある。陶は以下の5のような例を挙げて、例文 g)、h) を陶は二重否定とはみなさず、「ない」の否定の意味が薄くなって他の意味に転義したものと解釈している。以下陶 (1994:81) の引用である。(番号、例文の記号は筆者が加筆)

#### 5、否定の転義

- f) 狭く貧乏になった国は再建できないかもしれない。
- g) 盗塁数の少ないことなどで機動性のある作戦がとれなかったに違いない。
- h) きっと時間通りに来なかったに違いない。(陶 (1994:81))

「かもしれない」、「ちがいない」はいずれも「ない」という語が含まれているが、しかしこれらの「ない」は否定の意味が薄くなり、むしろ他の意味に変化しているのではないかと思う。そのため前の「ない」と結合しても文全体が肯定にならない。例文 f)、g)、h) のパターンは二重否定だとは認められない。

しかし、筆者はこのような解釈は、陶が示した二重否定の定義 (b) の「否定を表す表現」を否定辞だけに制限して捉えていることから起きると考えている。「ちがいない」は肯定極性をもったモダリティであることがわかるが、ここで動詞「違う」をモダリティ内の極性を逆転させる否定意味を含む語彙と解釈すれば、「違いない」を二重否定と捉えることが可能になる。その結果、意味の転義などを考慮しなくても「違いない」を一つの肯定極性のモダリティとして解釈することが可能となると考える。よって、陶の挙げる g)、h)

のような例文は本研究では二重否定として扱いたいと考えている。陶には、f) の「かもしれない」がなぜ否定の転義という現象だと言えるのかについての説明は少ない。この問題は、次節で述べる林（2006）の二重否定の研究にも深く関連している部分でもあるので、次節で林の研究を紹介した後に、詳しく述べることにしたい。

### 2.1.2. 林樂常（2005）の二重否定の研究

日本語の二重否定を形式的側面から分類した研究に林（2005）がある。林の研究は、二重否定の定義は明示されていないが、否定の表現形式を二重に用いて肯定の意味を表すこととした上で、形式は二重否定表現をとっていても、単なる肯定表現とは異なる側面を持つ場合もあると論じている。林は近現代4小説（夏目漱石『吾輩は猫である』や井上靖『氷壁』など）から1000例余の形式を8つに類型化し、形式と意味の相関関係について整理、分析している。すなわち二重否定の意味における肯定、否定かの極性を「基盤的意味」としており、そこに付加される「強調」「曖昧」「婉曲」などは「副次的意味」であり、特に「強調」「曖昧」な意味が多く、内容が豊富なことが、二重否定の特徴であると述べている。しかし林（2006）の8分類は、形式の観点から分類されており、二重否定が「基盤的」には肯定の意味を持っていることを証明することに貢献したが、個々の表現の意味・用法を整理するまでには至っていない。また、「駄目だ、無理だ、手遅れだ、下手だ、間違いだ、嫌いだ」など否定意味の語彙を、二重否定に用いられる否定辞として挙げている（2005:37）点は、前出の日本語学、日本語文法書の説明が否定辞のみを二重否定の構成要素とする点とは異なっている。林（2006）も否定辞のみを二重否定の構成要素とするのではないと述べているものの、その理由、詳細な説明は記されていない。さらに具体的にどのような表現を二重否定と考えるかは、以下のような記述もある。「二重否定の形式をとっていても、一つの否定を意味するようなものもある。否定的な意味を持つ語に打ち消しを重ねた言い方もあるが、表現形式は二重否定ではないが、表現性は二重否定と極めて似ている。」（2006:6 下線部は筆者、以下同様）以下の用例は、林（2006）が引用したものである。

例：記者の質問に対して、あえて否定はしない。

今日の会議は欠席したくない。『日本文法大辞典』の記述（p. 629-630）

しかし、この記述のみでは林が否定的意味を含む語を否定辞と認定し、それに否定辞がついた表現形式を二重否定と判断したかは明白ではない。あくまで表現形式は二重否定で

はないが、表現性は二重否定と極めて似ているとしているに過ぎない。林が「類型化した二重否定の表現形式」(2006:91)として二重否定の形式に言及しているものをみると、

「ニチガイナイ」は形式の上では否定形であるが、「否定」の意味にはならない。というのは、「チガイ」も「ナイ」もそれぞれ「否定」の意味を担う言葉で、両者がかわり合うことによって、「肯定」的な意味となってしまうのではないかと考えられる。そうすると、「ナイニチガイナイ」は形式上では二重否定であるが、<sup>三</sup>重否定(傍点は筆者、以下同様)と考えるべきだ。「～ナイニモ関わらず」についても同じようなことが言えるだろう。「カカワル」行為は一種の否定行為だと考えれば、「～ナイニモ関わらず」は<sup>三</sup>重否定と考えてもおかしくないだろう。VII-B=3の「～ナイバカリデナク」については、「バカリ」は限定を表す副助詞である(新村出『広辞苑』(1998)参照)なら、一種の否定表現と考えても不可能ではない。「～ナイバカリデナク」はやはり<sup>三</sup>重否定表現と考えてもいいようだ。(2006:95)

また次のような記述もある。

「カモシレナイ」は蓋然性を表す表現である。話し手はその自体を可能性があることを認識していることを表す。「カモシレナイ」自体が否定のことば「ナイ」を含んでいるが、否定の意味がない。(注:『現代日本語文法④』p.151-153)中略 「～ナイカモシレナイ」の構造から見て、前項否定「ナイ」と後項否定「シレナイ」の間に疑問を表す「カ」と詠嘆を表す「モ」が挟まれている。「疑問」も一種の否定表現だと考えれば、「～ナイカモシレナイ」は<sup>三</sup>重否定になる。(2006:96)、「不～デタマラナイ」の「たまらない」は「タマル」の否定形である。「タマル」は「こらえさせる」「こらえきれる。がまんできる」という意味である。(新村出『広辞苑』1998)これは一種の否定と見れば、「タマラナイ」は、形式上は否定であっても、二重否定と見ることができる。「不～デタマラナイ」は<sup>三</sup>重否定と認めることができよう。「無～ノミナラズ」の「ノミ」は「限定」の意味があり、(新村出『広辞苑』1998)これは一種の「否定」と考えれば、「無～ノミナラズ」は<sup>三</sup>重否定と見ることができよう。(2006:96)

以上のように林は、基盤的意味が否定になる類型として上述のように分類している。(2006:99-101)

### 2.1.3. 2つの先行研究の問題点

このように検証してみると、林の述べている論理で捉えた否定及び否定辞では、「～ナイニチガイナイ」や「～ナイカモシレナイ」を三重否定に分類することになり、日本語の二重否定の問題の所在をさらに複雑にしていまいかねない。林の研究の問題の所在は、二重否定を形式上で判断しようとしている点にある。そうすると、否定辞がいくつあるかということに目を奪われ、命題とモダリティの境界線を見落としてしまう。そもそも二重否定表現は、話者が当該命題に対する話し手の態度、捉え方を表明しているモダリティ表現だと考えるなら、命題とモダリティは区分して考えなければならない。もっと言えば、二重否定モダリティとして、単なる二重否定とは区別をすることが必要になってくる。

例えば、「ここにアメリカ人はいないとは思わない。」という文があったとしよう。この場合の命題とモダリティの関係は以下のようなになる。

a) ここにアメリカ人はいない / と思わない。

命題（否定）                      モダリティ（否定）

⇒「ここにアメリカ人はいない」ということは、話者にとって確信的命題

⇒文の極性は肯定になる。

しかし、「ここにアメリカ人はいないにちがいない。」のような文はどうだろうか。

b) ここにアメリカ人はいない / にちがいない

命題（否定）                      モダリティ（肯定）

⇒「ここにアメリカ人はいない」ということは、話者にとって確信的命題

⇒文の極性は否定になる。⇒二重否定モダリティに該当する

つまり、筆者は日本語の二重否定を定義するに当たり、その二重否定の否定的要素（否定辞や否定的意味の語）が、モダリティの側（つまり命題の外部）で二重否定の機能を果たしているものかどうかを見るのが肝心だと考えている。つまり a) のような文は、二重否定モダリティから除外するのである。命題とモダリティを区分して考えることで初めて、話し手の本来の正確な意図が聞き手に伝わると考えるからである。このように命題側（内部）とモダリティ側（外部）とを立て分けて考えたのは中右（1994b）である。次節で具体的にみていく。

### 2.1.4 中右実（1994）の二重否定解釈論理

第1章の英語の二重否定の論理でも説明した中右(1994b)は、「命題とモダリティの作用域」について英語の二重否定を取り上げて、その解釈原理を考察している。中右は、文は客観的な命題内容のうえに主観的なモダリティが加わっている二極構造を主張し、否定の成分は命題内容を否定している内部否定と、モダリティ成分である外部否定の成分に分けている。この理論は、本研究の日本語の二重否定の作用域の考察の基礎にもなっている。筆者は二重否定モダリティというものは、モダリティ側に存在し、なおかつ命題の肯定極性を反転させるものだと考えている。言い換えれば、ある発話の命題は肯定の極性を持っており、モダリティ側の極性が二重否定でそれを反転させているもの、発話文の意味は肯定になることが二重否定表現と認定する絶対条件ということになる。中右の論理は英語における二重否定の解釈原理ではあるが、日本語の二重否定構造を考えるのに、有益な示唆を与えてくれる。中右(1994b:125)では英語の二重否定構文において二つの否定辞の作用域が異なっていることに着目している。中右が述べている二重否定の解釈原理は次のようなものである。

〔二重否定の解釈原理〕

独立節(主節)レベルにおいて、外部否定はモダリティ内否定であるのに対し、内部否定は命題内否定である。

では、英語の例文で具体的にこの解釈原理を検証してみたいのだが、この解釈原理に符合する具体例が見当たらないので、インターネット上の二重否定の書き込みを引用し、検証してみることにする。

例: *There was nobody /who did not eat breakfast.* (全員が朝食を食べた)

だれもいなかった/朝食を食べなかった人

(モダリティ内否定) / (命題内否定) \* / は命題とモダリティの境界を表す

<https://honmono-eigo.com/kate-waho/nizyu> (2020/7/24 閲覧)

上記例文を見てみると、モダリティ内に nobody で一つの否定があり、命題内で not eat で一つの否定が存在するが、それぞれ命題内、モダリティ内にある構造を取っており、前述の解釈原理に誤りは見当たらない。そして中右は命題とモダリティの関係から、二重否定構造の問題点を以下のように述べている。

「端的に言って問題は、二つの否定をとともに命題内容成分として捉えているところにある。さらにいえば、外部否定と内部否定は果たして意味機能が同じなのか、それとも違うのか。この設問こそが根本の問題なのだが、残念なことに、これがこれまで問題意識にさえな



つまり、二重否定であるかどうかを判断する重要な基準の一つはモダリティの側に意味的二重否定の構造があるかどうかである。モダリティ側に否定辞、または否定的意味の語が文の意味構造上存在するかどうかを考えれば、林の三重否定であるというような複雑な構造も回避できるのである。

#### 2.1.5. 日本語の命題とモダリティ

ここまで日本語の二重否定の先行研究を概観してきた。前述したように、陶や林の二重否定の研究を概観したことで、問題の所在も見えてきた。一つは、命題とモダリティの否定作用域の捉え方によって二重否定表現の分類、その認定方法は大きく変わってしまうということ。これを構文上の否定辞の個数ばかりに目を奪われると、話者が命題をどのように捉えて、伝えようとしているかという、「命題めあてのモダリティ」的視点（対事的モダリティ）と、「聴者めあてのモダリティ」的視点（対人的モダリティ）の両方を正確に捉えることを誤ってしまうということ。従来のモダリティ研究が主として、この2つのモダリティを二分して研究されてきたことから、二重否定のモダリティは、そのどちらの領域にも関連し、切り離して考えることができないカテゴリーに属する新しいモダリティということになる。

そして、もう一つは、従来のモダリティ研究においては、二重否定表現が何をもって二重否定だと認定し、明確に「二重否定モダリティ」という枠組みを記述したものが見当たらないことである。つまり、二重否定表現を新しいモダリティ表現とカテゴライズしてよいかどうかという問題である。一つ目の問題に対しては、筆者は持論がある。次節でそれを説明したいと思う。二つ目の問題に対しては、本節で先行研究を丁寧に辿っていきながら、二重否定表現を新しいモダリティ表現として確立するための論を尽くすことに努めなければならないと考える。しかしながら、すでに山岡政紀編（2019:54）には、現状の構文論で、モダリティ形式とみとめられていないものに二重否定が明記されている。配慮表現の分類上は、文末表現の下位分類の1つに分類されており、配慮機能は、緩和表現の侵害抑制に属するとの記述があることから、二重否定表現を新しい一つのモダリティのカテゴリーとして言及し、確立することが希求されていると思わざるを得ない。

#### 2.1.6. 二重否定における命題とモダリティの捉え方

陶、林の両研究を検証してみると、両者とも何をもって二重否定と認定するか



狭いものと広すぎるものがあると言わざるを得ない。その一つの原因として、否定そのものが何を指すかという議論は必然になる。そしてもう一つの問題は、否定それ自体が命題の側の否定であるのか、モダリティ側の否定なのかという境界の問題である。その座標軸となる理論の一つに、山田（1990）を示したい。山田は、モダリティの否定について次のように述べている。

モダリティの否定にも、構造上の否定と語義上の否定がある。ここで語義上の否定と呼ぶものは、形の上から否定であることがはっきりしているものをいい、語義として否定的な意味を示す言葉をいう。さらに、構造上の否定にも、統語論的構造と語用論的構造のそれぞれの否定が考えられる。統語論的否定としては、全文否定、部分否定、疑問文であることからくる否定のフィールドのほかに、否定対極表現 (negative polarity) <sup>(1)</sup> によって引き起こされる否定の極性の問題も取り扱わねばならない。語義上の否定とは、構造上は否定ではないが、疑わしい、疑う、自問する、あやしい等、語義が否定的内容であるものをさす。語用論的否定は発話状況、発話背景、話者の態度からくる否定である。したがって、この場合には、同一内容の文が背景によって肯定内容を伝えたり、否定内容を伝えたりする。

以上のような山田の主張を整理すれば、構造上の否定はこれまでも先行研究において、林や陶が着目してきた二重否定を認定するのが妥当であろう。しかしながら語義上の否定に関しては、先行研究においてわずかに言及しているものがある一方で、その具体例を詳細に記したものは見当たらない。ましてや二重否定においては当然のごとく言及されていない。そこで、本論文では二重否定と認定する否定を、否定辞以外の否定意味の語彙まで拡張するものの、あくまでもモダリティ要素内で機能するものに限定する立場を取るのが妥当だとしたい。つまり命題の側のみで機能するものは本研究においては二重否定から除外する。ここまで論じてきた二重否定はあくまでも肯定のモダリティとして機能する二重否定であるのに対し、例えば「嫌いじゃない」を「好きだ」の二重否定と解釈するのは命題内容側の極性とモダリティの極性を混同したものであり、二重否定の概念を拡張しすぎと言わざるを得ない。また、「嫌い」の中に「好き」の否定が含まれているとするなら、「好き」と「嫌い」は形式上対等なので、「好き」の中にも「嫌い」の否定が含まれることにな

---

<sup>(1)</sup> 山田（1990:135）には、否定対極表現 (negative polarity) とは、文の極性が否定に定められていて、否定表現を機械的に肯定表現に置き換えようとする、容認不可能な表現となってしまうようなものを言う。例としては「ちがない」を「ちがある」としたり、「来そうもない」を「来そうもある」とはできないなど。

り、「好きじゃない」も「嫌いだ」の二重否定となってしまう。極論すればあらゆる命題の極性を二重否定の要素として見なせることになってしまうからである。繰り返しになるが、前述した「違いない」について言うならば、「違いない」はモダリティ側で肯定極性を示す二重否定であるが、「違わない」は「違う」の中に否定が含まれているもので、二重否定ではないとの結論になるだろう。ここまで論じてきて、本論文の研究の動機が文法論的な研究よりも語用論的なカテゴリーからの掘り下げを目的とするものであると改めて確認する結果にもなった。以上、本節において、二重否定の否定が何を指すかという結論は出し得たと考える。次節においてはもう一つの問題である、二重否定モダリティを認定する問題について先行研究をたどっていきながら、結論を導き出したいと考える。

#### 2.1.7. 日本語のモダリティの先行研究

従来の日本語モダリティをめぐる研究は、とりわけ構文論や意味論の分野で文法的研究がなされてきた。その発端は、「文として述べる（陳述する）とはどのようなことか」を追求した「陳述論」にある。山田（1908）は、文成立の契機を主語と述語の結合と捉え、その機能が述語にあるとした。このような結合作用を山田は統覚作用と呼んでいる。しかし欧米の言語と比べ、日本語は主語を形態論的、統語論的に明確に位置付けができないこともあり、これ以後、日本語においては助動詞などの述語形態について主に議論されてきた。金田一（1958）は、「う」「だろう」などの主体的把握の助動詞は普遍化であるということに着目して、文の最終位置、つまり文としての自立、という図式を考えた。こうした現象の捉え方がもとになって、言語における話し手の主体的把握が、文の自立性、特立性の要素であるという議論が立ち上がった。さらに議論を経て、渡辺（1971）は、「思想や事柄の内容を外形化して整える」という「叙述内容の統合」（陳述機能）と、「叙述内容に対する言語主体の関係構成」という「話し手の把握」（陳述機能）という2要素から「文」が成立する要件を整理した。これにより、文は述べる内容（事態の統合と話しての把握による陳述の完成（モダリティ）によって成立する、といった基本的な枠組みが出来上がったのである。この陳述機能の議論は、助動詞を一つの主軸にしながら、文の意味構造を分析し、整理されていった。さらに終助詞も含めて議論されるようになり、中でも芳賀（1954）は、「雨が降るだろうね。」のような文の、「だろう」は文の内容に対しての捉え方を表し、「ね」は、聞き手への捉え方、すなわち「伝達」を表すとした。つまり、「話し手の捉え方」にあたる部分が、話し手の内容把握という側面と、聞き手への伝達という側面として分離され

ることになったのである。寺村（1985）では推量の助動詞、「たぶん」などの陳述の副詞や、「こそ」などの取り立て詞を「対事的ムード」と呼び、一方で、終助詞や動詞の命令形や意向形や敬語表現を「対人的ムード」と呼んだ。そして寺村（1992）の、モダリティは命題に対する話し手の判断のあり方を表すものというのが共通認識と考えられるようになった。これ以後、日本語の研究者達の間では、ムードは形式的研究で、モダリティは、意味論的研究分野であるとの共通の見解が広がった。宮崎ほか（2002）には、次のようなモダリティの規定がある。「文は、客観的な事柄内容である「命題」と話し手の発話時現在の心的態度（命題に対する捉え方や伝達態度）である「モダリティ」からなり、モダリティが命題を包み込むような形で階層構造化されている。」このように、モダリティを命題の対立概念として話し手の心的態度と規定する立場に立つ研究者の代表として仁田義雄・益岡隆志らがいる。益岡（1991）は、モダリティを「対命題態度のモダリティ」「表現・伝達態度のモダリティ」のように区別して称し、仁田（2009）は「言表事態めあてのモダリティ」「発話・伝達のモダリティ」の二分法を称している。また、後者には「ていねいさのモダリティ」を加えている。このように、文の意味が命題とモダリティからなるとする立場のモダリティ論が主流になっていったことで、必然的に命題以外はすべてモダリティだということになり、様々な質的に異なる要素もモダリティ論に組み込まれてしまったと言わざるを得ない。それゆえ後の日本語モダリティ研究が、研究者の間においてモダリティの詳細な下位分類や階層化に主眼がおかれることに繋がっていったと考えられる。例えば、日本語記述文法研究会（2003）、益岡（2007）、モダリティの意味的カテゴリーを扱った澤田（2006）など、現在の日本語文法研究者の見解としての下位分類や細かい規定は個々に分かれている。近年早川（2012）のようにモダリティはすべて主観的な判断であるとする研究もあり、話し手が聞き手に主観的判断をどう伝えるかを明らかにする材料として、ポライトネスや配慮表現の領域からの研究も発展している。しかし、形式と文法的意味の対応関係としてモダリティを見ることよりも、あくまでも文の意味の一側面としてモダリティを見る意味論的指向性の強いモダリティ論を展開したのが中右である。中右（1994）は、発話時現在の話し手の心的態度という意味上の規定に適うものを表現形式の範疇に関わらず網羅しようとした。

## 2.2. 二重否定モダリティの区分

さて前節で日本語のモダリティ研究について概観してきたが、その要点をまとめると日

本語のモダリティ研究は大きく二分することができる。

1、「命題」に対する話し手の心的態度のモダリティ

ex. あの男が犯人だろう

2、聞き手に対する話者の発話・伝達のモダリティ

ex. 今からすぐにそちらに向かいます。

一つ目は、1の例のような「～だろう」は推量を表す助動詞であり、命題「あの男が犯人だ」に対する話者の心的態度が「～だろう」というモダリティを担う助動詞として機能しているという考え方である。これが第1のモダリティである。そして2の例文は、例えば急な仕事のトラブルの電話を受け、「こちらに来られるか？」との依頼に、「はい」や「行きます」という返事ではなく「すぐに」という副詞と「向かいます」という意志動詞を使用して答える文に表れるモダリティである。これは、話者の「行きます」という意志を聴者に対してどのように示せば、正しく話者の意志が伝達されるかが、発話時の話者の心的態度となって言語表現化されたものであるから、聞き手に対する話者の発話・伝達の第2のモダリティとなるのである。日本語のモダリティ研究は、大要2分されることは間違いないのだが、大切なことはこの両方が発話機能指向の特徴を表しているということである。そして泉原（2007:1128）には、モダリティに関するつぎのような記述がある。

「文は、「叙述内容／言表事象／命題」と「モダリティ／言表態度／陳述」から成り立っているとされているが、モダリティとは以下の例文におけるゴシック体の太字部分を指し、一般的に次のような3つの条件を満たすものと定義されている。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 現在が発話時点、つまり基準時が現在であること</li><li>2. 聞き手を必要とすること</li><li>3. 話し手の心のあり方、つまり気持ちなどを示すこと</li></ol> |
|---|

モダリティとは、〈話し手〉が話しをしているとき、〈聞き手〉に向かって、自分自身の心のあり方を伝達する部分であり、日本語では主に文末に現れる。これに対して叙述内容とは、文からモダリティを除いた部分である。」

泉原のいう叙述内容とは、言い換えれば命題ということになるろう。

ex. あの男が犯人だろう

このような文があれば、叙述内容は〈あの男が犯人〉、モダリティが〈だろう〉ということになる。さらに、泉原には未完文という記述がある。

「文の体裁をもちながら、文末にこない「文のなかの文」である。つまり叙述内容はもつ

が、モダリティのない「未完」の文で、典型的なものとして、次の下線部のようなものがある。(略)

a: 明日の朝 8 時に来るように言われました。

b: 電話しておきましたから、もうすぐ来るはずですよ。

泉原の説明に当てはめれば、a の命題が「明日の朝 8 時に来る」で、モダリティが「～ように言われました。」になる。b は、命題が「もうすぐ来る」でモダリティが「～はずですよ」ということだと解釈できる。つまり、命題が未完文の場合にその文末にはモダリティが付加されているということになる。翻って、この日本語の文の特徴は二重否定モダリティをカテゴライズする上で非常に重要な視点を含んでいる。

例えば、次のような文の二重否定があるとする。

1) 例外のない規則は／ない。 \*／は命題とモダリティの境界線を指す。

二重下線部の「ない」は命題内で否定している否定辞であり、下線部はモダリティ内で否定している否定辞である。二重下線部は命題であり、下線部はモダリティである。命題は「例外のない規則」で客観的事象を表している。そしてモダリティ「ない」は、命題に対する話者の心的態度のモダリティと考えられる。したがって1) のような二重否定は、「命題」に対する話し手の心的態度のモダリティということになる。さらに、泉原の解釈を援用するならば、1) の命題は未完文ではない。このような文に付加されるモダリティは、二重否定になっていないことがわかる。

では、次のような文はどうだろう。

2) サービス残業が必然的に行われている／と言わざるを得ない。(報道ニュース 2020/12/25)

二重下線部は命題であるが、その内部に否定辞はない。一方でモダリティ内部に「ざる」と「ない」の否定辞が2つある二重否定である。そしてこのモダリティ内二重否定は、2.1.4でも述べたように、聞き手に対する話者の発話・伝達のモダリティであり、モダリティの側に二重否定の構造がある。そして、泉原のいう未完文が、命題の部分に差し込まれていることがわかる。文末に付加された「～と言わざるを得ない」というモダリティが二重否定になっていることは自明である。

では、次のような文はどうだろう。

3) 同世代や後輩たちの仕事が、僕より増えていく中で、焦りがまったくなかった／とは言いません。(LEE 2月号 2021 カルチャーナビのインタビュー)

3) の命題は「焦りがまったくなかった」で、泉原の解釈でいう未完文であるが、モダリティが「～とは言いません」であり、これも1)の文と同様、モダリティ内部が二重否定になっていないことが分かる。このような文は、命題部分が偶々否定であっただけだからである。言い換えれば、モダリティの「～とは言いません」が慣習化した二重否定になっていないということになる。したがって本研究で二重否定モダリティと認定するのは、命題が肯定の未完文であり、2)のようにモダリティ内に二重否定構造があり、それが聞き手に対する話者のなんらかの発話意図を伝達する機能があるものということになる。次節で、モダリティ内の否定辞の構造に着目して区別した型を具体例に見ていくことにする。

### 2.3. 二重否定モダリティの種類

上述した二重否定モダリティに当てはまる表現を、具体的に挙げると次のようになる。

I、「ない」(本形容詞、補助形容詞、打消助動詞)や「ず」「ざる」(助動詞)という否定辞が二つ重なり、文末成句的に使用される。命題が肯定になっており、「ない<sup>2</sup>系」(否定辞が2つ重なっている)二重否定モダリティが付加されている。その発話機能は、《主張》《助言》で「命題」が話し手の心的態度のモダリティに該当していること、後続する二重否定モダリティが聞き手に対する話者の発話・伝達のモダリティになっており、両方に関与している。

【表1】ない<sup>2</sup>系

	二重否定モダリティ	用例	発話機能
1	～気がしないでもない	相手がコマをおいた瞬間に黙ってプイと立って出て行くというのはあまり見かけないようだ。コマをおいた相手は小バカにされたような <u>気がしないでもない</u> 。事実、津雲はいくらか気をわるくしたのであった。(『桂馬の幻想』坂口安吾)	《主張》
2	～ないとは限らない	事故が起き <u>ないとはかぎらない</u> から、高い山に登る時はしっかり準備をしたほうがいい。(友松ほか(2007))	主張を含む 《助言》
3	～せざるをえない	マリ子：したがってこの写真は、被害者が自ら意図的に偽造したと判断 <u>せざるをえ</u> ません。(「科捜研の女」2012/11/01)	《主張》

他にも、「ない<sup>2</sup>系」(否定辞が2つ重なっている)二重否定モダリティに属する表現と

して、「～なくもない」、「～ないとはいない」、「～ないわけじゃない」「～なくもない」「～ないこともない」「～なければならない」「～なきにしもあらず」「～ずにはVない (ex. 言わずにはいられない)」などがある。

ところで、二重否定モダリティだとカテゴライズするのは、上述した「ない<sup>2</sup>系」(否定辞が2つ重なっている)二重否定モダリティだけで十分であろうか。2.2の2)でみてきたような構造を持っている日本語の表現は、他にも多数存在している。

II、【表2】は、二重否定を構成するモダリティ成分が、否定意味から派生した1つの語彙+1つの否定辞(またはその逆の、1つの否定辞+1つの語彙)が融合して、1つの成句表現のようになっているもの。命題が肯定になっており、「否定意味派生系」二重否定モダリティが付加されている。発話機能として、《主張》になっており、「命題」が話し手の心的態度のモダリティに該当することと、後続する二重否定モダリティが聞き手に対する話者の発話・伝達のモダリティになっており、その両方に関与している。

【表2】否定意味派生系

	二重否定モダリティ	用例	発話機能
4	～ないといったら嘘になる	垣岩令佳選手：(オリンピック準決勝進出を決めて)メダルを意識 <u>しない</u> といったら嘘になるけど、次も全力で戦いたい。(NHK ニュース 2012/7/31)	主張を含む 《感情表出》
5	～差し支えない	実は、この会話を英語に翻訳することは至難の業です。意識をしない限り、不可能と言っても <u>差し支えない</u> でしょう。(『外国人との仕事に悩んだ時読む本』賀川)	《主張》
6	～といっても過言ではない	スタイリスト：今やおしゃれな人はみんな履いている <u>と</u> いっても過言ではない靴下です。(LEE web サイト)	《主張》

他にも「～以外の何者でもない」、「～以外(に)ない」などがある。さらに、否定意味派生系の二重否定モダリティの他にも二重否定モダリティと考えられる表現がある。【表3】を見てほしい。

III、動詞原義に否定の意味があり、その動詞が否定形で使用されることが慣習化した動

詞否定句。それが文末でモダリティとして機能する二重否定表現を「動詞否定句系」二重否定モダリティとする。「動詞否定句系」の二重否定モダリティは、「動詞否定句系」の部分が命題に対する話し手の心的モダリティそのものになっている。

【表3】動詞否定句系

	二重否定モダリティ	用例	発話機能
7	～偽らざる N	しかし現在、この畳をあっさり捨て去った住居づくりが大半です。「もったいない！」が私の <u>偽らざる</u> 心境です。 (『本物の家は「こだわり」がつくる』中村)	《感情表出》
8	～は否めない	国会事故調査委員：(東電は現場より)官邸の指示を優先させてしまったことが、混乱の原因であることは <u>否めない</u> 。(ニュースステーション 2012/7/11)	《主張》
9	～を禁じえない	つい、ここまで書いてしまったものの、思えばどうしてこんなことになったのかと、戸惑いを <u>禁じ得ません</u> 。 (『聞く力』阿川)	《感情表出》
10	～かねない	恋愛に憧れても、もしそのような機会に遭遇すれば、愛という錦の御旗を立てて、いとも簡単に突っ走ってしま <u>いかねなかった</u> と思うのだった。(『彗星物語』宮本)	《主張》
11	～は否定できない	弁護士：検察が虚偽の調査書を作成したことは、(小沢被告の)裁判にある程度影響を与えたことは <u>否定できない</u> 。(NHK ニュース)	《主張》
12	～という他はない	裁判官：新川の交差点で、絶対に停止していないと強調しているのは、ことさら不自然 <u>という他はなく</u> 、被告が運転していたと印象づけるものである。(NHK 特集 保険金詐欺事件の判決 2014/4/24)	《主張》

他にも「～感が否めない」、「～を疑い(え)ない」、「～ことを免れない」、「～ことは避けられない」、「～て止(や)まない」、「～断じてない」などある。

### 2.3.1. 二重否定モダリティの意味の強弱と迂言性

ここでは、二重否定モダリティを構造上から分類した時に、その意味がどのようなようになるかに主眼をおいて検討してみようと思う。



### 2.3.1.1. 婉曲の二重否定モダリティ

否定辞が二つある二重否定の総称として、「ダブル否定辞型」＝「ない<sup>2</sup>系」二重否定モダリティがある。「ダブル否定辞型」＝「ない<sup>2</sup>系」二重否定で、意味が肯定の弱めになる。ここで言う婉曲の意味は、北原編（2010）にある婉曲の意味に準ずる「はっきりとした表現を避けて、遠回しにいう様」という意味で使用する。構文的、語彙的には否定辞「ない」（本形容詞、補助形容詞、打消助動詞）、助動詞の「ず（ぬ）」「ざる」「まい」などがモダリティ内に2つある。これは、一つの述部動詞に対して否定辞が二つある。その意味は、論理的には肯定と等価だが肯定の意味を弱める「～ないでもない」「～ないこともない」などの「婉曲の二重否定」発話機能の《主張》の緩和、消極的《賛同》などの機能がある。なお、二重否定モダリティの発話機能については、3.6.5.でも述べるものとする。

#### 【1】「～ないでも（は）ない」 / 「～なくも（は）ない」

- ① 〈配慮表現〉～ないでも（は）ない 〈配慮表現よみ〉～ないでも（は）ない
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉緩和表現/不一致回避
- ④ 〈原義〉動詞の否定形や形容詞「ない」を受け、そのようなことが全くないわけではなく、それが存在したり、成立することもあるという意味を表す。「言う、考える、思う、認める、感じる、気がする」などの思考や知覚に関わる動詞が用いられた場合は、「なんとなくそんな気がする」といった意味を表す。「～なくもない」「～なくもない」とも言う。（グループジャマシイ:372）  
「X+ない+」（で）は / （で）もない」という「～は」は、二度 X を否定する「超全部否定になったり、部分否定を否定する「部分肯定」になったりするが、後者の「～も」のほうは、曖昧で婉曲的な表現「部分肯定／部分否定」にしかならない。（泉原:1061）
- ⑤ 〈配慮機能〉話者の主張を緩和する。自他の意見の相違を最小限にせよ。（N）
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《賛同》
- ⑦ 〈用例〉1) 黄門：妻を亡くして、酒に溺れるおぬしのその心、分からないでもないが、娘さんの気持ちにそろそろ応えてもいいのでは。（水戸黄門）  
2) 相手がコマをおいた瞬間に黙ってパイと立って出て行くというのはあまり

見かけないようだ。コマをおいた相手は小バカにされたような気がしない  
でもない。事実、津雲はいくらか気をわるくしたのであった。(『桂馬の幻  
想』坂口安吾)

3) 有働アナ：(離婚問題で) 最近では夫が子供をつれて行くケースは増えてい  
るんですか。

弁護士：最近ではそういったケースが増えている言えなくはないと思いま  
す。(NHK『朝イチ』)

## 【2】 「～ないことも(は)ない」

① 〈配慮表現〉～ないことはない／～ないこともない〈配慮表現よみ〉～ないことは  
(も)ない

② 〈形式分類〉文末表現

③ 〈機能分類〉緩和表現/不一致回避

④ 〈原義〉「～ないこともない」は「～」を部分的に否定。もし誘ってくれれば、行か  
ないこともない→行く場合もあるし、行かない場合もある。(泉原:1043)  
相手の発言を受けて、「そのようなことは全くない」と全面的に否定したり、  
「一面ではそうだが 100 パーセンとそうだとおいわけではない」といった  
断定を保留してというような場合に用いる。(グループジャマシイ:369)

1) 「～ないことはない」の形で、「～という可能性があるかもしれない」また  
は「～のように言える面もある」という意味を表す。二重否定を使って  
消極的に肯定する言い方である。

2) 断定を避ける言い方でもある。略「なくもない」と同じように使う。(友  
松ほか:259)

⑤ 〈配慮機能〉話者の主張を緩和する。自他の意見の相違を最小限にせよ。(N)

⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《反論》

⑦ 〈用例〉1) A: 「バースデー」だって。何のお店だろう？

B: 保育所ってことはないか？

A: あっ、この辺(新興住宅街)だから、ないこともないかも。(近所の友  
人の会話)

2) A: 彼女は来ないんじゃないか。

B: 来ないことはないと思う。遅れても必ずくると言っていたから。(グループジャマシイ:369)

【3】「～ないわけでは（じゃ）ない」

- ① 〈配慮表現〉～ないわけではない／～ないわけ（じゃ）ない  
〈配慮表現よみ〉ないわけではない／～ないわけ（じゃ）ない
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉緩和表現/不一致回避
- ④ 〈原義〉「X+ない+」（で）は／（で）もない」という「～は」は、二度Xを否定する「超全部否定になったり、部分否定を否定する「部分肯定」になったりするが、後者の「～も」のほうは、曖昧で婉曲的な表現「部分肯定／部分否定」にしかない。(泉原:1061)  
日本料理は食べないわけではありませんが、家で料理したり、食べにいったりはしませんね。(習慣を表す)「Xない+（の／わけ）+では+ない」は、否定部分「Xない」だけで、名詞に相当すると考えられているので、あとに続く「～の／わけ」があってもなくても、Xには「動詞／形容詞／（状態）名詞」がくる。(泉原:1060)  
ほかに、「～なきにしもあらず」という文語的表現が使われることもある。
- ⑤ 〈配慮機能〉話者の主張を緩和する。自他の意見の相違を最小限にせよ。(N)
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《反論》
- ⑦ 〈用例〉1)その腕の中で眠りたい、子供みたいに。ふと願う日がないわけじゃない。

(Love story 安室奈美恵)

2) 安西：この手の投資話は疑いはつきものですからね。

和枝：先生のこと、信用してないわけではないんです。

安西：いや、信用してないじゃないですか。

(「ごちそうさん」2016/12/13再放送)

3) (プチプラなどという言葉は) 激安などちがって、少しだけお得感があるということがあり、それを誰かと共有したいという気持ちがなきにしもあらずですね。(NHK 朝のニュース)

【4】「～ないものではない（でも）ない」

- ① 〈配慮表現〉～ないものではない〈配慮表現よみ〉ないものではない
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉緩和表現/不一致回避
- ④ 〈原義〉「X+ない+」（で）は／（で）もない」という「～は」は、二度 X を否定する「超全部否定になったり、部分否定を否定する「部分肯定」になったりするが、後者の「～も」のほうは、曖昧で婉曲的な表現「部分肯定／部分否定」にしかならない。（泉原:1061）  
構造的な不景気でも、回復しない+もの+では／でも+ないが、大局的な見地にたった政策を実施してはじめて可能なことだろう。（一般的真理）
- ⑤ 〈配慮機能〉話者の主張を緩和する。自他の意見の相違を最小限にせよ。（N）
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1) 1982年、アメリカの科学アカデミーは「がんは税金みたいに逃れられないものではない」というタイトルで、「がんは、ビタミンA、C、Eをしっかり摂れば、確実に防げる」ことを示し…（『「前兆」に気づけば病気は自分で治せる』石原結實）

【5】「～ないとは限らない（言えない／考えられない／思えない／言い切れない）」

- ① 〈配慮表現〉～ないとは限らない（言えない／考えられない／思えない／言い切れない）〈配慮表現よみ〉ないとはかぎらない／いえない／かんがえられない／おもえない／いいきれない
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉緩和表現/不一致回避
- ④ 〈原義〉「～ないとは限らない」は、「～ということが100%確実なことではない」という意味を表す。何も起こるはずがないと思って安心してないで、何か対策を立てた方がいいということを言うのに使うことが多い。（グループジャマシイ:374）
- ⑤ 〈配慮機能〉話者の主張を緩和する。自他の意見の相違を最小限にせよ。（N）
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《反論》
- ⑦ 〈用例〉1) もう一度、「お金にゃ勝てんもん」という言葉を日本人が、ぽつんとつぶ

やくような時代がこないとは言えないと思います。そういう時期に私たちは、それでも生き残って、生きのびていかなければならない。

(『人生の目的』五木寛之)

2)A: 足袋だけじゃいけませんか?

B: いけないとはいわない。でも…おもしろくない。やっぱり新しい何かに挑戦したいんだよ。(陸王 2017/10/15)

3)勝負というのは一寸先は闇です。どんなことが起きないとも限らない。

(NHK 党首奮戦 2017/10/21)

#### 【6】「～V(せ)ざるを得ない」→「～なければならない」の文語的表現

① 〈配慮表現〉～ざるをえない

② 〈形式分類〉文末表現

③ 〈機能分類〉義務

④ 〈原義〉「X+動詞ない形+ざるを得ない」は、漢文の「不得不～／～<sup>ざる</sup>を得ない」からきているが、文字通りの二重否定。「Xという状況なら、Aをするのは仕方のないことだ」という話し手の判断を表す。「～ざるを得ない」と最も近い位置にあるのは、義務を表す「～ないわけにはいかない」であるが、自分の面子を守るために積極的に、義務 A「返す／助ける」をする話し手の気持ち、あきらめの「～ざるを得ない」に置き換わると、面子などまるで「おかまいなし」に、Aを「いやいやながら／しぶしぶ／消極的に」することになる。(泉原:1091)

⑤ 〈配慮機能〉話者の主張を緩和する。

⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》

⑦ 〈用例〉1) 荒川区中学校校長: (いじめがあったことを認めた上で) 具体的な指導のあり方を反省せざるを得ない。(ニュース 23)

2) マリ子: したがってこの写真は、被害者が自ら意図的に偽造したと判断せざるをえません。(科捜研の女 2012/11/01)

#### 2.3.1.2. 強調の二重否定モダリティ

「ダブル否定辞型」＝「ない<sup>2</sup>系」二重否定で、意味が肯定の強めになる。「必ず」「どう

しても」などの必然の意味や、「～ないものはない」などの無例外性を表す「強調の二重否定」に分けられる。

【7】「～ないN（もの／こと／日）はない」

- ① 〈配慮表現〉なし
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉強調表現
- ④ 〈原義〉【2】と同じ形式であるが、意味は「すべてある」という全部肯定の意味になる。しかし、文によっては、「もともと存在しない」という同語反調の意味になることもある。「～ないことはない」と「～ないこともない」は形式的に近似しているが、「は」「も」の違いで全く違った意味を表すことになる。
- ⑤ 〈配慮機能〉なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《反論》
- ⑦ 〈用例〉1) 博士の彼にとっては知らないことはない。(陶 (1991))  
2) 1000 年の都、京都。この町に観光客が来ない日は一日もない。(捜査地図の女 2012/12/07)

【8】「～ないわけがない」／「～ないはずがない」

- ① 〈配慮表現〉なし
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉強調表現
- ④ 〈原義〉「絶対にある」「絶対～そうなる」の意味を表す。
- ⑤ 〈配慮機能〉なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《反論》
- ⑦ 〈用例〉1) こんな経験をさせてもらって、この町（シアトル）が好きにならないわけ  
がない。(イチロー2000 本安打記念インタビュー2004)  
2) 人類史上でも画期的というべきこの変化が、人々の思考や行動に、さまざまな影響を与えないはずがない。(『ゆとりとはなにか』飯田経夫)

【9】「～ないわけにはいかない」

- ① 〈配慮表現〉 なし
- ② 〈形式分類〉 文末表現
- ③ 〈機能分類〉 当為、義務
- ④ 〈原義〉 「～ないわけにはいかない」は、社会的人間として「道理／倫理／慣習／風習／法律／契約／約束／習慣／義理／人情／社会通念／常識」は守って当然だ」という前提に立ち、だから「～は許容されていない／する義務がある」という意味を表している。(泉原:803)
- ⑤ 〈配慮機能〉 なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉 《主張》
- ⑦ 〈用例〉 1)最後は計算、気配りとは正反対のような壮大、壮絶な戦いを挑んで砕け散ったのがなんとも人間的で、魅力を感じないわけにはいかない。おそらく、三成を最も必要としていた人物は家康で…。(『日本を創った戦略集団』三浦朱門)

【10】「～なし(い)ではいけない」／「～ずにはいけない」

- ① 〈配慮表現〉 なし
- ② 〈形式分類〉 文末表現
- ③ 〈機能分類〉 当然
- ④ 〈原義〉 動詞の否定形に続いて、意志の力では押さえることができないで自然にそうしてしまうという意味を表す。「泣く」「思う」「感動する」など、人間の行為や思考・感情の動きを表す動詞が用いられる。話し手がそれを「もつともだ」と捉えている含みがある。書き言葉では「～せず」にはいけない」ともなる。(グループジャマシイ:371)
  - 1)身体的にがまんできないことを言うとき、または様子や事情を見て、わしゃの心の中に非常に～したいという気持ちが起こり、抑えられない、と言いたいときに使う。
  - 2)話者の気持ちや体感などを表すことばであるから、3人称を使うときには文末に「ようだ・らしい・のだ」をつける必要がある。
  - 3)「ずにはいけない」と意味・用法が同じ。(友松ほか:261)

- ⑤ 〈配慮機能〉なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1) お互いに語り合える夜ということに、感慨を催さずにはいられない。  
2) 英一は露骨な動物愛の表現には目を伏せずにはいられなかった。

### 2.3.2. 一つの否定辞と否定語彙を持つ二重否定モダリティ

否定辞は1つしかないが、否定的語彙が付加されて、成句的に生成される、論理構造的には二重否定と等価の意味をもつ二重否定モダリティ。構造上は、一つの否定辞と一つの否定的語彙（動詞／形容詞／連語等を含む）とが融合した形式。その言い回しは迂言的である。ここでいう迂言的とは、修辞学でいう迂言法<sup>(2)</sup>の簡素な固有の言い回しがあるのにわざわざ回りくどい言い方をするという意味で、構造上も、意味上も回りくどいという意味で、この言葉を使用することとした。

#### 2.3.2.1. 消極的肯定の迂言的二重否定モダリティ

一つの否定辞と否定語彙を持つ二重否定の中で、意味的にも、形式的にも、語彙的にも回りくどい二重否定の総称で、話者の主張は、命題部分で完結しているのに、わざわざ付加されるという特徴がある。成句的表現形式になっている。意味は消極的肯定であり、《主張》《賛同》《反論》《賞賛》の発話機能がある。

#### 【1】「～ないといったら嘘になる」

- ① 〈配慮表現〉～ないといったら嘘になる〈配慮表現よみ〉～ないといったらうそになる
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉主張の緩和、不一致回避
- ④ 〈原義〉「嘘」とは、事実ではないこと（明鏡:160）にあるように、「事実である」ことを否定することである。「Xでないといったら」＝「Yといったら」、「嘘」＝「事実でない」というある種の二重否定。
- ⑤ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張緩和 自他の意見の相違を最小限にせよ。  
(N)
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《感情表出》

<sup>(2)</sup> 「迂言法」の記述は野内（1998:47）より、引用した。



- ⑦ 〈用例〉 1) 垣岩令佳選手：(オリンピック準決勝進出を決めて) メダルを意識しない  
といたら嘘になるけど、次も全力で戦いたい。(NHK ニュース)
- 2) 支店長夫人に取り入ろうなんて、別に私はそういう気持ちはないって言  
ったら嘘になるっていうか… (半沢直樹 2014/01/14)

## 【2】 「～しかねない」<sup>(4)</sup>

- ① 〈配慮表現〉 ～しかねない 〈配慮表現よみ〉 ～しかねない
- ② 〈形式分類〉 文末表現
- ③ 〈機能分類〉 主張の緩和
- ④ 〈原義〉 話者が結果や成り行きを危惧して、「～という悪い結果になる可能性がある」と言いたいときに使う。(友松ほか:55)
- ⑤ 〈配慮機能〉 文末に付加された話者の主張緩和 自他の意見の相違を最小限にせよ。(N)
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉 《主張》
- ⑦ 〈用例〉 1) 菅首相と玄葉国家戦略担当相が、昨年衆院選マニフェストに対する認識で  
 食い違いを見せ閣内不一致を問われかねない。(読売新聞)
- 2) 私：(歯の治療は) 1時間くらいで終わりますか。  
 受付：(混んでいて) 1時間以上お待たせしかねないので、念のため2時間は見て  
 いただければと思います。(歯科受付と筆者が電話で 2012/11/14)

## 【3】 「～て差し支えない」

- ① 〈配慮表現〉 ～て差し支えない 〈配慮表現よみ〉 ～てさしつかえない
- ② 〈形式分類〉 文末表現/ 前置き表現
- ③ 〈機能分類〉 主張の緩和
- ④ 〈原義〉 「支障がない」「かまわない」という意味。(グループジャマシイ:127)
- ⑤ 〈配慮機能〉 文末に付加された話者の主張緩和。 自他の意見の相違を最小限にせよ。  
 (N)
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉 《主張》
- ⑦ 〈用例〉 1) とね:徴用は強制ですか。

<sup>(4)</sup> 森山(2002)は、広く「可能性」の表現として「～かねない」、「あり得る」「可能性がある」などの表現を迂言的表現という言葉で記述している。

少尉: まあ、強制とを考えてもらって差し支えない。(滯つくし第 150 話)

2) さて、元に話を戻すと、美術・博物館の大多数は公私の公益法人と考えて差し支えない。公的なものの代表例は、世田谷美術館である。(『美術経済白書』瀬木慎一)

#### 【4】「～偽らざる N (だ)」

- ① 〈配慮表現〉～偽らざる N～〈配慮表現よみ〉～いつわらざる N
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉主張の緩和
- ④ 〈原義〉「偽る」は、自分の真実の心に反することを。自分に嘘を言う。(明鏡:123)  
「偽らざる」は、自分の真実の心、嘘のないこと。
- ⑤ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張緩和
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《感情表出》
- ⑦ 〈用例〉1) しかし現在、この畳をあっさり捨て去った住居づくりが大半です。「もったいない！」が私の偽らざる心境です。(『本物の家は「こだわり」がつくる』中村昌平)  
2) 大吉: 今更、ゴーストバスターズも知らねえ若い娘っこと一からやるのはめんどくせえ。  
鈴鹿: さすがにそれは、安部ちゃんに失礼だと思う。  
大吉: んだ。でも、それが偽らざる気持ち。好きでも嫌いでもねえ。(あまちゃん 2013/09/24)

#### 【5】「～を免れない」

- ① 〈配慮表現〉～を免れない～〈配慮表現よみ〉～をまぬがれない～
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉主張の緩和
- ④ 〈原義〉好ましくない事態や災難から逃れられない。
- ⑤ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張緩和
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1) ハイジャックの判断をあやまれば、致命的な非難を免れない。

(アナザーストーリーズ 2017/10/24)

2) このままだと、必ず視力低下は免れないと思いますよ。早期に病院での診断などをオススメ致します。(Yahoo! 知恵袋 2005/01/20)

【6】「～は避けられない」

- ① 〈配慮表現〉～は避けられない〈配慮表現よみ〉～はさけられない～
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉主張の緩和
- ④ 〈原義〉「避ける」＝(1)事前に手を打って、危険や混乱などの不都合がおこらないようにする。回避する。(2)混乱、摩擦などを防ぐために、都合の悪い行動を控える。(明鏡:671) 以上の原義を否定する意味だと解釈できる。
- ⑤ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張緩和
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1)これを撤回するにあたっては、消費税問題に六月までに決着をつけることが前提となっており、再び衝突は避けられない。ならば、早めに勝負して(辞任して)、連立の組み替えをしたほうがよいと考えたのである(『連立政権』草野厚)

【7】「～は否定できない」

- ① 〈配慮表現〉～は否定できない〈配慮表現よみ〉～はひていできない～
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉主張の緩和
- ④ 〈原義〉「否定」＝事実に反するとして、その言葉を打ち消すこと。(明鏡:1474) よって、「否定できない」は何らかの事実を打ち消すことができないという意味になる。
- ⑤ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張緩和
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1)弁護士：検察が虚偽の調査書を作成したことは、(小沢被告の)裁判にある程度影響を与えたことは否定できない。(NHK ニュース)  
2)刑事：申し上げにくいのですが、住民の誰かが犯人であるという可能性も否定できません。(東京スカレット NS 係 2014/07/20)

【8】「～は否めない」

- ④ 〈配慮表現〉～は否めない〈配慮表現よみ〉～はいなめない～

- ⑤ 〈形式分類〉文末表現
- ⑥ 〈機能分類〉主張の緩和
- ④ 〈原義〉「否む」＝そうではないという。否定する。(明鏡:126) よって、「否めない」は、否定できないの意味になる。
- ⑤ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張緩和
- ⑦ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1) 国会事故調査委員：(東電は現場より) 官邸の指示を優先させてしまったことが、混乱の原因であることは否めない。(ニュースステーション)
- 2) 一方のゼンショーは、低価格路線からの変換を行い、値上げを行ったのは8月になってからと、競合2社に比べて対応が遅れたことは否めない。(yahoo ニュース 2014/11/19)

#### 2.3.2.2. 積極的肯定の迂言的二重否定モダリティ

一つの否定辞と否定語彙を持つ二重否定の定義に沿って成立しており、一語の固まりとしてのまとまりが強い。このような語の総称を強調の二重否定とする。意味は積極的肯定の度合いが強くなる。

#### 【9】 「～に他ならない／外ならない」連語

- ① 〈配慮表現〉なし
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉断言／主張の強調
- ④ 〈原義〉「XはYにほかならない」の形で使われて、「Xそれいがいのものではなくて、まさにYである」「XはY以外のなにものでもない」という意味を表す。(グループジャマシイ:525)、「絶対に～だ・～以外のものではない」と断定でひたときの言い方。評論文などに使われる書き言葉。(友松ほか:317)
- ⑤ 〈配慮機能〉なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1) (ダウタウンの) 二人がここまでのぼりつめることができたのは、NSCを設立した主旨、この学校の生徒は漫才や落語など、既成の笑いをやってはいけない。我々は新しい世界を切り拓くタレントを育てるのだ」という

「既成のお笑いの否定」…この厳しい訓示を、頑に守ってきたからに他ならない。(『ダウンタウン浜ちゃん松ちゃんごっつうええ話』大阪ダウンタウン研究会)

2)被告人は中学卒業後、学校が勧める就職先には向かわずにいました。推測の域をでないのは、被告人が黙秘を続けているからに他なりません。(疑惑 2016/11/12)

【10】 「～ほか(は)ない」

- ① 〈配慮表現〉なし
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉限定の強調
- ④ 〈原義〉(動詞の連体形、格助詞「より」などを受けて、下に否定の表現を伴って)それ以外(以上)はすべて否定し、それだけだとそれを強く限定する意を表す。(明鏡:1602)ほかに方法がない、しかたがないからそうする、とあきらめの気持ちでいうときの表現。(友松ほか:357)

「望ましくはないが他に方法がないのでやむをえない」という意味を表す。書き言葉的で、他に「～ほかすべがない」「～しか手がない」などもある。(グループジャマシイ:524)

- ⑤ 〈配慮機能〉なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1)自分の口を封じる方法はただひとつ。自ら命を断つほかはない。しかし、下田には、自分で自分の命を断てる自信もなかった。(『野望戦略』豊田行二)  
2)都民の皆様の疑念を払拭できず、自ら都知事の職を退くよりほかはありません。(猪瀬前都知事辞職会見 2013/12/19)

【11】 「～に違いない」名詞+形容詞

- ① 〈配慮表現〉なし
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉確信的推量
- ④ 〈原義〉1)「きっと～と思う」という話者の確信を述べる推量の表現。「だぶん～だろう」より確信の程度が強い。

2) その確信を特に強調するとき以外に使うと不自然になる。

3) 「～にそういない」より口語的。(友松ほか:311)

⑤ 〈配慮機能〉なし

⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》

⑦ 〈用例〉1) このように、若い世代ほど負担が重くなるとすれば、さまざまな制度やシステムは持続可能性を失って、早晚行き詰まってしまうにちがいない。(毎日新聞)

2) フェイク動画は、影山を苦しめたことに違いない。でも、あれは一時災害だったんだ。(三年A組今からみなさんは人質です 最終回)

### 【12】 「～は(で/に)間違いない」名詞+形容詞

① 〈配慮表現〉なし

② 〈形式分類〉文末表現

③ 〈機能分類〉確実性の高い推量

④ 〈原義〉物事の予測や判断が確実である。確かだ。

⑤ 〈配慮機能〉なし

⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》

⑦ 〈用例〉1) 「あそこ。ほら、あの映画館の向こうの角。ああ、見えなくなっちゃったあ！とっても背の高い人だった。それに少し猫背なところは、あれは曾根画伯よ。絶対にまちがいないわ！」

「曾根さんが？まさか…。あの画伯がこの昼日中にこんな所へ来るわけがないよ」(『ヴェルレーヌ詩集殺人事件』新谷識)

2) 探し続けた船長の顔。手がかりの画像とよく似ていて、同一人物に間違いない。(アリガトウ JAPAN 助けてくれた日本人を探して 2020/03/26)

### 【13】 「～以外(に)ない」

① 〈配慮表現〉なし

② 〈形式分類〉文末表現

③ 〈機能分類〉唯一性の強調

④ 〈原義〉「以外」＝(体言などについて)それを除いた、ほかの意味を表す。(明

鏡：82) よ

って、「以外ない」はほかにはない、それだけであるの意味になる。「X がいかに Y ない」の形で、「Y であるのは X だけだ」という意味を表す。(グループジャマシイ：22)

⑤ 〈配慮機能〉なし

⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》

⑦ 〈用例〉1) 七%の経済成長をもし求めるとするならば、大臣がおっしゃったように、どうしたって国内の消費の拡大ですよ。同時に公共事業の拡大です。これ以外ないのです。恐らくこの推定は私どもと大臣ともそう変わらないと思うのです。(国会会議録 第 84 回国会 1978 年)

### 【15】「～と言ってはばからない」

① 〈配慮表現〉なし

② 〈形式分類〉文末表現

③ 〈機能分類〉強調

④ 〈原義〉「はばかり」＝さしさわりがあるとしてつつしむ。遠慮する。(明鏡：1422)  
よって、「はばからない」はさしさわりがない、遠慮しないの意味。

⑤ 〈配慮機能〉なし

⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》

⑦ 〈用例〉1) 高名な作家たちも、孫に目がなく、「趣味は孫です」といってはばからない。  
(『女 60 代輝いて生きる』下重暁子)

### 【16】「～N を禁じ得ない」連語

① 〈配慮表現〉なし

② 〈形式分類〉文末表現

③ 〈機能分類〉強調

④ 〈原義〉ある状況に対して、怒りや同情などの感情を感じないではいけないという意味を表す。抑えようとしてもそのような感情をもってしまうというときに使う。かたい書き言葉。(グループジャマシイ：648)

ものごとの様子や事情を見て、心の中から自然にそのような気持ちが起こってきて意志の力では「抑えることができない」と言いたいときに使う。「同情、怒り、笑い」などの言葉につく。(友松ほか：422)

- ⑤ 〈配慮機能〉なし
- ⑥ 〈文脈・発話機能〉《主張》《感情表出》
- ⑦ 〈用例〉1) つい、ここまで書いてしまったものの、思えばどうしてこんなことになったのかと、戸惑いを禁じ得ません。(『聞く力』阿川佐和子)
- 2) 安倍総理の靖国参拝に、韓国は憤慨と怒りを禁じ得ない。(サンデーモーニング 2013/12/29)

【16】「～といっても過言ではない」

- ① 〈配慮表現〉～といっても過言ではない〈配慮表現よみ〉～といってもかごんではない
- ② 〈形式分類〉文末表現
- ③ 〈機能分類〉主張の強調、緩和<sup>(3)</sup>、不一致回避
- ④ 〈原義〉「そのように述べることもおおげさではない」という意味。主張を強くのべるのに用いる。かたい書き言葉で「言い過ぎ」のかわりに過言が用いられることがある。(グループジャマシイ:308)
- ④ 〈配慮機能〉文末に付加された話者の主張を婉曲的に緩和。自他の意見の相違を最小限にせよ。(N)
- ⑤ 〈文脈・発話機能〉《主張》
- ⑦ 〈用例〉1) ファッションスタイリスト:今やおしゃれな人はみんな履いているといっても過言ではない靴下 (LEE web サイト記述より)
- 2) 食事は体を作る基本です。何を食べたかによって、どのような体になるかが決まると言っても過言ではありません。(コラム食と予防医学)

2.4. 新しい二重否定の定義のまとめ

新しい二重否定を定義するにあたり、二重否定の表す意味を陶 (1991) が、「強い語気の肯定」「婉曲の是認」としたことや、林 (2005) が「強調」「曖昧・婉曲」としてきたことから分かるように、日本語の二重否定の意味は概ね「強意 (強調)」と「婉曲」の二種

(3) 「～といっても過言ではない」の機能が主張の強調、緩和と矛盾した両極の機能をもっていると記した理由は、命題内容によって「～といっても過言ではない」を使用する発話者の意図が異なるためである。詳細は第3章 3.3.9.1 を参照のこと。



類に大別できるというのが通説になっている。筆者もこれに異論はないのだが、前項でも説明してきたように、日本語の二重否定には実に多様な表現群が存在しており、各表現は単に極性を強めたり弱めたりするだけではない固有の意味を持っていることは主張してきた通りである。さらに、本章を通してどのような表現が、日本語の二重否定モダリティ表現だとカテゴライズしていいかという問題にもそろそろ結論的な方向性を見出さなければならない。特に、否定辞を1つしか持たない、否定意味の語彙まで考慮に入れて二重否定表現を考えた場合、「～といっても過言ではない」のように否定辞を1つしか持たない表現も「二重否定」の一種だと認定する必然性が出てくるのである。しかし、このような必然性が出てくるのは、2.2. 2) の例文のような外部二重否定になっている場合のみだと限定する必要がある。そうしなければ、「少なくない」のような実質語の対義を意味するような表現も、内部二重否定の一種として二重否定扱いしなければならなくなるからである。また、外部二重否定は、その全ての部分がモダリティに含まれており、機能語として成句になっているものばかりである。したがって、新しくカテゴライズする必然性があるとも言える。このような表現を、そもそもモダリティとして扱っている論考は、管見の限り見当たらず、そのことを持ってしても、新しいカテゴリーとして論じる必要があると筆者は考えている。既存の二種のどちらのモダリティでもない、「第3のモダリティ」とでもカテゴライズするしかないモダリティが、ここで述べてきた二重否定モダリティということになるろうかと思う。

以上を踏まえて本論文では、「二重否定モダリティ」を以下のように定義する。

- 1) 命題の述語に下接するモダリティの中に二つの否定要素が用いられるもの。
- 2) 二つの否定要素は、二つの否定辞、または一つの否定辞と否定意味の語彙であるものであり、日本語表現群として成句的なものも含める。その使用が慣習化されているもの。
- 3) 命題に対して肯定の極性を付与し、そこに「強意」「婉曲」の意味、さらに各表現に特徴的な固有の意味を付加するもの。

## 二重否定モダリティの表現群の例

日本語の二重否定モダリティ(モダリティ内二重否定)

否定辞1つ+否定意味の語彙型

(連語・形容詞等も含む)

迂言的<sup>2</sup>二重否

強調

迂言性を含む

～に他ならない  
 ～(の)ほかはない  
 ～に違いない  
 ～に相違ない  
 ～ことは間違いない  
 ～以外(に)ない  
 ～ことは疑いない  
 ～を怠らない  
 ～て憚らない  
 ～て止(や)まない  
 ～を禁じえない  
 ～以外の何者でもない

～といっても過言ではない  
 ～ないといったら嘘になる  
 ～ても差し支えない  
 ～否定できない  
 ～否めない  
 ～(し)かねない  
 ～を免れない  
 ～は避けられない  
 ～偽らざるNだ

否定辞2つのない<sup>2</sup>型

強調

婉曲

～ないわけがない  
 ～ないはずがない  
 ～なければならない  
 ～ないわけにはいかない  
 ～なしでは～(でき)ない  
 ～ないもの(人)は(い)ない  
 ～ず(ない)にはいられない  
 ～ずにはおかない  
 ～ずにはすまない

～ないでもない  
 ～なくも(は)ない  
 \*～ないことも(は)ない  
 ～なきにしもあらず  
 (～ないわけじゃない)  
 ～ないものではない  
 ～ないとは～Vない  
 ～ないとも限らない  
 ～V(せ)ざるをえない

### 第3章 日本語の二重否定の語用論～コミュニケーション上の役割

#### 3.1. 「～気がしないでもない」のメカニズム

##### 3.1.1. はじめに

「～ないでもない」のような表現は、日本語独特のもって回った言い方でもあり、日本語学習者が対人的コミュニケーションスキルを習得する場合に、発話者の配慮的意図、曖昧性が理解できず、Dyscommunication（コミュニケーション不全）を引き起こす可能性が含まれていると考える。笹川（1996）は、日本文化が「ほのめかし」を好む傾向があることを指摘した上で、日本語の曖昧性について言及している。森田（1995）は、「二重否定に見られる内部心理の屈折、本心のカモフラージュ」を「外」に対する「内」のささやかな抵抗の表れと述べている。大堀（2010）では、日本語の二重否定型表現「～ないでもない」のうち、「～気がしないでもない」のような表現を取り上げ、文形式や共起しやすい表現など統語論的な面からの分析をした上で、語用論的な対人機能分析や、配慮表現分析を行った。その中で発話者が「主張・判断・評価・反論・不満表明」といった発話行為を行う際、B&L（1987）の Politeness 理論でいうところの、Positive politeness「自分を認めてほしい、他人に好かれたい」という欲求が働き、発話者の Positive face を保持すると同時に、情報の受け手の Negative politeness「他者から自己の行動を侵害されたくない」にも配慮した、negative face を保持する働きがあると指摘した。また、《主張》<sup>(6)</sup>における文末の「～気がしないでもない」は対人的コミュニケーションを円滑にするための、「断定緩和機能」があることも指摘した。

しかし、すべての「～気がしないでもない」が、「主張・判断・評価・反論・不満表明」の緩和機能を持っているわけではなく、どのような発話状況（発話者が誰か、話題、情報の受け手が誰かなど）により対人的配慮表現となりうるのか、そのメカニズムは未解明な部分が多い。（表Iに大堀（2010）の「～気がしないでもない」の配慮表現分析表を示す。）

本研究では、発話者の情報の受け手に対する配慮が表れると考えられる《主張》《反論》という発話行為にフォーカスを当て、「～気がしないでもない」がもつ配慮表現のメカニズムと、発話される語用論的意図（何を意図しようとしているか）をより明らかにしたい。

(6) 本稿では、山岡（2008b）の発話機能の表示に《 》を用いていることを援用し、発話機能を表す《主張》《反論》という意味でこの記号を付加した。

表 I 【「～気がしないでもない」が配慮表現となる場合】大堀（2010）より一部修正して使用

配慮表現の「～気がしないでもない」	
発話行為	成立条件
i主張	・発話者が公的立場・(社会的)影響力がある主張
ii判断	・発話者自身、または対象人事物へのマイナス判断
iii評価	・対象人事物への評価
iv反論	・発話者(主張者)への聴者の反論
v不満表明	・他者の行為に対しての不満 ・悪い結果の原因への不満

### 3.1.2. 二重否定表現の先行研究

#### 3.1.2.1. 文法的な二重否定「～ないでもない」の先行研究

本研究はあくまで語用論的側面から「～気がしないでもない」の対人的機能を分析するものであるが、「～気がしないでもない」の文法的形式上の位置づけを確認するためにも、「～ないでもない」の先行研究を簡単に見ておくことにする。二重否定を文法的に取り上げた先行研究の中で、「～ないでもない」に言及しているものは多くはない。松村（1971）には、「～ないでもない」の「～でもない」は、肯定判断「～である」に対する否定形「～でない」に、強意助詞「も」が挿入されたものであると分析され、それはたいてい用言に付くとある。しかし、日本語記述文法研究会（2007）に、二重否定の基本的な述語形式として「なく{は/も}ない」「ないこと{は/も}ない」「ないで{は/も}ない」があげられており、「は」とばかりの「も」が用いられる場合の違いに分析が及んでいる。「～ないでもない」のような文法形式は一つの文末のモダリティに近い、述語形式として分析されている。

#### 3.1.2.2. 意味論的にみた二重否定表現の先行研究

日本語教育の観点から文末の二重否定表現を分析したものに、今田（1990）がある。「～ないわけではない」のような表現を挙げ、「文法的知識があっても日本語学習者を悩ませる表現」と指摘した上で、二重否定は（部分）肯定の意味になるとしている。またモダリテ

イ研究において、日英両語の二重否定の論理を分析した中右（1994b）は、自然言語の心理的側面から二重否定を用いる話者の心的態度研究必要性を論じ、二重否定は「肯定」とは違うということを指摘している。

迂言的表現という観点からは森山（2002）は「～と言えないわけではない」を挙げているのみである。二重否定表現の形式と意味との相関性を分析したものに林（2005）がある。林は二重否定の定義を「前項否定と後項否定が掛け合っている場合を二重否定と判断する」として、近代文学作品の用例をあげ、「～ないでもない」のような表現は、前項否定に助辞「デハ」とか「ハ」を介して、直接後項否定「ナイ」に掛け合っているパターンに該当すると分類している。

日中対照配慮表現の観点からは彭飛（2005）が「～気がしないでもない」のような表現を、「暗示を残し、余韻を含む緩和表現の中の一つ」として、「二重否定型表現」と分類した。発話者が「（それが）あることはある」という幅（ゆとり）を持たせる表現としている。

「～気がしないでもない」を取り上げた分析に、日本記述文法研究会（2003）がある。

(1) そう言えば、さっき見かけたような気がしないでもない。

(1) の例は、思考や感覚が漠然としたものであるときに用いられやすいとしている。また、砂川他（1998）には、「～ないでもない」について次のような説明がなされる。「動詞の否定形や形容詞「ない」を受けて、そのようなことが全くないわけではなく、それが存在したり成立したりすることもあるという意味を表す。「…ないこともない」「…なくもない」とも言う。動詞の否定形を受け、そのような行為、認識が成立することもあるという意味を表す。言う、考える、思う、認める、感じる、気がする」など思考や知覚にかかわる動詞が用いられた場合は、「何となくそんな気がする」といった意味を表す。」とある。また庵他（2001）では、「～ないでもない」は意志、無意志動詞どちらにも使える二重否定、「～ない」を否定し、「～」に近い意味を表すが、「～」とは違う」と説明している。

以上意味論的にみた二重否定表の先行研究を見てきたが、その多くは形式的意味分析にとどまっており、配慮表現の観点からは、かろうじて彭飛（2005）が、発話者の意図に余韻を残す緩和表現（曖昧な意思表示）として位置づけているに過ぎない。したがって、「肯定との違い」や「暗示、余韻」がどのような対人機能を果たしているかについては十分明らかにされているとは言えず、本研究ではその点を明らかにしていきたいと考える。その上で、「～気がしないでもない」の対人的機能を語用論的条件も含めながら限定していき

いと考える。なお、本研究の二重否定表現は、彭飛が挙げた(2)のような「～気がしないでもない」を考察対象とする。

(2) なんだか、できるような気がしないでもない (下線は筆者)

### 3.1.3. 「気がしないでもない」の発話意図

会話の発話意図伝達がスムーズに進むためには、発話参加者が互いに協調し合うことが基本であると、4つの原則を示したのは Grice (1975) である。その中で様態の原則 (the maxim of manner) では、「曖昧な言い方は避けること (Avoid obscurity of expression)」とある。意味論的に見た、二重否定の構造理論からすれば、本来「肯定」の意味を表す「～気がしないでもない」が、単純な「肯定＝～気がする」の意図を表さない。仮に発話者が「～気がする」を意図したくて発話するなら、わざわざ「～気がしないでもない」という、もって回った言い方をなぜ用いるのか疑問が残る。<sup>(7)</sup>では「～気がしないでもない」の発話意図について考える前に、「～気がする」の発話者の意図のついて考えてみよう。「～気がする」の先行研究で発話意図を言及しているものは見当たらなかったが、大塚 (2007) は、「～気がする」文の多機能性を意味論的に分析しつつ、「～気がする」に言及している。「～気がする」は形式上の主語が、事実上述語の一部になっているとした上で、次のような指摘をしている。

(3) その道は狭いような気がする。→#その道は狭い。

(3) の例文は、形容詞文では、「狭い」という断定で真偽判断が決定されているのに対し、「～気がする」を付加することにより、話者の存在が浮かび上がり、真偽判断は保留されている感があるとして、「その道は狭いようだ」に近い意味になるとしている。筆者は「～気がする」は単独で、断定回避の「曖昧さ」を持つ、一種のモダリティ表現だと考える。また、大塚 (2004) は、「～がある」のような文で、

(4) 犯人は女性である可能性がある。

を例文に挙げ、このような文は [[ (主題ハ) 連体修飾節 ] N ] ガアルの構造をしており、意味的には「～可能性がある」は一種のモダリティに相当するとの指摘がある。大塚 (2004) によれば、他に取得するガ格名詞としては、「危険、恐れ、憾み、場合」などがあげられて

---

<sup>(7)</sup> 橋元 (1993) には、グライスの協調の原理はポライトネス理論から見れば、コミュニケーション効率を逸脱しているとの指摘がある。

いるが、この理論は、「～気がする」にも援用可能だと思われる。

(5) 犯人は女性である気がする。

(5)のように「～気がする」は前節全体を受ける機能があり、連体修飾節の一部となり、前に何か節を伴わない「～気がする」は落ち着きが悪い。この場合の「～気がする」は断定を回避した発話者の主観的判断であり、依然として「曖昧さ」は持っていると言える。

では、発話者が「～気がしないでもない」と言う場合の意図は何であろうか。この発話意図の深層にあるものを解明するには、やはり意味論な尺度では限界があるように感じられる。(6)の例文を見てみよう。

(6) (ラジオのパーソナリティーがリスナーに対して)

(インターネット献金について) まだまだ献金問題が多い中、このような制度が始まると混乱を招くような気がしないでもないですね。(8)

この発話をリスナーが聴いた時点を想像してみよう。パーソナリティーは「混乱を招くような気がする」と「主張肯定型」と捉えるリスナーと、「混乱を招くような気がしない」と「主張否定型」と捉えるリスナーが分かれるであろうか。少なくともリスナーが日本語母語話者であるならば、「混乱を招くような気がする」と「主張肯定型」と捉えるであろう。「～気がしないでもない」は、統語論的意味は「～ないでもない」という二重否定を使用しているから「肯定」になり、一方で語用論的にみると「～気がする」という完全肯定の意味ではないことがわかる。そのけっして一筋縄ではいかない言語表現形式に、この技巧が持つ特性が隠れている。「～気がしないでもない」は、一見「あいまいさ」を装いながら、実はその意図するところは、発話者の命題内容に対する主張が表れている表現技巧なのである。「～気がする」が、明確な肯定で断定を回避しているとすれば、「～気がしないでもない」は、一種の心情的断定を回避した複雑な対人的心理が働いている技巧といってもよい。では、発話者が「～気がしないでもない」を発話するとき、そこには決まったメカニズムはないのであろうか。次節では、発話行為の中の《主張》の「～気がしないでもない」を例に、その発話パターンと対人的機能、発話意図の分析を行う。

### 3.1.4. 「気がしないでもない」の分類と主張行為パターン

---

(8) (6)の例文は、筆者がラジオ番組（東京FM）を聴いているときに、パーソナリティーの発話をメモとして残しておいたものである。

「～気がしないでもない」が発話者の《主張》という発話行為に現れる場合、そのパターンはさまざまである。そのパターンの検討に入る前に、いわゆる命題に対する話者の心的態度を表す「～気がしないでもない」を検討しておきたい。次に見る 4.1 の「～気がしないでもない」は、「～かもしれない」「～だろう」といった推量の助動詞によく似た特徴を持っている。大堀（2010）では、主に新聞記事、いくつかのコーパス（用例出典参照）を用いて例文 50 例を採取した。その結果、「～気がしないでもない」の発話行為を以下のように 3 つのパターンに分類した。本研究の立場では、4.1 のような命題に対する話者の心的態度を表す「～気がしないでもない」と、4.2、4.3 のような対人的配慮があると考えられる「～気がしないでもない」を区別する。

### 3.1.4.1. 命題に対する話者の心的態度を表す「気がしないでもない」

#### 【パターン A】

主語：発話者 A

発話行為：発話者の未来の事柄への主観的推量・心情叙述

語用論的条件：発話者 A の自明のことではない

(7) 信一の家へ着いた晩に、信一と兄が何かひそひそ話しあっていたことがあつたけれども…絹子は、自分の前途が薄暗くなつたやうな気がしないでもない。絹子は暫く海の向こふをみつめてゐた。(幸)

(8) なんだからこうして坐っていると、硝子戸の外の暗闇が、急にこっちへ入って来そうな気がしないでもない。(西)

(7) の発話者は「絹子」自身であり、(8) は小説の主人公（西郷）である。これらは、特定の聞き手が想定されておらず、独り言を言っているとも考えられる。これらが発話者の可能性・蓋然性判断を表す「かもしれない」に置き換えてみる。

(7') 絹子は、自分の前途が薄暗くなつたかもしれない。

(8') なんだからこうして坐っていると、硝子戸の外の暗闇が、急にこっちへ入って来るかもしれない。

(7') は発話者の自身の心情を叙述しているし、(8') では発話者の状況推量を叙述して



いるが、両文とも「～かもしれない」では、ともに落ち着きの悪い文になる。その原因は、「～かもしれない」が主観的蓋然性・可能性判断を表す<sup>(9)</sup>のに対して、「～気がしないでもない」は発話者の主観的な判断、心的態度を表すからと考える。したがって、「～かもしれない」のほうが「(命題)である可能性が絶対ないとは言えない」のような可能性に力点を置いた表現になり、(7)(8)のように発話者の心情を漠然と言葉にしたものには不自然となる。(7)(8)を試験的に「(なんとなくそんな)気がする」に置き換えてみるとどうか。

(7') 絹子は、自分の前途が薄暗くなったような気がした。

(8') なんだかこうして坐っていると、硝子戸の外の暗闇が、(なんとなく)急にこっちへ入って来そうな気がする。

第3節で「～気がする」は単独で、断定回避の「曖昧さ」を持つモダリティだと指摘した。そして(7)(8)のような「～気がしないでもない」を用いた文の発話者と、(7')(8')の「～気がする」に置き換えた場合の発話者の意図は同じように思われる。「～気がしないでもない」の文形式特徴の一つとして、大堀(2010)で「なんとなく」「なんだか」といった曖昧な判断を表す副詞的表現と共起しやすい性質があると指摘したが、(7)(8)の命題に対する話者の心的態度を表す文の「～気がしないでもない」は「(なんとなくそんな)気がする」に置き換え可能であることがわかる。(7)(8)のような発話は、発話者の見ている世界を言葉にした、陳述といっても差し支えないもので、発話者が「～気がしないでもない」を用いて、(そのように)思う、考えるという命題内容を表している。しかし、その命題内容は発話者が心の中で思っているようなことに限られ、それを口に出して言ったとしても、特定の聞き手が想定されていないという点で、そこに対人的発話機能は見られないと考える。

### 3.1.4.2 発話者の主観的な主張

#### 【パターンB】

##### ① 主語：発話者A

<sup>(9)</sup> 小野(2009)では、先行研究を踏まえて詳しく分析されているので参照されたい。また、森田(1995)には、「～かもしれない」は、推量表現の中でも一定の条件やそれなりの根拠をもとに、その場合もあるかもしれない可能性として意見を述べる」との指摘もある。森田の分析によれば、「～かもしれない」は「外」の問題に五分五分の確立として個人的な主観をいれ、予想の外れる場合を含みとして残すとある。

発話行為：発話者 A の《主張》

語用論的条件：自明の事柄、または広く一般性のある主張である。

② 主語：発話者 A

発話行為：発話者 A の主観的なその事柄に対する《主張》。 広く一般的性のある主張とは言えない。

語用論的条件：自明の事柄ではない。

\* ①②は、以下の例文の下線部に対応していることを表す。

このタイプの発話は、最初に発話者 A が《主張》を行いう際、メッセージの受け手の negative face を傷つけないように、主張断定緩和を行うものである。以下の例をみてみよう。

(9) 日本でも裁判員の導入に向け議論されている。裁判員の守秘義務や報道規制などをめぐる①課題は多いが、普通感覚の人々が法廷の中に入ると、その内②社会が変わっていくような気がしないでもない。(毎 2003.5.31)

上記下線の①と②の部分が、主語、発話行為、語用論的条件とそれぞれ対応しているとすると、(9) のような発話は、①ですでに自明のこと（または、広く一般性がある）を述べ、②で自明の事柄ではないことに対する発話者 A の主観的主張の断定を緩和している。この主張断定緩和の度合いを「～と思う」と比較してみよう。

(9') 日本でも裁判員の導入に向け議論されている。裁判員の守秘義務や報道規制などをめぐる課題は多いが、普通感覚の人々が法廷の中に入ると、その内社会が変わっていくと思う。

小野（2005）では、「～と思う」は話し手の主観的主張をする際に、聴き手の情報量に配慮した伝達表現であると分析している。新聞の投稿欄に書かれているような情報の受け手が不特定多数の場合、あるいは情報の受け手が、発話者 A の《主張》をどのように受け取るか、またどのような情報を持っているかは不明である場合は不自然に感じられる。「～気がしないでもない」は「～と思う」に比べると、より聞き手の判断を必要としない、つまり聞き手に負担をかけない「～と思う」より一段弱い「主張断定緩和」機能があると考えられる。(9) の主観的な主張は、情報の受け手が不特定多数であること、また情報の受け手が

必ずしも同じ主張を持たないかもしれないと考える発話者 A の配慮が働いている。したがってそこには対人的な配慮が見られる。

(10) (ある歌手が自分の CD セールス告知で) 今回は力を入れて新曲を作りました。① すばらしい CD なんです。みなさん宜しくお願いします。あんまり (自分の) 告知をしすぎると、②皆様からお叱りを受けそうな気がしないでもないので・・・。<sup>(10)</sup>

(10) をコンテキストからみると、①で自画自賛をしたにもかかわらず、②で急に情報の受け手の立場に立って話しているかのような配慮を見せる。発話者 A が、情報の受け手の意向を決め付けること (すばらしい CD であると受け手が思うか) への遠慮が見られる。このような場合の発話者 A の「～気がしないでもない」は、情報の受け手に対して「嫌われたくない、好かれない」という **Positive face** の保持が強く働いていると考える。(10) のような発話が表れるのには、以下の 3 つの語用論的条件がある。

【主張発話行為「気がしないでもない」が配慮表現になる語用論的条件】

- 1、発話者は社会的地位または公的な立場を有する
- 2、受け手は不特定多数の場合の発話
- 3、受け手が発話者の主張を好ましくないと思っている、または受け手を傷つける恐れがある発話

次の発話でも、上記の語用論的条件は観察できる。

(11) (自民党の古賀幹事長は) 衆院解散・総選挙については「年内は難しいという気がしないでもない。」と、年内解散の可能性はほとんどないとの見通しを示した。

(毎 2003.6.15)

与党幹事長の発言は、社会的に首相と同等の影響力を有すものとして考えられ、その後の記者の描写から年内解散はないとの判断が下されていることから、情報の受け手の解釈は決まっている。このような発言は政治家などが好んで発話することが多い点から、発話者の「責任回避」機能を持っていると考える。そして、(10) (11) は「～気がしないでもない」の後ろに、別の発話意図を含意していることが共通している。

(10') 皆様からお叱りを受けそうな気がしないでもないので、(これ以上は言いません。)

⇒ (しかし) CD を買ってください。

\* ( ) 内はいいさし表現の省略部分。

<sup>(10)</sup> (10) の例文は、筆者が実際にある歌手のコンサートに行ったときに、その歌手が発話したものをメモとして残しておいたものである。

(11') 年内は難しいという気がしないでもない。(年内は難しい) ⇒年内解散はしない。

\* ( ) 内は潜在的発話

この潜在している発話を補うことによって、発話者の心的態度がより鮮明に見えてくる。「これ以上言うと支障があるが、CDを買ってほしい。」「(そう)判断すると(立場上)言明できないが、年内解散はしない。」などの発話者の意図があるのが明らかになるからである。突き詰めれば、⇒で示した発話意図=含意部分が、発話者が真に受け手に伝えたいメッセージである。つまり、「～気がしないでもない」を発話者が用いるのは、上述のように情報の受け手の Negative face に配慮している側面と、一方で、発話者自身の「自己の主張を認められたい」との Positive face を保持している表現といえる。(11)

### 3.1.4.3. <<主張>><<反論>><sup>(12)</sup>の「気がしないでもない」

【パターン C】

① 主語：発話者 A

発話行為：発話者 A の《主張》

② 主語：発話者 B

発話行為：発話者 A の主張に対する発話者 B の《明示的反論》/《暗示的反論》

語用論的条件：発話者 A と発話者 B の主張は対立関係にある。

③ 発話意図：相手の主張に対する《暗示的賛同》/《明示的賛同》

(12) 私のジョギング歴は長い。もう 20 数年になる。といっても、最近は長い距離は自信がないし、走るスピードといたら小走り程度のものである。そんな私に、夫いわく。「もうお前、走るとはたいがいにしとかんね」「なんでね。あんたに迷惑かけとうわけじゃなし、“老化は足から”っていうやろが」と反論すると、①「お前の場合、どうも“老化は頭から”やと俺(おれ)はにらんど

(11) Brown&L (1987:62) には、Negative face と Positive face について次のように言及している。

Negative face: the want of every 'competent adult member' that his actions be unimpeded by others.

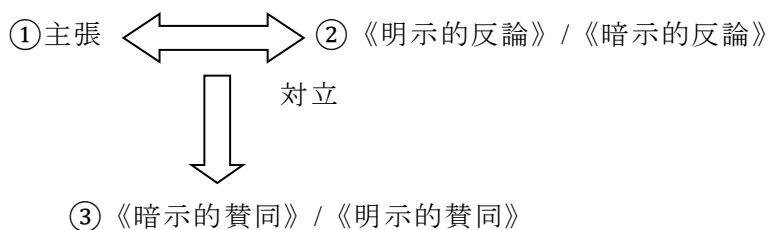
Positive face: the want of every member that his wants be desirable to at least some others.

(12) 《主張》は山岡 (1994)、(2008b:3)、(2010:113) で採用した方式を採用し、発話機能は《 》二重アングルで表記する。

る」。②まったく失礼なことを言う。でも③内心、自分でもそんな気がしないでもない。(毎 2002/11/22)

- (13) 「①自宅の電話番号の載った表を配らないでほしい。」町田市が災害時の緊急連絡網を作ったところ、一部の職員からこんな苦情が出た。職務上必要な書類である。②過剰反応という気がしないでもないが、③個人情報の流出に敏感になるのは私も同じだ。(毎 1999/07/23)

上記の (12) (13) を図にすると以下のようになる。



(12) (13) のような発話では、②《暗示的反論》③《暗示的賛同》の部分に、それぞれ「～気がしないでもない」が表れている。(12) では、発話者 A の《主張》に対し、情報の受け手であった B が、続いて発話者 B になり、A の主張に対し《反論》をしている。しかし、発話者 B は反論した後で、「～気がしないでもない」を発話し、しぶしぶ発話者 A の主張を受け入れているように見える。この発話意図は、B は一旦 A に反論したので、素直に A の主張を認められないが、B 自身の Negative face を侵害されつつも A の主張内容の事実を認めているということである。本節ではこれを《暗示的賛同》と定義する。(13) では、発話者 A の《主張》に対し、情報の受け手 B が《反論》する際に「～気がしないでもない」を発話している。そのあとで、最初の発話者 A の主張に対し、同意しているように見える。本節ではこの反論の「～気がしないでもない」を《暗示的反論》と定義する。「暗示的」と言っているのは、明示的に相対する「ほのめかし」の意図を表す。これにより、《賛同/反論》を明示しない、明示したくないといった発話者の心的態度が浮き彫りになる。この心的態度の分析には、「暗示」すなわち「off record ほのめかし」ということに鍵があると考えられる。次節で、発話者が off record (ほのめかし) を使用する発話意図について論じる。

### 3.1.5. 暗示的一致の「気がしないでもない」の発話意図

off record (ほのめかし) について、B&L (1987) は bald on record (あからさまな発話)

に対立する発話表現として位置づけ、「Invite conversational implicatures（発話意図伝達を暗示的に行う表現）」としている。B&L が挙げている off record のストラテジーの中に、「Strategy7:Use contradictions（矛盾したことを発話する）」というものがある。

(14) A: Are you upset about that?<sup>(13)</sup>

B: well,  $\left\{ \begin{array}{l} \text{yes and no.} \\ \text{I am and I'm not.} \end{array} \right.$

(14) の例文は、コンテキストの中で発話者Bがどちらともつかないことしかを言えなくなり、出現している表現であるが、B&Lは、BがAの発話に対して、自身の発話を調和させようとしているとの解釈ができる。これはコミュニケーション効率の面から見ると、明らかに「質の原則」を侵しているが、滝浦（2008）は、「ほのめかし」は伝達効率の大きな犠牲の上におこなわれるという特徴があると述べた上で、そのリスクを踏まえながらも発話者が使用する動機づけを「フェイス・リスクの回避以外にも、自尊心（「品行」）、責任回避、あるいはレトリック的な発話効果への期待」などが考えられるとしている。また、小泉（2001）には、「off record は一義的に解釈されない。発話内的効力を解釈されない可能性のある言い方」との記述がある。つまり、発話者が自己の主張を否定できる余地があり、言い換えれば、情報の受け手の主張いかんによっては、自己主張を変更できる逃げ道があるということになり、発話者が情報の受け手に対し、FTAを侵す可能性は低くなると考える。

(12) の例文に当てはめて考えてみると、妻の《暗示的賛同》の「～気がしないでもない」の発話意図は、「夫の主張（妻は足ではなく、頭が老化している）に内心賛成しているが、しかしあからさまには認めたくない」というものである。これはB & Lおよび、滝浦が指摘している「矛盾（夫と妻の主張の食い違い）への調和」と「(妻の) 自尊心」への執着、それである。

人は自己の主張が情報の受け手の主張と違っていた場合に、「明示的な反論は、自尊心を傷つけかねない」との心理から行う「暗示的賛同」や、「明示的な反論は情報の受け手の心理的負担になる」ということに配慮して行う「暗示的反論」の中で、「～気がしないでもない」のような二重否定表現を用いて、相手との調和を図ろうとすると考える。このような

<sup>(13)</sup> (14)の例文は、B&L（1987:221）の（49）より借用した。

場合の「気がしないでもない」は、相手と自身の face 侵害をしないように配慮した表現といえる。

### 3.1.6. おわりに

以上、論理的にみると「肯定」の意味になる二重否定表現が、「～気がしないでもない」のような表現では単なる「肯定」の意味ではなくなる。「～気がしないでもない」は、一見「あいまいさ」を装いながら、実はその意図するところは、発話者の命題内容に対する主張が表れている表現技巧であり、「～気がする」が、明確な肯定で断定を回避しているとなれば、「～気がしないでもない」は、一種の心情的断定を回避した複雑な対人的心理が働いている技巧であることを考察してきた。

《主張》においては、発話者は情報の受け手に対して、相手の **Negative face** を傷つけないようにする「主張断定緩和効果」のために用いる一方で、発話者自身の「自己の主張を認められたい」との **Positive face** を保持する配慮表現と考える。主観的な主張については3つの語用論的条件、すなわち発話者が（発話時に）公的立場を有していること、情報の受け手が不特定多数であること、また受け手が必ずしも同じ主張を持たないかもしれないと発話者が考えた場合には配慮表現であると考えられる。また、《主張》《反論》というパターンでは、発話者が「～気がしないでもない」を使用した場合、「気がしないでもない」を用いて、相手との調和を図ろうとすると考える。このような場合の「～気がしないでもない」は、相手と自身の face 侵害をしないように配慮した表現といえる。

今後の課題として、「～気がしないでもない」を通して見た二重否定配慮表現のメカニズムが、他の動詞を用いた「二重否定型表現」でも配慮表現となりうるかや、またその理論の実証となるようなデータ採取しながら、研究を重ねていきたいと考える。このようにして得たデータ、考察が日本語教育の現場において、日本語学習者の習得・理解が難しいとされる「二重否定表現」の深層理解の一助になればと願っている。

### 3.2. 《主張》における迂言的二重否定にみられる配慮表現の研究——「といっても過言ではない」を中心に——

#### 3.2.1. 研究目的

本研究は、話者が《主張》を行う際に、迂言的二重否定によって《主張》を緩和していると思われる発話の研究である。筆者のこれまでの用例検証から、話者がわざわざこのような迂言的二重否定表現を使用するのは、その《主張》命題が強烈であったり、断定的であったりする場合に多くみられることがわかった。山岡ほか(2010)には、二重否定は「Pである」と言うべきところを、何かしらの婉曲性をもって緩和しようとした配慮表現である」との指摘があるが、迂言的二重否定表現にもそのような配慮的機能があると考えられる。本研究では、先行研究をふまえ、用語の定義、検証を行いながら、迂言的二重否定を用いた《主張》は配慮表現であるとの主張を行いたい。

#### 3.2.2. 迂言的二重否定の定義

「迂言的」とは文字通り「まわりくどい言い方」の意味であるが、まわりくどい二重否定とは、形式的にもすぐに二重否定とわかる「～なくもない」や「～ないでもない」のような二重否定とは異なり、一見して二重否定とは分かりにくい「～といっても過言ではない」「～ないといったら嘘になる」のような表現を言う。本研究での「迂言的」の用語については2.3.2.1.でも説明している。以下で「～といっても過言ではない」のような表現がなぜ二重否定と言えるのか、次に説明する。

- (1) このようにみてくると、言語学の知識がなければ日本語教育はできないといっても過言ではない。(14)→[言語学の知識がなければ日本語教育はできない]は言い過ぎかもしれないが、(私は)そう思わない。→言語学の知識がなければ日本語教育はできない。⇒話者の《主張》

(1)の[ ]内は話者の《主張》命題であるが、それは聴者の消極的フェイスを脅かすものであるため、《主張》を緩和するストラテジーとして、別の見解や立場も受け入れる

(14) (1)の例文は、2011年11月25日に学生が提出した「語用論」のレポートより抜粋した。



(ように見せる) ために、一旦それは言い過ぎかもしれないとクッションを置く。が、再度「過言」を否定し、《主張》命題内容全体を肯定している。つまり、話者が《主張》命題を肯定するために、命題否定的意味を含む「～は過言(だ)。」を発話し、更にその後ろに「～ではない」が付加しているという二重否定の構造があると考えられる。

《主張》に現れる「～といっても過言ではない」は、一見すると明らかな二重否定とは分らない。しかし、話者の《主張》命題を肯定する為に用いられ、その意味は二重否定の用法となる。本研究では《主張》を婉曲的に緩和する迂言的二重否定表現とする。

### 3.2.3. 先行研究での扱い

3.2.2.で述べたような「迂言的」表現は、日本語のコミュニケーションにおいて重要な役割を担っているにもかかわらず、日本語の迂言的表現に関しての先行研究は、多くはない。森山(2002)は迂言的表現として、「～かもしれない」と「かねない」「あり得る」「可能性がある」等の話し手の命題に対する捉え方を比較し、迂言的な表現(「かねない」「あり得る」「可能性がある」等)を考察している。しかし、彭飛(2005)は、森山の分析は対人関係への配慮、話者の「和らげ」意図といった視点を欠いており、「話者の発話意図」、話者の本当の「心的態度」の解明という点において少し説得力に欠けると指摘している。日本記述文法研究会(2003)では、「～ざるを得ない」「～ないわけにはいかない」「～ないではいられない」はその事態の実現が不可避なもの、必然的なものとして意味・用法を分析している。日本語記述文法研究会(2007)は、「～ないで{は/も}ない」「～ないわけで{は/も}ない」のような形において{も}にはぼかしの機能があり、意味用法が違うが、その違いは不明確と指摘するに留まっている。管見では、迂言的表現の先行研究、二重否定の先行研究と、それぞれの先行研究は存在しているが、それを話者がどのようなコンテキストの中で《主張》の文末に用いて、聴者に配慮をしているのかは明らかにされていない。以下、日本語の文末中において、《主張》を伴ったコンテキストの中でたびたび出現する迂言的二重否定の用例を分析し、話者の《主張》が聴者にどのように伝えられているかを検証し、その表現のもつ巧みさによる配慮的視点を検証したい。

### 3.2.4. 《主張》の命題を二重否定で表現する意図

従来の先行研究に於いて、否定表現は肯定文を打ち消したい時や発話意図を緩和した

い時に選択されるというものがある。Leech (1983) は、否定文は肯定文に比べ、その解釈に長いプロセスが必要で、処理のプロセスも複雑であるとした上で、話し手が否定文を好んで選択するのには、その発話に婉曲的であいまい性を持たせる必要がある場合としていっている。これは、Grice (1989) の協調の原理でいうところの様態の原則に違反しているが、話者がそれでも否定文を用いるのには肯定文を打ち消したいという理由を挙げている。また、彭飛 (2005) は、否定表現と緩和表現を考察し、「そんなことはできない」よりも「そのようなことは致しかねる」や「できかねます」のほうが柔らかく聞こえることを挙げ、否定表現をさらに緩和する表現が日本語にはあると指摘している。この二つの指摘は、《主張》において二重否定表現が発話される際の、発話意図を分析する際に重要な示唆を含んでいるように思う。以下に、「～といっても過言ではない」「～ないといったら嘘になる」の例文を概観する。

(2) (サッカーの試合で、負けてしまった選手が次試合への意気込みを聞かれて)

アナウンサー：次の試合への意気込みを一言？

選手：これまでの成果は、この一戦（次の試合）のためだと言っても過言ではありません。<sup>(15)</sup>→これまでの成果は、この一戦（次の試合）のためだ。

(2)の話者の発話意図は明らかに肯定文で解釈できる。話者は様態の原則に反して二重否定文を使用している。Leech (1983) の指摘をもとに考察するなら、話者が発話意図を婉曲にする必要があると考える場合に否定文を選択することになるが、(2)の場合、話者は当然想定されている聴者の含み、すなわち「この試合に負けて、次の試合もまた…」を察知し、この否定的想定をやむなく譲歩して受け入れた上で、なお自身の《主張》を行いたい為に二重否定を選択したとは考えられないだろうか。これに関連し、日本語記述文法研究会 (2003) には、二重否定機能として「否定的な予想や想定を否定するとき、かといって完全に肯定するには自信がない場合や抵抗がある場合」によく用いられるとの指摘がある。話者は自身の《主張》命題内容が、他者の反感を買うかもしれないということに配慮し、《主張》を緩和している。このような《主張》の命題を二重否定する表現は、ある種のモダリティ形式の一種と考える。

---

<sup>(15)</sup> (2) の例文は、NHK ニュースの中でサッカー選手が実際発言したものである。

迂言的二重否定表現は、《主張》命題を二重否定で表現することで、話者が聴者に対して配慮していることを示唆し、他者との反感を最小限にして《主張》のおこがましさを少しでも緩和する効果があるモダリティ形式の一種である。

### 3.2.5. 《主張》における配慮表現機能

#### 3.2.5.1 「～といっても過言ではない」《主張》型の分類と用例数

採取した50の用例の内、グループEの4例以外は、話者の主張の結論帰結部に「～と言っても過言ではない」が出現していた。用例を便宜的にA～Fの6つに分類した。各グループの詳細例は3.2.5.2. 以下で後述する。

図 1

《主張》の型分類	用例数	%*
グループ A 強調語彙を伴う《主張》	5	10
グループ B 比況型《主張》	5	10
グループ C 否定的・限定的命題内容型《主張》	4	8
グループ D 限定条件提示型《主張》	4	8
グループ E 現状断定型《主張》/命題提示断定型《主張》	25 (4*)	50
グループ F モダリティ付加型《主張》	7	14
計 50 例		

\*小数点以下は四捨五入した。

\* ( ) は命題提示断定型《主張》の用例数を示す。

#### 3.2.5.2. 「～といっても過言ではない」の《主張》パターン

「I」～[VII]は主な文形式を、グループA～Fは共起しやすい語彙、表現形式を分類したものである。以下用例を挙げる。

##### 3.2.5.2.1. グループA 強調・限定語彙を伴う《主張》

「～といっても過言ではない」の前に、強調語彙（主には副詞）を伴う《主張》のタイプ。

[I]P は A (よりも) むしろ/一層/こそ B といっても過言ではない。

(3)すなわち、女性の労働権は、基本的人権として本来固有の権利として備わっているものであり、福祉としてお上から与えられるものではないのであります。(中略) 本法案は男女差別を一層助長するものであると言っても過言ではないのであります。(『衆議』)

(4) コミュニケーションこそが、言語本来の機能であると考えらるなら、意義よりも効力こそが言語本来の意味と言っても過言ではない。(16)

[I]型に現れる強調・限定語彙はそれ自体が主張を強める働きのもので、それが付帯することで、《主張》の命題内容を強調する効果がある。このような場合の《主張》結論帰結部分に「～と言っても過言ではない」を用いることで、一旦は強調された《主張》が緩和される。

### 3.2.5.2.2. グループ B 比況型《主張》

「～と言っても過言ではない」の前に具体的な例示、比較状況を用いて《主張》するタイプ。

(5)二十万部も出版され、しかも五ヶ国語に翻訳された。当時のアメリカの人口の少なさ、読書階級の少なさを思えば、この二十万部という数は今で言うなら五百万部の大ベストセラーに匹敵すると言っても過言ではないだろう。(『自分』)

(6) (司会が出演者に) まさに園芸界の向井理と言っても過言ではない、さわやかな方ですね。(17)

(5) (6)の例文は、具体例を引き合いに出すことや、オーバーな表現で《主張》に説得力を持たせようとしているが、文末の「～と言っても過言ではない」の出現により聴者の解釈に幅をもたせ、聴者側の受け取り方が異なることに配慮している。

### 3.2.5.2.3. グループ C 否定的・限定的命題内容型《主張》

「～と言っても過言ではない」の前に、「～に過ぎない」や「ほとんど～ない」などの表現で、命題を(部分)否定したり、限定的語彙を用いているタイプ。

(16) (4) の例文は、2011年11月2日に学生が提出した「語用論」のレポートより抜粋した。

(17) (5) の例文は、2010年6月のNHK「朝イチ」のMC女性の発言より引用した。

**[III]P は～にすぎないと言っても過言ではない。**

(7) 彼は、歌の世界に、人間孤独の観念を、新たに導き入れ、これを縦横に歌い切った人である。孤独は、西行の言わば生得の宝であって、出家も遁世も、これを護持する為に便利だった生活の様式にすぎなかったと言っても過言ではないと思う。

(『西行』)

(7) の例は、「～にすぎない」を用いた話者が否定的評価を下した《主張》命題内容の文である。しかし、「～といっても過言ではない」により、その否定的傾きが緩和されている。さらに文末にモダリティ「～と思う」が付くことにより、否定的評価の真偽を聴者に委ねる配慮をしている。文末のモダリティ付加型については、グループ F で詳細に述べる。

**[III]P はほとんど～ないと言っても過言ではない。**

(8) 二千人をきる劇場では、どうしても入場料が高価になる。東京に、そんな条件を満たす劇場は極めて少ない。いや、ほとんどないと言っても過言ではない。(『宝塚』)

(8) の例は、話者の否定的《主張》命題内容は二度言い換えられている。《主張》命題内容に確信に近いものを感じている話者が、文末に「～と言っても過言ではない」を使用することで、《主張》を緩和している。

**[IV]P は～ばかり/のみ(だ)と言っても過言ではない。**

(9) ワードを使って作る文書のいくつかは、お決まりの文書です。日付や名前、宛先などを差し替えるだけですむものも多くあります。仕事で使っているなら、そればかりだと言っても過言ではないでしょう。(『ワード』)

[IV]のような副助詞は、「～ばかり」のほかにも、「～のみ」「～そのもの」なども使用例があった。(9) の例では、「～ばかり」を使用することで、一旦限定された《主張》命題内容を、文末の「～と言っても過言ではない」が緩和している。

#### 3.2.5.2.4 グループ D 条件提示型《主張》

「～ないと言っても過言ではない」の前に限定的な条件節を提示し、それ以外の《主張》を排除しているタイプ。

[V]P は～なければ/～なくしては、～ないと言っても過言ではない。

(10) 常備化の進んだ今日においても、消防団の活躍なくしては消防行政の十分な遂行は考えられないと言っても過言ではない。(『消防』)

(10) は前出の必須条件が整わなければ実現可能にならない限定的な条件を提示して《主張》しているため、聴者の解釈は限定されてしまう恐れがあるのを話者が聴者に配慮して、「～と言っても過言ではない」を使用している。そのことにより限定的《主張》を緩和している。

### 3.2.5.2.5. グループ E 現状断定型《主張》/命題提示断定型《主張》

採取例の中で、50 例中 25 例、全体の 50%を占めた最も多く出現した型。話者の《主張》は現状を断定した強いものである。そのパターンは主として次の 2 つに分けられる。

#### 3.2.5.2.5.1. (a)現状断定型《主張》

(11) 「のです」は、日本語の表現法、日本人の思考法を奥深いところで支配しており、「のです」の問題は日本語の文法全体の問題であると言っても過言ではない。(『現代』)

(11) では、話者は現状に断定的判断を下し、《主張》している。文末に「～と言っても過言ではないを付加することで、話者自身の《主張》を聴者がそうではないと思う可能性を否定しないように《主張》を緩和している。

#### 3.2.5.2.5.2(b)命題提示断定型《主張》

(b)は同じ現状断定型であるが、(a)が話者の結論帰結部に「～と言っても過言ではない」が現れるのに対し、(b)はコンテキストの命題提示部分に「～と言っても過言ではない」が現れる。その後に〈説明〉〈反論〉といった発話役割が付加される。今回採取の用例は、25 例中 4 例と少なかった。

[VI]P といえば～、と言っても過言ではない。

(12) 20 世紀半ばまで、言語哲学といえば論理学を指していたと言っても過言ではなかった。つまり、数学の基礎となるような論理の構造を、形式言語（記号）を用いて構築するものである。(『コミュニニ』)

[VII]P は～（ということ）だと言っても過言ではない。＜説明＞これを説明すると/そこで、＜反論＞しかし/では、なぜ…

- (13) エレクトロニクス産業は三端子デバイスによって誕生したと言っても過言ではない。これを分かりやすく説明すると、まず二端子デバイス、二つの電極に電圧をかけると…（『復活』）

このような場合、話者の《主張》内容は明瞭で、聴者にその内容は伝達されやすいというプラス面があるが、命題内容はあくまで客観的《報告》であり、私的なものではないことが強調される。そこに「～と言っても過言ではない」が付加されることで、これは話者の《主張》ですというマーキングの役割を果たし、その私的《主張》に配慮していると考えられる。

### 3.2.5.2.6. グループ F モダリティ付加型《主張》

「～と言っても過言ではない」のあとに、「だろう（でしょう）」「と思います」「かもしれません」を付加した用例が 50 例中 7 例あった。これらは、グループ E の現状断定型《主張》に属している形をとりながら、文末にモダリティを伴う用例としてグループ E とは区別した。

- (14) もし、コミュニケーションが発達していなければ、このような東欧改革は行われなかったでしょう。発達したコミュニケーションが、このような東欧改革を生んだと言っても過言ではないと思います」（『宇宙』）

山岡（2011）は、《主張》という発話機能の語用論的条件が、当該命題が参与の立場によって異なるものであることをあげ、《主張》に「と思う」を用いた場合は、命題内容はもとも私的なものであって、命題の真偽は客観的に検証不可能であるから「と思う」を付加してもしなくても意味はほとんど変わらないと指摘している。(14) は対談の中での話者の主観的《主張》であり、その主張命題内容は「～と言っても過言ではない」によって既に緩和されているので、「と思う」を付加しなくても山岡の指摘するように発話意図はほとんど変わらないが、対談という場面において、より丁寧さを添えて主張を締めくくる為に適切な文法形式として「と思う」が選択されていると考える。

- (15) （子供のいない人生の選択はありかとの質問に）以前、子供はいらないと言う彼と

付き合っていました。そのことが原因で結婚をあきらめたと言っても過言ではないかもしれません。(「子供」)

モダリティとしての「かもしれない」の先行研究の中で、森山(2002)は「話し手の捉え方、あるいは思い方の表示」とし、小野ほか(2009)では、「かもしれない」で意味しようとしていることを高次表意で捉えている。(16)の例をあげ、ここで潜在化している「かもしれない」の高次表意は「主張」であるとし、その解釈は受け手(読み手・聞き手)の理解に委ねられると説明している。

(16) きょう第69代横綱、白鵬が誕生し、モンゴル人両横綱の時代が幕を開ける。相撲にとって大事なのは、力士の出身国がどこかではなく、守るべき品格や文化がきちんと受け継がれて行くことだ。新横綱にもまだ偉大な父から学ぶべきことが残っているかもしれない。(『余録』)

(16)の例では、横綱の父から「学ぶべきだ」との解釈が可能である。このように(15)を考えると、「私が結婚をあきらめたのは、子供はいらないという彼が原因だ」という解釈を「かもしれない」を付加する事で、話者は聴者にその解釈を委ねていると言える。

(17) 金に任せて食糧を買い漁る「資本の原理」と食糧を手放さなければ生きて行けない「世界の貧困」の上に日本の食体系が作られていると言っても過言ではないでしょう。このような食体系は、明日崩壊しても何の不思議ありません。(『市民』)

牧原(2011)は「だろう」の発話機能を「話者の方が聴者よりも、当該命題について情報をより多く持っていることを明示する談話上のマーカーとして機能する」と指摘しているが、(17)も専門家が聴者(読み手を含む)に対して、自身の見解を《主張》しているという形式からすれば、この指摘が当てはまる。よって「だろう(でしょう)」を付加することで、より自然な談話形成がなされたと考える。「～といっても過言ではない」は書き言葉的性質が強いといえるが、話し言葉の場合にモダリティの「だろう(でしょう)」「と思います」「かもしれません」を付加したとしても、それは対談や談話の形成状況において自然なものとして付加されており、「～といっても過言ではない」としてまとめあげられた話者の《主張》そのものの意図を変えてしまうような働きではない。

「～ないといっても過言ではない」を用いた話者の《主張》は、命題内容が強烈または否定的評価を伴うものであったり、強調、限定的、断定的、オーバーな表現形式を用いたも



のである。同時に話者が《主張》の中で聴者の消極的フェイスに配慮し、自己の《主張》を緩和する働きもある。

### 3.2.6. おわりに

以上、《主張》に現れる「～と言っても過言ではない」のような表現を《主張》における迂言的二重否定表現と定義し、明らかな形式的二重否定表現に準ずる二重否定表現として、その配慮的機能を考察した。話者の《主張》命題内容が強烈、または否定的評価を伴うものであったり、強調、限定的、断定的、オーバーな比喩的表現形式を用いたものである場合に、「～と言っても過言ではない」のような表現は、聴者の消極的フェイスに配慮して《主張》を緩和する婉曲的表現の機能を有している。今後、二重否定表現を用いて話者が聴者に配慮する緩和表現を中心に、その形式を整理しながら配慮表現としての分析を蓄積していく必要があると考える。

### 3.3. 「～といっても過言ではない」の命題特性とその機能

#### 3.3.1. 研究の目的

本研究の目的は、第一に先行研究で行われている日本語の二重否定の定義の問題点を提示し、新たな定義を提案することである。第二に論理的には二重否定と等価だと考えられる「～といっても過言ではない」のような表現が、先行研究において「二重否定」と明確に言及している論考は松岡（1995）しか見当たらない。そこで本節では、「～といっても過言ではない」を従来の二重否定の意味とされてきた「婉曲」や「強調」の意味では説明し切れない語用論的意味機能があると考え、主に命題特性の観点から用例のグループ分けを行い、語用論的機能を検証する。その機能は、従来の形式的二重否定にはない、話者が命題に込めた本当の意図を際立たせる役割を担っていることや、話者が命題に対して「真」だと思っている程度が高いことを表すマーキングの役割を担っていることを考察しようとするものである。さらに、それは話者が聴者を慮ろうとする対人的な機能、すなわち配慮表現の機能も有していることも考察する。なお、本研究で言及する対人機能とは、B&L（1987）のポライトネス理論からみた話者、聴者のフェイスの概念や山岡他（2010）が言及する二重否定の配慮表現の概念を指すものとする。

#### 3.3.2. 日本語の二重否定の先行研究

二重否定表現というのは、どのような表現を指すのか、一口に二重否定と言っても、その定義は一様ではない。本節では先行研究における二重否定の定義を示し、その問題点を指摘する。また二重否定の形態論、意味論における先行研究を概観し、さらに二重否定の語用論的研究についても言及する。

#### 3.3.3. 二重否定の定義

先行研究において二重否定の定義を定義しているものに陶（1991）がある。陶は、日本語の二重否定を以下のように定義している。

- (a) 一つの述語表現に限られること
- (b) 否定を表す表現が二つあるべきこと
- (c) 二つの否定は連続的で、後ろの否定が前の否定を制約すること
- (d) 二つ目の否定がくることによって、文全体は肯定になること

この定義は概ね妥当だが、(b)の「否定を表す表現」が何を指すのかは曖昧である。例えば「ちがない」は(1)のように肯定極性をもったモダリティであることがわかるが、陶(1991)ではこれを二重否定とはみなさず、「ない」の否定の意味が薄くなって他の意味に転義したものと解釈している。

(1) きっと時間通りに来なかったに違いない。(陶(1994:81))

このような解釈は(b)の「否定を表す表現」を否定辞だけに制限して捉えていることから起きる。ここで動詞「違う」をモダリティ内の極性を逆転させる否定意味を含む語彙と解釈すれば、「違いない」を二重否定と捉えることが可能になる。その結果、意味の転義などを考慮しなくても「違いない」を一つの肯定極性のモダリティとして解釈することが可能となる。従って、陶の定義(b)を変更して、二重否定の構成要素として否定意味の語彙も含めることを提案する。以下、二重否定の定義を変更したものを記述する。

- 1)二つの否定辞、または一つの否定辞と一つの否定意味を含む語彙が融合した成句的表現形式
- 2)意味的には、肯定の極性を持っている。
- 3)対人的な配慮を示す機能がある。

### 3.3.4. 二重否定の形態論・意味論研究

二重否定の記述的研究において、例文を挙げ詳細に検証しているものに原口(1982)がある。原口によれば、二重否定には肯定と否定の極性をもつものがあり、「わかりにくさの度合いが増すのは、(極性が)反転する否定の場合に限られる」としている。

( ( )内は、筆者が付加した。)原口(1982)は二重否定においては意味を弱める場合を求めて研究することの必要性を主張している。形態論、意味論的な研究としては、日本語の二重否定を15種類に区分し、形式ごとに整理し、意味分析している陶(1994)、625件の書き言葉用例から二重否定の動詞の結合関係を分析した印(1995)、新聞、シナリオ、小説等の文字資料から用いられやすい二重否定形式を調査し、形式間の異同を把握した野田(2000-2002)、近現代4小説から1000例余の日本語の二重否定表現を検討し形式を類型化した林(2005)などがある。林では、「だめだ、むりだ、ておくれだ、へただ、まちがいだ、きらいだ」なども否定辞として数えている。また、渡邊(2007)は二重否定の意味強弱にかかわる要素を明らかにし、同(2008)で、連結部分に着目し二重否定表現の意味変化について通時的な研究を行っている。

### 3.3.5. 英語の二重否定の解釈

日本語の二重否定の解釈は、英語の二重否定の解釈の研究による影響が大きいことから、英語の二重否定の先行研究も鑑みておきたい。伊関（1998）は先行研究をふまえ、語句否定による二重否定を2タイプに分類してし、意味の強さには幅があり、Context などを含めた pragmatics からの判断が必要だと指摘している。長谷川（2004）は英語特有の二重否定の現象として、not が marked などの語と共に使われると、反対の意味がかえって強調されることを指摘している。A not unwelcome guest は but very welcome の意味になるが、日本語では「歓迎されなくはないお客様」は「歓迎されないどころか大歓迎のお客」とはならない。また、英語の二重否定構文において、二つの否定辞の作用域が異なっていることに着目し、それによって単純肯定と二重否定との意味論的差異を説明しようとした中右（1994b）がある。中右によれば、英語における二重否定の解釈原理は、「独立節（主節）レベルにおいて、外部否定はモダリティ内否定であるのに対し、内部否定は命題内否定である」とし、二重否定とは先に陳述されたことや含意されている前提を却下する行為＝「否認行為」だと主張している。また田中（1998）は、英語の二重否定の意味、語用論的含意について言及している。田中によると、二重否定の意味解釈には以下のように二通りあるという。

(a) ぼかし表現 (Understatement) = S 読み=話者は somewhat X を含意

「なんとなく X、X のようなそんな感じがする」

(b) 緩叙法 (Litotes) = X 読み= 話者は extremely X と言いたい

「ものすごく、とても～X」

これは一つの表現が文脈によって解釈が異なる際の解釈原理であるが、日本語の二重否定表現について言えば、それぞれの解釈によって慣習化された二つの表現グループに分けられる。前節で挙げた「～ないでもない」や「～ないこともない」は (a) の解釈のみに慣習化されており、「～ないわけがない」や「～せざるをえない」は (b) の解釈のみに慣習化されている。換言すれば、二重否定のもつ意味には「強弱」があるということは、日本語も英語も共通している。しかしながら、英語は二重否定の解釈をコンテキストから捉えられる意味により決定しているのに対し、日本語の二重否定は、「強弱」どちらの意味を表すかは形式によって最初から区分されているといってもよいことになる。このことは、日本語と英語の二重否定の大きな違いとして重要である。田中は「S 読み」と「X 読み」の違いを、「話し手が完璧な程度の「X」を含意しているかいないか」であるとしている。日本語について言えば、「話し手が真だと思っている度合いが高い命題」に言及す

るときは (b) のグループの表現が用いられるということになる。

### 3.3.6. 二重否定の語用論的研究と配慮表現

中国語と日本語の配慮表現の比較を試みた研究に彭 (2004) がある。

(2) なんだか、できるような気がしないでもない (下線は筆者大堀)

彭は上の例文を挙げ、いくつかの緩和表現の中の一型「二重否定型」と分類し、話者が「あることはある」という幅 (ゆとり) を持たせる表現としている。山岡他 (2010) は、二重否定は「「Pである」と言うべきところを、何かしらの婉曲性をもって緩和しようとした配慮表現である」と指摘している。生田 (1997) は配慮表現を、「人間関係の円滑なコミュニケーションを図ろうとする言語行動の一つ」として、言葉のポライトネスがすなわち配慮表現であると規定している。そしてこれ以降配慮表現とは、現代日本語において「対人的配慮行動であるポライトネスが一定の固定した形式を通じて表現されること」であると、彭 (2004)、国立国語研究所 (2006) にも指摘がある。また山岡 (2014) は配慮表現を「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現」と定義している。

### 3.3.7. 二重否定の配慮表現機能

日本語の「～気がしないでもない」のような表現は、大堀 (2010) では、採取した用例 50 例の検証し、例えば「～気がしないでもない」が《主張》<sup>(13)</sup> に付加された場合には、その命題が「主観的」であるという特徴を有しており、且ついくつかの語用論的条件が存在し、文末における対人的機能を果たしていることを検証している。以下はその例文と提示した語用論的条件である。

(3) (ある歌手が自分のコンサートで CD 告知をする場面) 今回は力を入れて新曲を作りました。素晴らしい CD なんです。皆さん宜しくお願いします。あんまり告知をしすぎると、a 皆様からお叱りを受けそうな気がしないでもないので…。<sup>(18)</sup>

(3) の発話全体が《主張》の発話機能を有しているが、下線部 a が「主観的」命題に

<sup>(18)</sup> 用例は、筆者がある歌手のコンサートに行った時に実際に聞いた発言をメモしておいたものである。記号と下線は筆者による。

当たり、文末の「～ないでもない」でその《主張》を緩和している。(3)の発話は、歌手が自分のファンの前でCDのセールストークをする場面だが、その発話状況は下記の語用論的条件の1と2に当たる。文中の「素晴らしい」という表現は、すでに事象に対する肯定的評価を含んでおり、《自賛》の発話機能も持っていると考えられる。事象に対する評価というものは、社会的通念や文化の差異と違い、個人によって当然異なる判断を下すこともあるため、この点は山岡(2010)の《主張》の発話機能の語用論的条件にも合致しており、下記の条件の3に当たると考えられる。

#### 《主張》における「気がしないでもない」の語用論的条件 筆者(2010)より

1. 発話者は社会的地位または公的な立場(有名人も含む)を有する
2. 情報の受け手は不特定多数の場合の発話
3. 情報の受け手が発話者の主張を好ましくないと思う、または情報の受け手を傷つける恐

上述の1～3の語用論的条件を満たした発話状況において、「～気がしないでもない」のような二重否定を発話すると主観的な《主張》が緩和され、人間関係を維持できるというメカニズムがある。更にB&L(1987)のフェイスに対する概念の援用もできる。<sup>(19)</sup>《主張》そのものは全てが「フェイス脅かし行為」(FTA)には当たらないが、(3)のような発話は話者が「～ないでもない」を発話することで聴者の消極的フェイスである「自分の領域を他者に邪魔されたくない」という欲求を侵害しないように配慮しているという意志の表れである。つまり、(3)に当てはめて言うならば、聴者が「CDのセールスをする話者をどう思うかは自由である」ということになる。また一方で話者の積極的フェイスである「他者に受け入れられたい、好かれたい」という欲求を保持するためにも用いられている。(3)に当てはめて言うならば、話者が自身のファンの方大勢には、「いいCDだと認めて買ってほしい」、「こんなことをいう自分でも好きでいてほしい」などの欲求である。このように文末の日本語の二重否定は、Grice(1975)の「様態の原則」の「簡潔に述べよ」を侵している一方で、断定を回避しながら、複雑な人間関係を維持しようとする対人的心理が働いている表現だということになる。以上のように、「～気がしないでもない」のような二重否定においては、肯定極性に付加される「婉曲」の意味が対人関係上のポライトネス機能を有しているものであり、しかもその使用法が慣習化して配

<sup>(19)</sup> B&L(1987)は、ポライトネス(politeness)をGoffman(1967)のフェイス(face)の概念を援用して規定している。フェイスには2種あり、他者に受け入れられたい、好かれたい、という欲求を積極的フェイス(positive face)、自分の領域を他者に邪魔されたくない、という欲求を消極的フェイス(negative face)とする。また相手のフェイスを脅かす可能性のある行為を総称してフェイス脅かし行為(face-threatening act: FTA)と呼ぶ。

慮表現となっていることは既に証明されている。

### 3.3.8. 二重否定の「否定的意味を含む語彙」について

本節では、3.3.3. で述べた「違う」がモダリティ内の極性を逆転させる否定意味を含む語彙と解釈すると「違いない」を二重否定と捉えることが可能になるについて、改めて「否定できない」を例として考察する。

(4) 弁護士：検察が虚偽の調査書を作成したことは、【(小沢被告の) 裁判にある程度 影響を与えた】ことは否定できない。(NHK ニュース) → 《主張》

(4') 検察が虚偽の調査書を作成したことは、【(小沢被告の) 裁判にある程度影響を与えた】。→ 《報告》

(4) は【 】内の命題を話者が「大いに肯定できる」という発話意図を表している。話者は【 】内の命題をかなりの程度の確率で、真だと確信していることを強調したいという心情が見て取れる。(4') の「～は否定できない」を付加しない場合をみると、それが発話機能としては事実の《報告》になることから「～否定できない」がモダリティの役割を担っていることは明らかで、「～否定できない」の「否定」という語彙は、上述した「違う」と同様モダリティ内の極性を逆転させる否定意味を含む語彙と解釈できる。このように日本語において、否定意味を含み、モダリティ内の極性を逆転させる語彙としては「過言ではない」「～ないといったら嘘になる」「～ないとはい限らない」など多く存在している。話者がなぜストレートに「肯定する」や「過言だ」「本当だ」などの語彙を使用しないのかについて、興味深い指摘があるのが、瀬戸(1988)である。瀬戸は緩叙法には以下のように2種類あると提示している。

A) 文字通り控えめに表現 (してかえって強い気持ちを伝える)

→恋焦がれる相手に「好意をもっています」

B) 反意語をもってきてそれを否定 (して強い気持ちを表現)

→「嫌いではありません」

上述の「違いない」「否定できない」などの表現は、「その通りだ」や「肯定する」という語彙をストレートには使用せず、反意語を使用してそれを否定していることから B) と同じ理論が援用できる。したがってこのような二重否定は、瀬戸が指摘するように、否定することで話者の強い気持ちを表現するという修辞学的用法に端を発している可能性もここで挙げておく。

### 3.3.9. 「～といっても過言ではない」の対人的機能

#### 3.3.9.1. 「～といっても過言ではない」の命題内容の分類

筆者のこれまでの検証によれば、話者がわざわざ「～といっても過言ではない」のような表現を使用するのは、その命題が「主観的心情」や、「否定的または肯定的評価」や、「専門的見識を有する人物や客観的データに基づく結論の断定」のような特徴を持っていることがわかった。本研究はその命題特性にも注目し、特性別に4つのグループに分けて、その語用論的機能の検証を行う。筆者はまず、BCCWJ コーパスや新潮文庫 100 選コーパス（出典は巻末に記載）などを用いて「～といっても過言ではない」の用例を91例採取し、その中で話者の発話「命題」にフォーカスを当て、あらかじめその特徴においてグループ分けを行った。用例を検証していく中で、「～といっても過言ではない」の命題内容の特徴の傾向性から、大きく次の4種に分類できる。下記は各分類の名称と用例数である。（ ）内は比率（小数点以下四捨五入）を示す。

- A 主観的心情.....23 例（25%）
- B 否定的評価.....7 例（8%）
- C 肯定的評価.....24 例（26%）
- D 専門的、客観的結論.....37 例（41%）

いずれの分類においてもこれらの命題内容が「～といっても過言ではない」の使用を誘引するような共通の特徴があることを予測し、そのことを確認する目的で用例を検証した。その結果、命題内容は「主観的」「客観的」の両方の内容が存在していることがわかった。これは、「～ないでもない」などの表現が「主観的」な命題内容のみだったのに対して、異なる結果となった。また、その命題内容が主観的であれ、客観的であれ、話者がかなりの程度でその命題内容を真であると確信している内容であることもわかった。これは2.3で述べた田中（1998）の緩叙法のX読みが、「話し手が命題について真だと思っている度合いが高い」ということを含意していると指摘していることに通ずる。田中（1998:209）が、X読みは「本当の意図を際立たせることに価値がある」と述べているように、「～といっても過言ではない」には「話者が命題内容の真意を聴者にあえて際立たせて伝えること」に本当の狙いがあると考えるのが妥当である。また、命題内容に「強調」や「限定」の語彙を含んでいたり、誇張した表現を用いているなど、命題内容そのものが強烈であることもわかった。このことから、「～といっても過言ではない」は、「～」の部分に話者の伝えたい真意が含まれている可能性が高く、話者が命題内容を通じて本当の発話意図を際立た



せることを目的とした用法がすでに慣習化されていると考えてよい。その上で、「過言」という否定的語彙には話者が一旦命題内容を客観的に捉え直している視点が含まれており、その点是对人的機能を見ていく上で注目に値する。次節以降ではそのことについて実際に用例を通じて検証し、語用論的機能について詳しく考察する。

### 3.3.9.2. A 主観的心情の命題

A グループの命題内容の「主観的心情」とは、話者が自身の身の上や遭遇した出来事、事実についてそのまま述べている命題を指す。感想や随想に近いものに付加され、発話そのものは FTA ではない。

(5) これにより私の理論的志向性が大きく語用論に傾斜して行ったのですから、【直接教わっていなくても書籍を通じて師弟関係を結んでいた】と言っても過言ではありませんでした。(山岡)

(5) の【 】内は命題内容を表す。発話機能は《主張》であり、当該命題は話者の立場によって異なるものである。ブログでの発話から、聴者は不特定多数となる。話者の発話思考プロセスを見てみると、「師弟関係を結んでいたなんていうと過言」、つまり話者自身が一旦「過言」＝「それは言い過ぎかもしれない」と客観的思考をしている。「師弟関係を結んでいた」という非現実内容は主観的領域であるが、それを「過言」と考えるのは客観性をもった思考である。ここでは、命題内容に対して他者に意識が向けられている。しかし【 】の命題は話者自身のまぎれもない主観的心情であり、最終的には「ない」で肯定し、主観的判断を行っていることから、還って【 】の命題内容に強い思い入れがあることが伝わってくる。つまり話者は【 】の命題内容を真だと思っている度合いの高さが感じられる。「～と言っても過言ではない」の機能を確認する為に、それを削除した(5')をみてみたい。

(5') これにより私の理論的志向性が大きく語用論に傾斜して行ったのですから、【直接教わっていなくても書籍を通じて師弟関係を結んでいた】。

(5') のように「のだ」や「～と思っている」などのモダリティがないのは不自然となることがわかる。このことから「～と言っても過言ではない」はモダリティ表現の一種だということができる。付加されない場合は、話者が命題そのものの内容を最初から断定

していることになってしまうし、「～と思う」などの別のモダリティでは、【 】の命題内容を客観的に思考している視点は表現できずに終わってしまう。話者は「～といっても過言ではない」を発話することにより、「師弟関係を結んでいた」というのは「過言である」と、一旦聴者を意識して客観的に思考していることを覗かせる。一方で、「ない」と最終的にそれを否定することで、話者の率直な心情を聴者に強く伝えることに成功している。これは、「～といっても過言ではない」が話者の主観的心情を表す時に用いられることで、聴者を意識しながら話者自身の心情を述べる対人機能を有していることになる。

### 3.3.9.3. B 否定的評価の命題

B グループは、話者の命題内容が、他者の行為や所有物に対して否定的評価を述べるものである。用例数の中では、一番少ない8%に過ぎなかった。(6)は国会衆議院の会議録から収集した野党議員の発言である。発話機能は《非難》、聴者は政府与党、首相である。当該命題内容は聴者にとって望ましくないものであることであり、B&L (1987)は、聴者の積極的フェイスを脅かすFTAの一つに、「否定的評価を行う」を挙げており、この種の発話そのものがFTAである。また、話者は「なるべく他者を尊重する人だと思われたい」という積極的フェイスも持っており、それを脅かすことが分かっているにもかかわらず聴者に打撃を与えなければならないケースでの発言である。

(6) 勤労婦人福祉法の改正で雇用の均等を図ろうと意図すること自体が女性に対する差別であり、【本法案は男女差別を一層助長するものである】と言っても過言ではないのであります。(101)

(6)では「勤労婦人福祉法」に対する批判が【 】の命題内容として示される。しかしその見解は従来のものである、あるいは他者の見解と相違・対立するものかもしれないという意識が働き、それが「過言」と認定される可能性も認識していることが表明される。それを承知のうえで敢えて再度「ない」で否定し、論理的には最初の主張命題内容に戻している。結果として、異論を有する人へのFTAに配慮しながら当該の命題内容を聴者に伝達することに成功する。これは瀬戸(1998:239)が指摘するある種の「逆言法」の論理に通ずる。つまり、「過言」と言ってしまうおいてそれを「ない」とすることで、【 】の命題内容を依然として図として浮かび上がらせたまま非難を成功させるのである。瀬戸の言葉を借りるなら「機先を制する、先回りして予想される相手の反撃を断つ」ということである。「と

言っても過言ではない」の機能を確認するために、(6) からそれを削除した (6') を見て比較してみたい。

(6') 勤労婦人福祉法の改正で雇用の均等を図ろうと意図すること自体が女性に対する差別であり、【本法案は男女差別を一層助長するものであり】ます。

(6) と (6') はそれぞれ同じ命題内容を述べているが、(6') の単純肯定は、その命題内容を躊躇なく直截的に表明したものになっているが、単なる《主張》だと捉えることもできる。それは【 】の命題内容の本当の意図が、(6) ほど際立っていない為である。それに対し、(6) は話者が【 】の命題内容をかなりの程度で真だと思っていることを伝えることに成功している。このことは、「～といっても過言ではない」が《非難》という当然 FTA である発話に付加されると、本来強烈な命題内容を更に聴者に印象づけながら、《非難》の意図を際立たせることができることを表している。次の (7) は、「～といっても過言ではない」の《非難》の後に、反論をしている発話例である。

(7) 1号:ここまではすべてお芝居だった。

鎧武:なんだって?!

1号:【お前たちの生温い優しさが人界に奴らを現した】といっても過言ではない。

→《非難》

鎧武:ちょっと待ってくれ! だからってなんで俺たちが戦わなきゃいけないんだ。

→《反論》(仮面)

(7) の発話は、目の前の相手を《非難》している発話であり、その意味では (6) も同じ発話状況にある。「～といっても過言ではない」は、《非難》に用いられた場合は、【 】部分は命題内容を強調しながら、話者の《非難》意図を一層際立たせる機能を有していることになる。

#### 3.3.9.4. 肯定的評価の命題

Cグループの命題内容の「肯定的評価」とは、他者の行為や所有物に対して肯定的評価を述べるものである。評価の対象が聴者であれ、第三者であれ、肯定的評価を述べることは積極的ポライトネスであって、フェイス侵害にはならない。それではなぜ「～といっても過言ではない」が用いられるのか、用例から検証してみたい。(8) は研究者の若者が恩師に対して謝意を述べる発話である。発話機能は《感情表出》であり、話者が心の中

で回想するシーンでの発話であり、聴者は強いて挙げるなら不特定多数の読者ということになる。

(8) 学問には王道しかない。いかにも、それは喜嶋先生の生き方を象徴しているように思えたし、それに、【僕がその後、研究者になれたのも、たぶん、この一言の響きのおかげだった】と言っても過言ではない。(喜嶋)

(8) は「肯定的評価」を強調しようとするあまり、論理的な飛躍などを含む誇張表現が用いられているということである。(8)における命題内容は「一言の響きのおかげ」と恩を誇張しているように思える。それは他者に対して肯定的である点では FTA ではないが、その様式における誇張表現の逸脱性を話者が自覚しており、そのことを他者から指摘される前に「過言」と述べる。その上で、それを「過言ではない」と自覚的に否定し、もとの肯定的評価の内容に戻す。結果として、誇張であることを認めながらもそのように言いたくなるぐらい評価したいという話者の意図を添加している。次に(8)から「～と言っても過言ではない」を取り去った(8')を見てみたい。

(8') 僕がその後、研究者になれたのも、たぶん、この一言の響きのおかげだった。

(8) と(8')を比較すると、(8)のほうが【 】の命題内容を際立たせることに成功し、その効果で話者の「肯定的に評価をしたい」心情がより聴者に迫ってくるように思える。しかし論理的に考えて、「一言の響きのおかげ」だけで研究者になれたというのは誇張している。話者はその気恥ずかしさを自覚する「過言」を発話しながらも、【 】の命題内容をかなりの程度で真だと思っていることを聴者に伝えることが目的の《感情表出》なのである。「～と言っても過言ではない」は、「肯定的評価」をする話者の厚かましきや気恥ずかしさを「過言」で緩和し、その押し付けがましきからくる聴者の消極的フェイス侵害を緩和する対人機能を有している。

### 3.3.9.5. 専門的、客観的結論断定命題

Dグループは、命題内容が「否定的評価」でも「肯定的評価」でもなく、中立的な主張命題のグループである。筆者が収集した用例数も37と最も多い。このグループの命題内容に共通する特徴としては、話者がある特定の分野やテーマに関して専門的見識を有する人物であり、自身の主張の結論を断定しているということにある。もっともそれは、誰しもが「なるほど」と思えるような一般化されたルールや、客観的データから得られた数

値、研鑽の成果を披瀝したりするケースが多い。つまり、今までみてきた A～C のグループの命題内容が、ある種の非現実だとすると、D グループはその逆で非常に現実に近い内容だということになる。

(9) 現在有効な旅券は約 1,200 万冊、即ち、国民 10 人に 1 人が旅券を所持していることになる。【今や海外渡航は、一般国民の日常生活の一部として定着した】と言っても過言ではない。(外青)

(9) の発話は外務省企画室がまとめた報告書の一部である。この場合、話者は専門員ということになり、報告書という性質上、聴者は不特定多数である。発話機能は《主張》であるが、主張の語用論的条件である山岡他 (2010) の「当該命題は参与者の立場によって異なるものであること」に合致している。(9) は専門的な立場にいる人物による当該分野に関する結論断定であり、確たる根拠を有している《主張》と考えられる。(9) は専門的な立場にいる人物による当該分野に関する結論断定であり、確たる根拠を有している《主張》と考えられる。その命題内容【 】は誰人にも反論したり、異なる疑念を抱いたりし難い内容であり、その意味では始めからその余地はないのであるから、単純に断定してしまえば「～と言っても過言ではない」を用いなくてもよいはずである。では、このような発話の場合に「～と言っても過言ではない」が有している機能は何であろうか。「～と言っても過言ではない」を取り除いた (9') はどうであろうか。

(9') 現在有効な旅券は約 1, 200 万冊、即ち、国民 10 人に 1 人が旅券を所持していることになる。今や海外渡航は、一般国民の日常生活の一部として定着した。

(9') は (9) よりも断定的主張である発話であることは明らかになる。つまり、(9) のように「～と言っても過言ではない」の使用によって、話者の主張が緩和されているということであり、「～と言っても過言ではない」は、専門的、客観的《主張》の中で用いられた場合は、その命題は極めて現実に近い内容である為、「～ないでもない」が主張に表れた時に、現実を控えめに二重否定で述べることと同じような機能を発揮する。これは「～と言っても過言ではない」が、一定程度の緩和表現としての配慮機能を固定的に持つ表現として定着していることになる。話者はこれを使用することによって、「敢えて聴者に配慮していますよ」というマーカールなりうる効果があるのではないかと考えられる。

### 3.3.9.6. 命題に強調／限定の語彙を伴うことについて

上述した4つのグループの命題特徴とは別に、「～といっても過言ではない」の命題には、「すべて」「みんな」「誰でも」「～ばかり（限定）」などの強調、限定の語彙が用いられていることもわかった。これらを付加することで、結果的に話者の命題内容は、例外性を否定したり、異質のものを排除したりすることになる。以下の用例では強調、限定の語彙で囲む。

- (10) 明治時代に作られた軍歌は、昭和のものと違って自由闊達で歌いやすいものが多いが、これもその一つで、【明治どころか戦前の教育を受けた人なら誰でも知っている歌】、と言っても過言ではない。(逆説)

(10) は、話者が命題内容の例外性を除外するために命題中に強調語彙を付加しており、その結果、「戦前の教育を受けた人でこの歌を知らない人は皆無である」との強い命題内容になっている。命題内容に強調、限定の語彙を伴うという特性があることもまた、「～といっても過言ではない」の命題内容そのものが強いことを裏付けている。

### 3.3.9.7. 「～といっても過言ではない」の後のモダリティ付加現象について

前述のA～Dのグループ別のカテゴリーとは別に、「～と言っても過言ではない」のあとに「だろう（でしょう）」「と思います」「かもしれません」などのモダリティ形式を付加した用例について記述しておきたい。用例は91例中21例見つかった。(11)は精神科医の「いじめ」に対する雑誌上の対談形式の発話である。発話機能は《主張》、聴者は雑誌の読者ということになるので、不特定多数である。以下モダリティ形式に波下線を添える。

- (11)世の常とはいえ、【そうした大人たちの過剰反応が、子供のいじめを助長させてきた】と言っても私は過言ではないと思います。(パンプ)

モダリティ形式が果たす役割を検証するために、「～と言っても過言ではない」を削除した(11')「と思います」を削除した(11'')を比較してみたい。

- (11')世の常とはいえ、【そうした大人たちの過剰反応が、子供のいじめを助長させてきた】と私は思います。

- (11'')世の常とはいえ、【そうした大人たちの過剰反応が、子供のいじめを助長させてきた】と言っても過言ではない。

(10) と (11') で文末に用いられた「～と思う」は、主張内容が個人的見解であることを示すマーカーとなり、それ自体が《主張》の強さを緩和する配慮表現である。小野 (2005) が「「～と思う」は自分の主張を直接形で述べずに主張を和らげる配慮を行っている」と述べている通りである。しかし、それだけを用いた (11) 'は《主張》を和らげるのに伴ってその確かさを減退させ、不確実で自信無さげな《主張》にしてしまう効果も併せ持つ。一方、「～と思う」の前に「～といっても過言ではない」を用いた (11) では【 】の命題内容に対して話者は、多くの人間に精神科医として接して来た立場から結論づけており、学術的な裏付けのある命題内容であることが担保されている。そのあとの「～と思う」によって主張は緩和されるが、【 】の命題内容の確実性が失われることはない。つまり、「～といっても過言ではない」による配慮と「～と思う」による配慮とは全く性質の異なるものだという事である。

また、(11) と (11'') を比較してみると、「～と思う」の有無によってその命題内容の確実性には差がないように感じられる。このことは、両方が用いられた場合には、前者の方が強く働き、「～と思う」の機能が薄らぐということの意味している。

### 3.3.10. まとめ

以上、本節では「～と言っても過言ではない」のような表現を用例から語用論的条件の下での発話機能、対人機能などの語用論的機能について考察してきた。「～といっても過言ではない」は、否定語彙「過言」が《主張》の主観的命題内容の中で用いられた時には話者自身が命題内容を一旦「過言」と客観的に思考していることから、命題内容に異論があるかも知れないと考える対人的機能を有している。その上で「ない」を用いて最終的に命題内容を肯定することで、還って命題内容に込められた話者の本意が際立たされ、伝達できるという機能を有している。《非難》に用いられた場合には、話者が命題内容に対して、かなりの程度真であると確信していることを伝達しながら、《非難》の程度を高める機能も有している。さらに肯定的評価の命題内容に用いられた場合には、話者が誇張した肯定的評価をすることで起こる、おこがましきや気恥ずかしきを「～といっても過言ではない」で緩和する機能を有している。また専門的、客観的結論に用いられた場合には、その命題内容は事実を表していると考えられる為、「～といっても過言ではない」が一定程度の断定を緩和する機能を有しており、それは山岡 (2014) の「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられること

が、一定程度以上に慣習化された言語表現」に当てはまる可能性も示唆した。表に各グループ分類の語用論的機能をまとめた。

〔表1〕「～と言っても過言ではない」の分類ごとの語用論的機能

	命題内容	語用論的機能
A	主観的心情	聴者を意識しながら話者の心情を述べる
B	否定的評価	話者の非難意図を一層際立たせる
C	肯定的評価	肯定的誇張表現の気恥ずかしさの緩和
D	専門的、客観的結論	主張の緩和機能としての配慮表現

この表に示したように、「～と言っても過言ではない」は論理的には形式的二重否定と等価であるが、その機能は「～ないでもない」などのいわゆる二重否定のもつ緩和機能のみならず、話者が命題内容に込めた、本当の意図を際立たせることに価値があると考えて発話する表現だということや、話者が命題に対して「真」だと思っている程度が高いことを表すマーキングの役割になる。しかしながら、命題内容は主観的でも客観的でも用いることができる点は、いわゆる形式的二重否定とは異なっており、「～と言っても過言ではない」の特徴でもある。客観的、または専門的結論の命題内容に付加される割合は高く、その場合には一定程度の配慮表現としての機能が慣習化していると考えられる。以上、二重否定の定義をし直し、その一事例である「～と言っても過言ではない」の対人機能を述べてきた。「～と言っても過言ではない」を話者が用いる心的態度、一定の語用論的機能の解明はできたのではないかと考える。今後はさらに多くの二重否定表現を射程に入れながら、語用論的機能の分析を蓄積していく必要があると考える。



### 3.4. 「～ないといったら嘘になる」の意味・機能

#### 3.4.1. はじめに

現状の日本語学において「～ないといったら嘘になる」のような表現は二重否定とは認定されておらず、その表現が持つ多様な機能も十分に解明されていない。日本語学習者が「～ないと言ったら嘘になる」のような個性的で使用場面が限定される表現の文脈効果を習得することは決して容易でないが、それによって表現の幅が格段に広がることは自明である。本研究は、日本語の二重否定モダリティの側面から「～ないといったら嘘になる」の用法を検討し、文末の二重否定モダリティとして「～ないといったら嘘になる」の意味・機能について述べ、コミュニケーションに果たす役割を考察する。

#### 3.4.2. 本研究における二重否定の範疇

本研究では、一つの否定辞と否定意味の語彙が結合した表現を二重否定と認定し、肯定極性に婉曲が付加される「～ないといったら嘘になる」のような表現をモダリティとして慣習化している二重否定表現と考える立場をとる。

#### 3.4.3. 先行研究およびその問題点

先行研究における問題点は、先ず「二重否定表現」というのは、どのような表現を指すのか、一口に二重否定と言っても、その定義が一様ではないことである。先行研究の二重否定の形式的定義という観点から見ると、以下のように次の三種に大別される。

- ① 陶 (1991) (1994) のように二つの否定辞「ない」を持つもののみに限定するもの
- ② 松岡 (1995) 小松 (2001) のように二つの否定辞「ない」を持つものに加えて、一つの否定辞と否定意味の語彙が結合したものを二重否定と認めるもの
- ③ 林 (2005) 同 (2006) のように命題内の述語語彙にまで否定意味の語彙を拡張して二重否定の要素と認めるもの

このうち③はモダリティとして議論されてきた二重否定を命題の領域まで拡張するものであり、文法化も慣習化も経ていないものまで二重否定に含めて範疇化してしまうことは、必然性のない過剰な拡張であると考えられる。日本語教育においてもそのような過剰に拡張された二重否定は文法項目として扱いつらいものとなる。③が広すぎるのに対し、①は「～に違いない」など一つの否定辞と否定意味の語彙が結合したものを二重否定と見なし

ていない点で狭い。否定意味の語彙「違い」と否定辞「ない」とが結合して一つの肯定極性モダリティを生成しているとする②の立場を取れば、「～に違いがない」を二重否定と認めることは可能である。<sup>(20)</sup>松岡(1995)は「～といっても過言ではない」「～は間違いない」「～に違いがない」に近い性質を持つ「～ほかにならない」などは日本語の論述文で多用される表現であると述べている。日本語学習者がこれらの表現の性質を的確に捉えるためにも、まずはこれらの表現が、他の二重否定モダリティと同じく肯定極性と、強意または婉曲の意味を有することを理解し、個々の表現が持つ固有の意味を適切に理解していくことが有益である。その上で筆者の見解は②の考え方に最も近いが、松岡は外延としての表現群を列挙するのみで内包的定義を示しておらず、小松(2001)における「否定的意味の語」にしても、例として接頭辞「不」が示されているのみ(例：不都合なことはない)で定義とはなっていない。筆者は、「一つの否定辞と否定意味の語彙とが結合して肯定極性のモダリティとして慣習化しているもの」を二重否定と認めることができるように陶(1991)の定義を改変して盛り込む必要があると考える。

#### 3.4.4. 二重否定モダリティ

前節にしたがって二重否定を以下のように定義する。

- 1) 命題の述語に下接するモダリティの中に、二つの否定辞要素が用いられるもの。
- 2) 二つの否定要素は、二つの否定辞、または一つの否定辞と否定意味の語彙であるもの。
- 3) 命題に対して肯定的な極性を付与し、そこに強意または婉曲の意味、さらに各表現に特徴的な固有の意味を付加するもの。

本節のテーマである「～ないといったら嘘になる」は、2)の「一つの否定辞と否定意味の語彙であるもの」に該当し、1)、3)をも満たすと考える。

二重否定モダリティの例(下線は否定意味の語彙)

肯定極性+強意:～に違いがない、～ことは間違いない、～以外にない、～にほかならない、～以外の何物でもない、～ことは疑いない

肯定極性+婉曲:～といっても過言ではない、～といつて差し支えない、～かねない、

<sup>(20)</sup> 否定意味の語彙「違い」と否定辞「ない」とが結合して一つの肯定極性モダリティを生成していることについては、大堀(2016)2.1.と3.に詳しく記述した。

### ～ことは否めない、～ことは否定できない

これらの否定意味の語彙に類する語彙なら何でも二重否定の要素となれるわけではない。あくまでも一つの否定辞と結合してモダリティとして慣習化しているもののみが二重否定と認定される。筆者は、これらの表現に共通する意味・機能的特徴を踏まえつつ、この表現に固有の特徴を正確に記述していく必要があると考え、本節ではその中の一つである「～ないといったら嘘になる」を取り上げ、その固有の意味・特徴について考察する。

#### 3.4.5. 「～ないといったら嘘になる」の考察

##### 3.4.5.1. 「～ないといったら嘘になる」の固有の意味特徴

「～ないといったら嘘になる」は文末のモダリティとして機能する。例えば、命題を単純に断定した (1) と、文末に「～ないといったら嘘になる」を付加した (2)、「～なくもない」を付加した (3) を比較すると、命題の極性が変更していないことからモダリティ「～ないといったら嘘になる」の極性は「～なくもない」と同様、肯定極性であることがわかる。

(1) 彼女を好きだ。

(2) 彼女を好きじゃないといったら嘘になる。

(3) 彼女を好きじゃなくもない。

否定辞「ない」と否定意味の語彙名詞「嘘」が結合し、全体として二重否定モダリティとなっているのである。そして、(1) の断定に比べて (2) (3) は断定を回避している分、相対的に婉曲性が付与されている。しかし、(3) の婉曲性が単に否定辞「ない」を二度重ねる迂回的断定によって話者の確信の弱さを表すのとは違って、(2) の婉曲性は否定意味の語彙「嘘」の固有の意味によって特徴付けられている。「嘘」とは国語辞典には「事実でないことを本当であるかのようにだましていう言葉。また、事実でないこと。」(北原編 (2010)) とある。これは命題内容が何らかの理由で聴者にとって (または、一般的に) 受け入れがたいものである可能性があることを示す為に、一旦「ない」で否定し、次に話者の本意を表す為に、それを「嘘＝事実ではない」と言及することで、結果として命題内容に対する話者の心情を逆説的に印象づける効果がある。このように聴者に配慮しながらも話者の本意を伝えるという複雑な意味構造が「～といったら嘘になる」の固有の意味と言える。当該表現の言い換えは困難を極めるが、「私が～と 100% 断定してしまうと差し障りがあるが、～は本当である。」(＝「私の本当の心情・含意に気がついて!」) となるであろう

う。以上、述べた「～ないといったら嘘になる」の意味・機能について次節では用例を見ながら確認したい。

### 3.4.5.2 「～ないといったら嘘になる」の用例分析と命題の型

BCCWJ コーパスや新潮文庫 100 選コーパス、毎日ニュースパックなど複数のコーパスから検索した「～ないといったら嘘になる」の用例 70 例を分析したところ、上接の命題の型として大別すると 3 種あることが分かった。なお、本研究に提示した用例の詳細な出典は巻末に記載した。表 1 はそれぞれの命題の型とそれに対してモダリティ「～ないといったら嘘になる」が果たす役割を整理したものである。

表 1 「～ないといったら嘘になる」の命題の型とモダリティ機能

(X=～ないといったら嘘になる)

命題の型	X に上接する命題の例	X のモダリティとしての機能	用例数
感情緩和型	全然恐怖が X。	話者の感情を述べる命題に付加して、断定を緩和。	35
先行提示型	A:恐怖心はあるんですか。 B:恐怖心はね、X だけど、何も考えてないね。	先行話者が発話した命題を受けて、後行話者が X を発話し、真意を主張する。	13
言い訳型	支店長夫人に取り入ろうなんて、別にそういう気持ちは X っていうか...	話者が命題の補足や釈明、ある種の言い訳などを主張する。	22

### 3.4.5.3 「～ないといったら嘘になる」の命題の型

「～ないといったら嘘になる」の表れ方は、命題の型により次のような 3 つのカテゴリーに分類が可能である。

#### 3.4.5.3.1 感情緩和型

このグループは、話者の感情表出に現れる「～ないといったら嘘になる」である。命題に表れる語彙をみると例えば「無理をする」「悔いが残る」「不安がある」「下心がある」「苦しい」「寂しい」など否定的な感情を吐露する語彙を含むものが多く、このグループの検証した 35 例中 31 例がこのようなものであった。このことから命題に否定的な語彙を用いて話者の感情を吐露することが、「～ないといったら嘘になる」の主用法という

ことになる。

(4) 乳がんになって、つらくないといったら嘘になるけど、この病気になったから見えたことがたくさんあります。(友人からのメール 2015/7/13)

(4) のような発話は話者が聴者に語りかける(心の)声のようなものである。同様のケースの用例には目の前に聴者が存在している例、していない例の両方があった。仮に目の前に聴者が存在していない場合でも、それは小説や新聞記事のようなものであり、広い意味で聴者は存在していると考えられる。(5) は新聞記事の一部であり、このような書き言葉的なものにも表れる。

(5) マサキさんに下心がなかった、といえ、嘘になる。家出サイトで数人とやり取りをし、リサと名乗る18歳の女性と会った。地味な格好で、化粧も薄い。年齢より若い印象を受けた。(狙われ)

(4) (5) の例から、話者の感情表出で「～ないといったら嘘になる」が表れるのは、話者にとっての否定的命題を、単純肯定することを避ける為であり、眼前に当事者がいる場合や、また存在しなくても不特定多数の人の目にふれる新聞、書籍に記されていることを話者が意識して使用していることがうかがえる。さらに、否定的な感情を直截表出することは、日本人にとって「恥」「外聞を気にする」こと＝「面子」を守ることにつながるため、「～ないといったら嘘になる」で婉曲に話者の真意を表現することは、話者自身の消極的フェイスを守ることになる。また、少数ではあるが話者の肯定的な感情表出に現れる「～ないといったら嘘になる」もある。命題に表れる語彙をみると例えば「期待する」「かわいい」「結婚の二字が頭をよぎる」など肯定的な感情を吐露する語彙を含むものであった。しかし、検証できたのはわずか4例と少ない。

(6) ところで、豚にまたがっても「馬乗り」というのだろうか。豚に、馬乗りやってみたくない、といえ、嘘になる。こちらの豚の温厚さと、自分の運動神経の欠如を、天秤にかける気持ちになってきた。(アンナ)

(7) は小説の一部であり、このような書き言葉的なものにも表れる例である。

(7) ルミ子がかわいくないといえ、嘘になる。――二十六歳の、蜜[みつ]の壺のような道具を持った小悪魔だ。が、それ以上に、彼女とは一種の腐れ縁でむすばれていた。(共食い)

(6) (7) の例から、話者の肯定的な感情表出で「～ないといったら嘘になる」が表れるのは、肯定的命題を話者が単純肯定をすることを避ける為であり、その理由は肯定の命題がエキセントリックであったり、不特定多数の人の目にふれる新聞、書籍に記されていることを話者が意識して使用していることは否定的感情表出と同様である。さらに、肯定的な感情を直截表に表出することは、日本人にとって「自慢」「恩着せ」につながるため、「～ないといったら嘘になる」で婉曲に話者の真意を表現することは、それを緩和することになり、結果として話者の消極的フェイスを守ることになる。

### 3.4.5.3.2. 先行提示型

(8) はインタビューに答える対話形式であり、命題は「無理する」である。

(8) アキ:無理してないか? 《感情要求》

ユイ:無理してないっていったら嘘になる《感情表出》けど、ちょっとくらい無理しないと変わらないから。(あま)

(8) は先行の発話者が、恐らく後行発話者が肯定するであろうと考えられる否定的感情を表す語彙(=「無理をする」=Y とする)を質問形式で先に発話し、後行発話者は先行発話者が発話した (Y) を命題に付加してから「～ないといったら嘘になる」(=X) を発話するという特徴がある。このような対話における二重否定を発話する論理を解明しようとした先行研究に、中右(1994a)がある。<sup>(21)</sup>これは、先行の話者によるいわば突っ込み(本音を言いなさいというプッシュ)のようなものである。それに対して応答時に「～ないといったら嘘になる」を付加している後行の話者は、容赦ない本音追求にとうとう本音を漏らしてしまうという構造になっている。後者は本来であれば、その本音を隠しておきたかった、あるいは言いたくはなかったということが見て取れる。したがってこれは「=仕方がないから本音を言う」「渋々言われたことを認める」のような表現に置き換えが可能である。

(9) アナ:新しい生活に不安はないですか?

男性:不安がないという嘘になるが、実生活があるのでなんとか乗り越えて行きたいです。(仮設)

---

<sup>(21)</sup> 中右(1994b)によれば、「先に陳述されたこと、含意されている事物を却下する行為=否認行為」が直接できない場合に、二重否定は出現すると結論している。無論、中右は英語の二重否定の論理の解明をしているものだが、日本語の二重否定が出現する論理にも援用可能だと思われる。

(8) (9) に共通しているのは、「～ないといったら嘘になる」の後に、「でも...」「それでも...」が後続することである。これはその他の6例にも共通しており、先行発話を認めたり、仕方なく曝け出した本心をそのままにするのは何か釈然としないので、反論しているようにも見える。つまりこのような発話の後には後行話者の自己主張が続き、発話が完結していくのである。また、命題が肯定的な例もある。

(10) (1045 勝の歴代記録塗り替え目前に)

記者：「やはり、歴代記録は気になりますか？」

魁皇：「これだけ騒がれたら、気にならないと言ったら嘘になる。でも自分の相撲を取るだけです。」(キャスター)

(11) (バトミントンの藤川、岩垣ペアがオリンピック準決勝進出を決めて)

アナ：「メダルは意識しましたか？」

岩垣：「メダルを意識しないといったら嘘になるけど、次も全力で戦いたい。(NHK)

(10) (11) は、「～ないといったら嘘になる」の部分を「=おっしゃるとおり Y (=先行話者の発話した命題)」「認めます」のような表現に置き換えが可能である。11) (12) に共通しているのは、「～ないといったら嘘になる」の後に、話者の決意が後続することである。前出の(8)(9)と異なる点は、命題が肯定的な内容なので、先行話者の発話に反論の余地がないというマーカーになっているという点である。

### 3.4.5.3.3. 言い訳型

このカテゴリーは、6.1.3 で話者が言いにくいことを聞かれて、本音を漏らすのとは違い、発話場面に於いては話者が言いにくいことや、聴者が聞きにくいことは言語化されていない。しかし話者は、「～ないといったら嘘になる」を使用し、その言いにくさや不自由さを乗り越えていることが分かる。

(12) (昔つきあっていた治子に社長の娘えりと結婚した理由を語る場面)

八木：治子のことは好きだったけど、結婚となると話は別だろ。えりは料理もうまいし、従順だし。出世のこと考えなかったっていえば嘘になるけど...(彼、夫)

(12) は、対話の相手である治子が自分からは分かれた理由を聞いてもいないのに、八木がその本音を語る場面である。これは、その場の空気が持つ含意(当然話すだろうというような話題について)を八木が察知し話している。つまり話者にとっては、補足説明や

釈明、ある種のいい訳のような命題を持つ発話となることが特徴である。

- (13) 支持者：（野党共闘候補の支持をすることを）不安はないっていったら嘘になりますよ。（民進党は）消費税 10%にするっていったでしょ。そこは不信感がありますよ。（クローズ）

(13) は、話者が誰に聞かれたわけでもなく、聞き手がそう思っているだろう疑念に対して（場面の含意で）補足説明的に、その心情を話す例である。(12) (13) に見られるように、このように場面の含意で「～ないっていったら嘘になる」が発話されるのは、話者が該当の事柄に対して自身の真意を補足、釈明して聴者に理解を求める目的がある。また、(12) (13) とは異なり、命題内容が肯定的な例もある。そのような用例は、話者は聴者に対して気を使いつつ、自身の主張をしていく。しかし、命題は肯定するのに差し障りがないものがほとんどあり、あらかじめこの場面では「そう答えるだろう」というような予測がついているという意味で含意とした。

- (14) （女性にもてると評判の芸人に）

司会：実際のところ、どうなんですか？

芸人：もててないって言ったら嘘になりますね。（もてもて）

(14) は話者が発話を直截断定したら、それは自賛になり聴者に対して差し障りがあるので、「～ないっていったら嘘」を使用して、聴者に反感を買わないように釈明していることが分かる。

### 3.4.6. 「～ないっていったら嘘になる」の配慮表現機能

どの用例からもその命題内容に、何らかの意味で話者自身の本心の断定に配慮しなければならない可能性（その命題を完全肯定することで、話者自身が気恥ずかしさを感じる、聴者を傷つける、反感を買うなど）があることを話者が予見し、そのことに配慮した表現形式として「～ないっていったら嘘になる」が使用されていることがわかった。B&L

(1987) では聴者や話者自身が持つ対人関係上の欲求（フェイス）を脅かす恐れのある行為を「フェイス脅かし行為」（Face-threatening act、以下 FTA）としているが、その中で本質的に消極的フェイスも積極的フェイスも脅かすものとして「感情の吐露」（strong expressions of emotion）を挙げている。「～ないっていったら嘘になる」は、話者の心情を否定的であれ、肯定的であれ本意を吐露している中で出現している。したがって「～ないっていったら嘘になる」は、その本意を断定することが話者自身にとって、あるいは聴者にと



っても FTA であることを予見したときにそれに対する FTA 侵害を回避する目的で使用する配慮表現ということになる。

### 3.4.7. まとめと課題

以上、命題に現れる「～ないといったら嘘になる」を二重否定モダリティとしてその命題の型を分類し、モダリティ機能を検証してきた。「～ないといったら嘘になる」は以下のような特徴を備えている。

- I. 「嘘」という語彙が「本当である」の否定語と考えれば、そもそも婉曲性を持っていることから、「ない」＋「といったら嘘になる」は否定辞を二つ使っている二重否定の婉曲性と同一機能がある。
- II. 「～ないといったら嘘になる」は「心配する」、「恐怖がある」、「不安がある」、「寂しい」のような否定意味を含む語彙と共起しやすく、話者の本意を聴者に遠慮しながらも正確に伝達するモダリティ機能がある。
- III. 二重否定モダリティの「～ないといったら嘘になる」は、「ない」と断定するのに比べて冗長であり、話者が婉曲的に感情表出をすることが可能な表現形式である。

命題が肯定的であれ、否定的であれ、話者が直截的に深層にある感情表出を行うことそのものが、話者自身の心的負担を伴う行為である場合に、話者は直截感情表出するおこがましさや気恥ずかしさを感じたり、聴者に対しては、心配をかけることや気をつかわせるなどの心的負担を少しでも回避したいという双方向のベクトルが存在する。そこでさまざまな語用論的条件（聴者から本音を言わせようとする感情要求を受けるなど）によりやむを得ず感情表出しなければならなくなった場合に発する言語形式が、配慮表現としての「～ないといったら嘘になる」である。この言語表現形式は、「本音をいうことはどこかはしたくない」、本音を直截断定してしまうのには、「周りにも気をつかわせ差し障りがある」のような場合に、肝心の本音の部分を伝えながら、相手に遠慮している気持ちも伝えたいという複雑な「日本人の心理」のよく表れた表現であるといつてよいだろう。このような用法は上級日本語話者にとって、複雑ではあるが正確に習得することで、より一層日本語の重層で円滑なコミュニケーションが可能になるツールとして見逃すことはできない。今後はこの種の表現の語用論的分析、日本語教育の観点からの分析を蓄積し、その知見を日本語教育にも活用できる方途を見いだしていきたい。

### 3.5. 「～ないとは（も）限らない」の二種の型をめぐって—配慮表現としての緩和用法を中心に—

#### 3.5.1. 研究の目的

日本語において話者の《主張》<sup>(22)</sup>を表現する文の文末には、「～ないこともない」、「～ないはずがない」などの二重否定と呼ばれる表現形式がしばしば現れる。これら二重否定の意味・機能については婉曲や強調の機能が指摘されているが、二重否定の一つである「～ないとは（も）限らない」については、異なる二種の型があることはまだ指摘されていない。

本節では、「～ないとは（も）限らない」の二つの否定辞の作用域の異なりによって、①「命題否定+モダリティ否定型」と②「モダリティ二重否定型」に分かれること、そして、それぞれが文中で果たす意味・機能については、①前提命題を否定する「前提否定用法」と②聞き手にとって負担となる肯定命題を提示することへの配慮を意図した「緩和用法」と呼ぶことができ、特に後者が配慮表現であることを考察する。

#### 3.5.2. 二重否定の定義

先行研究において、日本語の二重否定を定義しているものに陶（1991）がある。それは以下のようなものである。

- (a) 一つの述語表現に限られること
- (b) 否定を表す表現が二つあるべきこと
- (c) 二つの否定は連続的で後ろの否定が前の否定を制約すること
- (d) 二つ目の否定がくることによって、文全体は肯定になること

(a) の「一つの述語表現に限られる」により、「不自由のない生活」のように述語以外に否定形式（この場合、接頭辞「不」）が現れるものや「明けない夜はない」のように否定辞が主文の述語と補文の述語に分かれて現れるものは二重否定からは除外される。これは今日における日本語の二重否定に対する一般的な基準として認識されている。次に、(b) の「否定を表す表現」が何を指すのかについてはいくつかの考え方があり、必ずしも定まっていない。陶（1991）では「否定を表す表現」を「ない、ん、ず」といった否定辞（＝否定の文法形式）のみに限定して論じているが、林（2005）のように、「駄目だ、無理だ、手遅れだ、下手だ、間違いだ、嫌いだ」などの否定的な意味の実質語を「否定を表す表現」

---

<sup>(22)</sup> 《主張》は山岡（2008）発話機能の表示による二重アングル。これ以後、本稿に出てくる二重アングルは発話機能を表す。

に含むものもある。その場合、「駄目ではない」や「無理ではない」を二重否定表現として認めることになる。

本節では二つの否定辞を持つ「～ないとは（も）限らない」の考察を目的としているため、「否定を表す表現」を否定辞のみに限定する最も狭い定義を前提として考察しても差し支えない。そのうえで、本節の考察結果が二重否定とは何かという本質的な問いに対して影響を与える可能性があることを踏まえて、本節の最終節で改めて二重否定の定義について考察することとする。

### 3.5.3. 命題とモダリティの二重否定の解釈原理

前節の日本語の二重否定の定義をもとに、日本語の二重否定表現の解釈原理について考察するとき、英語の二重否定について論じた中右（1994b）の「二重否定の解釈原理」が参考になる。次のようなものである。

二重否定とは「独立節（主節）レベルにおいて、外部否定はモダリティ内否定であるのに対し、内部否定は命題内否定である。」

つまり、英語の二重否定は、必ず命題（文のうち客観事象を表す部分）の否定とモダリティ（文のうち話者の主観的態度を表す部分）の否定とに分離して現れると述べているのである。この原理を日本語の文末表現の解釈に応用したものに山岡（2016）がある。山岡は、日本語の「～かもしれない」には大きく二種の用法があり、いずれもある種の意味上の二重否定と解釈することができるとしている。そして、その二種の用法間の異なりを説明するのに中右（1994b）の二重否定の解釈原理を援用しているのである。

二種の用法の第一は「可能性判断用法」である。具体的には（1）のように客観的事象の生起可能性に対する判断を述べ立てる文である。（1）は命題とモダリティとに立て分けることができる。／は命題とモダリティの境界を表す記号として用いる。

(1) 明日、雨が降る／かもしれない。

命題                      モダリティ

山岡は、（1）のモダリティである「～かもしれない」は意味的には二重否定の「～ないとは断定できない」と等価であり、その場合の前の否定「ない」は客観事象である命題「雨が降る」を否定する内部否定であるのに対し、後ろの否定「ない」は話者の主観的態度として断定を避ける外部否定である、としている。つまり、これは英語の二重否定と同じ構造をしており、中右の解釈原理に当てはめて図式化すると（2）となる。

(2) 明日、雨が降ら+ない／とは断定できない。

命題（内部否定）                      モダリティ（外部否定）



重否定型」の二種があることを示した。このうちの「モダリティ二重否定型」は英語にはない日本語独特のもので、これを山岡は対人配慮用法<sup>(25)</sup>と呼び、「配慮表現」に類するものであるとしている。本来、ポライトネスは文脈依存的な機能現象であるが、一定の文脈が頻出することによってポライトネス現象が慣習化し、その結果、一定の表現形式がポライトネス用法に特化していく現象、およびその表現形式を山岡は「配慮表現」と呼んでいるのである。

### 3.5.4. 「～ないとは（も）限らない」の二重否定用法の型

#### 3.5.4.1. 「～ないとは（も）限らない」の辞書記述

日本語の二重否定表現の一種で、なおかつ文学作品や論説文などの書記言語に多く見られる表現が「～ないとは（も）限らない」である。これを項目として記載した国語辞典は現状において見当たらない。つまり、国語辞典のレベルでは連語として熟した表現とは認められていないということである。

しかし、外国人日本語学習者を対象とした文型辞典では、この表現に関連する項目が記載されている。『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』（2007）には、「～ないとは（も）限らない」を構成する部分と言える「～とはかぎらない」が項目として記載されている。また、『日本語文型辞典』（1998）には「～ないともかぎらない」が項目として記載されており、日本語能力試験N1（テキストによってはN2）レベルの用法として重視されている。これは日本語学習者にとって軽視できない機能を持った表現であることを意味している。

ここではこれら二つの文型辞典の記述を手掛かりとして、「～ないとは（も）限らない」の型について考察する。なお、「～ないとは限らない」と「～ないとも限らない」は全く同じとまでは言えないものの、本研究の考察内容の観点からは、「～ないとは（も）限らない」を一定程度慣習化した成句的文末モダリティとして扱うため、これらを等価の変異形と見なして差し支えない。したがってこれ以降は、用例中の形式が「～ないとは限らない」と「～ないとも限らない」のいずれであっても、標題の「～ないとは（も）限らない」の用例として変わりなく扱うものとする。

また、コーパスから収集した実例も検討する。今回、現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）（116件）と『新潮文庫の100冊』（22件）（CD-ROM）から「～ないとも限らない」の用例を一三八例収集したので、それらをもとに考察結果を検証することに

<sup>(25)</sup> 対人配慮用法について、山岡（2016）では次のように定式化している。

※記号 P: 命題 M: モダリティ RE: 話者に責任の有る事象 FTA: フェイス侵害行為 NP: ネガティブポライトネス  
 $\frac{[RE]}{トネス}$  /  $\frac{カモシレナイ}{トハ否定デキナイ}$  ⇔  $\frac{[RE]}{トハ否定デキナイ}$  /  $\frac{カモシレナイ}{トネス}$   
 P (=FTA) M (=NP) P (=FTA) M (=NP)

する。

### 3.5.4.2. 命題否定＋モダリティ否定型

『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』（2007）では、「～とはかぎらない」が項目として記載されており、(4) が用例として挙げられている。

(4) 「天気予報がいつも当たるとはかぎらない」

これには、「「～ということが必ず、いつも本当であるとは言えない、ときには例外もある」といいたい時の文型」との説明が添えられている。この場合、「～とはかぎらない」は単純否定を含むモダリティとして命題を受けている。これは次のように表示できる。

(4') 天気予報がいつも当たる／とはかぎらない

命題（内部肯定）　／モダリティ（外部否定）

この場合、「天気予報は概ね当たる」という前提のもと、例外として外れることもあると警告するような文となっている。単純に考えれば、この「～とはかぎらない」の命題がたまたま否定命題であれば、「～ないとはかぎらない」の形になる。例えば、(5) のような用例である。

(5) 宝くじがいつも当たらないとはかぎらない。

(5') 宝くじがいつも当たらない／とはかぎらない

命題（内部否定）　／モダリティ（外部否定）

この場合も「宝くじは概ね当たらない」という前提のもと、例外の生起を述べた文であるから、(4) の「～とはかぎらない」と同様に解釈されるべきものである。つまり、「宝くじがいつも当たらない」ことは「天気予報がいつも当たる」ことと同様、社会通念であって、話者に責任のある事象ではない。ゆえに、前の否定はモダリティの側にある外部否定ではなく命題の側にある内部否定と解釈される。

すると、(5) はたまたま命題が否定命題であるだけで、モダリティ側の否定とは分離して機能しており、二重否定モダリティとして融合しているものではない。ゆえに、命題否定（内部否定）とモダリティ否定（外部否定）の二重否定構造となる。これは中右（1994b）の「二重否定の解釈原理」がそのまま当てはまるもので、英語の二重否定構造と同じ構造をしていることになる。意味・機能としては前提が否定される可能性を指摘するものなので、「前提否定用法」とも呼ぶことにする。

コーパスから収集した 138 例のなかではこの型に該当すると考えられる用例は三例しか見つかっていない。その一つが (6) である。

(6) 名前と直接関係がないからといってなんのつながりもないとは限らない、と思い直して自らを慰めた。（『王国』）

この例では、「AからといってBとは限らない」の組み合わせでBの位置にAから想定されやすい前提を示したうえでその前提を否定する「前提否定用法」となっていることがよくわかる。そして、(6)ではそのBの極性がたまたま否定であったのに過ぎず、二重否定として熟しているものとは言えない。このように命題否定+モダリティ否定型の前提否定用法は、命題の極性が肯定でも否定でもモダリティ部分の意味の差はほとんどなく、二重否定「～ないとも限らない」としての用法と言うより、「～とも限らない」部分のみの用法と言うべきであろう。用例数が少ないのも、二重否定として熟していない、即ち、慣習化を経たものではないため、「～とも限らない」を受ける命題部分がたまたま否定命題であるような希少な事例に限られるからだと考えられる。

### 3.5.4.3. モダリティ二重否定型

一方、『日本語文型辞典』(1998)では、次のような用例が挙げられている。

(7) 今日は父の命日だから、誰かが突然訪ねてこないともかぎらない。

そして、「何も起こるはずがないと思って安心していないで、何か対策を立てた方がいいということを使うことが多い」と説明が添えられている。(7)は、例えば同居する姉が、普段は家に居て、身だしなみや部屋の掃除に気を配らないだらしのない弟に、「誰かが突然訪ねてくる」という肯定命題を《警告》、《忠告》として提示したいときに、「～ないともかぎらない」という二重否定を付加することによって、「可能性は低いとしても対応が必要だ」として相手に押し付けにならないための配慮をモダリティとして添えているという場面を想定することができる。これは先述の(5)とは明らかに異なった意味・機能を有している。(7)において、相手に解釈として伝えたいのは肯定命題「誰かが突然訪ねてくること」を《警告》することであり、そのことが相手にとって心理的負担となる可能性に配慮して、二重否定の婉曲性を用いて緩和していることがわかる。すると、これは次のように表示できる。

(7') 誰かが突然来 / ないとも限らない

命題 (単純肯定) / モダリティ (外部二重否定)

これは、(5)の命題否定+モダリティ否定型の「～ないとも限らない」とは異なる「モダリティ二重否定型」と言える。(8)も同様である。これは、マンションの管理人Aが住人Bに《忠告》する文脈での発話である。

(8) 鍵を直しておかないと、また泥棒に入られないとも限りません。

(8') また泥棒に入られ / ないとも限らない

命題 (内部肯定) / モダリティ (外部二重否定)

(8) では話者は「また泥棒に入られる」という肯定命題を《忠告》として提示している。これは相手にとってフェイスを脅かすFTAとなるが、「～ないとも限らない」はそれを緩和する働きを有していることが認められる。(7)、(8) に共通してFTAを緩和する意味・機能が見られることから、これらを「緩和用法」と呼ぶことにする。コーパスから収集した用例としては次のようなものがある。

(9) こういう〈よろこび下手〉の女性というのは、意外におおいものです。自分ではそうでもないつもりでも、でも、他人からみると立派な〈よろこび下手〉に分類されていないとは限らない。じつは、ぼくにも少々その気があります。(『生きる』)

(9') 他人からみると立派な〈よろこび下手〉に 分類されてい / ないとは限らない。

命題(内部肯定) / モダリティ(外部二重否定)

ここでの話者の《主張》は、〈よろこび下手〉の女性は、他人からみると立派な〈よろこび下手〉に分類されているという主観的《主張》であり、命題極性は肯定で捉えられる。そして命題に下接する「～ないとも限らない」は、「○○下手に分類されている」との肯定命題の指摘が不遜に聞こえるかもしれないことを意識して話者が選択した「緩和用法」の表現と考えられる。つまり、聴者のネガティブポライトネスを脅かすかもしれない可能性を婉曲的に緩和しながら、肯定命題を《主張》しているのである。

では、「～ないとも限らない」がモダリティ二重否定型として慣習化したのには、どのような原因が考えられるだろうか。「～ないとも限らない」が使用されている例文の命題にはどのような特徴があるかを見てみたい。

(10) 馬車の中で私が、実は定住場所を持っていない、知り合いもない、と言ったことから発せられた言葉だったが、でも年頃の男女が、彼が私の輝くばかりの魅力に屈して、突然野獣にならないとも限らないし (といっても不本意ながら、いまのところ彼にその気配はないけれど...) 『武官』

(10) の命題は「彼が私に対して突然野獣になる」ことであり、そのことを「私」は内心望んでいることを冗談めかして述べたものである。しかしながら、女性の側がそれを望むことは、社会通念上は好ましいことではなく、自分自身のポジティブフェイスを脅かすため、男性に対して野獣という攻撃的で批判的な言葉を用いて、決してそれを自分が望んでいるわけではないと装おうとしている心情が読み取れる。このように社会通念に反する命題内容を述べようとするに対して、二重否定「～ないとも限らない」の「緩和用法」を利用して緩和しようとしているのである。

(11) 「新学力観」に立つ授業では、教師の役割は「学習者の支援者」としてとらえられており、子どもたちの認識をゆさぶり、それらを組織し、発展させる「指導



者」としてはとらえられていないように思われる。もしそうなら、この授業観は、子どもの認識の発達に責任を負わない授業をはびこらせる結果を招かないとも限らない。『教育』

(11) は、政府の教育方針に対する話者の批判的な《主張》であり、《非難》とも取れる内容である。そして、その方針が教師たちの授業観に悪影響を及ぼし、好ましくない結果を招くことを危惧していると解釈できる。このように批判的な内容を《主張》する際に、それが強すぎないように二重否定「～ないとも限らない」の「緩和用法」を利用して緩和していると考えられる。

モダリティ二重否定型に該当する (7) ～ (11) の用例から共通して言えることは、①当該命題が全くの客観的事象ではなく話者の知覚や推測や思考などの主観的判断によって成立した内容であること、かつ、②それが何らかの理由で相手の負担になったり、相手に悪印象を与えかねなかったりなど、聴者のネガティブフェイスを脅かす恐れのある (= F T A である) 命題内容のものであること、この2点が共通項として指摘できる。そして、②の F T A であることを考慮すれば、なるべくそのような発話はしたくないわけだが、何らかの理由でそのことを伝える必要があるときに、モダリティ二重否定型の「緩和用法」を利用して緩和しようとするのである。そして、このような文脈が日本語の発話や文章に頻出するため、その結果、「～ないとも限らない」の形で慣習化し、一つの熟した配慮表現となったと考えられる。

### 3.5.5. 結語

#### 3.5.5.1. 「～ないとも限らない」の二つの型と用法

ここまで「～ないとも限らない」における二つの否定の作用域に着目し、表現の型の二種について考察してきた。その結果、「～ないとも限らない」は「命題否定+モダリティ否定型」(前提否定用法)と、「モダリティ二重否定型」(緩和用法)とに区分できることを述べた。また、モダリティ二重否定型(緩和用法)の「～ないとも限らない」は、①命題内容が主観的判断によって成立するものであり、かつ、②それが対人コミュニケーション上で好ましくない内容である、という共通項があり、それを緩和するために用いることが慣習化した配慮表現であると捉えられることを考察した。

以上述べてきた「～ないとも限らない」の二つの型の異なりを、山岡(2016)における構文の型の表示法に基づいて表示すると、以下のようになる。

◎命題否定+モダリティ否定型(前提否定用法)

¬ [UE] / トモ (ハ) カギラナイ

P

M

◎外部二重否定型（緩和用法）

〔RE〕／ナイトモ（ハ）カギラナイ

P (=FTA)          M (=NP)

P：命題    M：モダリティ    ¬：否定    UE：話者に責任の無い事象    RE：話者に責任の有る事象    FTA：フェイス侵害行為    NP：ネガティブポライトネス

### 3.5.5.2. 二重否定の定義への関連

「～ないとも限らない」のモダリティ二重否定型には、①形態として慣習化しており、②その全体が完全にモダリティ形式となっている、という二つの特徴があることを述べた。これらの特徴は日本語の他の二重否定にも見られる一般的な特徴であると考えられる。そうであるならば、この型の二重否定は「二重否定モダリティ」としてモダリティ形式の分類と見なすことができるはずであり、モダリティ研究全体に対して有益な示唆を与えることになるだろう。

むしろ二重否定を一つの熟した文法単位として捉えることを重視するのであれば、日本語においては「命題否定+モダリティ否定型」のものは二重否定と見なさず、「モダリティ二重否定型」のもののみを二重否定と見なすように二重否定の定義を変更し、あくまでもモダリティ論の範囲内で二重否定を扱うようにすることも考慮に値する提案であると考えられる。

また、このことは陶（1991）における二重否定の定義（2）の「否定を表す表現」の適用範囲の検討にも貢献すると考える。なぜなら、林（2005）における拡張した定義によれば、「手遅れではない」、「下手ではない」なども二重否定に含まれることになるが、この場合の「否定を表す実質語」（「手遅れ」、「下手」）は命題の一部に組み込まれており、従って、「手遅れではない」、「下手ではない」の全体がモダリティとして慣習化しているとは言えない。したがって、これらは新しい定義のもとでは二重否定ではないことになる。それなら、「否定を表す表現」を否定辞のみに限定すべきかということ、そうとも言えない。なぜなら、「日本が観光大国であることは間違いがない」の「間違いがない」のように、否定辞は一つしかないが、極性としては肯定であり、命題に下接するモダリティ形式として機能し、断定の強調の意味を付加する表現として慣習化しているものは二重否定と認めてよいと考える。すると、この場合の「間違い」は否定辞ではないが「否定を表す表現」の一つと見なすことが可能であり、「～は間違いがない」は二重否定モダリティの一種と認めることができるようになる。この考え方を適用すれば、「～と言っても過言ではない」、「～と言っても差し支えない」、「～に違いない」、「～にほかならない」なども、二重否定モダリティのなかに含んでよいことになる。

以上を整理すると、新たな二重否定の定義として以下を仮説的に提案することができる。

- ①命題の述語に下接するモダリティの中に二つの否定要素が用いられるもの。
- ②二つの否定要素は、二つの否定辞、または一つの否定辞と否定的意味の語彙であるもの。
- ③命題に対して肯定の極性を付与し、そこに「強意」か「婉曲」のいずれかの意味、さらに各表現に特徴的な固有の意味を付加するもの。

本章は「～ないとも限らない」という一つの二重否定表現について考察したものである  
ので、今後は、二重否定モダリティとなっている他の二重否定について考察を行い、上の  
定義の妥当性について検証していきたいと考えている。

### 3.6. 対話に見られる二重否定の発話機能について

#### 3.6.1. はじめに

本節ではまず、日本語の二重否定モダリティとは何かを示す。従来二重否定と認定されていた表現形式を否定作用域からみた3つの型を述べる。その後、二重否定モダリティと認定されるものを明らかにする。次に、発話機能別に採取した二重否定モダリティ表現を示すことにする。結果的に、対話の中で発話される二重否定モダリティは、話者の聴者に対する配慮表現機能や、話者自身の嫌われたくないという欲求のネガティブフェイスを守る言語行動としての機能を担っている。それらの表現は慣習化し、配慮表現として使用されていることを示す。最後に二重否定モダリティは、従来のモダリティ研究の二分法の事態・相手の両方がめあてのどちら合わせもつ第3のモダリティであることを主張する。

#### 3.6.2. 二重否定表現の型

日本語の二重否定の研究は、二重否定の定義をした陶（1991）や、二重否定の表現形式を整理した林（2005）などがある。管見によれば二重否定をモダリティとして認定しているものは見当たらなかった。二重否定をモダリティ認定するために重要なのは、否定域が命題側もしくはモダリティ側でどう作用しているかという作用域の立て分け概念の確立である。本章では大堀（2020:7）で述べた、命題とモダリティの解釈原理中右（1994b）を引き続いて参考にして、英語の二重否定の解釈原理について論じたものであるが、その原理を参考にして日本語の二重否定の構造を考えると、次の3つのような否定作用域の型で分類できる。（ここでは便宜上、筆者の作例を使用する。）

##### 【日本語の二重否定の作用域の3種類】

- ① 明けない夜はない。→内部二重否定
- ② あいつに勝てない／気がしない。→内部否定＋外部否定
- ③ 頑張れば勝てそうな／気がしないでもない。→外部二重否定

\*／は命題とモダリティの境界を表す。

中右の二重否定解釈論理に準じて3種類を命名するとすれば、①は「明けない」の「ない」と「夜はない」の「ない」が、命題の側に完全に入り込んでいる。したがって、命題の内部で二重否定作用域が限定されるので、内部二重否定ということになる。②は、命題の内部に「勝てない」の「ない」があり、モダリティの内部に「気がしない」の「ない」があるので、内部否定＋外部否定の二重否定である。③は、命題が肯定であり、モダリティ内の「気がしないでもない」が二重否定になっている。よって、外部二重

否定である。上述の中右 (1994b:125) は二重否定構文において二つの否定辞の作用域が異なっていることに着目している。例えば、英語では次のような二重否定が表れる。

There was nobody /who did not eat breakfast.

だれもいなかった／朝食を食べなかった人 <https://honmono-eigo.com/kate-waho/nizyu>  
(2020/7/24閲覧)

(モダリティ内否定) / (命題内否定)

これは、②の日本語の内部否定＋外部否定の型の二重否定と同構造とみなすことができる。しかしながら、③のような日本語の二重否定の「命題」と「モダリティ」の作用域は、英語には存在しない。

### 3.6.3. 二重否定モダリティの認定

大堀 (2020:13) で二重否定モダリティについて、以下のように記述した。

「モダリティ二重否定型には、①形態として慣習化しており、②その全体が完全にモダリティ形式となっている、という二つの特徴がある。これらの特徴は日本語の他の二重否定にも見られる一般的な特徴であると考えられる。そうであるならば、この型の二重否定は「二重否定モダリティ」としてモダリティ形式の一類と見なすことができるはずであり、モダリティ研究全体に対して有益な示唆を与えることになるだろう。さらに、二重否定を一つの熟した文法単位として捉えることを重視するのであれば、日本語においては「命題否定＋モダリティ否定型」のものは二重否定モダリティと見なさず、「モダリティ二重否定型」のもののみを二重否定モダリティと見なすように二重否定の定義を変更し、あくまでもモダリティ論の範囲内で二重否定を扱うようにすることも考慮に値する提案であると考えている。また、このことは陶 (1991) における二重否定の定義 (2) の「否定を表す表現」の適用範囲の検討にも貢献すると考える。なぜなら、林 (2005) における拡張した定義によれば、「手遅れではない」、「下手ではない」なども二重否定に含まれることになるが、この場合の「否定を表す実質語」(「手遅れ」、「下手」) は命題の一部に組み込まれており、2.1.の①と同じ内部二重否定となる。従って、「手遅れではない」、「下手ではない」の全体がモダリティとして慣習化しているとは言えない。実質語の対義を意味しているだけである。したがって、これらは新しい定義のもとでは二重否定ではないことになる。それなら、「否定を表す表現」を否定辞のみに限定すべきかということ、そうとも言えない。なぜなら、「日本が観光大国であることは間違いない」の「間違いない」のように、否定辞は一つしかないが、極性としては肯定であり、命題に下接するモダリティ形式として機能し、断定の強調の意味を付加する表現として慣習化しているものは二重否定と認めてよいと考える。すると、この場合の「間違い」は否定辞ではないが「否定を表す表現」の一つと見なすことが可能であり、「～は間違いない」は二重否定モダリティの一種

と認めることができるようになる。この考え方を適用すれば、「～と言っても過言ではない」、「～と言っても差し支えない」、「～に違いない」、「～にほかならない」などの機能語として成句になっている表現も、二重否定モダリティのなかに含んでよいことになる。」これをふまえて、二重否定モダリティ認定要件を以下の4点示す。

- ① 命題が未完文であり、その述部に下接するモダリティの中に二つの否定要素全てが用いられるもの。
- ② 二つの否定要素は、二つの否定辞、または一つの否定辞と否定的意味の語彙であるもの。
- ③ 成句的表現、または複合動詞として慣習化して機能するもの。
- ④ 命題に対して肯定の極性を付与し、そこに「強意」か「婉曲」のいずれかの意味、さらに各表現に特徴的な固有の意味を付加するもの。

#### 3.6.4. 山岡（2008）の発話機能

本節では山岡（2008）の発話機能論を参考に、論を進めていく。そこで山岡の発話機能論を簡潔に説明する。

A: 天気予報は、明日の天気どうだって? 《報告要求》

B: 雨みたいよ。《報告》 明日サッカーやるの? 《意志要求》

A: その予定だったけど、雨だったらやめようと思う。《意志表明》

ここで言うモダリティは、時制・アスペクト・ヴォイス・極性と同じく、文末形式（述語の形態）の範疇であり、～ ヨウ、～ ナサイ、～ テモイイといった文末形式に対する範疇化であるのに対して、上述の《意志表明》などの名称群は、単に文末形式のみではなく、その発話全体がAとBの対人関係においてどんな機能を果たしているのかを示したものになっている。コミュニケーションにおいて、発話によって話者から聴者に伝達された最終的な意味のうち、それが両者の対人関係上に果たした機能を抽出して名称を与えたものだと言える。これが発話機能である。

例えば、「さっさと行かないか。」という発話は、以下のように《服従》、《改善》と二つの異なった発話機能としてラベリングすることができる。

I {策動} (deontics) 《命令》のちに《服従》(2008:115)

- ① 当該行為が参与者 B の意志によってなし得る行為であること
- ② 通常の事態の進行において参与者 B が当該行為を実行するのは自明ではないこと
- ③ 参与者 A が参与者 B の行為を規制する権限を有していること。

発話例 1 : 部長 A が部下 B にとって不服な出張を命じた時の発話

発話例 2 : 娘 B に結婚報告をされた時、しぶしぶ婿の元へ送り出す父親 A の発話

## II {策動} (deontics) の《改善要求》のちに《改善》(2008:115)

① ②に加えて、

③ 参与者 B による当該行為の実行は参与者 B 自身の権限に基づくこと

④ 参与者 B は現に参与者 A に不利益をもたらしていること

⑤ 参与者 B が該当行為を実行することを参与者 A が欲していること

発話例 1 : 意中の人に告白しようとした友人 B がなかなかできずに、足踏みしているのを見た時の A の発話

発話例 2 : 混雑している人混みで、前を歩く B が突然立ち止まったので、前に進めなくなった A の発話

### 3.6.5. 二重否定モダリティの発話機能

#### 3.6.5.1. {演述} 系発話機能その 1

《主張》の語用論的条件 山岡 (2018)

会話の目的 : 世界の現象に対する参与者の見解を他の参与者に伝えること

語用論的条件 :

① 相手が当該命題を述べる根拠を有していないことは自明ではないこと

② 当該命題は参与者の立場によって異なるものであること

③ 用例 : 「彼の仕事ぶりに対する君の評価はどうかね」

「まあまあよく頑張っていると思いますよ」

#### 3.6.5.1.1. 《主張要求》《主張》の例

(1)

関口 : これ、専門家と政府に何かあったんですかね? 《主張要求》

専門家 : どうやら両者の間に、ぎくしゃくしたものがあるのは否めないですね。《主張》

(サンデーモーニング 2020/6/28)

[ポライトネスと配慮]

専門家が政府への非難が最小限になるように主張を緩和。(N) <sup>(26)</sup>

文末緩和表現

(2)

有働 : (離婚問題で) 最近では、夫が子供をつれて行くケースは増えているんですか。《主張要求》

弁護士 : 最近ではそういったケースが増えていると言えなくはないと思います。《主張》

<sup>(26)</sup> (N) は B&L (1987) の FTA を回避するための言語行動の negative politeness を指す。

(NHK 朝イチ 2011/11/07)

[ポライトネスと配慮]

自他の意見の相違を最小限にせよ (N) 文末緩和表現

離婚問題というネガティブな命題を肯定する話者の配慮

(3)

東野：お二方は、やっぱり声優さんにとっても大先輩なんや。《主張要求》

梶：もう、本当にお二人に憧れて声優になったといっても過言ではないですね。

賞賛を含む《主張》

(行列ができる法律事務所 2020/6/14)

[ポライトネスと配慮]

司会者に対して、自他の共感を最大限にせよ (P) <sup>(27)</sup>

他者への賞賛を最大限にせよ (P) 文末強調表現

### 3.6.5.2. 【演述】系発話機能その2

《賛同》／《反論》の語用論的条件 山岡 (2018)

会話の目的：世界の現象に対する参加者どうしの見解を一致させること

語用論的条件：

- ① 相手が当該命題を述べる根拠を有していないことは自明ではないこと
- ② 当該命題は参加者の立場によって異なるものであること

用例：「彼は仕事をよく頑張っていると思いませんか」

「そうですね」／「果たしてそうでしょうか」

#### 3.6.5.2.1. 《賛同要求》《賛同》《反論》の例

(4)

甲斐：できる男は叩かれると？ 《賛同要求》

玉井：まあ、それは否定できませんけど。《賛同》

(SUITS season2 第3話)

[ポライトネスと配慮]

自他の意見の相違を最小限にせよ (N) 文末緩和表現

上司の自賛ともとれる賛同要求に二重否定表現で《賛同》

皮肉的ニュアンスを付加

<sup>(27)</sup> (P) は B&L (1987) の FTA を回避するための言語行動の positive politeness を指す。



(5)

私：(歯の治療は) 1時間くらいで終わりますか。

受付：(混んでいて) 1時間以上お待たせしかねないので、念のため2時間は見ていただければと思います。(歯医者者の受付で 2012/11/14)

[ポライトネスと配慮]

自他の意見の相違を最小限にせよ (N) 文末緩和表現

顧客の質問に二重否定表現で《反論》

反論を二重否定で緩和している。

(6)

涼：僕も(父親殺しの) 犯人だと疑われているんですね。《賛同要求》

刑事：そうじゃないといったら嘘になりますね。(ドラマ「カラマーズフの兄弟」2013/02/05) 《賛同》

[ポライトネスと配慮]

自他の意見の相違を最小限にせよ (N) 文末緩和表現

悪い事柄に対して賛同要求していることに二重否定表現で《賛同》

皮肉的ニュアンスを付加

### 3.6.5.2.2. 《主張》《反論》の例

(7)

菅官房長官：東京都で新たに新型コロナウイルスの感染者が237人確認されました。重症者は13人であり、都内の医療体制は逼迫している状況にはないと考えている。《主張》

山口教授：医療体制が逼迫していないというのは誤りです。とても逼迫していないとは言えない。

《反論》

(Nスタ 2020/7/22)

[ポライトネスと配慮]

専門家として、政府の《主張》に対して物申したいという発言。

「逼迫していない」とした相手の発話に対して「誤りです」とはっきり否定。

その後に「～ないとは言えない」で《反論》したのは、自他の意見相違を最小限にせよ (N) のポライトネス言語行動。

文末緩和表現

### 3.6.5.3. 【演述】系発話機能その3

《非難》の語用論的条件 山岡（2018）

会話の目的：参与者 B が参与者 A に対して否定的評価を与えること。

語用論的条件：

- ①相手が当該命題を述べる根拠を有していないことは自明ではないこと
- ②当該命題は参与者 A またはその所有物に関するものであること
- ③参与者 B が述べる当該命題は参与者 A にとって望ましくないものであること

用例：「何をやってるんだ。ミスばかりじゃないか」

「すみません」

#### 3.6.5.3.1. 《非難》の例

(8)

曾根崎次長：当行の代表である半沢が、帝国航空さんにこのように多大なるご迷惑をおかけしているというのは、まさに東京中央銀行の恥さらしだと 言わざるを得ません。《非難》

紀本常務：確かに、帝国航空からの信頼を失うことになりかねない。賛同を含む《主張》

（ドラマ「半沢直樹」第6話）

〔ポライトネスと配慮〕

「恥さらし」という強烈な非難を、文末に「～と言わざるを得ない」を付加し話者自身が嫌われない、非難されないようにする為のネガティブポライトネス。

他者への非難を最小限にせよ（N）文末、緩和表現

「信頼を失う」という予想されるネガティブな結末を「～なりかねない」付加して緩和。（N）文末、緩和表現

### 3.6.5.4. 【表出】系発話機能

《感情要求》《感情表出》の語用論的条件 山岡（2018）

会話の目的：参与者の心情を他の参与者に伝達すること。

語用論的条件：なし

用例：「同窓会はどうだった」

「とても楽しかったよ」

#### 3.6.5.4.1. 《感情要求》《感情表出》の例

(9) 「～ないといったら嘘になる」

糸子:私のこと、憎んでたでしょ？《感情要求》

周防の娘：糸子先生は、憎むには当たらない方だと…。それでも汚い感情が全くなかったかと言ったら嘘になります。非難を含む《感情表出》

(「カーネーション」2014/9/24)

〔ポライトネスと配慮〕

娘は糸子が父の不倫相手であることから、本心では憎んでいるが、憎むという感情を全肯定して表出することはFTA。

他者への非難を最小限にせよ (N) 文末、緩和表現

### 3.6.5.4.2. 《感情要求》《感情表出》のその他の例

1) A:これからの生活に不安はないですか？

B: (震災からの新しい出発は) 不安がないという嘘になるが、実生活があるのでなんとか乗り越えて行きたいです。(NHK ニュース仮設で暮らす男性の発言 2012/11/30)

2) アキ:無理してないか？

ユイ:無理してないっていったら嘘になるけど、ちょっとくらい無理しないと変わらないから。(あまちゃん 2013/8/1)

3) (裁判で検事が、夫からDVを受けていた殺人容疑の妻に)

検事：あなたは(夫が死んで) ホッとしたでしょ？

さえ子：ホッとしてないといえば嘘になります。もう何日も殴られてない…なんて幸せなんだろうって。(松本清張シリーズ『一年半待て』)

4) (1045 勝の歴代記録塗り替え目前に)

記者「やはり、歴代記録は気になりますか？」

魁皇「これだけ騒がれたら、気にならないと言ったら嘘になる。でも自分の相撲を取るだけです。」(ニュースキャスター2011/7/9)

5) 仁：西洋音楽、祐一も志望だったろ？未練ないのか？

祐一：ないっていったら嘘になるけど。流行歌はたくさんの方が聞いてくれるんだよ。  
(エール 2020/6/23)

筆者が採取した「～ないといったら嘘になる」の54の用例の7割以上が、以下の二点のような特徴を備えていることがわかっている。

I. 話者の「内的心情」を表すモダリティ的要素が強い。

II. 「心配する」、「恐怖がある」、「不安がある」、「寂しい」、「(～するのに) 抵抗があ

る」のような感情を表す、否定的意味を含む語彙と共起しやすい。

以上の用例のように「～ないといったら嘘になる」のような二重否定表現は、事前にだれかによってはっきりと陳述されたり、そうでなければ場面によって暗に含意されたりしている否定的な命題内容を、話者が偽（false）ないしは不適切（inappropriate）として真っ正面から却下しないように、聴者のフェイスに配慮して生成するものである。

### 3.6.6. 二重否定モダリティの発話機能のまとめ

4の例の検討から、二重否定モダリティが表れる発話機能をまとめると、以下のようになる。

{演述}系《主張》《賛同》《反論》《非難》

{表出}系《感情表出》

ここから一先ず言えることは、二重否定モダリティは、対話の中で相手の発話を直接容認、または否認できない場合（例えば社会立場的に上の人への主張、反論、非難、ネガティブな命題や感情表出など）に発話される。それは、話者の聴者に対する配慮表現の機能や、話者自身の嫌われたくないというネガティブフェイスを守る言語行動としての機能を担っている。

### 3.6.7. 第3のモダリティへの関連

本章のまとめの前に、2で述べたことに関連して二重否定モダリティは第3のモダリティたり得るのかという問いについて再考しておくことにする。日本語の語法研究において、モダリティはこれまで以下のような共通した二分法を取ってきた。

#### I. 「命題」に対する話し手の心的態度のモダリティ（事態めあて）

あの男が犯人だろう

#### II. 聞き手に対する話者の発話・伝達のモダリティ（相手めあて）

今からすぐにそちらに向かいます。

つまり日本語のモダリティ研究は構文論の上から論じられてきたが、管見の限り本章で取り上げたような二重否定モダリティに関する記述は見当たらない。そして、4節で検討してきた発話機能は、これまで主に語用論との関連で扱われてきた。仁田（2009:7）は、発話機能のモダリティとして次の例を挙げている。

さっさと行かないか。〈問いかけ〉

これは言語形式的には〈問いかけ〉でありながら、意味・伝達機能は〈命令〉を表している。このことはモダリティの運用論的側面の論を排除できないことを表し、仁田自らが、語用論的尺度の必要性を認めていると考えられる。山岡（2020）は、第3のモダリティの

見解を具体的に示したが、その中に以下のようにある。

{演述}系発話機能が慣習化⇒単なる事態めあての第1モダリティではなく、「事態を相手にどう伝えるかの態度」を表す⇒事態・相手の両方が目当て⇒第3モダリティ

翻って、二重否定モダリティが持っている特性は次のように言うことができる。

I. 命題に対する極性がいつも肯定である⇒命題に対する話者の心的態度が明確である。(事態めあて)

II. {演述}系発話機能が示す通り、文末の緩和や強調表現に使用⇒相手にどう伝えるかのモダリティ(相手めあて)⇒「事態を相手にどう伝えるかの態度」を表す。つまり二重否定モダリティは、事態・相手の両方が目当てということができ、山岡(2020)が主張している第3モダリティと一致していると考えられる。

### 3.6.8. まとめと今後の課題

以上、日本語の二重否定モダリティには二種あり、そのうち外部否定が二重否定になっているものを二重否定モダリティと認定する根拠を論じてきた。また発話機能からみた二重否定モダリティは、対話の中で相手の発話を直接容認、または否認できない場合(例えば社会立場的に上の人への、ネガティブな命題、感情など)に発話されることがわかり、結果的に話者の聴者に対する配慮表現機能や、話者自身の嫌われたくないという欲求のネガティブフェイスを守る言語行動としての機能を担っている。日本語の対話における二重否定生成の過程は、対話の相手が命題内容に対して否定的な見解を持ちながらも、聴者のフェイスに配慮して発話したい時に生成される表現である。この命題内容に対する、二重否定文生成者(Double negation Speaker=DNSとする)の態度の記述は重要である。なぜなら、命題内容に対して肯定的、好意的に相手が受け取っている場合にも、例示したように二重否定は生成されているからだ。また、発話機能から見れば命題内容が否定的で、DNSが聴者のフェイスに配慮しているとなる場合は、その発話機能は《賛同要求》《反論》となる。二重否定は《反論》にも現れるのである。逆に主張命題をDNSが肯定的に受け入れている場合には《賛同要求》《賛同》となる。

そして、二重否定モダリティは構文論的には、モダリティ研究でいうところの事態・相手の両方がめあてのモダリティということになり、その{演述}系発話機能が慣習化して語用論的解釈を必須とするようになった、第3モダリティという枠組みに属することになる。今後、二重否定モダリティの個々の表現群の発話機能をポライトネスと配慮表現の双方の理論を援用して、固有の意味特徴を分析し、蓄積していく必要があると考えている。

## 第4章 日本語教育への試論

### 4.1. はじめに

第3章まで二重否定、および日本語の二重否定モダリティの理論説明に紙面を割いてきた。二重否定モダリティ表現が持つ個々の意味の微妙な異なりを理解することは、特に上級の日本語教育にとって重要なテーマであるが、これまであまり取り上げられてはこなかったという経緯もある。そこで第4章では、これまで述べてきた新しい二重否定モダリティの知見を日本語のコミュニケーション理論、配慮表現研究、日本語教育に役立てることをゴールに見据えた、試論を述べようと考えている。まず、これまで二重否定モダリティは、日本語教育でどのように扱われてきたかという点を、先行研究を通して、既存の教科書、問題集などを分析する。そして、二重否定モダリティを現場においてどのように扱うかの一つの提案として、試験的に作成した練習問題も掲載した。そしてそのゴールを、語用論的視座からコミュニケーションにおける運用能力を高めることに置き、二重否定モダリティをJSL学習者が習得すべきスキル的一种としての考察を述べたい。

#### 4.1.1. 日本語教育用テキストの現状分析

本節では、日本語教育で使用されているテキストを分析し、そこでの婉曲表現、および二重否定表現の取り上げられ方を提示する。次にあげる①～④は日本語教育用のテキストで、いずれも上級(アカデミックジャパニーズ)、日本語能力試験N1レベルのテキストで、二重否定を取り上げて使い方を説明しているものや、練習問題を付加しているものである。具体的な例は次の通りである。

- ① 『日本語能力試験総合テキスト N1』Jリサーチ出版 (2013) 森本智子・高橋尚子・有田聡子・黒江理恵共著

N1レベルの「文型」

【グループA (判断や意志などを示す)】

- ・ ～といっても過言ではない 「～と言う事もおおげさではない」
- 〔ふつう〕 + といっても過言ではない
- ・ ～なくはない／～なくもない
- ・ ～せざるを得ない
- ・ ～も差し支えない

【グループ C (ものの様子や性質などを表す)】

- ・ ～ずにはおかない／～ないではおかない

【グループ D (評価)】

- ・ ～なくして (は) ...ない
- ・ ～が欠かせない

【グループ E (感情・気持ち)】

- ・ ～を禁じ得ない
- ・ ～てやまない

【グループ G (いろいろな機能)】

- ・ ～ない (もの) でもない／～ないわけでもない
- ・ ～ないとも限らない

- ② 『アカデミックジャパニーズ 日本語表現ハンドブックシリーズ⑩自然に使える文末表現』(2002) アルク 佐々木瑞枝監修

【意志・願望】

- ・ ～ないといけない／～なければならない
- ・ ～ないわけにはいかない

【勧め・命令】

- ・ ～なければいけない／～なくてはいけない

【判断】

- ・ ～に違いない
- ・ ～かねない

- ③ 『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現—モダリティ・終助詞』三枝令子・中西久美子著 スリーエーネットワーク (2003) \*2001 年から一橋留学生センターで使用されているテキスト

【断定を避ける】

- ・ A ないことはない

【否定】

- ・ かねない
- ・ にちがいない

【義務・必要】

- ・なければいけない
- ・ざるをえない
- ・ずにはいられない

【強い否定になる二重否定】

～ない～ない 例) 一休さんを知らない日本人はいない。

④『40日完成 試験に出る文法と表現』(2003) 筒井由美子・大村礼子・喜多民子 桐原書店

【第8章 主に文末に使われる言葉】

- ・～ざるを得ない
- ・～(より)ほかない
- ・～ないとも限らない
- ・～に相違ない
- ・～に違いない
- ・～にほかならない
- ・～てやまない

①～③に共通しているのは、個々の二重否定モダリティの機能ごとに説明を付加している点である。④は純粹に日本語能力試験用の練習問題として、文とともにその使用方法をマスターさせる方式をとっている。

#### 4.1.2. 「～といっても過言ではない」のような表現を扱うテキスト

日本語教育の現場で使用されている教科書(メインテキスト)の中で、「～といっても過言ではない」に直接言及している、または取り上げているものは見当たらなかった。しかしながら、「日本語能力試験」のための参考書として、「～といっても過言ではない」を取り上げているものが一例あった。『日本語能力試験総合テキスト N1』(2013)である。このテキストによれば、「～といっても過言ではない」は N1 レベルに該当するとして、「判断や意志などを示す」表現として取り上げられている。以下、そのままの用例と共に示す。



～といっても過言ではない 「～と言う事もおおげさではない」

[ふつう] + といっても過言ではない

- ① 彼の作品は本当に衝撃的だった。まさに 100 年に一人の天才といっても過言ではない。
- ② この薬の開発が世界の子どもたちの命を救ったと言っても過言ではない。

このテキストには、独自に日本語能力試験の出題例を分析して用例を選定していると書かれていた。著者の一人である森本によると<sup>(28)</sup>、2010 年能力試験改定前の過去問題集と公式問題集などで「～といっても過言ではない」の出題例が、使用頻度の点で一定以上の高さが認められ、旧基準での 1 級、改定後の N 1 での使用頻度を調べた結果、N1 レベルに相当すると判断したということであった。上記用例①は第 3 章 2.1 で論じた「～といっても過言ではない」の《主張》の型のうち、5.1.3〈比況〉型に当たり、②は 5.1.6 の〈命題提示断定〉型に当たると説明できる。しかし、実際には第 3 章 2.2 でも示したように、「～といっても過言ではない」には、〈事実否定評価〉〈普遍的事実、結論〉などの用法も存在している。しかし、同テキストでは説明されてはいないことから、現場の教師が用例をあげて当該表現を紹介をすることも考えられるが、詳しい用法には言及していない。よってさらに詳しい用法の説明とともに、非難・皮肉型の用例も追加することが望ましいと考える。

#### 4.1.3. 【意見を述べる】という機能の習得を目指すテキスト

総合テキスト『日本語 3rd ステップ』石川恵子ほか（2008）は、レベルは中級以上の学習者をターゲットに、総合的な日本語の運用力、特にアカデミックな日本語の基礎養成を目指して編纂された。スピーチ、新聞のコラム、小説、随筆、論説文などの多様な文章を難易度順に表現文型に基づいて配置している。このテキストでは、【意見を述べる】の主要表現文型として、「～にちがいない／はずだ」や「～にほかならない」と一緒に「～いったらいいすぎであろうか」が取り上げられている。以下、そのまま用例とともに示す。

少し遠慮しつつ、極論を述べる。強く訴えたいときは「**といっても言い過ぎではない。／過言ではない**」「**と断言できる**」などの形になる。

- ① 人間は一つの歯車にすぎない、と言ったら言い過ぎであろうか。
- ② 英語ができなければなにもできない、といっても言い過ぎではない。

<sup>(28)</sup> この記述は、筆者が著者本人を介して、編集者の梅崎氏より 2016 年 4 月 29 日にご回答頂いた内容を基に記した。

このテキストにおいては「～といったら言い過ぎであろうか」などの表現を使って、徹底的に【意見を述べる】という機能において、どう使用するかを習得させている。この中に、話者が自分の意見を述べる時に、どのような心情を込めて「～といっても過言ではない」を使用しているかという説明がある。例えば、「少し遠慮しつつ、極論を述べる」（傍線は筆者が付加）のように、単なる強調の意味ではないことを記載している貴重な説明がある。筆者がこれまで繰り返し説明してきたように、「～といっても過言ではない」の使用は、単に「強く訴えたい時に使う」との説明では十分ではないことを示している。その点を踏まえて、例えば、「主張の結論を述べる時に、話者がその主張にかなりの高い程度で確信を持っている場合に使用できる」や、「聴者に対する非難や皮肉を含む主張をする場合に使用すると、より強調の程度が上がる」などと説明付加することでさらに、練習問題で習得できる機能の精度が上げられると考える。

#### 4.1.4. モダリティとは何か問うているテキスト

4.1.1.で分析したテキストのうち、③の『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現—モダリティ・終助詞』（2003）は、2001年から一橋留学生センターで使用されているテキストである。【断定を避ける】などの個々の表現機能扱っているが、その方式に特徴がある。以下、著者の言葉を引用する。

「本書では、内容は「腑に落ちる」ように、文法規則を最初に示すのではなく、使う人もルールを導きながら考えるという手法をとっています。まず、用例から問題の所在を意識し、次に文法ルールを導き、さらにルールを確認しながら付帯的な用例を見ていきます。最後に使われている分に則して練習をします。」

このテキストの目的は、上級レベルの日本語を適切に産出するために、文法をわかりやすく整理し使い方の練習をするものとなっていることから、学習者が使用する表現に対して、自ずからクリティカルな視点を持って、個々の表現を観察することを出発点としているのである。さらに、このテキストの特徴としてもう一点言及しておきたいことが、テキストの最初に「モダリティ」とは何かを学習者に問うている点である。筆者の経験からすると、日本語教育の現場では指導者側のテキストや指導書、文法書以外で、上級以前の学習者に「モダリティ」そのものが何であるかと教授することは少ない。もちろん、助動詞や意志動詞などモダリティに該当するものは指導するが、「モダリティ」という言語学用語を用いて、その項目を取り上げないということである。それを、このテキストでは上級学

習者に「モダリティ」について考えてもらうことを取り入れている点で、非常に画期的であると筆者は考える。一部内容をご紹介させていただく。

A.1～7の文は、下の a、b のどちらを表すか考えてください。

a. 事実

b. 事実 + 話し手の気持ち／主観的な判断

1. 7時発の新大阪行きの新幹線は予定通り出発した。( )
2. 明日は雨が降るだろう。( )
3. 子供たちは、今、公園で遊んでいる。( )
4. この赤ちゃんはおなかがすいているようだ( )
5. 今日は8時までに学校に行かなければならない。( )
6. 明日は7時に起きよう。( )
7. あの山はこの山より100メートル高い。( )

モダリティは話し手の気持ちや主観的な判断を事実に加えて表す。(略)

モダリティは上手に利用すれば、同じ事実を表すのにも微妙な気持ちや判断を表現できる。事実の背景にある状況や気持ちの強調などを自動的に聞き手に想像させることができる。

このようにして、練習問題を解きながらモダリティの本質に迫っていく方式を採用している。そして的確に日本語におけるモダリティの効力について学習できるように意識して作成されたテキストである。上級学習者においては、新しい表現の習得はもちろん大切なスキルではあるが、このテキストにあるように、日本語母語話者が意識せずに駆使しているような、より一歩高い言語スキルを身につける中で真の上級者に進化していく。まさに、こうした学習の項目の中に、本研究で取り上げている二重否定モダリティも該当するものであると筆者は考えている。

#### 4.2. 二重否定はどう教えられるべきか

ここまで、日本語教育においては、二重否定モダリティは上級レベル（とりわけ大学教育以上レベルを対象）で取り上げられることが望ましく、現行の能力試験 N1 レベルに該当するとして扱われていることに言及した。言語習得の先には、必ず習得したものを使用する、すなわちコミュニケーション（話す、書くことも含めて）において、個々の表現を

駆使できるようになるというゴールがある。そうでなければ習得という努力が無益なものに終わってしまう。上級レベルでは、「書く」指導にその力点が置かれていることは明らかになったが、その一歩先にあるコミュニケーションに繋がる習得を目指すにはどのようにしたらいいのであろうか。二重否定モダリティの修辭的役割、日本語教育における「書くこと」の指導における二重否定モダリティの扱いにおけるこれまでの知見を一先ず辿って、そのアイデアを提示してみることにする。

#### 4.2.1. 日本語教育における二重否定の説明

主要な日本語学習者・指導者向け文法書の二重否定の意味についての記述したものに庵ほか編（2001）、日本語記述文法研究会（2003）、友松ほか編（2007）などがある。そのうち日本語記述文法研究会（2007）には二重否定の基本的な形と機能が分析されており、「～ないで{は/も}ない」「～ないわけで{は/も}ない」のような形において{も}にはぼかしの機能があり、意味用法が違うことが挙げられている。上述のいずれの文法書においても、二重否定の意味は、極性としては「肯定」であることは共通している。また、その意味の強弱については両方が存在し、その使い分けは複雑であることも記述されている。しかし問題のひとつは、いずれも取り上げている二重否定は「～ないでもない」のように否定辞を二つ持った形式的二重否定に限られており、「～といっても過言ではない」のような「否定辞を一つしか持たないものの、実質的に二重否定のモダリティとして機能する表現」は二重否定としては取り扱われていないことである。

#### 4.2.2. 日本語教育現場での書くことの指導から

実際の日本語教育の現場における文末の二重否定表現を取り上げたものに今田（1990）がある。今田によれば、文末の特殊否定表現には、否定の意味のないものとあるものがあり、学習者を悩ませているとしている。その例として「～ないわけではない」を挙げ、「文法的知識があっても日本語学習者を悩ませる表現」と指摘した上で、二重否定は（部分）肯定の意味になるとしている。高崎（1989）は、論説文で二重否定が多用される傾向があることを、事例検討しながら考察している。「～ずにはいない」などの表現を例に、そのような表現は、筆者のオリジナリティを出す為に、誰かの意見や一般の動向・現象などを否定的に扱って新しさを出す一つの方法であると述べている。また鮎澤（1990）は、日本語教育上級レベルでの生教材における、否定表現の多用が外国人に理解し難いと分析している。その原因は、日本語の二重否定を一つの否定表現と考えるか二つと数えるか、などの認定の仕方の問題も関係していることを上

げている。そして、二重否定は文体的特徴と深く結びついており、学術論文以外の論述文、あるいは論説文では多用される傾向があること結論している。また松岡（1995）では、上級における論述文指導において「論型」を区分し、教えることを提唱している。論考の中で「二重否定述語文型」というカテゴリーを作成し、「～といっても過言ではない」「～ざるを得ない」「～ことは間違いない」「～ほかならない」などをカテゴライズしている。松岡で、書き言葉として「論型」を分類することは、指導の便宜上は重要なことであると筆者も考える。しかしながら松岡によれば、二重否定表現は社会学系の文章でよく用いられ、学習者の目に触れる機会が多いことや、学習は自身がこうした表現を要所所で使って文意を強めたいと思っているが、二重否定が形態上、意味上似通った類似表現が多いことが原因で、この細かい違いを深く認識できずに不用意に用いて還って反対の効果をもたらしたり、全く意味不明の文章にしてしまったりするが多いということも指摘している。つまり「～といっても過言ではない」のような表現は、学習者が習得して、適切に使用できれば重厚感のある文を書く、説得力のある文を話すことにつながる表現であるにも関わらず、その仔細な用法を理解するまでには至っていないのが現状であるということになる。工藤（2000）は、「大学への橋渡し教育」という枠組みの中の文体指導において、「形が似ていて意味の異なる表現」として二重否定を挙げている。『新書ライブラリー』の中の二重否定の使用頻度を比較分析し、二重否定は修辞性の高い表現と位置づけ、表現意図は強調と婉曲的肯定の二種類であるとしている。因みに表現意図をこの二種類に限って論じている為、「～と言っても過言ではない」のような表現は、含まれていない。学習者が、形の上でこの表現意図を見分けるのは困難であるとして、指導の際は主観的か、客観的な文体であるかという視点から使い分けを意識化するが有効とした上で、その必要性を指摘している。この視点も、非常に重要な視点であることに賛同する 1 人であるが、「～といっても過言ではない」は第 3 章の 2 で詳細に考察してきたように、命題の種類特性をしっかりと把握しつつ、話者の発話意図は《主張》でありどれも主観的なのである。よって、この視点もまた十分な指摘とは言えないことになる。結局、日本人がコミュニケーション上で無意識に行っているこれら二重否定モダリティ表現の使用法とその効果を学習者に分かるように説明することが肝要だということになる。

#### 4.2.3. 書くことの指導への考察

二重否定モダリティ表現は、修辞効果の高い技巧的な表現である為、専門教育への橋渡し教育の中で、読解スキル→談話理解→発話産出（論述も含む）と進めていくことが望ま

しい。その為には、上級で取り上げられている否定文型や表現を捉え直す必要がある。従来の形態論的な二重否定の議論は、鮎澤（1990）、今田（1990）にも指摘があるように、否定辞をどのように区分するかなどで揺れている。筆者は、二重否定は形態論的な観点からだけ捉えていくのではなく、話者の発話意図を考慮した発話機能を区分して捉えていくことが重要であると考えている。鮎澤（1990）などの先行研究では、二重否定は文体的特徴と深く結びついていることが分かっている。二重否定は学術論文以外の論述文、あるいは論説文では多用される傾向があることが指摘されていることもその一つである。しかしながら現在の用例分析は、主に書き言葉を分析している為、大学などの専門教育への橋渡しを視座に入れるならば、講義等の話し言葉における分析も必要となる。残念ながら、管見の限りそのような分析を試みている文献には当たることができなかった。日本語の修辭的効果の高い婉曲表現を日本語教育でどう扱っていくかということに関連する先行研究を探ってみよう。藤崎・星合（1984）は、知識工学の分野ではあるが、情報工学、認知学的にはどのように曖昧さを処理しているかという視点で、言語表現の曖昧性に関わる3種類の下位曖昧性の影響パターンを示している。このうち二重否定が関与すると思われるものは、第二の曖昧性（*vagueness*）である。言語表現の指示範囲境界の不確定性、つまり連続量としての概念の境界の識別に関わる。典型例が、発話意図が不明瞭な「婉曲表現」である。この表現の特徴は、意図はほぼ推定できるが、謙遜表現等のダウングレードした情報が付加されるために、本来の伝えたい意図自体がぼんやりと不明瞭なものになってしまう点であると考察している。笹川（1996）は、この「曖昧性」の問題を聞き手の推論に関する多義性の問題であると簡略化して考え、藤崎・星合の曖昧性の枠組みに沿って、語用論的レベルの曖昧性について捉え直している。実際のデータとして笹川は「日本人コミュニケーションに関する異文化比較調査」（1990）を実施している。在日外国人留学生 89 名に対して、質問紙に解答させる方式で、外国人留学生が難しさを感じている3種類の婉曲表現をあげている。

- 1) 謙遜表現等の併用による意味不明瞭な慣習的間接表現
- 2) 意味が不明確な婉曲表現
- 3) 遠回しにヒントを与えながら表現される表現

これに関して外国人留学生は、意図を曖昧にしているのでホンネがつかみにくい、日本人は「対立を避ける、自分の意見を言わない」ので、対立を回避するために婉曲表現を用いているという指摘をしている。「～と思うけど間違いかもしれない。」「考えられないこと

はないんじゃない。」等の曖昧な表現が多く、外国人は理解しにくいなどの意見があった。

「婉曲表現」は留学生にとって意味の推定が難しいことに加え、婉曲表現を用いる発話者の心理が理解できず、心理的負担を感じていることがわかる調査である。笹川(1996)は、教育現場への応用の観点から「質問などのストラテジーを用いることが必要」とであると結論している。これは、次項で論じる語用論的視座のストラテジーでも援用可能な事柄である。また、直接的な二重否定についての考察ではないが、池上・守屋(2009)に、共同主観的認定の文末表現「じゃない」についての記述がある。「日本語の否定表現「～じゃない」には、「名詞+じゃない」や「ナ形容詞否定形」、「イ形容詞／動詞の終止形」に文末詞としてつけた形式があり、「イ形容詞／動詞の終止形」の形式は否定の意味にはならないとの言及がある。またこの二つが重なった「～じゃないじゃない」も、否定の意味にならないと言及している。「名詞+じゃない」や「ナ形容詞否定形」は、意味の弁別条件<sup>(29)</sup>があるが、否定形式がつけば否定になることを原則とする言語を母語とする多くの学習者には、混同しやすいと結論を述べている。池上・守屋(2009)によれば、「じゃない」は「じゃないか」の「か」が落ちた形式で、否定を経て疑念を持った確認の表現である。つまり、一度確認した事実を否定した上で、さらに疑問を差し挟み再度否定することで、確認や納得に向かう表現だ」との言及がある。では、なぜこのように紛らわしい、否定にならない否定形式がよく会話で使われるのかということに関して、「こうした表現はそもそも独話だが、それが会話で成立するのは、聞き手を共同主観的な事実認定へと誘導し、さらに感情を共有することができるため」と述べている。また水谷修ほか(1995)も、なぜ日本社会では婉曲表現が用いられるか、その社会的背景を考える機会を共有することが必要であり、社会文化的な背景を扱った教材の必要性を述べている。このように異文化コミュニケーションに役立つ方策とは、一つの正解を示すことではなく、語用論、認知言語学、異文化対照言語学などの多角的な視野を持つこと、また有効なストラテジーに気づくことではないだろうか。

#### 4.2.4. 新しい取り上げ方のアイデア

N1 レベルとは、国際交流基金(2009)によれば「読む」技能において、「幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章など

---

<sup>(29)</sup> この弁別条件について、池上・守屋(2009)には「じゃない」の「な」と「い」で音調に高低差があれば否定に、ここに高低差が現れなければ否定にならないとの記述がある。

を読んで、文章の構成や内容を理解することかできる。さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる」レベルである。しかしながら「～といっても過言ではない」のような表現を、2.2.で述べてきたような、論述文や書くことの指導でのみ取り上げるのでは、現行の日本語教育の主目的である「その言語知識を利用して、コミュニケーション上の課題を遂行する能力」を育成するのには不十分であるとする。1.2.で取り上げた『日本語3rd ステップ』で【意見を述べる】というような話す機能にも目を向けてこのような表現を取り上げることで、日本語話者としてより複雑なコミュニケーションにも対応できるようになるからである。その際、使用場面や類義表現との使い分けが重要なポイントになると考え、山本（2003）の機能語としての指導を参考に、「～といっても過言ではない」の用法検証結果を活用した練習問題作成を試みた。<sup>(30)</sup>

### 【例1】

次の文は、どんな立場の人がどんな場面で話しているのでしょうか。

- 1) 今度の選挙は、日本経済がよくなるのか後退するのかの分かれ道といっても過言ではありません。
- 2) 今やおしゃれな人はみんな履いているといっても過言ではない靴下です。

### 【解説】

1)の話し手は、政治家が聴衆の前で演説する場面や、政治ジャーナリストがテレビなどで持論を展開するなど討論の場面が思い浮かぶ。2)の話し手は、ファッションに詳しいエディターやプレスがファッション雑誌や、ブログでコメントを発信している場面などが想像できる。また、実際に靴下を購入した人が、他者へ靴下を勧めするキャッチコピーのようなフレーズとして SNSなどで発信しているとも考えられます。

### 【例2】

次の文の空欄に「～といってもいい」、「～といっても過言ではない」、「～といえなくもない」のどれかを入れて、完成させなさい。

- 1)一つの小さなミスが、会社を破たんさせることになりかねない\_\_\_\_\_。

<sup>(30)</sup> 本練習問題に提示した例文は、筆者が実際に収集した用例を原文に近い形で、使用し易いように改めた。



2)ここまで震災復興がすすんだのは、○○党のおかげだ\_\_\_\_\_。

3)A：病気のことがあるから（私に）気がつかってる？

B：そう\_\_\_\_\_けど…。

#### 【解説】

1)は空欄の前に既に「～かねない」で発話を緩和してしまっているのに、話者が確信を持っている命題内容しか承けない「～といっても過言ではない」とは共起しないことに気づかせたい。ここでは「～といってもいい」が正しい。2)は、「復興がすすんだのは～のおかげだ」とある種その他の要因を排除するような強調ぶりが注目のしどころである。誇張した命題には、「～といっても過言ではない」が使用される。3)は、Aがネガティブな命題の肯定を求めてきたので、それに対する返答として全肯定するには気が引けるが、全否定もできないという発話意図から考えて、「～といえなくもない」が選択できる。

### 4.2.5. 語用論的視座の重要性

4.2.3.で述べた異文化コミュニケーションに有効なストラテジーの一つに、語用論的視座がある。アンドリュー（2015）は、語学教育に語用論的能力をどの様に学習者が獲得していくべきか、また教える教師側に必要な語用論的能力などについて述べている。語用論的指導に必要な教員の知識およびそれを活用する能力の1つとして、学習者やその文化的・言語的背景に関する知識を挙げている。また、学習者の言語や言語学習、また文化的アイデンティティーなどについて、比較的上級の学習者であっても、学習言語での会話が語用論的な典型的パターンに落ち着かず、語用論的逸脱（pragmatic divergence）が起きた上で、この現象には様々な要因が考えられ、そのうちの5つの要因を検証している。以下、検証結果を引用する。「一般的に、学習言語が第二言語として教室外でも使われるESLなどの環境であっても、語用論的指導を受けていない場合は、母語話者と同等の語用論的理解力を身に付けるまでに10年以上かかるという研究もある。（略）また、学習者が日常生活の中で語用論的言葉の使い方について建設的なアドバイスを受けることはほとんどなく、つねに母語話者並みの語用論的能力を期待されているわけでもない。実際、語用論的能力は言語運用能力の中で最も複雑で困難な側面の1つなのである。（略）とはいえ、意図的ではない語用論的逸脱が誤解され、不本意な結果をもたらすことは避けるべきであ

り、そのためにも語用論的指導はきわめて重要である。文法や発音の誤りは語学力の欠如によるものとして許容される場合が多いが、語用論的誤りは、学習者の人格が疑われたり、学習者の文化に対する否定的ステレオタイプの形成につながることが多いからである。」この検証結果の通り、語用論的能力の逸脱は日本語学習者が上級になればなるほど極めて重要課題になってくるのである。では、日本語教育の現場ではこれまで語用論的視座を取り入れることになぜ熱心ではなかったのか。その原因を考察していくと吉田（1995）の指摘にその一端が現れている。

「外国語教育の現場では、本来材料と目的という関係で統合されるべき、コミュニケーションルールの整理とストラテジーの育成の2つの方法は両立しないものとして扱われる傾向が強かった。それは、コミュニケーションルールはあくまでもその場の状況によって変化する、状況依存的なものであるが、これを固定的なものとして提示することによって、かえって学習者がルールをステレオタイプ化してしまうという危険性があるためである。例：ちょっと考えさせてください。→断り？解答保留？

もしこの表現が断りの機能を持つことのみが強調され、学習者のスキーマに固定化されてしまうとすれば、ルールの提示をすることはその場の状況に柔軟に対応するためのストラテジー養成の目的とは相反するものになってしまう。このため、言語教育では汎用性のあるコミュニケーションのためのストラテジー研究の焦点があてられ、教材化のためのルールの整理は積極的に行われてこなかった経緯がある。」

この吉田の指摘は、学習者がルールをステレオタイプ化してしまう危険性を述べているわけだが、近年ではコミュニケーションルールをテキストの中に組み込んでいるものも珍しくないこともあり、2000年代以降ますますその教材化のためのルールの整理が進んでいると考える。ステレオタイプということが起こるのは、文脈を考慮することを忘れているから起こる問題である。本研究で一貫して論じている二重否定モダリティの発話機能や配慮表現というのは、文脈とは切っても切り離せない考察が必要であることは既に説明した通りである。山岡（2019）では、「配慮表現の場合、文脈と表現とが一体的に慣習化することによって、もはや臨時用法ではなくなってその用法が一般化されるということ」とあることから、日本語学習者に対して二重否定モダリティのような表現を習得させていく場合にも、この点を考慮した語用論的視座を教師が意識することは重要である。例えば「～ないでもない」は、「気がしないでもない」「わからないでもない」「感じないでもない」などの感覚動詞を伴って使用されることは先行研究でも述べた通りであるが、対話の中でこの

表現が現れる時には話者の《主張》とともに、相手への《反論》でも出現する。(3.1.を参照) この反論を表明することについて、アンドリュー (2015:130) で、「反論を表明することは、学問的議論、ビジネスの交渉、外交の場などで有利に主張を展開するために不可欠な発話行為」、「友好的な人間関係や仕事上の利権、国家間の平和的な関係などを維持するためには、穏便な方法で反意を使える能力も重要」とある。日本語上級学習者には、当該表現がもつ発話機能や配慮表現機能を教えるために、どのようなストラテジーを用いればよいか。(アンドリュー2015:132) では、人物の言葉遣いを、「どんな相手との会話で、また、どのような状況や話題の場合に、反意を和らげる表現を使うことが望ましいだろうか。」という観点から学習者が観察することを推奨している。本論文にも、巻末に資料として用例を付加したが、これを使用しての観察や、インタビュー教材などを使用するのも効果的だと考える。要は、学習者観察力や分析力を引き出し、自立した学習を促すことがゴールへの近道なのである。次節でその1例として、筆者が実施した二重否定表現に関するアンケート結果を報告するが、二重否定表現の具体的な使用効果を示す教材としても役立つであろうと考える。

### 4.3. 「～ないでもない」の使用効果に関するアンケート

#### 4.3.1. はじめに

本節は、日本語の二重否定型表現「～ないでもない」のような表現を、話者がどのような意図で使用しているかに関するアンケート調査を行った結果に基づき、そこから使用効果を分析したものである。アンケート調査の結果を踏まえ、「～ないでもない」は様々な発話状況により、聴者に対する配慮から発話者自身の《主張》を緩和したり、発話者自身の《反論》を緩和し、発話者自身のフェイスを保持する発話機能があることを配慮表現的観点から考察する。

#### 4.3.2. 「～ないでもない」の型分類

まずはじめに、いくつかのデータベース(: 巻末注参照)から採取した「～ないでもない」の82例を、【表1】のような4つの型に分類した。I型は思考・感覚動詞、II型は状態動詞、III型は可能動詞の否定形、IV型は感情形容詞にそれぞれ「～でもない」が付随する。

【表 1】

	分類	代表的な詞
I 型	思考・感覚動詞の否定形+でもない 思考・感覚動詞の可能否定形+ないでもない	気がする、感じる／感じがする、思う、分かる、察する、考える、理解する、認める、思われる、認められる、感じられる、理解できる
II 型	ある状態の否定形+でもない	ある、いる、与える、(興味を)起こす、(疑いが)起こる、(効果など)持つ、思い当たること、無然たるもの
III 型	可能動詞の否定形+でもない	できる、食べられる、読める、見える
IV 型	感情・形容詞の否定形+でもない	淋しい、うれしい、可愛い、うんざりする

## 「～ないでもない」に付随する動詞の種類

	思考/感覚	状態	感情形容	可能動詞	合計
新潮	15	6	2	5	28
青空	24	3	1	0	28
毎日 NEWS	24	0	0	0	24
ブログ	2	0	0	0	2
計	65	9	3	5	82

上記I型からIV型のうち、I型の思考・感覚動詞が付加された「～ないでもない」が82例中65例をしめ、そのうち「～気がしないでもない」は65例中40例に上った。外見上同型の「～ないでもない」であっても、様々な発話状況によって、発話機能が異なり、対人关系的要素(誰が誰に話しているのか)も含め分析する必要があると考えられる。

【表 1】の分類のうち、I型が《主張》《反論》の発話機能を持つもの、II型の《主張》の発話機能をもつもの<sup>(31)</sup>には配慮表現としての「～ないでもない」が現れる。<sup>(32)</sup>次にその例を

<sup>(31)</sup> I型、II型は発話状況によって、《主張》、《感情表出》等の発話機能を持つこともあるが、本稿では詳細には触れない。

<sup>(32)</sup> 可能形、受身形の客観性ということに関して、浅野(1996)の「思う」「思われる」を取り上げ、「発話者が自主的あるいは個人的に判断しているというよりはむしろ、周囲の状況から推測してそのように考えざるをえない」という意味が強く、客観性を暗示した伝達態度のあり方」を参照した。

示す。

#### 4.3.3. 「～ないでもない」の発話機能

##### I型 《主張》《反論》

I型に特徴的なのが、発話者が聴者（または読み手）に対して、一旦相手の見解や、意見を受け入れた感を示しているが、しかし依然として発話者は自分の主張は違っているという感情を巧みに表現している点である。①②はその例である。

①「そりゃ、あなたの言うことは分からないでもないけどね。向こうは色々と汚い手を使って来るのよ。こっちだって対抗しなきゃ。——そうだわ！」(女)

②かようなことは、取るに足らぬことと思われなくてもないが、強固なる自信を持つ大学者ならいざ知らず、私のようなものにおいては、次第に卑屈感やら敗北感、さらには劣等感、それも語学のみにとどまらず全般にわたっての劣等感につながり始めていた。(若)

採取した用例 82 例中、I型の思考・感覚動詞は、例えば、「思う」→「思える、思われる」、「感じる」→「感じられる」、「理解する」→「理解できる」、「認める」→「認められる」のように可能形を使用した用例も見受けられた。②のように思考・感覚動詞の可能形を使用することにより、一層客観性を帯びることから、発話者が自身の主観的感覚、見解、意見を主張する場合に、その主張が一般的なものだとのニュアンスを生むと考えられる。

##### II型 《主張》

II型《主張》は、発話者が自身の主張を断定的に述べるのを避けようとしており、聴者に対する主張の影響に配慮している。③④はその例である。

③（関東と関西の山岳界の対立に対して）こんどのことを、関西の新聞が大きく取りあげるのは、やはり、関東に対するそういった対立意識がないでもない。(孤)

④決してアリバイにはならないけれども、稍それに紛らわしい効果を持たないでもない。(十)



- ②あなたは、新聞の投稿欄で次のような記事を読みました。下線部の発言をどのように感じますか。一番近いと思うものを下から選んでください。(複数回答可)

投書：「このところ、オバマ大統領の支持率が、就任当初より下がっている。期待が大きかっただけに、失望感もあることは理解できなくもないが、彼の政策に対する是非を問うのは時期早尚と思うのは私一人ではないだろう。」

- A.自分の主張を強調している
- B.自分の主張を否定されないようにぼかしている
- C.不特定多数の読み手のことを気遣って自分の主張をしている
- D.自分の主張に自信がいまひとつない
- E.その他 ( )

②「～理解できる」と書いた場合と、どう違うと思いますか。

- ③あなたは、市長の演説を聞いています。下線部の市長の発言をどのように感じますか。近いものを下から選んでください。(複数回答可)

市長：「政府が取り決めた、今年度4月からの子供手当の全世帯支給は、わが市においても、実施できないでもないのですが、皆さんご周知のように財政は大変逼迫しております…。」

- A.自分の主張を強調している
- B.自分の主張を否定されないようにぼかしている
- C.市民のことを気遣って自分の主張をしている
- D.自分の主張に自信がいまひとつない
- E.その他 ( )

②「～実施できる」と言った場合と、どう違うと思いますか。

④

- ①あなたは、次のような話題で友人と話しています。下線部の友人の発言をどのように感じますか。一番近いものを下から選んでください。(複数回答可)

あなた：「最近、親がうざくって。いつまでニートやってるんだって。」

友人：「仕事探すのは大変だけど、ただで食べられるのは親のお陰だって言えなくもないだろ…。」

- A.自分の主張を強調している
- B.自分の主張を否定されないようにぼかしている
- C.あなたのことを気遣って自分の主張をしている
- D.自分の主張に自信がいまひとつない
- E.その他 ( )

②「～言える」と言った場合と、どう違うと思いますか。

5あなたは、友人と次のような話題で話しています。下線部の友人の発言をどのように感じますか。一番近いものを下から選んでください。(複数回答可)

あなた：「最近、韓国とかに旅行に行く人が増えたけど、ブランドものとかって別に興味ないよね？」

友人M美：「そう？安く買えるに越したことはないけど。あと、食べ物もおいしいし……ね。」

あなた：「でも、日本人は隣の国の歴史や文化を知らなさ過ぎると思わない？」

友人M美：「そういわれると、あなたの言うことが最もだって気がしないでもないけど。」

- A.あなたの主張に完全に同意した感じ
- B.これ以上自分の主張を否定されないようにぼかしている感じ
- C.あなたの主張に同意したことをぼかしている感じ
- D.全く同意していない感じ
- E.その他 ( )

②「～気がする」と言った場合と、どう違うと思いますか。

#### 4.3.4.1. 集計結果

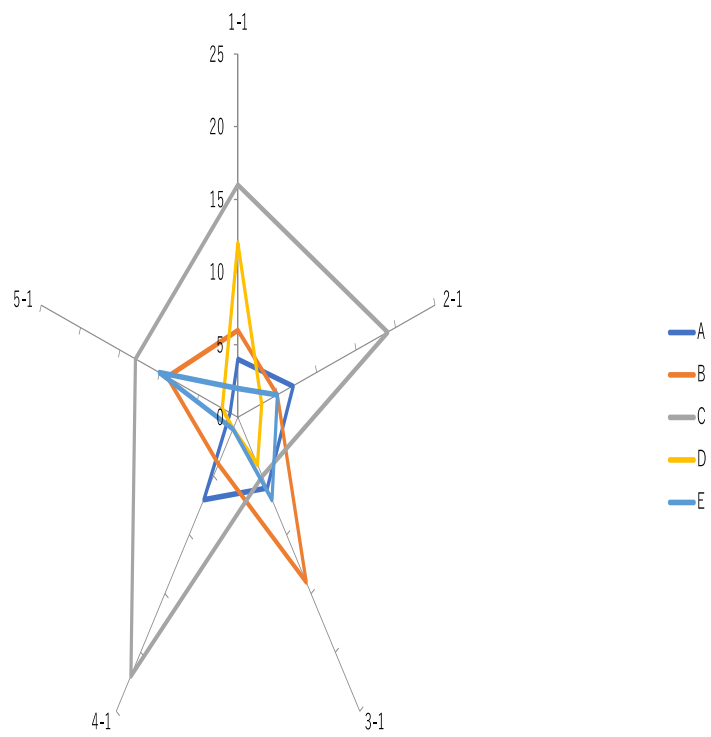
【表Ⅲ】は、各問いの回答数でもっとも多かったものをグラフを使って示したものである。

1～5の質問のうち、3だけがBの回答数をもっとも多かった。その他の質問の回答は、Cをもっとも多かった。また、各項目の自由記述欄②も表にまとめた。



【表Ⅲ】

# 「各項目の回答」



## 【②自由記述欄】

NO.	年齢	性別	職業	1-2	2-2	3-2	4-2	5-2
1	20代	女	会社員	感じると言ったほうが、自分の意見よりもはきりとした態度がある。	理解できない(ない)、ほとんど理解できない様子を表し、理解できるは本当に理解理解できる様子を表す。	実施できないでもないと言った方が財政が厳しいということより強調している。	言えなくもないのほうに相手に自分の意見を理解してほしいという気持ちもよこもっている。	気がないでもないというのほほほ同意していない。あまり考えないで自分の意見もなく、適当に返答している。気が自分というのほ、多少考えを遣らね、同意を求めている。
2	40代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できるの意味合いはA(自分の意見を強調している)に近くなるような気がします。	実施できると言った場合、その後「言葉で印象が変わってくる」と感じます。実質的には同じ事を言っていると感じます。	言えるはA(自分の主張を強調している)に近い感じを受けます。	気がするは率直な感じを受けます。
3	30代	女	主婦	味もニュアンスとして、感じないでもない、感じるとするは、断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	「理解できない(ない)」「理解できる(の)」の文章はあまり変わらない感じがする。	公的な場面において、できなくもないと言えなくもない(あるいは)が、実施できると言うべき気がします。	言えなくもないと言った方が説教をしているのではなく、諭している雰囲気がある。	気がないでもないはあんまり同意していない。本人はそんなには思っていない感じがする。
4	30代	男	会社員	感じるとするは、断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できるはわかりやすい感じがする。	実施できると言ってしまうと、実施できるのになぜやらないのかという話になってしまうので、そうならないようにぼかしている。	言えなくもない、はっきり言わないことで相手を感じさせている。	気がないでもないというのほ、完全に同意というわけではない感じがする。
5	20代	男	学生	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できない(ない)と書くと、理解しようとする姿勢が感じられる。	実施できない(ない)と書くと、市の財政に対しての余裕のなさを感じさせる。	言えなくもないと二重否定をしていることで、考えない場合/言える場合の両方を考慮しているように感じられ、主張の仕方に余韻を感じられる。	気がないでもないは二重否定することによって、自分のそれまでにした主張も考慮した上で、今思う前向きな意見を伝えるように感じられる。気がするはその時点で自分の過去の主張についてニュアンスは含めない。
6	30代	女	自営業	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できるに比べて、あまり同意していないと思う。	実施できなくもない、できなくともでは言われないが、本当のところ実施は難しい。	言えなくもないに相手にも言いがあると感じさせている。	気がないでもないはあまり同意できる部分がない感じ。
7	20代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できると断定してしまうと、自分の意見が絶対である周囲に宣言するよすがに感じられる。理解できなくもないと高すことで、自分の意見の正当性を明確にしている。また、理解できると断定できない(あるいは)も両方あるという解釈もできる。で、どういった意向かが判断し難い。	実施できなくもない(あるいは)やうと思えばできるけど、実施できない(あるいは)できないというニュアンスが大きい。実施できると反対の意味が込められているように感じる。	言えなくもない、言えると言言するよすがは、断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。	気がないでもないは、相手に完全に同意していない。ニュアンスが感じられる。かといって、自分のそれまでにした主張も考慮した上で、今思う前向きな意見を伝えるように感じられる。気がするはその時点で自分の過去の主張についてニュアンスは含めない。
8	30代	女	主婦	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、それ以降の意見が強い印象を受ける。	実施できるは深い。	言えなくもない、変な感じ。	気がすると言った方が、会話が続くような感じがする。
9	20代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、理解できるのほのめが強いと思う。	実施できるとすると後ろの文脈も含めて、聞き手は(手当が)支給できるのかできないのかわからない。	言えなくもない、相手への立場を否定する事になる。言えなくもない、考え方の提案をしている。	気がするは友人はあんなに同意を待たずとしている。気がないでもないは、まだ反論する余地があるのではないかと感じる。
10	20代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できると、個人の意見を強調しすぎているが、理解できなくもないと表現を交えることと、相手の意見と対峙している。断言せずに、直接的な意見を交えている。	実施できるは、相手に高い期待感を抱かせてしまうが、実施できなくもないと表現を交えることで、期待感を調整している。また、理解できる(あるいは)も両方あるというニュアンスが大きい。実施できると反対の意味が込められているように感じる。	言えなくもない、相手に高期待感を抱かせてしまうが、実施できなくもないと表現を交えることで、期待感を調整している。また、理解できる(あるいは)も両方あるというニュアンスが大きい。実施できると反対の意味が込められているように感じる。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
11	40代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	新聞の投稿なので、本来書き手が主張したいことを明確に述べたほうが良い。しかし、書き手は読者を意識して、主張をぼかしている。書き手の主張は「是非判断の時期尚早」であり、本当は理解できなくもないと思っている。したがって理解できると書く、書き手の主張に矛盾があると感じる。	実施できなくもない場合、市長は実施できないという気持ちも感じられる。実施できる場合は、次に否定しなければならぬ。したがって、実施できない(あるいは)のりのりの抗議に対する言い訳が、万人を納得させる内容をもたねばならない。言い訳が100%納得力をもたない場合、その前の断定表現は避ける。	言えなくもない、言えると言言するよすがは、断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
12	20代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できるとは、自己主張の割合が変わってくる。	実施できなくもない、財政が大幅削減されていることを切実に伝えている。	言えなくもない、断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。	気がないでもないは同意の意志をほさない。
13	60代	女	自営業	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できると断定した方が、文章がすっきりしやすくなる。例えば、「そうですね、でも」と付け加える。	実施できると断定してしまうと、「大変遺憾」で済まして「続く」肯定的な発言がやりやすくなる。	言えなくもない、断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。	気がすると言った、すべて同意したとを感じる。
14	30代	女	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、他の見方を人はいると思うが、自分もそのように現実や考方法とは立場を異にしているという含みを持たせている。	実施できなくもない、現状を無視すればできるが、そうすべきではないから実施しないのだからという含みを持たせている。	言えなくもない、相手に断定的に立っているというニュアンスを感じさせる。	気がないでもないは、相手の意見を否定するわけでもないが、楽しみのために賛同しない事と断定的に思っている。これ以上は話を続けたいなあという気分を醸成している。
15	30代	女	主婦	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、自分の意見はしっかり主張しつつ、様々な考えをもつ読み手が多くの同意を得るために、多少ぼかしている。	実施できなくもない、市に「意図を込めてほしい」とぼかしているように思う。	言えなくもない、友人を理解しつつも、自分の意見を伝えている。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
16	60代	女	その他	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できるとは、断定的に理解している感じ。理解できなくもない、理解できなくもないという否定を強く感じる。	実施できるは、実施できないでもないより実施し、責任を他人に委託しようとしている意図を感じる。	言えるは、後に続く言葉によって、発話者の考えを肯定にも否定にも変えることができし。言えなくもない、相手に断定的に立っているというニュアンスを感じさせる。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
17	30代	女	主婦	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもないと言った方が、それほと感じがするわけではないように思う。	実施できなくもない、実施できると言った場合に比べて、できるかわからない感じがする。	言えなくもない、断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。	気がすると言った場合は、完全に同意している感じ。
18	40代	女	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に自分も同じように考えていると感じる。	実施できるのほに「昔ながら」と断定的に責任を他人に委託しようとしている意図を感じる。	言えなくもない、自分の意見や意志が強く、自分が正しいと思っている事を相手に押しつけている。言えなくもない、相手に断定的に立っているというニュアンスを感じさせる。	この場合の気がないでもないは、人の意見に左右されているように感じる。相手の意見に同意しない無難な立場を取ったように感じる。
19	40代	女	主婦	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、自分の主張を断定的に断ると思う。	実施できなくもない、自分の主張を断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
20	30代	女	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、自分の意見と相手の意見を異にする場合、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、実施できる可能性があるのだから断定的に断ると思う。	言えなくもないと言っているのはあまり意味は変わらない気がするが、断定的に断ると思う。	気がないでもないは、自分の意見は(相手とは)違うという意思を含ませている。
21	50代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、一応理解ある態度を示したい場合に使おう。	実施できなくもない、実施したくないという気持ちを断定的に断ると思う。	言えなくもない、相手に自分を否定されたくないように思う。	気がないでもないは、あまり同意していない場合に使おう。
22	20代	男	その他	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、自分の主張が自立している。断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	基本的な意味は同じように感じるが、言えなくもないと言った方が、少し意見が強められるように感じる。言えるよりも、相手に断定的に断ると思う。	気がないでもないは、相手への同意や反対ではなく、中立的な意見。表面上は同意しているように感じる。表面上は同意しているが、実は断定的に断ると思う。「なるほど」「そうかも」と断定的に断ると思う。
23	40代	男	自営業	味もニュアンスとして、感じないでもない、感じるとするは、断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、相手に断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
24	30代	女	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
25	20代	男	学生	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できるとは、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できるは、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
26	20代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
27	20代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
28	40代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
29	30代	女	その他	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
30	50代	男	会社員	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。
31	60代	女	主婦	感じるとするは断定の度合いが強い(感じます、感じないでもないは付け加えています、口調によっていいん意味が含まれてるような気がします。	理解できなくもない、断定的に断ると思う。でも、言いにくいと感じる場合は基本的には断定的に断ると思う。	実施できなくもない、断定的に断ると思う。	言えなくもない、断定的に断ると思う。	気がするは断定の度合いが強い(あるいは)と高すことで、自分の意見の正当性を主張している。

#### 4.3.5. 考察

③は市長が市民に演説している場面である。「B.自分の主張を否定されないようにぼかしている」がもっとも多くなったのは、市長が市の政策に関して「実施できないでもない」とぼかしているのを、聴者の市民が、話者である市長が自身のポジティブポライトネスに配慮していると感じたためである。このように、社会的立場のある話者が、不特定多数の人に話す演説というカテゴリーで「～ないでもない」を発話すると、自身の主張に都合の悪いことをぼかそうとする発話意図が伝わっていることになる。また、①、②、④、は友人同士(そのうち1人は発話参与者)の会話や新聞の投書欄に、記者が不特定多数の人へ向けて主張を述べている記事の中で、「～ないでもない」を使用していることへの発話意図をどう感じるかという回答である。「C.あなたのことを気遣って自分の主張をしている」や「C.不特定多数の読み手のことを気遣って自分の主張をしている」がもっとも多かった。とりわけ①、④は、友人の主張に反論する発話であるため、「～ないでもない」と話者が自身の主張をぼかしたのは、聴者(友人/読者)のネガティブポライトネスに対する配慮だという発話意図が伝わっていると考えられる。⑤は、友人同士(そのうち1人は発話参与者)の会話であるが、主張、反論を繰り返したあとに、反論者が最後に発する「～ないでもない」についての発話意図を聞いた。「C.あなたの主張に同意したことをぼかしている感じ」がもっとも多かった、その理由として考えられるのは、友人が話者の主張に同意したと明らかにするのは、いままで反対していた経緯もあり、決まりが悪い。そこで、「～ないでもない」を用いて同意をぼかしていると考えられる。これは、話者自身のポジティブフェイスを守っていると同時に、ポライトネスの原理である、「自他の意見の相違を最小限にせよ。(N)」に一致するものである。このように、「～ないでもない」は単なる話者の主張のぼかしではなく、その中に場面や、話者の立場、聴者との関係性などの語用論的要素によって、その配慮機能があり、発話意図も違っていることがわかる。

#### 4.4. まとめ

以上、本章では日本語教育用のテキストで実際の二重否定モダリティの取り上げられ方を整理し、用法分析で得た知見を活かせる方途の模索という意義から練習問題作成を試みた。「～といっても過言ではない」のような二重否定表現は、これまでの日本語教育で積極的にコミュニケーションに重要な役割を果たす表現として取り上げられてこなかった。しかしながら上級日本語話者にとって、このような用法は複雑ではあるが、発話者の意図と

文の意味を正確に習得することで、より一層日本語の重層で円滑なコミュニケーションが可能になるスキルアップ表現として看過することはできない。二重否定モダリティは、例えば否定意味の語彙を「過言」から「差し支え」に変えただけの「～といっても差し支えない」や、「～ないといったら嘘になる」のように慣習化した表現も多数存在している。そして個々の表現ごとに異なる固有の意味を持った表現として別途学習する必要があるし、まして「～ないと言ったら嘘になる」のような《感情表出》として使用場面が限定される表現の文脈効果を習得することは決して容易でないが、それによって日本語表現の幅や深さが格段に広がることも事実である。筆者はこのような表現こそ、外国語には翻訳することができない、日本人の心の屈折を表現するのに好ましい修辭的技法だと考えている。

しかしながら最後に述べておかねばならないのは、日本語教育文法の立場では、1つの形式を教える際に、全ての意味を教えることは否定されることが多いのも事実である。例えば、条件文「なら」を教える場合に、提題の「Nなら」まで教えることがないというのが定説である。しかしながら筆者が本章を通じて主張してきたのは、上級日本語教育においては、文法を教えるという概念にさらにプラスして語用論的視座も不可欠ではないかという点にある。この点は、これまでの日本語教育が上級になってもまだ文法的な視座のみに偏っていることに対する警鐘でもあり、今後のよりよい上級日本語教育への筆者自身の挑戦でもありと考えている。

語用論的視座に関する論はまだまだ未解決の具体例に欠ける部分もあり、未熟だと言わざるを得ない。今後はさらにこの種の表現の語用論的分析、日本語教育の観点からの分析を蓄積していくことが重要であることはいまでもなく、そこで得た知見を上級日本語教育のコミュニケーションスキルの向上や、語用論的視座をもった授業展開や母語話者の国語教育などにもつなげ、さらに実用的な方途を見いだしていきたいと考えている。

## 終章 現状と課題

### 5.1. 各章のまとめ

本章では、これまで各章で述べてきた論のまとめを行う。

#### 5.1.1. 序章のまとめ

序章では、本研究を行なった背景や動機を詳細に記した。我々日本人は、実は日常のコミュニケーションの中で、巧みに二重否定の意味の強弱を使い分け、ときには相手を怒らせないように配慮しているように見せかけながら、実はしっかりと自分の主張を表現したりすることに成功したり、反対や非難の気持を伝えたりしている。結果として、それが心地よい対人距離を保っているという点は、二重否定表現が、話者が聴者を意識して、意図的に選択している一種の言語コミュニケーションストラテジーと解釈できる。二重否定表現のそれぞれの表現の意味は、語用論的条件（発話者、聴者の関係、年齢的、社会的立場、発話状況など）によって異なることが、これまでの記述的研究でも指摘されている。しかしながらこの点において、実際のコミュニケーションに日本語の二重否定が担っている役割について、個々の表現事例を確認しながらその重要性について指摘している研究はいまだに多くないと考えたことが、本論文を執筆するに至った動機である。

また、本研究の研究手法と基盤理論についても述べた。本研究の理論の基盤の一つとなっているのが Brown&Levinson (1987) のポライトネス理論である。ポライトネスは言語表現そのものではなく、言語行動様式を述べた言語理論である。本研究においては、このポライトネス理論を、二重否定の配慮機能分析の際にフェイス侵害が起こっているかどうかについて援用した。リーチ(1983)のポライトネス理論は、グライスの協調の原理からの逸脱を補うものとして、聞き手にとって *impolite* になるような表現は最小限に抑え、*polite* になるような表現を最大限にするポライトネス理論 (*politeness principle*) を提唱している。B&L のポライトネス理論とリーチのポライトネス理論の両者を、「記述したい言語現象の性質において使い分け、時には補完的に用いるのが有効である」としている山岡(2018:145)についても付記した。また、実際の二重否定発話の発話目的を分析する際に、山岡(2008)の発話機能論によってラベリングすることを述べた。

また、配慮表現理論については、山岡他(2019:39)の「言語表現がポライトネス機能を帯びるのは、文脈に依存した臨時的用法であるが、同様の文脈が頻出し、なおかつその文脈でポライトネス機能を帯びることがいくらかでも慣習化している場合にその語彙・表現

を「配慮表現」とする。」に即して記述してきた。後半では、本研究の研究対象となる二重否定や、日本語の二重否定についての先行研究を概観し、とりわけ文法的研究の問題点について述べた。

### 5.1.2. 第1章のまとめ

第1章では、日本語の二重否定の先行研究を概観し、外国語（英語、中国語）の二重否定の研究の中で、本研究を深めるにおいて重要な示唆を含んでいる研究についてその概観を論じた。はじめに本研究にとっても非常に重要な先行研究の一つ、日本語の二重否定の形態論的研究の陶（1994）の二重否定の定義について触れた。1つの表現において、二重否定と見なすか見なさないかについては、研究者の間で意見が分かれている。筆者は二重否定表現を、一種のモダリティ表現の括りで考えているため、「なければならない／なくてはいい／せざるをえない」のような表現は二重否定であるという立場を取ることを述べた。また、「違くない」はある種の意味的二重否定の構造が隠れており、「違くない」は「違う」という否定的語彙と否定辞「ない」が一つになった、意味的には二重否定表現だと考察した。

次に、修辞学的手法のレトリックにおける先行研究の概観をした。はっきり言わない＝二重否定で弱めるというのは、日本語特有の表現だと言うことができる。しかし日本語の二重否定には、意味を強める表現も使用されることを考えると、英語や他の外国語と重なり合う部分もあることも事実である。修辞学的な研究では二重否定の言い回しは効率的なコミュニケーションの法則からは逸脱しており、好ましくない表現であるという結論ではあるが、その意味も、強調して言っている場合と曖昧にぼかそうとしている場合の両方が存在している。これが日本人の持っている、外国人からみると非常に理解が難しい思考方式と関係しているということになる。

二重否定の語用論および配慮表現的研究の項では、彭（2005）、山岡他（2010）の配慮表現理論を考察した。配慮表現とは、「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現」と定義され、「～ないでもない」のような「控えめ」な二重否定もこの定義に当てはまる。また、外国語の二重否定の研究概観では、英語と中国語の二重否定の先行研究を紹介した。英語の二重否定の研究は、英文解釈の研究による影響が大きく、英語の二重否定構文において、二つの否定辞の作用域が異なっていることに着目し、それによって

単純肯定と二重否定との意味論的差異を説明しようとした中右（1994b）を紹介した。伊関（1998）や田中（1998）、長谷川（2004）らの研究により、日本語と英語の二重否定解釈の相違点が浮かび上がった。二重否定のもつ意味には「強弱」があるということは、日本語も英語も共通している。しかしながら、英語は二重否定の解釈をコンテキストから捉えられる意味により決定しているのに対し、日本語の二重否定は、「強弱」どちらの意味を表すかは形式によって最初から区分されているといってもよいことが、日本語と英語の二重否定の大きな違いとして重要であると考察した。中国語の二重否定の研究では、俞（2000）は二つの否定辞が共起して意味が肯定になる「否定の否定」を「二重否定」としている。しかし、二つの否定辞が重なった「否定疑問」を二重否定と見なすべきかどうかについては、研究者によって意見が異なっているのが現状である。楊（2014）は、中国語では三種類の二重否定の区分があること、例えば、「あの人、学生じゃないんじゃない？」のような「学生じゃないだろう」という話し手の否定の推測または確認要求を表す表現は、日本語には存在するが中国語にはないという考察をしており、こちらも紹介した。

次に日本語の二重否定表現を外国語に訳出する場合に困難に直面する点を考察した水野（2017）では、「日本語の二重否定表現は、コミュニケーションにおいてしばしば用いられ、多様な印象や効果を生み出す手段にもなっていると考えられるが、通訳においては困難を伴う言語表現の一つである。」との考察を紹介した。

### 5.1.3. 第2章のまとめ

第2章では、日本語の二重否定の総論として、第1章で述べた先行研究の中から従来の日本語の二重否定の枠組み、とりわけ従来の二重否定の定義について述べたもの絞って、その問題点を指摘し、新しい二重否定の枠組みを定義した。陶（1991）は次のように二重否定を定義している。

- (a) 一つの述語表現形式に限られること。
- (b) 否定を表す表現が二つあること。
- (c) 二つの否定は連続的で、後ろの否定が前の否定を制約すること。
- (d) 二つ目の否定がくることによって、文全体は肯定になること。

陶は、以上の要素は一つも欠けてはいけないと述べ、結論として二重否定を次のように定義している。

一つの述語表現において否定を表すものが重なり、後ろの否定が前の否定を制限し、文の意味も肯定であること。

この定義は概ね妥当だが、(b)の「否定を表す表現」が何を指すのかは依然曖昧である。また、林(2005)の述べている論理で捉えた否定及び否定辞では、日本語の二重否定の問題の所在をさらに複雑にしてしまうことが問題になっていた。これまでの二重否定の先行研究の問題の所在は、二重否定を形式上で判断しようとしている点にあった。そもそも二重否定表現は、話者が当該命題に対する話し手の態度、捉え方を表明しているモダリティ表現だと考えるなら、命題とモダリティは区分して考えなければならないと考え、二重否定モダリティとして、単なる形式上の二重否定とは区別をする必然性を主張した。本論文では二重否定と認定する否定を、否定辞以外の否定意味の語彙まで拡張するものの、あくまでもモダリティ要素内で機能するものに限定する立場を取るのが妥当だとした。つまり命題の側のみで機能するものは本研究においては二重否定から除外することにした。文末に付加された「～と言わざるを得ない」のような日本語の表現が二重否定モダリティである。

さらに、モダリティ内二重否定の中には、否定辞を1つしか持たない、否定意味の語彙とで二重否定表現と同じ構造を持っているものもある。このように考えた場合、「～といっても過言ではない」のように否定辞を1つしか持たない表現も「二重否定」の一種だと認定する必然性が出てくるのである。しかし、このような必然性が出てくるのは、外部二重否定になっている場合のみだと限定する必要がある。そうしなければ、「少なくない」のような実質語の対義を意味するような表現も、内部二重否定の一種として二重否定扱いしなければならないからである。また、外部二重否定は、その全ての部分がモダリティに含まれており、機能語として成句になっているものばかりである。したがって、新しくカテゴライズする必然性があるとも言える。本論文では、「二重否定モダリティ」を以下のように定義した。

- ① 命題の述語に下接するモダリティの中に二つの否定要素が用いられるもの。
- ② 二つの否定要素は、二つの否定辞、または一つの否定辞と否定意味の語彙であるものであり、日本語表現群として成句的なものも含む。その使用が慣習化されているもの。
- ③ 命題に対して肯定の極性を付与し、そこに「強意」「婉曲」の意味、さらに各表現に特徴的な固有の意味を付加するもの。



#### 5.1.4. 第3章のまとめ

第3章では、筆者が二重否定モダリティをカテゴライズするに至った過程を辿って、これまで発表してきた拙著を掲載した。1.の「～気がしないでもない」のメカニズムでは、発話機能の《主張》においては、発話者は情報の受け手に対して、相手の Negative face を傷つけないようにする「主張断定緩和効果」のために用いる一方で、発話者自身の「自己の主張を認められたい」との Positive face を保持する配慮表現との論を述べた。主観的な主張については3つの語用論的条件が揃った場合には配慮表現であると考えた。また、《主張》《反論》というパターンでは、発話者が「～気がしないでもない」を使用した場合、「気がしないでもない」を用いて、相手との調和を図ろうとすると考える。このような場合の「～気がしないでもない」は、相手と自身の face 侵害をしないように配慮した表現であると結論した。

2.では「迂言的二重否定表現」という用語を用いて、「～といっても過言ではない」のような、成句的で否定辞を一つしかもたない二重否定表現に絞って、その理論を説明した。2.1.では「《主張》における迂言的二重否定にみられる配慮表現の研究」と題して、明らかな形式的二重否定表現に準ずる二重否定表現として、その配慮的機能を考察した。「～といっても過言ではない」のような表現は、聴者の消極的フェイスに配慮して《主張》を緩和する婉曲的表現の機能を有しており、これにより、従来「強調」表現として扱われてきた表現を、単なる強調しているという意味だけではなく、迂言的二重否定というカテゴリーを確立した。2.2.では「「～といっても過言ではない」の命題特性とその機能」と題して、用例から語用論的条件の下での発話機能、対人機能などの語用論的機能について考察した。《主張》《非難》にそれぞれ用いられた場合には、話者が命題内容に対して、かなりの程度真であると確信していることを伝達しながら、《主張》や《非難》の程度を高める機能も有していると結論した。

3.二重否定モダリティ「～ないといったら嘘になる」の意味・機能では、命題に現れる「～ないといったら嘘になる」を二重否定モダリティとしてその命題の型を分類し、モダリティ機能を検証した。「～ないといったら嘘になる」は以下のような特徴を備えている。

- I. 「嘘」という語彙が「本当である」の否定語と考えれば、そもそも婉曲性を持っていることから、「ない」+「といったら嘘になる」は否定辞を二つ使っている二重否定の婉曲性と同じ機能がある。
- II. 「～ないといったら嘘になる」は「心配する」、「恐怖がある」、「不安がある」、「寂し

い」のような否定意味を含む語彙と共起しやすく、話者の本意を聴者に遠慮しながらも正確に伝達するモダリティ機能がある。

III.二重否定モダリティの「～ないといったら嘘になる」は、「ない」と断定するのに比べて冗長であり、話者が婉曲的に感情表出をすることが可能な表現形式である。

そして、このような用法は上級日本語話者にとって複雑ではあるが、正確に習得することで、より一層日本語の重層で円滑なコミュニケーションが可能になると結論した。

4.「二重否定「～ないとは（も）限らない」の二種の型をめぐって—配慮表現としての緩和用法を中心に—」では、二つの否定の作用域に着目し、表現の型の二種について考察してきた。その結果、「～ないとも限らない」は「命題否定+モダリティ否定型」（前提否定用法）と、「モダリティ二重否定型」（緩和用法）とに区分できることを述べた。また、モダリティ二重否定型（緩和用法）の「～ないとも限らない」は、①命題内容が主観的判断によって成立するものであり、かつ、②それが対人コミュニケーション上で好ましくない内容である、という共通項があり、それを緩和するために用いることが慣習化した配慮表現であると捉えられることを考察した。

5.「対話に見られる二重否定の発話機能について」では、日本語の二重否定モダリティには二種あり、そのうち外部否定が二重否定になっているものを二重否定モダリティと認定する根拠を論じてきた。日本語の対話における二重否定生成の過程は、対話の相手が命題内容に対して否定的な見解を持ちながらも、聴者のフェイスに配慮して発話したい時に生成される表現である。二重否定は《反論》、《賛同要求》、《賛同》にも現れると考察した。そして、二重否定モダリティは構文論的には、モダリティ研究でいうところの事態・相手の両方がめあてのモダリティということになり、その{演述}系発話機能が慣習化して語用論的解釈を必須とするようになった、第3モダリティという枠組みに属することになると結論した。

#### 5.1.5. 第4章のまとめ

第4章では日本語教育用のテキストで実際の二重否定モダリティの取り上げられ方を整理し、用法分析で得た知見を活かせる方途の模索という意義から練習問題作成を試みた。

「～といっても過言ではない」のような二重否定表現は、これまでの日本語教育で積極的にコミュニケーションに重要な役割を果たす表現として取り上げられてこなかった。しかしながら上級日本語話者にとって、このような用法は複雑ではあるが、発話者の意図と文の意味を正確に習得することで、より一層日本語の重層で円滑なコミュニケーションが可能になる。二重否定モダリティは、例えば否定意味の語彙を「過言」から「差し支え」に変えただけの「～といっても差し支えない」や、「～ないといったら嘘になる」のように慣習化した表現も多数存在している。そして個々の表現ごとに異なる固有の意味を持った表現として別途学習する必要があるし、まして「～ないと言ったら嘘になる」のような《感情表出》として使用場面が限定される表現の文脈効果を習得することは決して容易でないが、それによって日本語表現の幅や深さが格段に広がることも事実である。

しかしながら最後に述べておかねばならないのは、日本語教育文法の立場では、1つの形式を教える際に、全ての意味を教えることは否定されることが多いのも事実である。例えば、条件文「なら」を教える場合に、提題の「Nなら」まで教えることがないというのが定説である。筆者がこのを通じて主張したいのは、上級日本語教育においては、文法を教えるという概念にさらにプラスして語用論的視座も不可欠ではないかという点である。

## 5.2. 本研究の学術的意義

以上、本研究の各章で論じてきた考察を振り返ってきたが、ここでは改めて本研究の持つ学術的意義について論じたい。それは以下、大きく4つあると考える。

- I. 従来の広義の二重否定と区別するために、二重否定モダリティという新しいカテゴリーを立て分けたこと。
- II. 二重否定の意味が「婉曲」「強調」の2種類に大別されるものだけでなく、断定の強弱だけではない固有の意味の特徴を帯びて慣習化していることに言及したこと。
- III. コミュニケーションにおいて使用される二重否定モダリティの細かい効果や使い方を、発話機能や配慮表現、ポライトネスの観点から探り記述したこと。
- IV. 上級日本語教育において、二重否定モダリティをどのようにとりあげるか、現状を踏まえて語用論点視座が重要であると考察したこと

まず、I. 二重否定モダリティというモダリティの新しいカテゴリーを立て分けたことについては、従来の先行研究が、二重否定を命題とモダリティの領域を明確に区分せずに、否定辞の数や形式的構造にのみ着目し、二重否定を整理してきたのに対して、本研究では

二重否定という枠組みを、命題とモダリティの間で区切って、モダリティの内部だけで二重否定する作用のあるものに絞ってカテゴライズしたことで、日本語の二重否定の新しいカテゴリーを立ち上げたことになる。従来二重否定の特徴である、「肯定極性を持っていること」「婉曲の意味を表す」といった二つの特徴は、二重否定に限ったものではなかった。例えば、肯定極性を持っているという点では、「～べきだ」というモダリティには、必ず肯定の命題が伴っているという事象が見られる。しかし、当然「～べきだ」は二重否定ではない。

また、「婉曲の意味を表す」という点では、例えば「～みたいだ」のようなモダリティにも共通しているからである。このように二重否定モダリティのカテゴライズは、モダリティだけの研究でも、構造的な二重否定だけの研究でも行き詰まってしまうことは必然であった。言い換えれば、二重否定モダリティをカテゴライズする必然性とは何かをずっと探していたといってもよい。先行研究の問題点を整理していく中で、一筋の光明が見えたのは、「命題」と「モダリティ」の境界を考えるという手法であった。これにより、二重否定モダリティというカテゴリーが明確になり、「命題が肯定の極性を持っていること」、「モダリティ内部（＝命題外部）で二重否定になっているものが、二重否定モダリティであると明確になったわけである。

そして、もう一つの「否定辞を二つ」有しているという問題に関しては、否定辞が何を含む（または除外する）のかについて検討していく中で答えを出すことができた。前述の「モダリティ内だけで二重否定している」＝「肯定になっている」に着目することで、迂言的二重否定のような表現が、自ずと構造的にまたは、意味的に二重否定となっていることが明確になったからである。これは、逆説的な発見ではあったが、これにより先行研究が抱えていた問題点が解決できたのである。

そして、この研究はモダリティ研究と、二重否定研究の双方に貢献しうる理論だと考えている。さらに II.二重否定の意味が「婉曲」「強調」の2種類であるというだけでないことを示し、対事的、対人的モダリティのどちらの機能も有している新しい第3のモダリティを区分したこともつながる。従来のモダリティ研究の大きな2つの流れでは説明できない対事的、対人的の両方に目が向けられているモダリティがあること、そのように発話機能志向で使用されている表現が二重否定モダリティであるとの主張である。これまでの本研究で「～気がしないでもない」や「～といっても過言ではない」、「～無いと言ったら嘘になる」、「～ないとは限らない」などの個々の表現群の事象を論じてきた。それを考察

することは、同時に日本語という言語が、文末に「話者の命題に対する話し手の心的態度」を込めたり、「聴者に対する話者の発話・伝達」という役割を担わせたりする言語であることとの確認作業にも似ていた。そして、個々の二重否定モダリティの表現群が、従来のモダリティとしての役割の双方に架かることを証明することにもなったのである。

III. コミュニケーションにおいて使用される二重否定モダリティの細かい効果や使い方を、発話機能や配慮表現、ポライトネスの観点から探り、深めたことは、日本人のコミュニケーションにおける細やかなやり取りや、微妙な心の機微を母語話者ではない者にもこの用法を客観的に説明する糸口にもなり、また母語話者の高等教育の知見にもなりうると思う。これは、IV. 上級日本語教育において、二重否定モダリティをどのようにとりあげるか、現状を踏まえて語用論点視座が重要であると考察したことにもつながることであり、今後の教材作成や、スピーチスキル習得研究などにおいて貢献の可能性を秘めた指摘であると思う。以上が、本研究の学術的意義である。

### 5.3. これからの課題

日本語の二重否定が、これほどまで巧みに、深く、複雑な効果をもたらす表現であることは、研究開始当初は考えもしなかったことであった。そしてそれは裏を返せば、この研究が何度も途中で挫折しても可笑しくない状況に陥ったことの原因でもあった。まだまだ本研究には、広げていかななくてはならない方向がある。その1つが他の言語、文化の元では、この二重否定という表現がどのような位置付けになるかということである。これは、他言語との二重否定の構造的な比較というよりは、人と人とのコミュニケーションにおいて日本語では二重否定で《主張》を強調したり、弱めたりするし、《反論》や《非難》においては相手のネガティブフェイスに配慮しているというような特徴があるのに対して、共通点や相違点を研究していく方向性である。本研究の中でも、同時通訳における二重否定表現の訳出の難しさについて紹介したが、今後多くの事例研究により個々の表現と外国語の対照表現が繋がってくることも期待される。これにより、JSL 学習者には上級の日本語習得の役に立つこと、日本語母語話者にとっては、外国人母語話者とのコミュニケーションにプラスに働くスキルの獲得につながることを、と考えるからである。二重否定モダリティ表現が、日本語と同じようにコミュニケーションにおいてプラスに（または、時にはマイナスに）貢献する言語はあるのだろうか。少なくとも英語や中国語においては、文脈により1つの表現は、強い、弱いかといった1つの意味しか表さないことが先行研究では考察

されており、その点において筆者の興味はまだまだ継続するところである。

最後に、本研究の直接的な学術的意義の関連とは離れてしまうが、日本人にとっての二重否定とは何か、掘り下げていく中で見えてきた、今後の展望を記しておくことにする。

#### 5.4. 展望

日本人の奥ゆかしさと二重否定モダリティの接点ということについて、本研究の今後の可能性を示す意味でも論じておきたい。「奥ゆかし」という日本語がある。これは、言い換えれば「言わない」ことが「口に出すより深い思いを相手に伝える」という発想である。例えば、「鳴く蝉より鳴かぬ螢が身をこがす」という諺がある。『岩波ことわざ辞典』(2000)によれば、声高な表現より静かに秘められた思いの方が愛情は強いのだという意味だとある。続けて「ジイジイと騒がしく鳴きたてる蝉より、無言で自分の尻を光らせて身をこがしているかに見える螢に愛の強さと深さを感じ取るのが日本人であり、日本的な感性」と記されていることから、日本人の美德意識の根底にあるのは「言わぬは言うに勝る」という発想だと確信する。しかしこれは同時に、それを表と考えるなら、裏には何かを相手に伝えることは、日本人にとって「奥ゆかしさ」という日本的発想を超えて、敢えて異文化に飛び込むような勇敢な行為とは言えないだろうか。つまり、日本人にとっては、「伝える」ことのほうが「伝えない」ことよりもはるかに労力を必要とする行為なのである。

言語表現の話からは逸れるが、「迷惑をかける」行為について興味深い異文化間の意識の違いがある。日本人は、一般的に「迷惑をかける」行為について次のように理解している。例えば、歳を取り、体が思うように動かなくなった時に、老人が施設に入りたいと嘆く。このような時に多くの人が口にするのは、「家族に迷惑をかけたくないから。」であろう。あるいは、親が子供に教育的に伝える言葉に、「他人に迷惑をかけないで。」と。つまり、日本人は家族や知人であろうが、他人であろうが人様に迷惑をかけることは、不徳な行為だという発想で生きていることになる。言い換えれば、「迷惑をかける」という日本の意味は、「誰に対しても、相手に負担をかけること」になる。それに対して、韓国人や中国人は「迷惑をかける」行為は、他人（嫌いな人、関心がない人も含む）から負担をかけられる行為と考えている。

『蝶の眠り』という映画で、韓国人の若者が、遺伝型アルツハイマーになって記憶を失っていくことに怯えて「迷惑をかけたくない」と言う中年女性主人公に、彼が放つセリフ

は印象的だ。「あんたらは、いつもそういう。何が本当の迷惑か分かってんのか?」。迷惑をかけることが、他人ではなくて自分の負担になることが一番負担だと思う日本人と、迷惑をかけるのはその人が相手を本当に信頼している証しとしてポジティブに捉える韓国的発想から発生した、互いの心のすれ違いとあってよい。韓国人の彼にとっては、本当に信頼してほしい相手には、迷惑をかけられてこそ、喜びだったということになる。このことは、序章で紹介した B&L のポライトネス理論の異文化間の隔たりということに合致すると考える。日本人はネガティブポライトネスのネガティブフェイスを慎ましく他人に対して表現する。これが表側だとすれば、裏側はポジティブフェイスをストレートに表現できない民族意識が、言語表現、コミュニケーションの中にも現れているということになる。

本研究で考察してきた二重否定モダリティ表現も、ここに置き換えてみるならば、これほどまでに物事をストレートに言わず、「奥ゆかしさ」という美德の名に恥じぬように、対人コミュニケーションに浸透し、巧みに人間関係を維持する妙さを持っている日本語表現のバリエーションもないのではないだろうか。二重否定の表現効果について陶(1994)は、「話者側が響きの悪い語を避けたり、技巧をこらした言い方が可能になる。聴者側にも言葉を柔らかくする印象、気取った印象を与えたりすることができる。」としている。これも巧みな考察だと言ってよいと思う。

同様に、金田一春彦(1991)は、日本人は「打ち消しの表現とか、漠然とした表現を喜ぶ」という考察もある通り、二重否定モダリティ表現はじつに多様なのだ。これは正面切つての衝突、議論を好まない精神風土の中でははっきり言わず、文字通り「煙に撒く」ための手法=すなわちレトリックとして発達してきた所以でもあろう。第1章でも考察したようにこれが文化の違う外国人相手だと、よい結果を生まない場合もあるというのは周知の事実である。要するに日本語は、**Understatement**(緩やかなぼかし)がなければ日本語らしくないということになり、コミュニケーション不全に陥ってしまうということだろう。

一方で未来的な志向に目を向けてみると、落合(2016)は、AI(人工知能)と共存する人間の生き方について、次のように述べている。「人間は、高度化したコンピュータを前に、確かに処理能力と正確さでは歯が立ちません。その中で人間が価値を生み出していくには、専門性を身につけて、自分の中に暗黙知をためていく必要があります。人工知能が怖いという人がいますが、なぜそのように思うのでしょうか。それは一つに、人工知能にはない人間としてのオリジナルな部分、すなわち自分だけが生み出せる価値を信じていることができなからだと思えます。」と。実は、この人工知能が追いついていない分野、人間のオリ

ジナルの部分、日本人のオリジナルの部分に合致する言語表現が、二重否定表現なのではないかと筆者は考えている。

では、日本人のオリジナリティとはマニュアル化できるもので、AIなどが近い将来取って変わることは可能なのかと考えていたところ、次のような事例に出会った。見城ほか(2015)では、中国のいくつかの大学では「日本社交礼儀」という授業科目（選択授業）を開講し、日本人のマナー、コミュニケーション上の特徴、言葉遣いなどを学生に積極的に教育している事例として取り上げられている。それによると、中国人で日本語を専攻した大学生たちが卒業後、日本留学や日系企業への就職などを機として、日本人と関わる環境へ入った際、日本社会のもろもろの「常識」に照らして自分自身の行動が「失礼」と思われぬか、それにより自分自身が学校や職場で不都合な事態に陥らないかなどの懸念が非常に現実的な問題として、学生たちの頭の中にあることから、このような科目の開講に至ったと述べている。上述した「日本社交礼儀」の講義の中では、見城の言葉を借りれば、誰もが共有できるマニュアルのような知識「形式知」を伝授しているのだが、見城はそれ以上に大切なことは、誰も盗むことのできないオリジナルなものとして身に付いた知識「暗黙知」であると述べている。「暗黙知」とは、言い換えれば、言語行動としての日本人のネガティブポライトネスであり、言語表現でいえば、その1つが二重否定モダリティ表現だと言えるだろう。しかし、この「暗黙知」をAIで習得を肩代わりできるかという点、現在のAIのレベルで「否定」という概念を認知する限界も指摘されている。

新井(2019)は、「いわゆる音声認識応答システムに「この近くのまずい中華料理屋」と聞いて、検索してみると出てきた答えは、美味しいレストラン。次に「この近くの中華料理以外のレストランと聞くと、全く同じ答えが出て来る。いまだにAIはこのレベルで万能ではない。「～じゃない」とか「まずい」とかが認識できない。」つまり、これからの人間に必須の力は、自学自習能力であり、読解力や文脈を理解する力は、AIはまだ人間においておらず、人間はこのAIができないことについて力をつけることが必須になると結論づけている。このことから、「否定」や「二重否定」表現をAIが正しく認識し、使い分けることは容易ではないことが窺える。角度を変えて言うならば、物事を否定したり、相手に深い本心を伝達するためには高度な言語コミュニケーションスキルが必要だということになる。文字通りに「否定辞」を二つ並べない二重否定があることや、聴者に対して話者が配慮して発話する二重否定があることなどは、AIに学習させるまえに人間が自学自習することなのであろう。そのように考えると、本研究がもっている今後の可能性は大きく、



日本語の二重否定の深層を掘っていくことは、同時に人間の本質的な思考の回路を掘っていくことになり、これは新井が指摘している人間に必須の力の開発ということになるのだと筆者は考えている。

## 1 既に刊行された論文との関連—初出一覧

### 序章 新規執筆

#### 第1章

「日本語の二重否定の分類～非形式的二重否定分類への試論」『日本語コミュニケーション研究論集』第3号 2014年 25-34 前半

#### 第2章

「日本語の二重否定の分類～非形式的二重否定分類への試論」『日本語コミュニケーション研究論集』第3号 2014年 25-34 後半

「日本語の二重否定モダリティ—二重否定の型と発話機能の事例から—」『日本語コミュニケーション研究論集』第10号の前半

#### 第3章

「配慮表現としての「～気がしないでもない」のメカニズム—主張を中心に—」  
『INTERNATIONAL JOURNAL OF PRAGMATICS』19 Pragmatics Association of Japan  
2010年 11-22

「《主張》における迂言的二重否定にみられる配慮表現の研究—「と言っても過言ではない」を中心に—」『日本語コミュニケーション研究論集』第2号 2012年 100-108

日本語の二重否定の特徴—「～と言っても過言ではない」の命題特性とその機能—『日本語コミュニケーション研究論集』第5号 2012年 79-91

「二重否定モダリティ～ないと言ったら嘘になる」の意味・機能」『日本語コミュニケーション研究論集』第6号 2017年 89-97

「二重否定「～ないとは（も）限らない」の2種の型をめぐって一配慮表現としての緩和用法を中心に一」『解釈』第66巻第11・12月号 2020年 6-1

「日本語の二重否定モダリティ—二重否定の型と発話機能の事例から—」『日本語コミュニケーション研究論集』第10号の後半

#### 第4章 新規執筆

#### 終章 新規執筆

#### 参考文献一覧

- 浅野裕子（1996）『『と思われる』に見る日英の語用論的原則』『日本語教育』88号 35-47 日本語教育学会
- 新井紀子（2019）『AIに負けない子どもを育てる』東洋経済新報社
- 鮎澤孝子（1990）「新聞と否定表現」『日本語学』vol.9 No.12 明治書院 18-27
- アンドリュー・D・コーエン（2015）石原紀子編著『多文化理解力の語学教育 語用論指導への招待』研究社
- 生田少子（1997）「ポライトネスの理論」『言語』Vol.26 No.6 66-71
- 池上義彦・守屋三千代（2009）『自然な日本語を教えるために』ひつじ書房 56-160
- 伊関敏之（1998）「二重否定の論理—その意味解釈をめぐって—」『鶴岡工業高等専門学校研究紀要』33号 39-43
- 井出祥子（2006）『わきまへの語用論』大修館書店
- 今田滋子（1990）「日本語学習者の否定表現の理解の諸問題」『日本語学』明治書院 vol.9 No.12 76-81
- 印省熙（1995）「日本語の二重否定表現について」『言語と日本語教育』第11号 96-99
- 氏家文昭（1976）「二重否定の意味と修辞」日本大学文理学部研究年報 25号 147-157

- 大塚望 (2004) 「～がある文の多機能性」『言語研究』 vol.125 日本言語学会 111-142
- (2007) 「する文の多機能性—文法的機能—」『日本語日本文学』 vol.17 創価大学 23-39
- 大堀裕美 (2010) 「配慮表現としての「～気がしないでもない」のメカニズム—主張を中心に—」『INTERNATIONAL JOURNAL OF PRAGMATICS』 19 11-22 Pragmatics Association of Japan
- (2014) 『主張における迂言的二重否定にみられる配慮表現の研究』 ICJLE シドニー 日本語国際研究大会ポスター発表
- (2020) 「二重否定「～ないとはい(も)限らない」の2種の型をめぐって—配慮表現としての緩和用法を中心に—」『解釈』 第66巻第11・12月号 6-1
- 落合陽一 (2016) 『これからの世界をつくる仲間たちへ』 小学館
- 小野正樹 (2005) 「『と思う』のコミュニケーション機能」『日本語態度動詞文の情報構造』 くろしお出版 181-235
- 小野正樹・山岡政紀・牧原功 (2009) 「かもしれないの談話機能について」『漢日理論言語学研究』 沈力・趙華敏編 学苑出版社 26-30
- 小野正樹・李奇楠 (2016) 「「カモシレナイ」における可能性判断と対人配慮用法」『言語の主観性』 くろしお出版 133-150
- 加藤重広・町田健編 (2004) 『シリーズ・日本語のしくみを探る6 日本語の語用論のしくみ』 研究社
- 加藤周一 (2000) 『私にとっての20世紀』 岩波書店
- 川村よし子 (1991) 「日本人の言語行動の特性」『日本語学』 明治書院 第10巻 第5号 51-60
- 金田一春彦 (1958) 「不変化助動詞の本質」『国語国文』 第22巻 2号 67-84
- (1991) 『日本語の特質』 日本放送協会
- 工藤嘉名子 (2000) 「専門教育への橋渡しとしての日本語教育『新書ライブラリー』における否定表現の分析より」『小出記念日本語教育研究会論文集 8』 小出記念日本語教育研究会 23-38
- 見城 悌治・三村 達也・中嶋 英介・菅田 陽平(2015) 「現代中国における大学生に対する「日本事情」ニーズ調査」『国際教育International Education』 Vol.8 千葉大学国際教育センター編 51-76

- 小泉保 (2001) 『入門 語用論的研究—理論と応用—』 研究社
- 国際交流基金 『新しい日本語能力試験ガイドブック 概要版』  
 〈<http://www.jlpt.jp/reference/pdf/guidebook1.pdf>〉 (2016年7月24日)
- 国立国語研究所 (2001) 『日本語教育指導参考書 22 日本語教育のための文法用語』  
 ————— (2006) 『言語行動における「配慮」の諸相』 くろしお出版
- 小松光三 (2001) 「二重否定」山口明穂, 秋本守英編 『日本語文法大辞典』 明治書院 594
- 笹川洋子 (1996) 「異文化の視点からみた日本語の曖昧性—在日外国人留学生調査より—」  
 『日本語教育』 89号 52-63
- 鈴木夕佳 (2011) 「配慮の機能をもつ副詞についての一考察—「そこそこ」を中心に—」 『日  
 本語コミュニケーション 研究論集』 第1号 日本語コミュニケーション  
 研究会 82-89
- 瀬戸賢一 (1988) 『レトリックの知—意味のアルケオロジ—を求めて』 新曜社
- 高崎みどり (1989) 「論説の文体」 『講座日本語と日本語教育第5巻日本語の文法・文体(下)』  
 明治書院 212-240
- 滝浦真人 (2008) 『ポライトネス入門』 研究社
- 田中廣明 (1998) 『語法と語用論の接点』 開拓社
- 田中寛 (2004c) 「否定文末の形式の意味と機能」 『講座 日本語教育』 第40分冊 早稲田  
 大学日本語研究教育センター 59-92
- (2007) 「否定文末表現における判断の諸相—否定の論理構造と倫理的な意味—」 『外  
 国語学研究』 第8号 大東文化大学大学院外国語学研究科 17-32
- 寺門伸 (2001) 「「二重否定」について」 『獨協医科大学教養医学科紀要』 獨協医科大学教養  
 医学科 41-55
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語シンタクスと意味II』 くろしお出版
- 陶振孝 (1991) 「日本語の二重否定について」 『日本語学』 vol.10 No.6 明治書院 75-83
- (1994) 「日本語の二重否定の構造」 『日本学研究論集』 北京外国語大学日語系 63-77
- 友松悦子・宮本淳・和栗雅子 (2007) 『どんな時どう使う 日本語表現文型辞典』 アルク
- 中右実 (1979) 「モダリティと命題」 『英語と日本語と』 くろしお出版
- (1994a) 「二重否定の発想と論理」 『文藝言語研究 言語篇』 25巻 79-96 筑波大学文  
 藝・言語学系 79-96
- (1994b) 『認知意味論の原理』 大修館書店

- (1999) 「モダリティをどう捉えるか」『言語』 Vol.28 NO.6 26-33
- 日本語記述文法研究会 (2003) 『現在日本語文法④モダリティ』 日本語記述文法研究会編
- (2007) 『現在日本語文法③肯否』 第7部肯否 くろしお出版
- (2009) 『現代日本語文法⑤』 第9部とりたて くろしお出版
- 野内良三 (2002) 『レトリック入門 修辞と論証』 世界思想社
- 野田春美 (2000-2002) 「二重否定の形式」、『現代日本語の文法的バリエーションに関する基礎的研究』 神戸学院大学文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書 49-58
- 芳賀綏 (1954) “陳述とは何もの? 『国語国文』 第23巻第4号 京都大学国文学会 47-61
- 長谷川誠 (2004) 「英語の二重否定について」『小山工業高等専門学校研究紀要』 第39号 19-24
- 原口庄輔 (1982) 『ことばの文化』 こびあん書房
- 姫野伴子 (2002) 「配慮表現の原理」『廈門大学翻訳と文化国際学術検討会会議資料語彙編』 廈門大学 105-124
- 広瀬英彦・安江孝司 (訳) (1986) 『儀礼としての相互行為』 法政大学出版局
- 藤崎博也・星合忠 (1984) 「言語表現の曖昧性」『知識工学』 田中幸吉編 朝倉書店 172-186
- 彭飛 (2005) 『日本語の配慮表現に関する研究』 和泉書院 125-126
- 松岡弘 (1995) 「論述文における「論型」の指導について」『言語文化』 32, 一橋大学語学研究室, 87-108
- 水野かほる (2017) 「日本語二重否定表現を訳出する際の文法的差異と困難さに関する調査」『*Human Linguistic Review*』 第2号 111-121
- 森田良行 (1995) 『日本語の視点 ことばを創る日本人の発想』 創拓社 227-231
- (2002) 『日本語文法の発想』 ひつじ書房 260
- 森山卓郎 (2002) 「可能性とその周辺—「かねない」「あり得る」「可能性がある」等の迂言的表現と「かもしれない」」『日本語学』 Vol.21 No.2 明治書院 17-27
- 森山卓郎・仁田義雄・工藤浩 (2000) 『モダリティ 日本語の文法3』 岩波書店
- 牧原功 (2011) 「配慮表現としての文末のムード形式」『日本語コミュニケーション研究論集』 第1号 日本語コミュニケーション研究会 51-60
- 益岡隆志 (1991) 『モダリティの文法』 くろしお出版
- 松岡弘 (1995) 「論述文における「論型」の指導について」『言語文化』 32 87-108

- 水谷修・細川英雄・佐々木瑞枝・池田裕編（1995）『日本事情ハンドブック』大修館
- 山岡政紀（2000）『日本語の述語と文機能』くろしお出版
- （2006）「発話機能論の原理—命令・服従を例として—」『日本語日本文学』第16号創価大学日本語日本文学会 1-17
- （2007）「発話行為と発話機能の比較」『日本語日本文学』第17号創価大学日本語日本文学会 1-21
- （2008a）「発話機能の歴史」『日本語日本文学』第18号創価大学日本語日本文学会 49-64
- （2008b）『発話機能論』くろしお出版
- （2011）「「と思う」構文の発話機能に関する対照研究」『日本語コミュニケーション研究論集』第1号日本語コミュニケーション研究会 93-102
- （2012）「配慮表現研究の地平～原理と研究テーマ群～」早稲田大学待遇コミュニケーション学会基調講演発表資料
- （2014）「慣習化されたポライトネスとしての配慮表現の定義」日本語用論学会ワークショップ資料
- （2015）「慣習化されたポライトネスとしての配慮表現の定義」『日本語用論学会第17回大会発表論文集』 315-318
- （2016）「カモシレナイにおける可能性判断と対人配慮」小野正樹・李奇楠編『言語の主観性 認知とポライトネスの接点』くろしお出版 133-150
- （2020）「発話機能が慣習化した第3モダリティ」第11回日本語コミュニケーション研究会発表資料
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹（2010）『コミュニケーションと配慮表現 日本語語用論入門』明治書院
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹（2018）『新版・日本語語用論入門』明治書院
- 山田小枝（1990）『モダリティ』同学社
- 山田孝雄（1908）『日本文法論』宝文館
- 山本弘子（2003）『実践日本語指導見直し本機能語指導編』アスク出版
- 俞稔生（2000）「中国語の二重否定文」『長崎ウエスレヤン短期大学紀要』24 21-27
- 楊海斌（2014）「形式上の二重否定の意味理解—中国語を母語とする日本語学習の場合—」南山言語科学 157-172

- 吉田研作 (1995) 「外国語教育における異文化要因：社会的形態、個人的形態」『ソフィア』  
44 (1)
- 林常楽 (2005) 「二重否定表現の一考察—形式と意味の相関関係を中心に—」『人間文化研究』第3号長崎純心大学 27-39
- (2006) 『二重否定表現の研究』長崎純心大学大学院 人間文化研究科 博士論文
- ルチラパリハワダナ (2013) 「二重否定「～なくは/ない」「～ないでも/はない」「～ないことは/もない」「～ないものでは/もない」の使い分けを巡って」『論攷』京都大学国際交流センター第3号 43-58
- 呂興師 (2006) 「日本語の曖昧表現の考察」『アジア文化』アジア文化編集委員会 28
- 渡邊美弥 (2007) 「二重否定の意味の強弱に関わる要素について」『広島女学院大学大学院』言語文化論叢 10号広島女学院大学大学院 275-288
- (2008) 「連結部分に「こと」を含む二重否定の意味変化について」『広島女学院大学大学院』言語文化論叢 11号 広島女学院大学大学院 79-96
- 渡辺実 (1971) 『国語構文論』塙書房
- Brown, P., & S. C. Levinson. (1987) *Politeness: Some universals in language Usage*, Cambridge: Cambridge University Press. 邦訳：田中典子 (監訳), 斉藤早智子, 津留崎毅, 鶴田庸子, 日野壽憲, 山下草代子 (訳) (2011) 『ポライトネス：言語使用における, ある普遍現象』研究社
- Goffman, Erving (1967) *Interaction Rituals :Essays on Face-to Face Behaviour*, Doubleday Anchor, New York.
- Grice, H.P. (1975) “*Logic and conversation*”, In P. Cole and J. L. Morgan (eds) (1975) *Syntax and Semantics Vol.3, Speech Acts*, New York: Academic Press. 41-58
- (1989) *Studies in the Way of Words*, Harvard University Press. 邦訳：清塚邦彦 『論理と会話』(1998) 勁草書房
- Jenny A. Thomas (1995) “*Meaning in Interaction (Learning about Language)*” Routledge 168
- Leech, G.N. (1983) “*Principles of Pragmatics*”, London: Longman. 邦訳：池上嘉彦 川上誓作 (1987) 『語用論』紀伊国屋書店
- Searle, J.R. (1969) *Speech act: An Essay in the Philosophy of Language*, Cambridge: Cambridge University Press. 邦訳：坂本百大・土屋俊訳 (1986) 『言語行為—言語哲学への試論』勁草書房



—— (1979) *Expression and Meaning*. Cambridge: Cambridge University Press. 邦訳：山田  
友幸 監訳 (2006) 『表現と意味 言語行為論研究』誠信書房

## 中国語文献

郭昭穆・汪琬玉 (1985) 「語句中的双重否定」『西華師範大学学報 (哲学社会科学版)』第 3  
号 115-129 西華師範大学

張琳 (2010) 「双重否定相關文題探析」『廣西師範大学学報 (哲学社会化学版)』第 8 卷 18-  
22 廣西師範大学

馬学東(1988) 「浅析双重否定句の形、量、態」『求是学刊』第 3 号 13-25 黑龍江大学

孟建安 (1996) 「談双重否定句式」『修辞學習』第 21 号 27-33 復旦大学中国語言文学研究  
所

葉長萌 (1977) 「双重否定」『哈爾濱師範学院学報』第 4 号 35-40 哈爾濱師範学院

## 事典・辞典

庵功雄ほか (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネッ  
トワーク

泉原省二 (2007) 『日本語類義表現使い分け辞典』研究社

井上義昌 (1971) 『詳解英文法辞典』開拓社

北原保雄編 (2010) 『明鏡国語辞典』第二版 大修館書店

グループ・ジャマシイ編著 (1998) 『日本語文型辞典』くろしお出版

佐々木健一 (2006) 『レトリック事典』大修館

時田昌瑞 (2000) 『岩波ことわざ辞典』岩波書店

新村出 (1955) 『広辞苑 第一版』岩波書店

日本国語大辞典編集委員会 (1972) 『日本国語大辞典』第十卷 小学館

野内良三 (1998) 『レトリック辞典』国書刊行会

松村明編 (1971) 『日本文法大辞典』明治書院

山口明徳・秋本守英編 (2001) 『日本語文法大辞典』明治書院

## 日本語テキスト・日本語能力試験問題集

佐々木瑞枝監修 (2002) 『アカデミックジャパニーズ日本語表現ハンドブックシリーズ⑩  
自然に使える文末表現』アルク

筒井由美子・大村礼子・喜多民子 (2003) 『40 日完成 試験に出る文法と表現』桐原書店

森本智子, 有田聡子, 黒江理恵, 高橋尚子 (編) (2013) 『日本語能力試験総合テキスト N1』

Jリサーチ出版

三枝令子・中西久美子著 (2003) 『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現—モダリティ

ィ・終助詞』スリーエーネットワーク

石川恵子・山本忠行・日高吉隆 (2008) 『日本語 3rd ステッパー表現文型で学ぶ中級からの

日本語』白帝社

---

用例出典 (下線部は、論文中引用の略称)

データベース

YOMIURI ONLINE <http://www.yomiuri.co.jp>

毎日NEWSパック (毎日新聞地方版1987年1月1日～2009年8月15日付)

「狙われる家出少女」2009/8/3

現代日本語書き言葉均衡コーパス国立国語研究所 (編) 2009.BCCWJ モニター公開デ

ーター

秋本芳伸・岡田泰子ほか (2000) 『ワード2000 使えるワザ 124』宝島社

上田紳爾 (2002) 『宝塚百年の夢』文芸春秋

大蔵省印刷局 (1981) 『消防白書』総務省消防庁総務課広報係

大見忠弘 (2004) 『復活!日本の半導体産業』財界研究所

国会会議録 (1984) 「101 回国会衆議院本会議 遠藤和良氏の発言」

渡部昇一 (2002) 『自分を鍛える!』三笠書房

Yahoo 知恵袋 (2005) 「子供のいない人生の選択」への書き込み

呼び寄せられた老人たち 都会で味わう「同居孤独」(1997/7/14)

『路傍の石』山本有三 (2002) 偕成社

『修羅の群れ』大下英治 (1984) 徳間書店

『宮部みゆきが読まれる理由』中島誠 (著) (2002)現代書館

『禅と建築・庭園』横山正 (編・解説) (2002)ぺりかん社

『あなたを忘れきれない男たち』高毛礼誠 (著) (1993)マガジンハウス

『『超』整理法』野口悠紀雄 (著) (1993)中央公論社

『芥川龍之介全集 2』芥川龍之介 (1986) 「西郷隆盛」ちくま文庫、筑摩書房

『林芙美子全集 第十五巻』林芙美子 (1977) 「幸福の彼方」文泉堂出版

『教育改革の幻想』荻谷剛彦 (2002) 筑摩書房

『王国のゴルフ』マイケル・マーフィー著 山本光伸訳 (2003) 春秋社

『今日を楽しむ！老いの満足生活』岡田信子 (2004) 大和書房

『武官弁護士エル・ウィン』鏡貴也 (2001) 富士見書房

「聞蔵Ⅱ (朝日新聞) データベース」『AERA』

青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/>

「女生徒」太宰治(1954)角川書店

#### 少納言コーパス

『本物の家は「こだわり」がつくる』中村昌平

『桂馬の幻想』坂口安吾

小松左京コーパス(下線部は本文引用表示)

『宇宙時代の地球人類の調和 討論』

『共食い』

#### 新潮文庫の100冊CDROM版

五木寛之 (1993) 『生きるヒント～自分の人生を愛するための12章』文化出版局

小林秀雄 (2003) 『西行』新潮社

田野村忠温 (1990) 『現代日本語の文法I』和泉選書

毎日新聞 (2007/5/30) 『余録』東京朝刊

村田幸作 (2004) 『市民のための遺伝子問題入門』岩波書店

井沢元彦 (2002) 『逆説の日本史』小学館

外務省総合外交政策局政策室企画課 (1987) 『外青書』大蔵省印刷局

国会会議録 (1984) 『101回国会衆議院本会議』遠藤和良氏の発言

赤川次郎 『女社長に乾杯』

藤原正彦 『若き数学者のアメリカ』

新田次郎 『孤高の人』

海野十さん 『十八時の音楽浴』

#### 書籍

名越康文 (2012) 『パンプキン』11月号精神科医のエッセー 潮出版社

森博嗣 (2010) 『喜嶋先生の静かな世界』講談社 211

山岡政紀・牧原功・小野正樹 (2010) 『コミュニケーションと配慮表現 日本語語  
用論入門』明治書院

荻野アンナ（1995）『アンナの工場観光』共同通信社  
阿川佐和子（2012）『聞く力』文藝春秋  
賀川洋（1999）『外国人との仕事に悩んだ時読む本』PHP 研究所  
宮本輝（1998）『彗星物語』文藝春秋  
友松悦子ほか（2007）『どんなときどう使う日本語文系辞典』  
日本弁護士連合会（2001）『子供の虐待防止～法的実務マニュアル』明石書店  
大宮とも子（2005）『コミュニケーション的関係がひらく障害児教育～神大附属養  
護学校の教育実践』青木書店

### テレビ番組／映画／SNS

LEE web サイト <https://lee.hpplus.jp/magazine/tameshiyomi/> 2010/9/23 閲覧)

山岡政紀 ブログ 2014/6/23

ズームイン朝 2011/3/29

ニュースキャスター 魁皇のインタビューでの発言 2011/7/9

NHK朝の連続テレビ小説

クローズアップ現代 2016/4/25

NHKニュース 2012/7/31

もてもて ナインティナイン 2011/11/22

友人のメール 2015/7/13

NHK ニュース 2012/7/31

サンデーモーニング 2020/6/28

ニュースステーション 2012/7/11

N スタ 2020/7/22

NHK 特集 「保険金詐欺事件の判決」 2014/4/24

行列ができる法律事務所 2020/6/14

てれまさむね 2016/3/25

ぴったんこカンカン 2016/6/17

ドラマ「科捜研の女」 2012/11/1

ドラマ「京都地検の女」

ドラマ「SUITS season2」 第3話

ドラマ「半沢直樹」 第6話

ドラマ「カーネーション」 2014/9/24

ドラマ「あまちゃん」

ドラマ「彼、夫、男友達」 2011/11/7

映画『蝶の眠り』(2017) 監督・原案・脚本チョン・ジェウン 角川映画

映画『仮面ライダー大戦 昭和ライダー対平成ライダー』

## 資料編

### 【日本語二重否定用例集】

本用例集は、筆者が日本語の二重否定モダリティの研究において必要な用例を、独自にドラマやニュース、映画などのメディア放送や、SNSの投稿や書籍などから採集したものである。

\* 50音順（用例は、現在公開しているデータベースにはないもののみ掲載した）

\*（カッコ内数字は採集日／放送日）

#### 〈あ～お〉

##### ・～偽らざるN

1)大吉：今更、ゴーストバスターズも知らねえ若い娘っこと1からやるのはめんどくせえ。

鈴鹿：さすがにそれは、安部ちゃんに失礼だと思う。

大吉：んだ。でも、それが偽らざる気持ち。好きでも嫌いでもねえ。

（あまちゃん 2013/9/24）

2)大変にご苦労様でした、皆さんに代わって、私が牢獄に入って済むものなら、そうしたいというのが、私の偽らざる気持ちでした。（『新・人間革命第5巻:351』）

3)できることなら、続編の執筆は誰かにお願いしたいというのが、私の偽らざる心境であった。（『新人間革命』第1巻）

#### 〈か～こ〉

##### ・～かねない

1)弁護士：（主任弁護士にぼやく）事件が事件(妻の夫殺人)だし、下手に引き受けると評判を落としかねないし、なんで引き受けたかな...先生は。（松本清張「疑惑」2012/11/10）

2)私：（歯の治療は）1時間くらいで終わりますか。

受付：（混んでいて）1時間以上お待たせしかねないので、念のため2時間は見ていただければと思います。（歯科受付と筆者が電話で 2012/11/14）

3)TPP交渉参加は、公明党にとっても夏の参議院選挙の選挙協力に影響を及ぼしかねないとして、明日山口代表は安倍総理と会談することにしています。（NHK ニュース 2013/03/16）

- 4) 楽天同様これで優勝を...こんなことを言うと、あいつ（監督）は何を言っているんだと言われかねないので...。(ベガルタ手倉森監督 TBC ニュース 2013/09/16)
- 5) 悪い考え方で言えば、見せたくないものは燃やしてしまう、ということにもなりかねない。(公文書保存についてのインタビュー 天草市長談)
- 6) 人間は過去世の罪などわからないだけに、漠然とした不安を抱きながら、罪悪感をもって生きねばならないことになる。また、運命は、既に定められたものとなり、人間を無気力にしてしまうことにもなりかねない。 (『新人間革命』 1巻:298)
- 7) 一時、震災遺構として残そうとしていた薬局は、損傷が激しいことや、女川港の嵩上げの妨げになりかねないとして解体が決まりました。(NHK ニュース 2014/01/21)
- 8) (病気の) 被害が増えれば、豚肉の価格上昇などにつながりかねません。(NHK 手話ニュース 2014/04/09)
- 9) 市町村の長が権限を強めるのは、政治的中立性が失われかねないとして、引き続き教育の最高決定機関は教育委員会としました。(NHK ニュース 2014/04/04)
- 10) 共産党が推薦した自治労連副中央執行委員長の松繁美和氏は、法案の付則で、今後の検討課題となっている公務員が組織的に賛否を働きかける勧誘運動を禁止する是非について「労働組合だけではなく公務員が加わった市民団体の活動も規制することにつながって、結社の自由に反し市民の自由な活動も制限することになりかねない」と述べました。(NHK ニュース 2014/05/08)
- 11) アナウンサー：そしてこの取材自体を台無しにしてしまいかねない仕掛けが、この後登場いたします。(人間観察モニタリング 2014/04/24)
- 12) 女将がいなくなってしまうということは、この金沢にとっても大問題になりかねないですからな。(花嫁のれん 2014/01/08)
- 13) 幼い頃に受けた性被害は、筆舌に尽くしがたい苦悩を与え、その後の人生を左右しかねない。その重大さを考えれば、あらゆる手段を使って子供たちを性被害から守る必要性があるし、そうした仕組みを早急に構築すべきだ。(産経新聞デジタル版 2015/01/12)
- 14) 倉持弁護士は、街中のスナップ写真や観光地での記念撮影、ツイッターに掲載する写真などが、場合によっては盗撮行為とされてしまう危険性を示し、「合法的な行動までもが“自主規制”の形で抑制され、窮屈な社会に変質してしまう」と警鐘を鳴らす。さらには、「痴漢冤(えん)罪(ざい)のように、誰かを陥れるために利用されかねない

い」として、「スマホがあふれている現代社会だからこそ、条例の規定は可能な限り明確にするべきだ」と訴えた。(産経新聞 2015/01/10)

15)今回のような報道は「国民に無用の誤解を与えるのみならず、テロリストを利することにもつながりかねないものであり、極めて遺憾と言わざるを得ません。」と、番組に対し強く講義するとともに、速やかな訂正を求めています。(yahoo ニュース 2015/02/04)

16)文科省によると、平成 26 年度に使われている高校倫理の教科書は 6 社 7 冊。このうち 6 冊は、親鸞が師匠である法然の教えを「徹底」または「発展」させたと解説している。こうした表現に対し、浄土宗一部の僧侶らが「法然は不徹底で、教えが未完成と受け取れる」と批判。「高校生に先入観を植え付け、将来の信仰にも影響を与えかねない」として、宗派に対応を求めている。(産経新聞 2015/01/19)

17)警視庁は女が合鍵を使って室内に侵入していたとみており、関係者は「コンシェルジュへの信頼感を裏切る行為。コンシェルジュがいる多くの高級マンションの住人に不安を与えかねない」と危機感をあらわにしている。(産経新聞 2016/05/22)

18)本を出してくれた出版社に対して顔も立たないし、何より自分が長年やってきたことに、ケチがつくことになりかねないわけですから。(『一生役に立つ学ぶ力』橋本武)

19)体が弱ってきたら頭も弱ってしまいます。頭が弱まるということは、つまりは、考え方が宜しくない方向に行きかねないということです。(『一生役に立つ学ぶ力』橋本武)

20)A:トランプ大統領は、FBI 長官の解任理由として、いい仕事をしてなかったからだとしているんですね。ホランさん、これで通じますか？

ホラン:いや、なんかちょっと自分の都合の悪い人をどんどん解任していったという印象にとられかねないですよ。(N スタ 2017/05/11)

21)大学生を入試選抜で採点に使うのは聞いたことがない。保護者の方々も心配すると思う。非常に大きな問題を起こすことになりかねないところだと思います。(NHK ニュースウオッチ 9 2019/09/04)

22)周りに応援してもらえるってことは、有難い反面プレッシャーにもなりかねないと思うんです。(スッキリ！2020/03/20)

23)民事再生法を、怖くてだれも起こせなくなります。日本の中小企業の再生のあり方に、影響を及ぼしかねません。(リーガルハート 最終話 2019/11/08)

24)誰かを呪い殺すことができるあなたの能力を、全否定することになりかねない。(新相棒 season15 第 1 話)



- 25)いいえ、校閲のミスは会社全体のミスにつながるんです。会社の信頼を揺るがしかねないってことお分かりですか。(地味にスゴイ校閲ガール 第8話)
- 26)おしん：では、並木さんとうちと立場が逆になってしまったということですね。うちあたり、とって大手のスーパーには太刀打ちできませんもの。
- 並木：そういうことになりかねませんね。(おしん)
- 27)民事再生法を怖くて誰も起こせなくなります。日本の中小企業の再生のあり方に、悪影響を及ぼしかねません。(「リーガルハート」最終話 2019/11/08)
- 28)自民党内かたは、会食自粛ストレスを抱えるだけでなく、「集める情報が減れば、判断に影響しかねない」と懸念の声も出ている。(yahoo ニュース 2021/1/14)
- 29)嘘の証言なんかして、ばれたら自分も犯罪者になりかねないですよ、たかが恋愛なんかで。(Hero 第5話)
- 30)店長：もやしというものは、スーパーの商品の中でも購買意欲と深く関係してるんですね。もやしの値段が10円上がると、お客さまの購買意欲を削いでしまうことになりかねない。(試してガッテン 2021/12/09)
- 31)しかし、この段階をいくらくりかえしていても、必ずしも歯や顎が強くなるとは限らない。離乳食止まりという人も出てきかねない。(『読書力』齋藤孝 2002/03)
- 32)弁護士：三木被告を庇いたいというその思いやりが、あなた自身の首を締めることになりかねない。(運命の人 第6回)
- 33)私は一億円受け取りました。賄賂だとわかっていながら。頭取が不正をしたとなれば、この銀行は潰れかねない。そう思って全てを飲み込んできました。(花咲舞が黙ってない 最終回)
- 34)千代：どうして役者さんとの色恋沙汰はご法度なん？
- かめ：芝居茶屋は、お客さんと役者さんのおかげで商売さしてもろうとる。そんなわてらが、役者さんと色恋沙汰は、お客さんの信用を失いかねない。(おちょやん 2021/12/15)
- 35)記者：次期閣僚人事はどうなると思いますか。
- 論説委員：安倍政権を継承すると言っているんだから、大幅な変更はできない。恩返し人事になりかねない。(サンデーモーニング 2020/09/12)
- 36)自分の心の奥の気持ちは言ったり、書いたりしたことはありませんでしたが、今日とはとにかく悲しかったですし、危ない目に遭いかねないと危機感を感じましたので、

今まで思っていたことを含めて初めて書きました。(yahoo ニュース 2020/09/07)

37)大臣：ええ、そもそも御行がこれまで帝国航空にしてきた融資は正しかったのかどうか、調査次第では業務再建命令なんてことにもなりかねません。

大和田：業務改善命令！？(半沢直樹第6話)

38) みさき：もういいんです！

永瀬：自分に嘘をつくな！大事なところで嘘をつくと、後で後悔することになりかねない。だから、自分に正直に生きたほうがいい。(Love story 第4話)

#### ・～感（じ）が否めない

1)ドラマ「残念な夫」は、育児や家事に疲弊した専業主婦の妻をフォローするため、こてこてな感じが否めないが、イクメンを目指すべく悪戦苦闘するという設定。(子育てジャーナリスト 2015/01/25)

2)確かにちょっと上手くいき過ぎの感は否めないけど、普通によかったね。このドラマの話にかけるわけではないけど、今の時代どんなにいい本でも売れない時代。同じようにドラマも視聴率は取れない時代になったということ。かといってテレビからドラマを失くすわけにもいかないし、新たな指標を見つけるしかないのかもしれない。(重版出来第2話の感想 2016/04/20)

3) (香港のデモの混乱は)最大の混乱の原因は、学生側の手詰まり 感が否めないと思います。(NHK ニュース)

4)抵抗されて殺害。その後よく知っている場所に遺体を遺棄したという印象を受けます。ランドセルなどを捨てたのは、捜査の攪乱を狙ったのでしょう。事件の準備は入念だが、その後は雑で、行き当たりばったりな 感じが否めない。(週間ニュース 2017/04/04)

5)初期対応でこれだけ違うんだ。遅きに失した 感が否めないけれどこれからが肝心だと思う。日本もこれから国民団結して国をいい方向に向かわせましょう。(yahoo 掲示板 2020/02/29)

6) (千葉県知事の外出自粛要請に対して) ちょっと弱い 感じが否めない。これでは、県内は大丈夫と受け止められてもしかたがない。(yahoo ニュース 2020/03/26)

7)夏休みが終わり子供達の元気な声が学校に戻ってきました。夏休みがあつという間に終わってしまった 感は否めませんが、子供達の大きな事故や怪我の報告もなく元気に

過ごせたことをうれしく思います。(校長室便り R2/8/21)

- 8)悪魔ロットバルトを、世界の高野がやるという斬新な演出だが、王子をやらない高野は終わった感が否めない。(カンパニー～逆転のスワン～第6話)
- 9)小池さんには、仕切られたという感が否めないのですが、今後どうなっていくんでしょう？(Nスタ 2021/0211)
- 10)引退する前には500万人いた木下のフォロワーも、現在の新しいアカウントでは50万人ほどと、少しパワーダウンした感も否めません。ですが、...(週刊プライムニュース 2021/3/17)
- 11)コロナに見舞われ、いつも以上に厳しい長丁場になった大河の中で、ヒロインとして完走。にも関わらず、評価はあまり芳しくないため、「麒麟」女優のなかでも貧乏くじを引いた感が否めない。(朝日ヘッドラインニュース 2021/1/18)
- 12)(専門家会議と政府) どうやら両者の間にギクシャクしたものがあるのは否めないですね。(サンデーモーニング 2020/06/28)

## くさ～そ)

### ・差し支えない／差し支えなければ…

- 1)もし差し支えないようでしたら久しぶりに大学に足を運びたいと思っております。  
(筆者のEメール 2013/05/13)
- 2)差し支えなければ、お名前をうかがっても宜しいでしょうか。(まんぷく農家めし 2020/01/18)
- 3)日本語コミュニケーション研究論集は第3号が届きました。差し支えなければ次回会える時にお渡しします。(筆者のEメール 2014/03/10)
- 4)近藤：差し支えなければ、一つだけお伺いしたい。どこから参られた？  
鞍馬天狗：鞍馬の山から降りて参った。(鞍馬天狗 2020/8/28)
- 5)とね：徴用は強制ですか？  
少尉：まあ、強制と考えてもらって差し支えない。(漣つくし 150話)
- 6)第4波が来ているとって差し支えないと思っていいて。1つの正念場にきています。  
尾身会長 News23 2021/04/02)

・ ~ざるを得ない

- 1)(衆議員選の)この結果は受け止めざるを得ないと思います。(NHK ニュース党首のインタビュー2012/12/16)
- 2)GS 経営者：税金があがれば、ガソリンの価格も上げざるを得ないですね。(NEWS23 2012/11)
- 3)特別コースがなくなると、一年に2回開講せざるを得ないですね。(MIA スタッフ発言 2012/12)
- 4) (いじめがあったことを認めた上で) 具体的な指導のあり方を反省せざるを得ない。(NEWS23 校長の謝罪)
- 5)この統計を見てもわかるように、たばこは人体に有害だと言わざるを得ない。(JAPANESE LANGUAGE PROMOTION CENTER 編『INTENSIVE COURSE IN JAPANESE,INTERMEDIATE』)
- 6)マリ子：したがってこの写真は、被害者が自ら意図的に偽造したと判断せざるを得ません。(科捜研の女 2012/11/01)
- 7)葉子：絵本の内容と DVD のお話は少し違っています。短編集としての DVD では、原作の絵本の内容を短くせざるを得なかったのでしょう。(ビブリア古書堂 2013/03/11)
- 8)中継リポーター:自衛隊車輛や警察車輛は、道路から離れた安全な場所に止められています。重機が路地に入れない状況です。  
司会:ということは、救助は難航していると言わざるを得ませんね。  
リポーター：そうですね。(NHK ニュース 2014/08/20)
- 8)砂に対する関心も、いやがうえにも高まらざるを得ない。(安部公房『砂の女』)
- 9)僕は僕の少年時代の田舎で過ごさしてくれた父母の厚意に感謝せざるを得ない。(国木田独歩『少年の悲哀』)
- 10)(麻生氏の)発言の撤回は当然であるが、7月29日の発言は、「あの手口学んだらどうか」としてナチスに言及しているのであり、どうみても、「悪しき例」として取り上げた趣旨でないことは明らかで、自分の発言をねじ曲げているものと言わざるを得ない。(Yahooニュース 弁護士発言2013/08/02)
- 11)今日の天気は間違いなくランナーに味方をしています。誰かが、城島さんのためにこの天気にはしているのではと思わざるを得ません。(24時間テレビ マラソン中継のアナウンサー20140831)

- 12)格付け会社は、ソニーの格付けを「投機的水準」に格下げし、投資不適格の烙印を押し。ついに1985年の上場以来、初めて無配に踏み切らざるを得なくなった。(公明新聞 経済ジャーナリスト尾林賢治2014/10/19)
- 13) (取り調べの途中で帰ろうとする任意同行の人物に)  
検事：どうぞお帰り下さい。でも、そういう行動を取られると、検事としては考えを変えざるを得なくなります。(HERO 2014/09/08)
- 14) (新しい動画が配信されたことに関して)菅官房長官は、「残念ながら、今の時点で信憑性は高いと言わざるを得ない」と述べ、政府として湯川さんが殺害された可能性が高いと判断していることを明らかにした。(毎日新聞 2015/01/25)
- 15)外務省の発表によると、首相の中東訪問についてはさまざまな観点を総合的に判断して決めたもの。今回のような報道は「国民に無用の誤解を与えるのみならず、テロリストを利することにもつながりかねないものであり、極めて遺憾と言わざるを得ません。」と、番組に対し強く抗議するとともに、速やかな訂正を求めています。(yahooニュース2015/02/04)
- 16)日本人の人質が2人いることは、外務省も把握していたことです。その中でわざわざ「イスラム国と戦う」と発言するのは、非常に不用意だと言わざるを得ないと思います。(yahooニュース イスラム学者 2015/01/22)
- 17) 湯川：(助手に) 実験は終了だ。(双子に) 残念ながら、双子のテレパシーは否定せざるを得ません。(ガリレオ第11話2016/05/13)
- 18)その計画は失敗だったと言わざるを得ません。(科捜研の女2016/08/30)
- 19)現在、代理人関係者で、協議を続けているこの段階で、清水富美加の告白本出版というのは、誠に不可解と言わざるを得ません。(清水富美加の事務所 FAX2017/02/18)
- 20)薬の真偽については分からないが、セクシャリティを揶揄するような部分については、憤りを感じざるを得ない。(乙武さんブログ2016/12/08)
- 21) 大変残念ではございますが、本人からの申し出を受けざるを得ないと判断いたしました。(20161208 成宮寛貴事務所引退FAXより)
- 22) 重役：合併ということになれば、かような(セクハラで訴えられている)社長がいるということは、十和興産にとっては重大な損失と言わざるを得ないでしょう。(離婚弁護士第6話)

- 23) 16日の予算委員会冒頭、金子委員長は、「先般の委員会で事実と異なる答弁を行ったこと、また、委員会離席中に記者対応をし国会運営に関し不適切な説明を行ったことは、極めて遺憾であると言わざるを得ない」と述べました。(NHK 政治マガジン 2020/03/16)
- 24)確かに一時的被害者だけを救済して、二次的被害者を救済しないのはバランスに欠くでしょうが、低所得者の条件を厳しく助成するのもバランスを欠いていると言わざるを得ません。(yahooニュース2020/04/07)
- 25)(プロ野球)24日の開幕を目指すのは、正直難しいと判断せざるを得ませんでした。  
(プロ野球連盟会長2020/04/03)
- 26)本部：あなた方で今回のプレゼンの資料を作ると言ったので、お任せしたのですが、その判断は間違っていたと言わざるを得ません。  
メイ：申しわけございません。(私の家政婦なぎざさん2020/08/19)
- 27)玉城知事：アメリカの独立記念日を前に、イベントやパーティーなどで爆発的感染が広がったことを考えると、(コロナの)防疫体制が本当に完全なものであったかどうか、疑念を持たざるを得ません。(サンデーモーニング 風を読む 2020/07/19)
- 28)紙の通帳やATMを減らせば、銀行のサービスは質・量ともに低下せざるを得ない。そこで、([https://headlines.yahoo.co.jp/article?\(2021/02/08](https://headlines.yahoo.co.jp/article?(2021/02/08) 閲覧)
- 29) サービス残業が必然的に行われていると言わざるを得ない。(報道ニュース 2020/12/25)
- 30)好並：作り方が変わったのか、原材料が変わったのか。  
社長：つまり、我々は不良品を販売していた？  
好並：そう言わざるを得ません。(白い濁流 第1話)
- 31)重症化した患者が、他の病院に送れないとなると通常の診療が止まらざるを得ない。(ニュースウオッチ9 2021/08/06)
- 32)札幌市内における go to トラベル、この事業を一時停止を見直しせざるを得ないということになりました。(鈴木知事 スッキリ 2020/11/24)
- 33)その S を守るために、嶋田さんは一度組織を離れざるを得なかったんです。あなたのことが原因じゃありませんよ。(天使にリクエストを第4話 2020/10/10)
- 34)主任：田山支店長、覚悟しておいてください。この分だと明日はあなたの支店長としての資質を確認せざるを得ないと思います。

田山：はい。(花咲舞が黙ってない2 第6話)

35)全力で撮影に挑んで参りましたが、感染予防対策を徹底した撮影は、どうしても長引き、わがTBSチームは今週の放送を見送らざるを得なくなりました。(半沢直樹放送延期告知字幕 2020/09/06)

36)司会：先生、これはいい肥満と言っていいのでしょうか。

医者：そうですね、いい肥満と言っていいと言わざるを得ない。(美と若さの新常識カラダの秘密 2020/09/03)

#### ・ ~ずにはいられない

1)生まれる時一人、最後もまた一人。だから生きてる間だけは、小さな温もりやふとした優しさを求めずにはいられない。(みんなひとり 竹内まりあ)

2)半沢：今回の(裁量臨店)検査対象には、最初から悪意を感じずにはいられない。(半沢直樹 第二話)

3)あの一週間の様々な憶測を呼んだタイムラグ、情報公開の迅速さが如何に大事か、この状況をみると感じずにはいられません。(読売オンライン 2020/03/21)

4)改めて今、この作品が長い朝ドラの歴史においてもかなり異色の作品だったこと、そしてそれを成立させたのは、ヒロイン川原喜美子を演じた戸田恵梨香だったということを感じずにはいられない。(yahoo ニュース 2020/03/24)

5)半沢：今回の(裁量臨店)検査対象には、最初から悪意を感じずにはいられない。(半沢直樹 第二話)

6)菊池さんは朝日新聞の記事で「短期的な取り組みになるなら怒りを感じずにいられます。人口問題に向き合うための会議なんだから、長期的に解決に向かうまで続けてほしい」と話しています。(朝日デジタル 2016/01/29)

7)不吉な夢であった。かおるは、惣吉の身の上になにか起こったのではないかと感じないではいられなかった。(漣つくし)

#### 〈た〜と〉

#### ・ ~と(は) 言い切れない

1)県青少年育成県民会議常任理事として条例によらない健全育成運動の先頭に立ってきた田口敏子さんは「条例は必要ないといいたいが、今の子供たちが置かれた状況を

みると、そうはいい切れない。忸怩（じくじ）たる思いだ」と語る。（産経新聞デジタル版 2015/1/12）

・ ~と言っても過言ではない

- 1) (美咲の心の声ナレーション) 社長はおじいちゃんに似てる。だから好きになったといっても過言ではない。似ているといっても、見た目のことではなく、仕事に対する姿勢だ。（世界で一番難しい恋 2016/05/19）
- 2) 沖縄返還を自らの引退の花道にしようとした佐橋総理の戦略の勝利だといっても過言ではない。（運命の人）
- 3) 青年を大切にしない団体や社会に未来はない、といっても過言ではないでしょう。（対談池田大作 2013/12/03）
- 4) 20 世紀半ばまで、言語哲学と言えれば論理学を指していたといっても過言ではなかった。つまり、数学の基礎となるような論理の構造を、形式言語（記号）を用いて構築するものである。（『コミュニケーションと配慮表現』山岡政紀・牧原功・小野正樹 2010 明治書院）
- 5) 対人コミュニケーションこそが、言語本来の機能であると考えたら、意義よりも効力こそが言語本来の意味といっても過言ではない。（語用論レポート 2011/11/02）
- 6) 教室活動までの準備をいかにするかで、学習者が最終到達目標までいくことを可能にできるかが決まっているといっても過言ではない。（学生レポート 2010/09/17）
- 7) 食事は体を作る基本です。何を食べたかによって、どのような体になるかが決まるといっても過言ではありません。それにもかかわらず、今まで体にいいと思われていたものが、むしろ悪影響を与えるという危険性はいくらかもあるのが日本の現状です。食の問題は、私たちが正しい情報を得られるかどうかにかかっています。またそれを判断するための基礎知識も欠かせません。（コラム食と予防医学山田豊文杏林予防医学研究所所長 2009/11/26）
- 8) この目に見えない文化を深く理解し、尊重してゆくことから日本語教育は始まるといっても過言ではない。（学生レポート本文 2010/09/06）
- 9) 異文化コミュニケーションの最前線にいる日本語教師は、多様な学習者と意味のキャッチボールをしあう活動の中で、最も異文化間コミュニケーション能力が必要な者といっても過言ではないであろう。（学生レポート 2012/01/29）



- 10)このように見てくると、言語学の知識がなければ、日本語教育はできないといっても過言ではない。(学生のレポート 2011/11/25)
- 11))対人コミュニケーションこそが、言語本来の機能であると考えらるなら、意義よりも効力こそが言語の本来の意味といっても過言ではないのである。(学生レポート 2012/08/30)
- 12)我らの目指す「人間革命」、それは将来にわたって「子供たちの幸福」を開くための革命といっても過言ではない。(随筆「我らの勝利の大道」池田大作 2012/08/22)
- 13)つまり人は生きている限り、誰しもが「インタビュー」に始まり、「インタビュー」に終わるといっても過言ではないのです。(『聞く力』 阿川佐和子)
- 14)初級の指導が学習者の学習方向を決めると言っても過言ではない。(学生レポート 2012/11/15)
- 15)とはいえ、経営の中心にあるのはやはり「すきや」で、「すきや」の浮沈がグループの命運を握っていると言っても過言ではない。(yahoo ニュース 2014/11/19)
- 16)私にとって本とは、人の心や生き方を学ぶ教科書であり、私を成長させてくれた最高の先生です。だから私は本に最もお金を使ってきたと言っても過言ではありません。(『潮』 4月号 佐伯チズ人生の仕舞い支度連載第10回)
- 17)対話を通して、教育こそ、人間の尊厳を照らす光源であるとの信念を私たちは強め合いましたが、そうした教育は一国の単位に限らず、人類全体の未来の命運を握るものと言っても過言ではありません。(SGI 提言 2014/01/27 )
- 18)人間の光彩とは、利他の行動の輝きにある。人間は、友のため、人々のために生きようとすることによって、初めて人間たりうるといっても過言ではない。(『新人間革命』 第1巻:150)
- 19)この目に見えない文化を深く理解し、尊重してゆくことから日本語教育は始まると言っても過言ではない。(学生レポート本文より 2010/09/06)
- 20)こうして実体験から考えてみると、乳幼児期の子育ては、母、父、子の生活圏内に、関係の良好な家族、親族が住んでいるかどうかで、大変度合いが決まるといっても過言ではないように思えてくる。(ネタリカ 2014/10/28)
- 21) (専門家が)ヨーグルトは体にいいと皆さんが思っていると思いますが、自分に合っている菌を選ぶというのがすべてといっても過言ではないと思います。(教科書に載せたい 2012/01/24)

- 22)その活躍の陰には、暑い日も寒い日も繰り返される厳しい練習があり、積み重ねられた努力がありました。そのエコーズの活躍が町内の金管バンドの子どもたちに対して、「より素晴らしい演技をしたい」という刺激を与えたといっても過言ではないと思います。(広報 とみや町長(当時)2016/09)
- 23)糸井さんは、あまり触れたがらないようですが、私は糸井さんに世に出るきっかけを作ってもらったといっても過言ではありません。(『野心のススメ』林真理子)
- 24)人生で一番心臓に悪い日と言っても過言ではないので。でもメダルを取れてよかったです。(男子体操銅メダル白井健三選手 2016/08/15)
- 25)これを知ると、介護が楽になります！介護の革命と言っても過言ではありません。  
(朝イチ 2017/04/27)
- 26)アメリカ料理ってないけど、健康に悪いジャンクフードがアメリカ料理の代名詞と言っても過言ではない。(yahoo 書き込み 2017/03/10)
- 27)毎朝、梅干しを一個食べているんです。梅干しのスペシャリストと言っても過言ではないかもしれない。(「スカッとジャパン」内村光良 2016/11/19)
- 28) A:興味ないんだ？  
B:いや、むしろ非常にあると言っても過言ではない。(土曜ドラマみかづき 2019/02/02)
- 29)私の夢は、レ・ミゼラブルに出演することです。もう、それに向かって生きていると言っても過言ではありません。2年に一度のオーディションを4回受けてます。(カラオケバトル 出場者 2018/01/27)
- 30) 安住：大杉漣さんの急死の報が飛び込んできました。たけしさんの映画は、大杉さんの映画といっても過言ではないでしょう。  
たけし：個人的にも幸せの絶頂期だったと思うのに、可哀想で悔しいです。(7 days ニュースキャスター)
- 31)日本経済はまさに、今戦後最大の危機的状況と言っても過言ではありません。(安倍 総理緊急事態宣言 2020/04/07)
- 32)弁護士：竹内（被告）は無実だったんじゃないですか。  
元裁判官：そんなことはない。  
弁護士：(あなたのように)熱心だった裁判官に反対する人はそうはいない。つまり、判決はあなたの独断だといっても過言ではない。だから竹内はあなたのとなりに引越

してきたんですよ！(99.9%刑事弁護士 第1話)

33)世の常とはいえ、そうした大人たち(危うい立場に立つならば、蓋をする、見て見ぬふりをする)の過剰反応が、子供のいじめを助長させてきたと言っても、私は過言ではないと思います。(雑誌『パンプキン』11月号エッセー名越康文精神科医)

34)1号:ここまではすべてお芝居だった。

鎧武:なんだって?!

1号:お前たちの生温い優しさが、人界に奴らを蔓延させたといっても過言ではない。

鎧武:ちょっと待ってくれ!だからってなんで俺たちが戦わなきゃいけないんだ。

(映画「仮面ライダー大戦 昭和ライダー対平成ライダー」)

35)そもそも今年のレコード大賞は、エントリー曲が発表された時点で西野カナ(25)の受賞が確実視されていました。ところが12月に入ってからLDH関係者は「三代目で決まりですよ、と強気の姿勢を見せるようになり、いざフタを開けてみればその通りの結果となりました。」(レコード会社関係者)エイベックス勢は『NHK 紅白歌合戦』でも大きな幅を利かせているとの声もある。「本家・EXILEに三代目、AAA、企画コーナーの『妖怪ウォッチ』『アナと雪の女王』もエイベックス枠のため、まさに年末の音楽番組を席卷したといっても過言ではありません」(同関係者)DMM ニュース 2014/12/31)

36)オーナー:失礼ね!最初に邪魔したのはどなたかしら?

母:なによ!邪魔なんてしてないでしょ。

オーナー:邪魔しかしてないといっても過言ではないわ。(Heaven?ご苦楽レストラン 第8話)

37)嵐はいまでは国民的アイドルグループといっても過言ではない。そのグループのメンバーが結婚となれば、日本中に大きな衝撃を与えかねないが、むしろこのタイミングだからこそ、ありとも言われているのだ。(東スポ 2016/04/26)

38)ここから、函館のシンボルとも言える函館山が見えます。新たな観光スポットの誕生と言っても過言ではないと思います。(2016/03/25 てれまさむね)

39)今やおしゃれな人はみんな履いているといっても過言ではない靴下です。

(LEE スタイリストのコメント 2012/09/19 閲覧)

40)プチプラ祭り第二弾といっても過言ではありません。最近購入したトップス第二弾なのですが、久しぶりに15歳になった長女と二人でお買い物に行ったときに(略)

(トップブロガーブログ 2016/06/17)

- 41)これにより私の理論的志向性が大きく語用論に傾斜して行ったのですから、直接教わっていなくても書籍を通じて師弟関係を結んでいたと言っても過言ではありませんでした。2010年に共著で出版した『コミュニケーションと配慮表現』では、私が担当した章のうち第1章と第4章でリーチ博士の理論を紹介しています。(山岡政紀ブログ 2014/06/23)
- 42)“普通の服”がいちばん好き! Love Basic トレンチや白シャツ、ボーダーなど、もうおなじみのアイテムですが「大人が普段着としてほどよくカジュアルに素敵に着こなす」ヒントをギュッと詰め込みました! 手持ち服を新鮮に、そして今の自分の年齢ならではの装いにするためのさまざまな実例、スタイリストさんからの提案が盛りだくさんです。保存版、といても過言はないかも(2014/03/20雑誌ナチュリラのPR)
- 43) エアコンは熱中症を予防する上で、必須のアイテムといても過言ではない。是非エアコンを上手に活用していただきたいと思います。(ニュース深読み 2013/07/20)
- 44) 震災という大きな試練と闘う東北が難攻不落の人材城を築けるか否かは、日本の将来の試金石といても過言ではないでしょう。(第三回代表県紙トップフォーラム)
- 45)(出演者の素人男性を褒めて)まさに園芸界の向井理といても過言ではないさわやかな方ですね。(NHK『朝イチ』2010/6)
- 46) 向井:4,5歳の頃、黒柳さんの朗読のテープを聴かせてもらって寝てたんですよ。  
黒柳:そうですか。じゃあたくしがお育てしたんですね。  
向井:そうですね、そういても過言ではないですね。(笑) (徹子の部屋 2011年8月放送ゲスト向井理)
- 47) 自分はよく歯磨きをしているので、歯周病と無関係だと思いませんか。実は成人の大半がかかっている、国民病といても過言ではありません。(SGI グラフ 2013/5月)
- 48)ザキヤマ: (お仕事をくれて、ランチも奢ってくれた社長さんに対し) 命の恩人といても過言ではないですね!(オジヤマップ 2014/04/02)
- 49) 日本でトップクラスのデパ地下といても過言ではないです。お店がすごいです。(「OH バンデス」フードコメンテーター2014/06/19)
- 50)(桜島は)鹿児島島のシンボルといても過言ではありません! 雄大なその姿は必見です。児島のシンボルといても過言ではありません! 雄大なその姿は必見です。鹿

児島のシンボルといっても過言ではありません！雄大なその姿は必見です。(ぐるたび鹿児島)

51) ムートンブーツといったらUGG(アグ)と言っても過言ではない今や大人気のブランド! ボタン使いのデザインがかわいいUGG (アグ) (楽天市場の広告2015/02/04)

52) 正直、他の街よりも鎌倉は町中華のお店の数はかなり少ないです。更に古都という観光地ですので、小洒落たレストランやお蕎麦屋さんが多いのが実情……。なので、鎌倉(駅周辺)で中華といったらココの事! と、言っても過言ではないくらいのお店です!!(食べログ鎌倉2014/09/16)

53) このハーフパイプは、ショーン選手が三連覇するかどうか、世界が注目していた、オリンピックの魅力の一つと言っても過言ではないという種目だったんです。(NHK ニュース 2014/02/12)

54) 津波で、東京電力のもつ過信や驕りが木っ端微塵に流されたと言っても過言ではないと思います。(NHK ニュース 7 東電社長 2016/03/11)

55) (999.9 の店名に対して)

香川: ほぼ私どもの番組名と同じ。もう、運命共同体と言っても過言ではない!(ぴったんこカンカン 2016/06/17)

56) 芸能界の「生きる伝説」と言っても過言ではありません。この方にお越しいただきました。三輪明宏さんです! (「誰だって波瀾爆笑」 2017/01/08)

57) 抜けのいい声がフルに生かされた歌い方になっていて、ジェジュンのオリジナルになっていると言っても過言ではないと思います。(日本レコード大賞 2019/12/30)

58) この子供たち(地元の高校生)が、地元の形を作ってくれたと言っても過言ではないと思います。是非地元に残って、リーダーになってやって欲しいと思って、教えています。(NHK ニュース 獅子舞保存会の会長 2015/02/27)

59) あの日、古本屋でいただいた助言は、15年以上経った今も私の研究を支えています。いな、導いていると言っても過言ではありません。今となっては夢の中でしかお会いすることができませんが、先生から頂いた研究上の「宿題」に、一つでも多く解答して、微力ながらご恩返しをして参りたいと思います。(伊藤貴雄氏 FaceBook 2016/01/23 閲覧)

60) 復興がここまで進んだのは、公明党のおかげだと言っても過言ではないと思います。(公明党 PR 版村井宮城県知事 2016/03/11)

- 61) (復縁を否定した西川は)「今は全方位(の女性)がターゲットと言っても過言じゃない。ここにいる女性全員がターゲット」とアピール。私生活の“革命”を聞かれると「今のところないですね」と肩を落としていた。(オリコン 2013/10/31)
- 62) 日本語の重要な根幹をなす「配慮表現」の問題を正面から取り扱う体系的な研究(書)が日本ではまだ「皆無」と言っても過言ではない。(彭飛『日本語の配慮表現に関する研究』)
- 63) 学問には王道しかない。いかにも、それは喜嶋先生の生き方を象徴しているように思えたし、それに、僕がその後、研究者になれたのも、たぶん、この一言の響きのおかげだった、といても過言ではない。(講談社 『喜嶋先生の静かな世界』 P211)
- 64) 宇野さんのはぜひ行きたいですが日程的にしんどいですね。宇野さんには一回目のスピコンからお世話になって、宇野さんがいないとスピコンはできてないといても過言ではないくらいです。(クラブの OB メールより 2013/02/16)
- 65) 司会：この人(遊川和彦)がいたから、このドラマに出たといても過言ではない人がいると…。
- 矢島：はい、そうです…脚本家の遊川さんです。(NHK スタジオパークからこんにちは 2012/10/29)
- 66) わたしの場合、入園した時の長女がすでに2才だったこともあって、保育園選びの基準といたらもう、園庭の広さだけで決めたといても過言ではありません。早宮保育園は園庭が広いですよ～。(早宮保育園についての書き込み 2003/03/23)
- 67) 「岡田准一はこれまで弊社の中でも最多の20本の映画作品に出演させて頂き、映画に育てていただいた俳優といても過言ではありません。昨年末に『報知映画賞主演男優賞』『日刊スポーツ映画大賞主演男優賞』を受賞させていただき、このたび日本アカデミー賞協会からも優秀賞を授与したい、とのご連絡をいただき、2月27日の表彰式のスケジュール調整もつきましたので、授賞させていただくこととなりました」事務所のコメント (スポニチアネックス 2015/01/14)
- 68) A:待っている時間が長いだろ？
- B:ええ。
- A:何もしないで待っているからだよ。当たり前だろ。
- B:本当ですか。待っている間に何かできることがあると？
- A:その時間に君が何をするかによって、(相手の返事が)決まるといても過言で

はない。(世界で一番難しい恋 2016/05/11)

69) 支配人：夏子ちゃんが 12 になるかならないかの時に、僕がリンクでみかけて声をかけて。オーディションを受けさせて。僕が舞台に立つきっかけを作ったといっても過言ではないな。(NHK てるてる家族)

70) (子供のいない人生の選択はありかとの質問に) 以前、子供はいらないと言う彼と付き合っていました。そのことが原因で結婚をあきらめたと言っても過言ではないかもしれません。(yahoo 知恵袋 2005)

71) 常子: 広告を載せてみませんか。他のどの雑誌も載せています。それでやりくりしていると言っても過言ではありません。お願いします。花山さん。(とと姉ちゃん 2016/07/28)

72) 十年前、自分はふらふらと家を出て、そして今日、失礼してまた勝手にふらふらと家に戻ってきたというのに、ふくろう爺はその間ずっとここにいて、毎日同じ仕事を続けている。もはやふくろう爺は、私にとって尊敬する何番目かの存在といっても過言ではない。(『食堂かたつむり』小川糸 ポプラ社 P.55)

73) センスの勉強をイタリアで四年もして来たの。だから私の体はインテリアでできると言っても過言ではないの。(「スカッとジャパン」 2017/01/16 )

74) 甲斐 (ソフトバンクのキャッチャー) のおかげで勝ったと言っても過言ではないね。  
(「サンデーモーニング」 張本 2018/01/02)

75) 雪次郎：雪月とゆみこちゃんのバターがくつつく運命だと言っても過言ではないんだ。

ゆみこ：過言すぎて意味が分かんないべさー

雪次郎：じゃ、分かるように言うべ。ゆみこちゃん、俺と結婚してくれ。

(「NHK 朝ドラ「なつぞら」 2019/08/09)

76) 受験生にとっては、人生がかかっていると言っても過言ではないですからね。  
(「ニュースウオッチ9」 2019/07/04)

77) 黒岩：私の青春は四条先生 (作家) と共にあったと言っても過言ではありません。  
(「地味にスゴイ、校閲ガール」 第5話)

78) 私の1日は、ベランダで暴れる事と、水遣りで終わると言っても過言ではない。(「招かざる客」三浦しをんコラム第41回)

79) 武井：(マルクスレーム選手のジャンプは) テクノロジーと知識を全て融合した、こ

れはもう僕は、進化の形だと言っても過言ではないんじゃないかと思います。(NHK 東京 2020 パラリンピック朝ナビ 2021/09/01)

80)コンビニやトイレの良さの記事が多かったなか、日本が本当に誇れるおもてなしは人の心と思った。ホストシティやボランティアの方々が五輪を成功に導いたといっても過言ではない。(yahoo ニュース 2021/8/12)

81)明智：なるほど。あの味はあなたのシェフとしてのプライドだと？

シェフ：そう言っても過言ではないかと。(美食探偵明智五郎第3話)

82)出会った瞬間から、100年の知己と言っても過言ではないほどの思いを私に与えてくれました。(ミハイルゴルバチョフの池田大作氏との出会い)

83)創価大を躍進させた榎木監督は「ミスター箱根駅伝」といっても過言ではない。中大時代に4年連続区間賞。特に3年時の96年大会は、準エース区間の4区を走り、6位から4人をゴボウ抜きして32年ぶりの総合優勝に貢献した。(Yahoo ヘッドラインニュース 2021/01/03)

84)司会：あさりはいつごろから食べられているんですか。

研究者：あさりはですね。貝塚。みなさんご存知の、縄文時代ですね。人類の歴史とともにあさは歩んだといっても過言ではないですね。(美と若さの新常識カラダのヒミツ 2020/09/09)

85)以上のようにHRTは更年期障害のすべてを改善できませんが、かなりの症状にとっても有効であるといっても過言ではありません。(茶屋町レディースクリニック HP)

〈な～の〉

・～ないこともない

1) かつお：(芸者を見て) あの人実は本当に狸なんじゃないかって気がしてきた。

波平：うーん、そういわれるとそう見えないこともないな。(サザエさん 2011/10/30)

2)(スキー場への問い合わせで)もう滑れますかと聞いて来る方もいないこともないぐらいで…。(テレまさむね 2012/11/30)

3) 頼み方次第では、協力しないこともないが…。(FM ラジオ放送 2010/11/12)

4) 組合長：わし、今年で60や。今まで人の道を外れたこともないこともない。こともない…ちゅうか、そないしてきたんや。

糸子：あるんですか、ないんですか。



男：踏み外したといえ外したし、外してないといえ外したし...

糸子：もう、どっちなんですか！（カーネーション 2012/5）

5)日高くんに人が殺せるとは思わないけど、例えばその生き別れの兄って人の手助けをしてるっていうのは、ないことはないかな。（天国と地獄第8話）

6)ぼくは48歳で独身。このままずっと1人で、孤独死するかもと思わないこともありません。でも、それも悪くない。（yahoo ニュース 2020/9/29）

7) 花咲：何か方法があるんですか。

課長：ない！…こともない。こいつ（データベース）の中から、1つ1つチェックするぞ。（花咲舞が黙ってない2 第4話）

8)医者：抗原検査をすることは、まあ意味がないことはないけど・・・くらいの効果です。やらないよりはやったほうがいいくらいの。（スッキリ 2020/08/12）

#### ・ ~ないでもない

1)すすむくん、千代子ちゃん、茂さん、ちょっと引いてますね！その気持ちわからないでもないですね。（ひよっこ第24話）

2)杏：なんか、治安の悪いところばかりですね。

佐伯：よく生きて帰ってこれたと思わないでもないです。

杏：よく生きて帰ってくれました。（恋する母たち第2話）

3)正妻：るいさんは、ようできた人です。ほやけど、るいさんだけは後妻さんにせんといて。分かります？この気持ち。

久兵衛：うん、まあわからないでもないけどなあ。（漣つくし）

#### ・ ~ないと言ったら嘘になる

1)自分には芸としての翻訳できる才能はないという見切りをつけている。だから、翻訳はめったなことでは手を出さない。それでも、これは訳してみたい、苦勞すればいい訳ができるかもしれない、と考えたことが一度もない、といえ嘘になる。（外山滋比古『日本語の文章』）

2) 子供たちの部屋を片付ける日が来たってことは、寂しくないっていったら嘘になる。でも、もうあたし決めたの。お店をやるって。（なんとかなるさ。2013/07/19）

3)急な報告で驚かれた方も多いと思います、本当に申し訳ありません。自分なりにすご

く悩んで悩んで出した決断です。未練がないといったら嘘になります。すごく魅力のある仕事だし、夢がいっぱいつまっていた、本当に本当に大好きな仕事でした。でも、将来の自分のこと、家族、のことを考えた時にこのままではいけないとおもいこの決断をすることに決めました。(船曳健太ジャニーズ引退ブログ 2014/04/01)

4)アンケートや申し込みで、何歳代に○をつける欄は、60歳以上でくくられているのが常だ。社会人としては規格外なんだと、淋しくないと言えは嘘になる。(気がつけば82歳のブログより2010/05/08)

5) (レストランでなかなか注文が来ないという客にシェフに確認するともう20分かかると言われ)

ホール係：そりゃ、怖くないと言ったら嘘になりますよ。もうすでに40分も待たせて、さらに20分待って言いに行くんですから。でも、ホールの人間として言ってみせますよ！(ZIP あばれる君のコント2014/05/06)

6)貯金を取り崩す生活が続く。先が見えない日々に、不安がないといえは、嘘になる。ただ、唱題だけは欠かさなかった。“今は、苦勞する時なんだ。絶対に道は開ける！”

(ターニングポイント バイオリニスト池田晴子2016/05/01)

7) 彼は自分の死を予見していたのかも知れない。まさか…。偶然かも知れないし…でも気にならないと言ったら嘘になる。団地の住民をもう一度洗い直そう。(7人の刑事2016/08/03)

8)じょご：鉄練りに未練がないゆうたら嘘。けど、浜鉄(店の名)には戻らんです。(映画『駆け込み女と駆け出し男』)

9)乳がんになって、つらくないといったら嘘になるけど、この病気になったから見えたことがたくさんあります。(友人のメールより2015/07/13)

10) 巨大鍋を作ることに不安がないと言ったら嘘になるけど、不安に作ったもので食べたくないでしょ？(「NHKおはよう宮城」芋煮の鍋を作っている会社社長の発言)

11) 正直に言って、若くして母になる選択をしたことに後悔がないといえは嘘になります。妊娠してから家に閉じこもっているときは、“もし妊娠してなかったら、今頃は何をしていたんだろう…なんて考えていました。(yahooニュース辻希美ママになること2019/11/17)

12)糸子:私のこと、憎んでたでしょ？

周防の娘：糸子先生は、憎むには当たらない方だと…。それでも汚い感情が全く無かったかと言ったら嘘になります。(NHK朝ドラ「カーネーション」2014/09/24)

13) 光夫「川島の言う通りガキだったんだ。気にしてないなんて言って本当は川島がヴァージンじゃないこと、気にしてた」

映子「……今は？」

光夫「気にしてないって言えば嘘になる。だけど俺、川島が好きなんだ。ずっと、好きだったんだ。だから、僕の、はじめての女になってほしい」

(「霧の子午線」『シナリオ』572号(1996年3月号))

14)(1045 勝の歴代記録塗り替え目前に)

記者「やはり、歴代記録は気になりますか？」

魁皇「これだけ騒がれたら、気にならないと言ったら嘘になる。でも自分の相撲を取るだけです。」(ニュースキャスター2011/07/09)

15)刑事：(殺された男) 田口に未練はなかったのですか。

女：なかったといえば嘘になります。けど、女の魅力で言えば、千佳には勝てない…。

(西村京太郎サスペンスシリーズ『上越新幹線殺人事件』)

16)アナ:新しい生活に不安はないですか？

男性:不安がないというと嘘になるが、実生活があるのでなんとか乗り越えて行きたいです。(NHK ニュース 仮設で暮らす男性 2012/11/30)

17) アキ:無理してないか？

ユイ:無理してないっていったら嘘になるけど、ちょっとくらい無理しないと変わらないから。(「あまちゃん」2013/08/01)

18) 浜田：「富士山から直角に降りてくるあそこ、恐怖心はあるんですか？」

三浦：「恐怖心はね…ないといったら嘘だけど、何も考えてないね。」(ダウンタウンなう2016/04/15)

19) 信繁：「父上の決断、驚かれたでしょう。」

信幸：「驚かなかった…と言ったら嘘になる。わしはあの人の手足となって、決められたことに従うのみじゃ。」(NHK 真田丸2016/01/24)

20) ルパン：気になるのかよ？

不二子：気にならないと言ったら嘘になるわ。マイケルが現れたのは。(「ルパン三世」実写版)

21)坂上：なんか、有名人と付き合ったってあるんですか？

丸山：うーん、有名な方...いなかったって言ったら嘘になる。(ダウタウン朝までハシゴ酒2017/10/06)

22) 上沼：「(愛之助さんの結婚の話題について)いかがですか？」

熊切：「笑って聞けます。スッキリしました。」

上沼：「でも、恨みはあるんじゃない？」

熊切：「それは、ないっていえば嘘になります。」(怪傑えみちゃんねる 2016/04/16)

23)何事か、お嬢様の身の上にごさいますか？

まあね。起こらないと言ったら嘘になるかな。(はいからさんが通る 2017/11/12)

24) A: (お父さんに) 嫌いじゃなかったら、陸くんと仲良くしてやってねって言われて。

B: 相当嬉しかったんじゃないですか。

A: まあ、嬉しくなかったって言ったら嘘になるかなあ。(俺の話は長い 2019/01/02)

25) (昔つきあっていた治子に社長の娘えりと結婚した理由を語る場面)

八木: 治子のことは好きだったけど、結婚となると話は別だろ。えりは料理もうまいし、従順だし。出世のこと考えなかったっていえば嘘になるけど...(彼、夫、男友達 2011/11/07)

26) 涼: (父親殺しの) 僕も犯人だと疑われているんですね。

刑事: そうじゃないと言ったら嘘になりますね。(カラマーゾフの兄弟 2013/02/05)

27) 支店長夫人に取り入ろうなんて、別に私はそういう気持ちはないって言ったら嘘になるっていうか... (半沢直樹 2014/01/14)

28) 共産党支持者の発話: (共闘候補の支持をすることを) 不安はないって言ったら嘘になりますよ。(民進党は) 消費税10%にするっていったでしょ。そこは不信感がありますよ。(クローズアップ現代 2016/04/25)

29) 震災後の選抜で負けた後)

記者「どうですか、この結果については？」

東北高校の主将「悔いが残らないと言ったら嘘なので、頑張らないといけない...。」(ズームイン朝 2011/03/29)

30)あ、いいんです。(シューフィッターの)村野さんに聞いてますから。ショックじゃないと言ったら嘘になります。でも、茂木さんが決めたことだから。私たちは精一杯応援します。(陸王 2019/11/19)

31) (夫から DV を受けていた殺人容疑の妻に)

検事：あなたは(夫が死んで)ホッとしたでしょ？

さえ子：ホッとしてないといえば嘘になります。もう何日も殴られてない...なんて幸せなんだろうって。(松本清張シリーズ 一年半待て)

32)千代の富士の 53 勝を前にしてのインタビューで

アナ：「やはり連勝を考えましたか？」

白鵬：「(歴代の横綱の)連勝を考えないと言ったら嘘になる。一勝一勝大事にやっていきたい...。」(NHK ニュース 47 勝中の白鵬の発言)

33) (バトミントンの藤川、岩垣ペアがオリンピック準決勝進出を決めて)

アナ：「メダルは意識しましたか？」

岩垣：「メダルを意識しないと言ったら嘘になるけど、次も全力で戦いたい。」

(NHK ニュース インタビュー2012/07/31)

34) (新人賞受賞後に)

アナ：「やはり新人賞は意識していましたか？」

小川：「注目度の高い新人がたくさんいる中で野球をしていて、意識をしなかったといえばうそになる。その中で取れたのはうれしい。」(小川投手新人王インタビュー 2013/11/26)

35)(女性にもてると評判の芸人に)

司会：実際のところ、どうなんですか？

芸人：もててないって言ったら嘘になりますね。(もてもてナインティナイン 2011/11/22)

36) 新: どうして決意できたの？会社辞めるって。

美香: うーん、不安がないっていったら嘘になる。でもね、見栄とか取っ払って自分に聞いてみたの。そしたら、田舎に帰ってお母さんと暮らしたいって。もう東京はいって、踏ん切りついた。(その女、ジルバ 第4話)

37)朝顔：お父さん、本当にお疲れ様でした。

父：やめようよ、そういうの。

朝顔：でも、ちゃんと言わないと。

父：中途半端な時期に辞めたから。

朝顔：もっと続けたかった？

父：心残りがないと言えば嘘になるけど。(監察医朝顔 2020/1/11)

38)中居：小栗くんは、女性を目線ってきになるんですか。

小栗：う～ん、まあないと言ったら嘘になりますね。まあ、そういうふうに思ってもらわない役とかの時がありますから。(金スマ 2021/12/10)

39)外科部長：君のような人間は、1つの分野を極めて唯一無二の技術を持つスペシャリストにこそ、なるべきじゃないか。

成瀬：その言葉に惹かれなかったと言えば嘘になります。ただ、行き場のなかった俺をナイトドクターに引き入れてくれた本郷先生には恩があります。(ナイトドクター第8話)

40)A: どう思います？ シュウの行動。まるで彼らの襲撃を喜んでいるかのよう。

B: それはないといえば嘘になる。(名探偵コナン 赤と黒の侵入)

41)鴨居くんは未練があるってわけじゃないの。ううん、全然未練がないって言ったら嘘になるけど。でも、違うの、そういうんじゃないの。(同級生 第7話)

42)サンド：(長い間支えてきて)酒井さんに不満とかありましたか。

妻：まあ、ないといったら嘘になってしまうんですけど。でも普通の人が出たいなんて思わないですよ。それを自信をもってやってしまうところに、まあこの人ならできるかなと思ってしまうですよ。(サンドのお風呂いただきます 2020/12/09)

43)A：パワハラは疑わなかったんですか。

B: 疑わなかったと言えば、嘘になります。でもそれは、あり得ないかと。上川さんは以前の会社でも上司だったんです。(タリオ 第3話 2020/10/24)

44)鉄男：西洋音楽、祐一も志望だったろ？未練ないのか？

祐一：ない！って言ったら嘘になるけど。流行歌はたくさんの方がきいてくれるんだよ。(NHK 朝ドラ エール 2020/06/23)

## ・ ~ないとは言えない

1)A：病気のことがあるから（私に）気をつかってる？

B : そういうのが全くないとは言えないけど、...(筆者友人の発言 2012/08)

2)北朝鮮のミサイルが広島、島根、高知の上空を通過するに当たって

小野寺 : 日本の存立の聞きに当たる可能性がないとは言えない。(防衛大臣 (当時) の発言 2017/08/11)

3)A : 足袋だけじゃいけませんか？

B : いけないとはいわない。でも...おもしろくない。やっぱり新しい何かに挑戦したいんだよ。(陸王 2017/10/15)

4)管理官 : なぜ、水越の会社を取り調べたらいけないんでしょうか。

刑事部長 : いけないとは言ってません。取り調べを控えるようにと言ったんです。

管理官 : 私は頭が悪いんでしょうか。同じ意味に聞こえます。(緊急取調室 2017 第 5 話)

5) (事故の目撃者に事情聴取した警察官が目撃者に対して)

警察 : 今回は何もなかったということになるけど、あなたにも過失がなかったとは言えないですからね。(2016/04/06)

6)菅官房長官 : 東京都で新たに新型コロナウイルスの感染者が 2 3 7 人確認されました。重症者は 1 3 人であり、都内の医療体制は逼迫している状況にはないと考えている。

山口教授 : 医療体制が逼迫していないというのは誤りです。とても逼迫してないとは言えない。(N スタ 2020/07/22)

7)みお : (その人が) きちんと振り込んでるか、うちの店舗に見に来てるとか？

剣崎 : まあ、ないとは言えないけど。

みお : 今度、そうかも知れないって時は合図しませんか？例えば、鼻を摘むとか。(知ってるワイフ 第 3 話)

## ・ ~ないとは限らない

1)妻 : 夜に髭を剃るから電池がなくなるのよ。

夫 : 朝、剃る時間がないかも知れないじゃないか。

妻 : 人生を終えるのだけはどうしても避けたかった。(村上春樹「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」)

3) 「一角獣が存在しなかったとは限らないという立場から、実証的にアプローチしたも

のなの。でもどちらも一角獣そのものについての記述は残念ながらあまり多くはないの。竜や小鬼なんかについての記述に比べるとちょっと意外なほど少ないわね。たぶん一角獣という存在がすごくひっそりとしているせいじゃないかと私は思うんだけど……。申しわけないけど、うちの図書館で私が手に入れることができたのはこれだけなの」「それで十分だよ。一角獣についての概略がわかればいいんだ。ありがとう」(村上春樹「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」)

4) だが、ここで私が投げたら、内藤はどうなるのだ。私のようにボクシング界から逃げ出すこともできず、これからもボクシングを続けていくに違いない。恐らく、小さな試合に勝ったり負けたりしながら、残り少ない持ち時間を浪費していくことだろう。場合によっては、金のために噛ませ犬として買われていかないとも限らない。そうすれば、また六年前と同じことを繰り返させることになるのだ。(沢木耕太郎「一瞬の夏その3」)

5)麻原に死刑が執行された場合、テロにはしるものがないとも限らない。(「ニュースキャスター」2018/03/17)

6)勝負というのは一寸先は闇です。どんなことが起きないとも限らない。(「NHK 党首奮戦」2017/10/21)

朝、そうだったことなんて一回もないじゃない！

夫：明日がその一回にならないとも限らない。

2)しかし今から二十四時間以内にフランクフルトに到着することはまず不可能だろうし、もしそれが可能であるとしても十何時間も飛行機のシートにつめこまれて不味い機内食を食べさせられるのは問題外だった。それに実際に行ってみたらポスターで見た景色の方が良かったなんてことにならないとも限らないのだ。がっかりした気分

#### ・ ~ないわけじゃ(でも)ない

1)「なにとぞ」っていうほうがなんかかたい感じですね。そいでもって、こう、年齢的には上の方が使う感じもしない、わけではない。それから、「ぜひ宜しくお願いします」、というと、なんか・・・まあ、丁寧さよりは、ま、てい、丁寧じゃないということは言えないけれども、「なにとぞ」とか「どうか」よりは、んー、お願いし、丁寧さかな、それが若干低いかな、丁寧度が低いかなあという気もしないでもない。(日本語教育 107号坂口和寛「日本語教師の類義語分析における例文作成・例文分析のつまずきとその



回避」2003)

2)その腕の中で眠りたい子供みたいに。ふと願う日がないわけじゃない。(♪Love Story 安室奈美恵)

3)男と女なんてそんなものかも知れませんが、自信がないわけでもないわけで... (「最後から2番の恋」20140425)

4) (木根さんがギターを弾けないという事実に対して) 古くからのファンなら周知の事実だろ。小室さんがキーボードを弾くので元々キーボーディストだった木根さんがギターにまわったけど、木根さんも不得意だったのでそれをカバーするために松本孝弘さんがサポートメンバーに入ったのは有名な話。木根さん自身はSPEEDWAY時代からギターも弾いてたし、まったく弾けないというわけではない。(yahoo書き込み 2016/01/04)

5)安西：この手の投資話は疑いはつきものですからね。

和枝：先生のこと、信用してないわけではないんです。

安西：いや、信用してないじゃないですか。(「ごちそうさん」2016/12/13再放送)

6)69歳になり、体力は落ちた。ゆっくりしたいと思わないわけではない。(聖教新聞一面2020/03/14)

7)妻：やっぱり2話も描きたかった？ゼーんぶ描きたかった？

圭佑：うーん、まあそういう気持ちがないわけじゃないけど。売れない脚本家だからね。(書けない！吉丸圭佑の筋書きのない生活第2話 2021/01/24)

8)父：亜希子さんに取り憑いている魔物は何という魔物だ？

正和：天頭鬼という魔物です。

父：子供の時のような顔をして。心配するな。手がないわけじゃない。(DISTNY 鎌倉ものがたり)

9)お前が言ってることも分かるんだけど、俺が言ってることも可能性がないわけじゃないでしょう。(Hero 第5話)

#### ・ ~なくも (は) ない

1)有働：(離婚問題で) 最近では夫が子供をつれて行くケースは増えているんですか。

弁護士：最近ではそういったケースが増えていると言えなくはないと思います。

(NHK 朝イチ 2011/11/07)

2)石川県の谷本知事は19日、政府が「2030年代に原発稼働ゼロ」との目標を掲げた革新的エネルギー・環境戦略の閣議決定を事実上、見送ったことに触れ、「この戦略はどんな位置づけになるのか、よくわからない」と述べ、政府の迷走ぶりを皮肉った。(略)谷本知事は政府のエネルギー戦略について「あちらこちらに配慮しているけど、原発立地地域には何の配慮もない。非常に八方美人的で、その場しのぎの戦略に見えなくもない」と酷評。(読売新聞2012/09/20)

3)妻:(毎日私が作る)お弁当は楽しみ?

夫:楽しみじゃなくもないかな...(我が家の会話 2012/08/26)

4)娘:(母の指輪をはめて)外しちゃいたいと思ったことないの?

母:なくはないかな...(笑)

娘:えー、(その話)聞きたい。(2012年JTBのCMより)

5)貴重な税金を使うので、国の指導もわからなくもないが、持続可能な町を作りたいので、すぐになくなってしまおうような町づくりはできない。(名取市復興支援対策部職員「スーパーJチャンネル」2012/12/25)

12)教員1 あんなどころまで掃除するって(生徒は)予測できるかな?

教員2 いや、できなくもないな。いつも掃除するやつらなら。(「高校入試」2012/10/13)

6) (パン醤油を味見して)この組み合わせ、なくはないです。(NHK ニュース 2012/05/12)

7)弁護士 A:あなたは依頼人の利益を無視する気ですか?

弁護士 B:いや、そんなことは言ってません。私は、彼女たちの気持ちもわからなくもないから、努力してみると言ったんです。(モメる門には福来る 2013/02/08)

8)MCA:さて、今日のメイン企画です。B さ〜ん?

MCB:はい、立教大学の観光学部の教授によると、最近の旅行者はリピーター、及び旅行慣れしている人が多いというんですね。まあ、そういうことも言えなくはないでしょうね。そこで体験型旅行が人気だというんですね。(DateFM2013/03/19)

9)(注意されたことに腹を立て、けんかになった後で)

真平:兄貴、ごめんね。

和平:いいんだ。お前の気持ちもわからなくもない。でも検査にはちゃんと行け。

(最後から2番目の恋第五話)

10)そこから(データを)抜き取りたくなる気持ちは全く分からなくはないけど...(NHK ニュース 2014/03/14)

11)大手メーカーさんには、矯正用として(足袋を)売り出したところもあって、成功したところもなくはないんだ。(陸王 2017/10/15)

12) 部長：交渉取り調べ可視化の一翼を担ってきてくれたと言えなくもない。かも知れない。

部下：??どっちだよ！（緊急取り調べ室 2019/06/20 放送）

13) A:前に違うって言ったけど、あたしあんたのこと好きじゃなくもないかも。好きじゃなくもないかも。

B:えー?！（「崖っぷちホテル」第9話）

14) 検事1：被害届を1週間後に出してくるのもマイナスなんだよね。

検事2：上司を告発するのに、悩む時間が必要だったんです。

検事1：うーん、わからなくもないけど、証拠がないなら起訴できないよ。

（「正義のセ」2018/04/13）

15)A:めんどくさいには二種類ある。一つは、そうだねーなるほど。分くらなくもないと共感できるやつ。もう一つは、共感できないなあ、それ。というただ単にめんどくさいというやつ。さて、お前はどっちだ？

B:うーん、共感できるやつでしょ。(ひよっこ 2017/09/01)

16) (国が研究予算を減らしていこうという動きに対して)

専門家：この研究がいい、悪いと国がメリハリをつけることもわからなくもないが、ほかの研究とつなげていくこともまた、大事だと思います。(サンデーモーニング 2020/07/26)

17) みねこ:私のお小遣い2ヶ月分です。お金いっぱい稼げば家が楽になっかなあとか思うんだけど。なんか、怖くて。

愛子:わからなくはないよ。(ひよっこ 101話)

18)身の上話になってしまうが、今までの人生でどれだけセブンイレブンに助けてもらったかわからない。主に、食生活において同店を利用した回数は数えきれないし、セブンイレブンでたくさんの弁当や惣菜などに看取られながら死にたいと思わなくもない。( <https://article.yahoo.co.jp/detail/597965629d939c84e6516626b0380aeb719b>)

19)八代：さとみさんが家族と離れたあと、どこへいったのかな？誰かと会ったとか。お姉さん？

鳴海：その可能性もなくはないわ。(未解決の女 警視庁文書捜査官第4話)

## ・ ～に違いない

- 1)このように、若い世代ほど負担が重くなるとすれば、さまざまな制度やシステムは持続可能性を失って、早晩行き詰まってしまうにちがいない。どうしてこんなことになってしまったのか。(毎日新聞朝刊 2012/06/10)
- 2)この人は自分なりに、一生懸命に働いてきたにちがいない。しかし、誰もが一生懸命なのだ。それだけでよしとしているところに、「甘さ」があることに気づいていない。(新人間革命 1 巻:294)
- 3)彼の眼も亦天保銭と同じく、大きな役割に通用しないに違いない。(『我が輩は猫である九』:370)
- 4)フェイク動画は、影山を苦しめたことに違いない。でも、あれは一時災害だったんだ。(「三年A組今からみなさんは人質です」最終回)
- 5)田中選手は優勝するに違いないと言われていたが、2位に終わってしまった。(「TRY 日本語能力試験N3」:170)
- 6)九死に一生を得た猫。ただ、不思議なのは最後のジャンプ。実際は相当焦っていたに違いない。(奇跡体験！アンビリバボー2020/05/28 )

## ・ ～に他ならない/他でもない

- 1)私たちにとって、何のものにも替え難いダイヤモンドとは、人間の生命に他なりません。なかんずく、未来を照らしゆく若人たちの生命です。(2012 創価同窓の集い創立者謝辞)
- 2)そしてものの見方とは、動的な精神の動きに他ならないのであるから、入門書はそれを書く著書に固有な、ものの見方と切り離すことができない。(『ことばと文化』鈴木孝夫)
- 3)人生100年社会を実現しつつあるのは、平和と豊かさを享受できたからに他ならないのです。(高齢社会をよくする女性の会樋口恵子氏講演「長寿が男女の生き方を変える」2012/11/06)
- 4)その生命の輝きが苦しみを抱える他の人々を勇気づける光明となり、「自分個人の悲劇を人間の勝利に変える」道をも開く価値創造に他なりません。(SGI 提言 2014/01/26)
- 5)人間の尊厳はひとりでに輝くものではなく、自分と他者という二つの岸を結ぶ心の橋が架けられてこそ、尊極なる輝きを放ち始めるものに他なりません。(SGI 提言

2014/01/26)

- 6) いわば「人権文化」の建設は、(中略) 一人一人の善性を薫発するエンパワーメントを通し、誰もが人間の尊厳を守る主体者として貢献できる社会を目指しながら、皆の力で人権の強度を高めていく挑戦に他なりません。(SGI 提言 2014/01/26)
- 7) 日本語を教えることによって、日本人の言語活動を理解させること、言葉の根底に存在する普遍的な世界を共用することに他ならない。(学生のレポート 2014/07/20)
- 8) 被告人は中学卒業後、学校が勧める就職先には向かわずにいました。推測の域をでないのは、被告人が黙秘を続けているからに他なりません。(疑惑 2016/11/12)
- 9) 人生100年社会を実現しつつあるのは、平和と豊かさを享受できたからに他ならないのです。(高齢社会をよくする女性の会樋口恵子氏講演「長寿が男女の生き方を変える」 2012/11/06)
- 10) あいつ(十六夜久右エ門)が、アシ(私)を狙ったのは、あいつと同じようにアシの心にも闇を抱えていたからに他なりません。(ニンニンジャー 2016/01/24)
- 11) しかし、それは事故の拠って立つ基盤を自分で取り払い、自らの存在を危うくすることに他ならないでしょう。(『ニヒリズムの超克』池田大作)
- 12) あなたのしたことは、懸命に働く全銀行員への裏切りに他ならない。到底許すことなどできません。(半沢直樹第9話)
- 13) 半沢：開投銀はなぜ(融資)打ち切りを？  
白井：さあ、そこまでは。いずれにせよ、半沢さんの見通しが甘かったということに他なりませんね。やはり私直属のタスクフォースに任せるべきではありませんか。(半沢直樹 第7話)

〈は～ほ〉

・ ～は否めない

- 1) われわれがオリンピックから姿を消すのは、なんか今までとちがうなあという感じがするのは否めない。(日本レスリング連盟会長 2013/02/17)
- 2) 一方のゼンショーは、低価格路線からの変換を行い、値上げを行ったのは8月になってからと、競合2社に比べて対応が遅れたことは否めない。(yahoo ニュース 2014/11/19)
- 3) (東電は現場よりも)官邸の指示を優先させてしまったことが、混乱の原因であるということは否めない。(国会事故調査委員 ニュースステーション 2012/07/11)

- 4)2014年に続く、2年連続の値上げとなり、割高感は強まっている。岡崎 CEO は「値上げの影響は限定的」とするが、客離れが起きていることは否めない。(東洋経済オンラインニュース 2016/01/10 )
- 5)女：国民に働くことをさせない国、なんておかしいですよ。一生働けないより、ガールズバーでおっぱい出してたほうがましっていうか...
- 男：言っていることはよく分からない。でもね、可愛い。これは否めない。あとね、ガールズバーはおっぱいは出さない。(『ゆとりですがなにか』2016/05/08)
- 6) (みのもんたの「私のカムバックに相応しい舞台を用意してくれた」発言に対し) ラジオでの発言もマスコミの気を引くリップサービスなのでしょうけど、故人の配慮に欠けることは否めません。(昼ダネ 2013/11/11)
- 7)弁護士：自殺の可能性は3点です。鍵を本人がかけたこと。出火の原因となったベンジンをご本人が購入していること。遺体の状態からみて、逃げる様子がなかったこと。
- 科捜研:状況から見て、確かに自殺の可能性は否めない。でも断定はできませんよね？(スモークキングガン第一話 2014/04/12)
- 8)科学的研究成果を少し楽観的にみていたというくらいが否めない。(理化学研究所理事 2014/03/14)
- 9)2011年の政府統計によると、成人(18~49歳)の感染率は31%。特に30~34歳の女性では54%、35~39歳の男性では47%だ。「ここまで広まってしまった原因の一つに、この国の文化や風習があることは否めません」。現地でHIV対策に取り組む国際協力機構(JICA)の持田敬司調査員は話す。(朝日新聞デジタル 2014/09/25)
- 10)大人っぽく印象的な着こなしが決まる一方で、かえって着太りしたり、爽やかさに欠ける心配も否めない黒。旬のアイテム選びさえできれば、悩みも一挙に解決します！(雑誌LEE 8月号記事見出し)
- 11)桐原：(男Aが妻を殺したことは)あまりに無知で短絡的な犯行であることは否めない。どうしようもない奴が起こした、どうしようもない事件だ！情状酌量の余地はない！！(ドラマ『ビギナー』第2話)
- 12)実習もおかげ様で無事終了し、歳のせいか三日後の今日になってかなりの疲れは否めません。(ヒューマン受講生からのメール 2016/09/28)

- 13) 何でやねん！大阪人は図々しいんやろ？まあ、それは否めないけどな。ただ、どんな言葉で喋ってもそれは人の勝手やん。(スカッとジャパン 2020/4/6)
- 14) 関口：(専門家会議と政府の) どうやら両者の間にぎくしゃくしたものがあるのは否めないですね。《主張》(サンデーモーニング 2020/6/28)
- 15) よくも悪くも坂上さんが厳しすぎるのは否めない。雰囲気が悪すぎるから、番組を畳んだほうがいいんじゃないかと打ち切りの議論が出ているのは確かです。(yahoo ニュース 2020/06/17)
- 16) 出演者の言動を陰湿に批判することが、テラスハウスの面白さの一つであったということは否めない。スタジオトークや山チャンネルがその陰湿さを増幅させていた。(twitter テラハ出演者 2020/05/26)
- 17) 君の行動は、1人の夫として、父親としては当然のことだ。しかし、CTUの職員としては、規定を逸脱したことは否めない。(24JAPAN 2020/1/15)
- 18) 竈門くんは現状ではまだ、力不足であることは否めませんが、煉獄さんなら何か導いてくれるかも知れません。(鬼滅の刃蝶屋敷編)
- 19) けど、今年のほとんどの成績や点数を考えるとオリンピックで順位を上げられる可能性は、かなだいの方に分がある気がするのは否めない。(yahoo コメ 2021/12/27)
- 20) この時期の様々な分野の方々がコメントをしています。コメントのためのコメントとを感じるものも少なくないように思えます。もはや、マンネリ感が否めません。高校生が手をつなぎ合っているなどのパフォーマンスもイベントのようで痛々しいです。(47News 2021/8/9)
- 21) 海老蔵：練習回数が足りない感じが否めない。  
岸：申し訳ありません。(日テレ4時間スペシャル 2020/10/04)
- 22) 確かに休場が増えた両横綱ではあります。成績も全盛期と比べると低下しているのは否めません。故に厳しい声上がるのは理解できます。(yahoo コメント 2020/09/29)
- 23) はっきり言ってキングオブコントのレベルが下がった感が否めない。ジャルジャルの笑えないあのコントで全員90点はあり得ない。(yahoo コメント 2020/09/27)
- 24) よくも悪くも坂上さんが、厳しすぎるのは否めない。“雰囲気が悪すぎるから番組を畳んだほうがいいんじゃないか”と打ち切りの議論が出ているのは確かです。(yahoo ニュース 2020/06/17)
- 25) 演者の言動を陰湿に批判することがテラスハウスの面白さの1つであったということ

は否認ない。スタジオトークや山チャンネルがその陰湿さを増幅させていた。(テラハ  
出演者 twitter2020/05/26)

・ ~は否定できない

1)少なくとも活断層であるという可能性は否定できません。(原子力規制委員の発言  
「NHK ニュース」2012/12/20)

2)検察が虚偽の調査書を作成したことは、裁判にある程度影響を与えたことは否定でき  
ない。(弁護士 NHK ニュース 2012/06/27)

3) (熊本地震の中継で)

A:「ここからは、半分以上崖が崩れているのが確認できます。

B:「では、そこに民家や建物があつた可能性は否定できないということですね？」

A:「そうですね。」(雑音がひどくなり)

B:「ここで、一旦中継を切り替えざるを得ませんね。」

(朝だ、生テレビ 2016/04/16 )

4) (病気の可能性がある) 実際お腹の中で大きな音がしていることは否定できないです  
ね。では、実際のお腹の音を聞いてみましょう。(ドクターG 2016/02/04)

5)宮:「これまで35年間生きてきた中で、本当に恥ずかしい限りですが、いろいろな  
方々を傷つけてきたということはあつたと思います。そういった皆様に対しても、  
お詫びを申し上げたいと思います。」

記者:「それは結婚したあとも？」

宮:「女性問題」ということであれば、否定はできないところでありますし、申し訳ご  
ざいませぬ。(宮崎議員の謝罪会見 2016/02/13)

6)この問題を巡っては、市教委が6月1日に教育長を委員長とする調査委を設置。7月  
30日にあつた5回目の会合で「いじめが原因の可能性は否定できない」と言及して  
いた。(毎日ニュース 2013/09/10)

7) (特定秘密法保護法案は) 役所が都合の悪い情報を恣意的に隠すといった可能性も否  
定できない。(NHK ニュース衆院本会議 2013/11/07)

8)刑事: 申し上げにくいのですが、住民の誰かが犯人であるという可能性も否定できま  
せん。(東京スカレット NS 係 2014/07/20)

9) 妻帯者と知つた以上は身を退くのが人の道ではあるが、それでもベッキーがのめり



こんだのは、川谷が「早期離婚」を匂わせたからということは否定できない。実際、川谷に離婚の意志はあったのか(デイリー新潮 2016/02/24)

10)アメリカには根強い問題がある。人種問題ですとか、労働問題ですとかですけども。それをトランプ氏が吸い上げているというのは否定できないですね。(2016/11/06 サンデーモーニング東大大学院教授の発言)

11)長井裁判長は「手や荷物が体に偶然に触れたのを、故意に触れられたと勘違いした可能性は否定できない」として、無罪(求刑懲役4ヶ月)を言い渡した。(時事通信 2106/06/20)

12)今朝は熱が出て、孝明天皇例祭への出席を取りやめられました。陛下は先週、肺炎球菌ワクチンを受けられ、宮内庁はこの影響も否定できないとしています。(2017/01/30 FNN ニュース)

13)右京：しかし、その関係が事実でなかったとしたら？

亀山：二人は交際してなかったってことですか？

右京：その可能性は否定できません。(「相棒 season7」第4話)

14)月経がはじまっても症状が続くようであれば、他の疾患が潜んでいて、その症状が月経前に悪化している可能性も否定はできませんので、必要な検査や診断を受けたほうがいいでしょう。(聖教新聞7面生活 2019/09/08)

15)心筋梗塞も否定できないな。すぐに手術しないと命が危ないです。(「ザ世界が仰天ニュース」2020/03/03)

16)相馬さんは、誰かが横領したと思いますか。

そうは思いたくないけど、それも否定できないだろ？(「花咲舞が黙ってない」第2回)

17)WHO は新型コロナウイルスの可能性が否定できないと発表した。(NHK ニュース 2020/01/11)

18)自殺する直前のきっかけは特定しなかったが、げんこつの体罰は前日で「心理面に影響を与えた可能性を否定できない」とした。(河北新報ニュース 2019/07/29)

19)編集者：菅氏といえば、約600人の省庁幹部人事を一元管理する「内閣人事局」を掌握することで霞が関の官僚たちをコントロールしてきたといわれます。その反作用として、官僚が国民ではなく官邸を向いて仕事をするようになり、政権への過剰な“忖度”を生み出した側面は否定できません。

(AERAdot.<https://news.yahoo.co.jp/articles/590995a17d5fab4ad39e6427a3d02229525d8492?page=4> 菅政権になったら今より隠蔽国家になる」 宿敵・望月衣塑子記者が語る菅義偉氏の“別の顔” 2020/09/06 閲覧)

20) (隠し子疑惑がかかっている男が、その子供との会話で)

子：だって、お母さんが言ってたもん！ルミのパパ、おっちょこちょいの人だって！

店員：言えてる。

男：そんなことないって！

子：ルミのパパ、すごく優柔不断だって！

店員：うん、うん。

男：そんなことないって！

子：ルミのパパすごくイケメンだって。

男：否定できない！（原宿ネストカフェ 2013/02/10）

21) (おかずくらぶの二人がブレイクした自分たちのことを)

オカリナ：「本当にこれ、誰も否定できないっていうか、テレビでみない日がないと。  
(ペケボンダービ 2016/02/02)

22)確かに、そのおかげで今回の事件が解決したことは否定できない。でも、そんな捜査の仕方を私は賛成できない。(科捜研の女 2016/03/10)

23)甲斐：できる男は叩かれると？

玉井：まあ、それは否定できませんけど。(SUITS season2 第3話)

24)しのぶ：じゃ、この方首を絞められた。殺人??

朝顔：はい、その可能性は否定できません。(監察医朝顔第6話)

25)佐野：弟のはるとくんが怪我をしていました。保育園の先生が証言しています。1週間前に、自転車で転んでだと。

課長：まあ、何とも言えんが虐待の可能性は否定できない。(監察医朝顔第9話)

26)指揮をしていたのは、薩摩藩です。ということは、龍馬暗殺の黒幕に薩摩藩がいたことは否定できないわけです。(何だこれ！？ミステリー2020/08/19)

・ ~ほか(は)ない／~ほかでもなく

1)都民の皆様の疑念を払拭できず、自ら都知事の職を退くより ほかはありません。(猪瀬

前都知事辞職会見 2013/12/19)

- 2)裁判官：新川の交差点で、絶対に停止していないと強調しているのは、ことさら不自然という他はなく、被告が運転していたと印象づけるものである。(NHK 特集 保険金詐欺事件の判決 2014/4/24)
- 3) 日テレの“水曜 22 時”枠は、北川景子の『家売るオンナ』といった、女性主人公の職業モノで支持を集めてきました。とはいえ、馴染みの薄い校閲がテーマのドラマでこの数字は驚く他ない」(デイリー新潮日テレ関係者の発言 2016/10/20)
- 4)北朝鮮がこのような行動(核ミサイル発射)を続けるかぎり、国際社会と連携して圧力を強めていくほかない。(NHK ニュース 2017/7/28)
- 5) 今日外出したことを親に知られないようにするためには、十時までに帰るよりほかない。(『日本語表現文型』(1989))
- 6)舞台に立つことを望んでいるのは、他でもなく、貴方自身でしょ。プレッシャーがどうとか、そんなことは関係ない。(仮面ライダーエグゼイド 2017/2/19)
- 7)『泥棒たちの舞踏会』(1966)の共演をきっかけに交際して、一時は結婚寸前までいきながら破局。その後、石坂さんは浅丘さんと結婚しますが、浅丘さんを彼に紹介したのは他ならぬ加賀さんなんです。(NWS ポストセブン 2017/4/10)
- 8)「自信のなさ」を克服するのは、他でもない自分自身の意思しかないからです。(恩師のメール 2009/1/9)

〈ま〜も〉

・ ~間違いない

- 1)念を押すようにいわれて、私はもう一度写真に目をやった。日付以外の細工や加工がないか、と佐竹刑事は訊いているのだ。「日付だけです」「じゃあ、ここに写っているのは、あなたでまちがいないわけだね」まちがいないも何も、これだけ顔と制服がはっきり写っているのだ。(『ダミーフェイス』映島 巡)
- 2)ファーストキスは何歳で、場所はどこだった、(死んだ)本人が言っていたんだから間違いない。(「目的地まであとどのくらい」角田光代エッセイ 2012/11/01)
- 3)探し続けた船長の顔。手がかりの画像とよく似ていて、同一人物に間違いない。  
(「アリガトウ JAPAN 助けてくれた日本人を探して」 2020/3/26)
- 4)日本とアメリカ、韓国の3つの予測はバラバラですが、週末、日本に何らかの影響を

及ぼしてくることは間違いなさそうです。(yahoo ニュース 2020/10/5)

5)安倍政権は、消費増税分の使途変更など、野党側の主張、政策を重点公約に取り入れることで、争点を無効化する選挙術を採ってきた。それが国政選挙での度重なる勝利の一因だったことは間違いない。(yahoo ニュース 2020/09/05)

6)白井：まもなく東京中央銀行で、役員会が開かれるようです。債権放棄を決定するのは間違いないでしょう。

美濃部：間違いない？君はちゃんと役員1人1人に声をかけて確証を得たのかな？

白井：流石にそこまでは。

美濃部：物事を成し遂げるためには、そこまで徹底しなげきゃいけないことがある。

(半沢直樹 第7話)

7)少なくとも第一次安倍政権の終わり方は唐突だった上に、混乱を来したことは間違いない。今回その教訓を元に対応したということは極めて正しい。(yahoo ニュース 2020/08/29)

8)また、会社の設立は令和2年3月26日と、これはオスカーの屋台骨を支えてきた米倉涼子の退所が囁かれ始めた時期と重なる。“米倉ショック”が彼女を突き動かしたのは間違いないだろう。(yahoo ニュース 2020/06/30)

9)「科捜研の女」が代表作であることは間違いないのですが、ほかにも特筆すべき作品があるというのは、幸せなこと。俳優として、いろんな役を演じてみたいという思いもありますので、まったく違う、新たな一面を表現できる役をいただけてとても感謝しています。(yahoo ニュース 2020/08/30)

〈わ～を〉

・ ～を禁じ得ない

1)つい、ここまで書いてしまったものの、思えばどうしてこんなことになったのかと、戸惑いを禁じ得ません。(『聞く力』阿川佐和子)

2)安倍総理の靖国参拝に、韓国は憤慨と怒りを禁じ得ない。(「サンデーモーニング」2013/12/29)

3)しかし、実際に会ってみると、礼儀正しい、精悍な感じの青年であり、自分の抱いていた、権威的な“教祖”のイメージとはあまりにもかけ離れていた。しかし、何か心引かれ

るものがある。彼は、その落差に戸惑いを禁じえなかった。(『新人間革命』 1巻:316)

4)教職員が人々の中に分け入って、様々な教育活動、奉仕活動を展開されております。私は心からの共鳴を禁じ得ません。(聖教新聞 2014/4/25)

5)英国マンチェスターでライブコンサート会場が、爆弾テロに見舞われた。何の罪もない未来ある子供たちや若き青年達が犠牲となった卑劣な行為に、心からの怒りを禁じ得ません。(石川ひろたか HP2017/05/23)

・ ～を免れない

1)ハイジャックの判断をあやまれば、致命的な非難を免れない。(アナザーストーリーズ 2017/10/24)

2)覚醒剤所持者に、覚醒剤使用法違反が加わって、起訴は免れませんね。(Hero 第3話)